

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書

令和6年(2024年)

愛媛県感染症情報センター

(愛媛県立衛生環境研究所)

はじめに

感染症発生動向調査事業は、1999年(平成11年)に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下「感染症法」という。)に基づき、感染症の患者発生及び原因病原体を把握・分析することにより、感染症を予防し、流行拡大を防止することを目的としています。

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、2022年(令和4年)に感染症法が改正され、自治体における予防計画の記載事項の充実や都道府県連携協議会の創設などが行われ、感染症危機管理体制が強化されることになりましたが、感染症発生動向調査は引き続き重要な基盤となるものです。

さらに、今年度(令和7年度)から急性呼吸器感染症(ARI)が五類感染症に追加され、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等を含む広義のARIの病原体サーベイランスも開始されました。

さて、本報告書にまとめられた当県の2024年(令和6年)感染症発生動向の特記事項としては、インフルエンザ(2023/2024シーズン)、手足口病、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が感染症法に基づく調査開始以降で最大の発生規模となりました。また、5種類の性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症、梅毒)が例年より多く発生しました。詳しくは、本報告書をご覧ください。

関係各位の皆様には、平素から本事業の推進にご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。今回、お陰様をもちまして、本報告書を取りまとめることができました。感染予防対策の資料として、広くご活用いただければ幸いです。今後とも、感染症情報センターと関係各位とのより一層の緊密な情報網の構築に努めてまいりますので、引き続きご協力並びにご指導、ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年3月吉日

愛媛県立衛生環境研究所
所長 四宮博人

目 次

I	愛媛県感染症発生動向調査事業の概要	1
II	2024年(令和6年)感染症発生動向調査結果 ー患者情報ー	
	報告週対応表	4
1	全数把握対象 ー五類感染症、新型インフルエンザ等感染症	
(1)	一類感染症	5
(2)	二類感染症	5
(3)	三類感染症	5
(4)	四類感染症	8
(5)	五類感染症	12
(6)	新型インフルエンザ等感染症	22
	表2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)	23
	表2-1-2 2024年全数把握対象疾患発生状況(月別)	24
	表2-1-3 2024年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)	25
	表2-1-4 2024年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)	26
2	定点把握対象 五類感染症	
(1)	定点把握対象疾患 発生動向の概況	27
	表2-2-1 週報対象疾患ー週別患者報告数	29
	表2-2-2 週報対象疾患ー週別定点当たり患者報告数	31
	表2-2-3 週報対象疾患ー年齢区分別患者報告数	33
	表2-2-4 月報対象疾患ー月別患者報告数	34
	表2-2-5 月報対象疾患ー月別定点当たり患者報告数	35
	表2-2-6 月報対象疾患ー年齢区分別患者報告数	36
(2)	インフルエンザ/COVID-19定点対象疾患(週報)	37
(3)	小児科定点対象疾患(週報)	44
(4)	眼科定点対象疾患(週報)	66
(5)	基幹定点対象疾患(週報)	70
(6)	STD定点対象疾患(月報)	78
(7)	基幹定点対象疾患(月報)	84
III	2024年(令和6年)感染症発生動向調査結果 ー病原体検査結果ー	
1	細菌検査状況	
(1)	全数把握対象感染症	87
(2)	定点把握対象感染症	91
2	ウイルス検査状況	
(1)	全数把握対象感染症	92
(2)	定点把握対象感染症	92

IV 2024年(令和6年)結核登録者情報

1 概況	98
2 新登録患者の状況	
(1) 患者数及び罹患率の動向	98
(2) 性・年齢階級別	99
(3) 保健所別	100
(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向	101
(5) 発見の遅れ	102
3 年末現在結核登録者の状況	103
表4-1 2024年新登録患者数－保健所別	104
表4-2 2024年新登録患者数－性、年齢階級別	104
表4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移－保健所別	105
表4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移－年齢階級別	105
表4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移－保健所別	105
表4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移－年齢階級別	105
表4-7 2024年新登録患者数－結核病類、性、年齢階級別	106
表4-8 2024年新登録肺結核患者数－職業、菌情報、保健所別	107
表4-9 2024年新登録患者数－発見方法別	108
表4-10 2024年新登録有症状肺結核患者数－発見の遅れの期間別	108
表4-11 2024年新登録患者数－化療内容、保健所別	109
表4-12 2024年年末現在登録者数－保健所別	110
表4-13 2024年年末現在登録者数－性、年齢階級別	111

V 参考資料

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱	112
愛媛県感染症対策連携協議会設置要綱	127
愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領	129
感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律 第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について(届出基準等通知)	139

愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

I 愛媛県感染症発生動向調査事業の概要

本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)に基づく施策として、「愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱」(平成13年1月施行)の定めにより実施しているもので、指定届出機関(定点)からの感染症の患者発生に関する情報(患者情報)及び疑似症の患者発生に関する情報(疑似症情報)と、感染症の病原体に関する情報(病原体情報)を迅速かつ的確に収集及び分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ確かな感染症対策の確立に資することを目的としている。

対象疾患は一類から五類感染症までの112疾患に、新型インフルエンザ等感染症の4疾患及び疑似症1疾患を加えた117疾患である。このうち全医療機関を対象とする全数把握感染症は、一類から四類感染症までの63疾患と五類感染症のうち24疾患に、新型インフルエンザ等感染症4疾患を加えた91疾患で、定点が報告する定点把握感染症は、五類感染症のうち25疾患(週単位あるいは月単位で報告)に疑似症1疾患(患者発生時に直ちに報告)を加えた26疾患である。

1 全数把握の対象(91疾患)

(1) 一類感染症(7疾患)

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱

(2) 二類感染症(7疾患)

急性灰白髄炎、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)

(3) 三類感染症(5疾患)

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス

(4) 四類感染症(44疾患)

E型肝炎、ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、A型肝炎、エキノコックス症、エムポックス、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ポツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱

(5) 五類感染症(24疾患)

アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)、急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症

(6) 新型インフルエンザ等感染症(4 疾患)

新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、再興型コロナウイルス感染症

2 定点把握の対象(26 疾患)**(1) 五類感染症(25 疾患)****① インフルエンザ/COVID-19 定点の対象(2 疾患)**

インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）

新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であることに限る。）

② 小児科定点の対象(10 疾患)

R S ウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎

③ 眼科定点の対象(2 疾患)

急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎

④ STD 定点の対象(4 疾患)

性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症

⑤ 基幹定点の対象(8 疾患)

感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）、クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

(2) 疑似症(1 疾患)

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

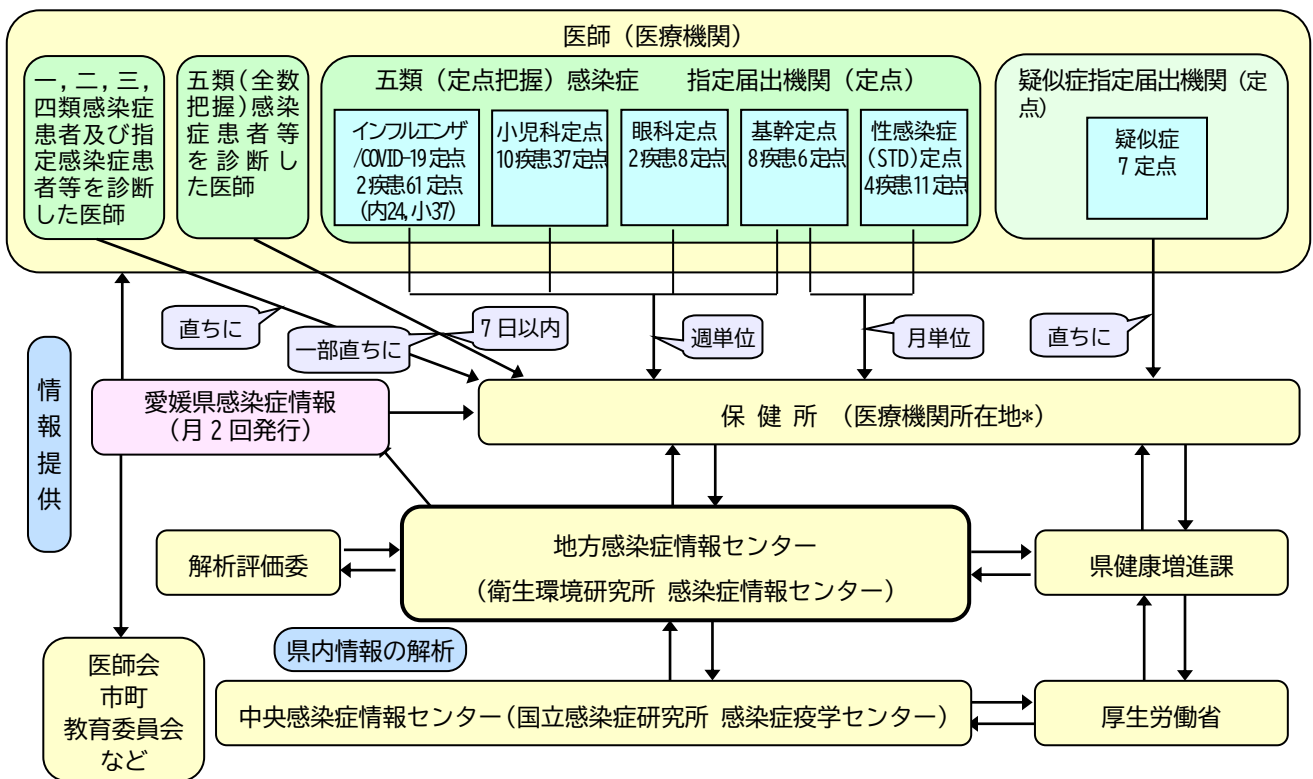
定点には患者定点と疑似症定点、病原体定点がある。患者定点はインフルエンザ/COVID-19 定点（内科と小児科）、小児科定点、眼科定点、性感染症（STD）定点（皮膚科、泌尿器科、婦人科）、基幹定点（内科と小児科を持つ300床以上の病院）の5種類があり、疑似症定点とともに、地域の流行状況について全体の傾向を可能な限り反映できるように、保健所ごとに設定されている。また、患者定点の中から病原体定点を設定し、病原体の分離等の検査情報を収集している。

表 保健所別定点数

保健所	患者定点					疑似症 定 点	病原体 定 点
	インフルエンザ/ COVID-19	小児科	眼科	性感染症 (STD)	基幹		
四国中央	5	3	—	1	1	1	2
西 条	10	6	1	2	1	1	3
今 治	8	5	1	1	1	1	3
松 山 市	17	11	3	4	—	1	4
中 予	7	4	1	1	1	1	3
八 幡 浜	7	4	1	1	1	1	3
宇 和 島	7	4	1	1	1	1	1
合 計	61	37	8	11	6	7	19

※ 小児科定点はインフルエンザ/COVID-19 定点を兼ねる。

医療機関からの患者情報は保健所を通じて地方感染症情報センター（衛生環境研究所 感染症情報センター）へ集約され、中央感染症情報センター（国立感染症研究所 感染症疫学センター）へ報告するとともに関係機関へ週報単位で還元している。疑似症情報については中央感染症情報センターに集約された情報を随時解析し関係機関へ還元している。また月2回、解析評価委員による県内情報の解析・評価が行われ、その結果を「愛媛県感染症情報」として関係機関に提供している。これらの情報はホームページでも公開している。



*但し、結核については患者等住所地

図 令和6（2024年）愛媛県における感染症発生動向調査事業のながれ

Ⅱ 2024年(令和6年)感染症発生動向調査結果

一患者情報一

2024年(令和6年)感染症発生動向調査事業 報告週対応表

1月							
週	月	火	水	木	金	土	日
1	1	2	3	4	5	6	7
2	8	9	10	11	12	13	14
3	15	16	17	18	19	20	21
4	22	23	24	25	26	27	28
5	29	30	31				

7月							
週	月	火	水	木	金	土	日
27	1	2	3	4	5	6	7
28	8	9	10	11	12	13	14
29	15	16	17	18	19	20	21
30	22	23	24	25	26	27	28
31	29	30	31				

2月							
週	月	火	水	木	金	土	日
5				1	2	3	4
6	5	6	7	8	9	10	11
7	12	13	14	15	16	17	18
8	19	20	21	22	23	24	25
9	26	27	28	29			

8月							
週	月	火	水	木	金	土	日
31				1	2	3	4
32	5	6	7	8	9	10	11
33	12	13	14	15	16	17	18
34	19	20	21	22	23	24	25
35	26	27	28	29	30	31	

3月							
週	月	火	水	木	金	土	日
9					1	2	3
10	4	5	6	7	8	9	10
11	11	12	13	14	15	16	17
12	18	19	20	21	22	23	24
13	25	26	27	28	29	30	31

9月							
週	月	火	水	木	金	土	日
35							1
36	2	3	4	5	6	7	8
37	9	10	11	12	13	14	15
38	16	17	18	19	20	21	22
39	23	24	25	26	27	28	29
40	30						

4月							
週	月	火	水	木	金	土	日
14	1	2	3	4	5	6	7
15	8	9	10	11	12	13	14
16	15	16	17	18	19	20	21
17	22	23	24	25	26	27	28
18	29	30					

10月							
週	月	火	水	木	金	土	日
40		1	2	3	4	5	6
41	7	8	9	10	11	12	13
42	14	15	16	17	18	19	20
43	21	22	23	24	25	26	27
44	28	29	30	31			

5月							
週	月	火	水	木	金	土	日
18			1	2	3	4	5
19	6	7	8	9	10	11	12
20	13	14	15	16	17	18	19
21	20	21	22	23	24	25	26
22	27	28	29	30	31		

11月							
週	月	火	水	木	金	土	日
44					1	2	3
45	4	5	6	7	8	9	10
46	11	12	13	14	15	16	17
47	18	19	20	21	22	23	24
48	25	26	27	28	29	30	

6月							
週	月	火	水	木	金	土	日
22						1	2
23	3	4	5	6	7	8	9
24	10	11	12	13	14	15	16
25	17	18	19	20	21	22	23
26	24	25	26	27	28	29	30

12月							
週	月	火	水	木	金	土	日
48							1
49	2	3	4	5	6	7	8
50	9	10	11	12	13	14	15
51	16	17	18	19	20	21	22
52	23	24	25	26	27	28	29
1	30	31					

愛媛県感染症情報発行日

Ⅱ 2024年(令和6年)感染症発生動向調査結果 一患者情報一

1 全数把握対象 一～五類感染症、新型インフルエンザ等感染症

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として届出票に記載されていたものを示す。

(1) 一類感染症

一類感染症 7 疾患（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）の届出はなかった。

(2) 二類感染症

結核

結核は 138 人の届出があり、前年（112 人）から 26 人増加した。病型は、患者 94 人、無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）44 人であった。性別は男性 64 人、女性 74 人で、年齢は 10 歳未満 8 人、10 歳代 2 人、20 歳代 18 人、30 歳代 9 人、40 歳代 8 人、50 歳代 7 人、60 歳代 10 人、70 歳代 28 人、80 歳代 28 人、90 歳以上 20 人であった。感染経路は飛沫・飛沫核感染が 66 人、その他（不明を含む）が 72 人であった。感染地域（重複あり）は国内 99 人（うち県内 91 人、県外 4 人、都道府県不明 4 人）、国外 18 人（うちミャンマー 6 人、インドネシア 5 人、フィリピン 4 人、ベトナム 3 人）、不明 23 人であった。

なお、結核の動向の詳細は、結核登録者情報システムでの集計に基づき、別章（Ⅳ 2024 年（令和 6 年）結核登録者情報）に掲載した。

その他 6 疾患（急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9））の届出はなかった。

(3) 三類感染症

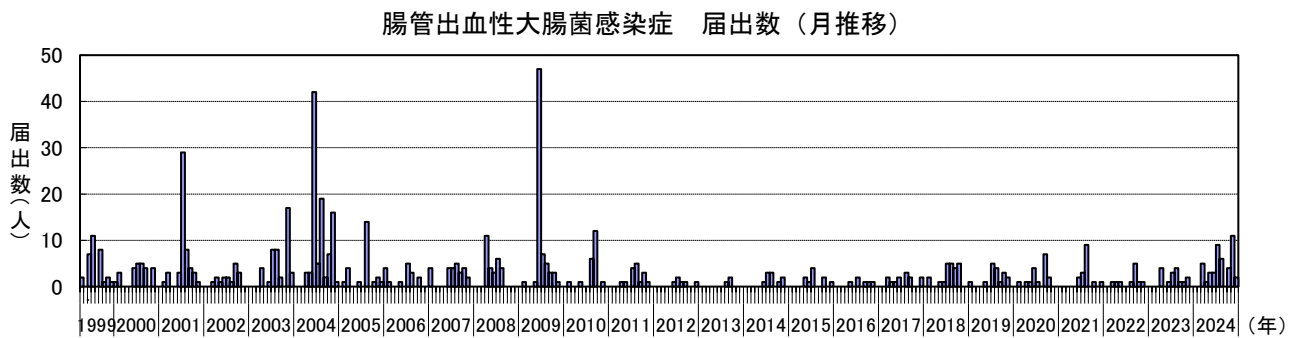
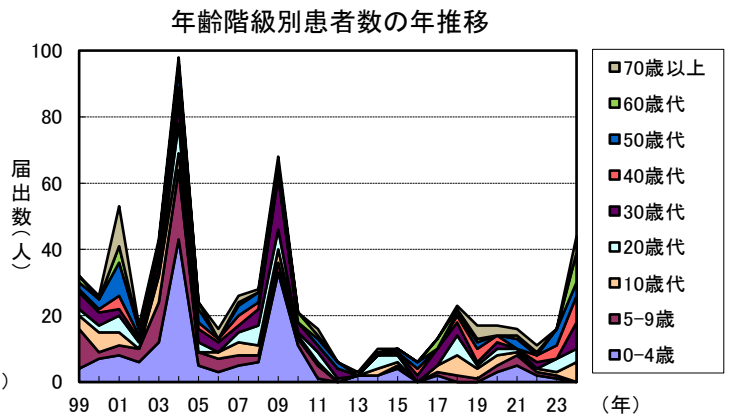
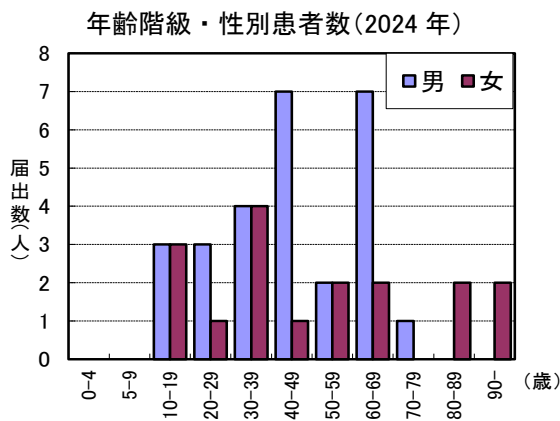
腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は 21 事例 44 人（患者 14 人、無症状病原体保有者 30 人）の届出があった。性別は男性 27 人、女性 17 人で、年齢は 10 歳代 6 人、20 歳代 4 人、30 歳代 8 人、40 歳代 8 人、50 歳代 4 人、60 歳代 9 人、70 歳代 1 人、80 歳代 2 人、90 歳以上 2 人であった。血清型及び Vero 毒素は、O157 VT1・VT2 が 16 人、O21 VT1 が 12 人、O165 VT1・VT2 が 3 人、O103 VT1、O157 VT2、O181 VT2 が各 2 人、O22 VT2、O26 VT1、O105 VT2、O123 VT1・VT2、O124 VT2、OUT VT1・VT2、OUT VT1 が各 1 人であった（重複あり）。感染地域は県内 36 人、県外 1 人、国外 4 人、不明 3 人で、感染経路は経口感染が 15 人、接触感染が 4 人、その他が 2 人、不明が 23 人であった。溶血性尿毒症症候群（HUS）発症等、重症例の報告はなかった。

事例番号	診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	血清型	ペロ毒素
1	3月 8日	10週	今治	男	10歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O165	VT1・VT2
	3月 23日	12週	松山市	男	20歳代	腹痛、水様性下痢、嘔吐	O157	VT1・VT2
2	3月 23日	12週	松山市	女	20歳代	腹痛、水様性下痢	O157	VT1
							O118	VT1
	3月 27日	13週	中予	男	40歳代	なし	O157	VT1・VT2
3	3月 30日	13週	今治	男	10歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O157	VT1・VT2
4	4月 30日	18週	松山市	女	90歳以上	腹痛、水様性下痢、血便	O26	VT1
	5月 14日	20週	松山市	女	40歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O157	VT1・VT2
							O103	VT1
5	5月 17日	20週	中予	男	40歳代	なし	O103	VT1
	5月 17日	20週	中予	女	10歳代	なし	O157	VT1・VT2
6	6月 14日	24週	松山市	男	30歳代	なし	O181	VT2
	6月 14日	24週	松山市	男	60歳代	なし	O181	VT2
7	6月 28日	26週	松山市	女	10歳代	なし	O123	VT1・VT2
8	7月 1日	27週	中予	女	30歳代	なし	O157	VT2
9	7月 8日	28週	西条	女	30歳代	腹痛、血便、嘔吐	O157	VT2
10	7月 8日	28週	宇和島	男	70歳代	腹痛、血便	O157	VT1・VT2
	7月 11日	28週	松山市	女	10歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O157	VT1・VT2
	7月 15日	29週	松山市	女	30歳代	なし	O157	VT1・VT2
11	7月 16日	29週	松山市	男	30歳代	なし	O157	VT1・VT2
	7月 16日	29週	松山市	女	50歳代	なし	O157	VT1・VT2
	7月 17日	29週	松山市	女	30歳代	腹痛、水様性下痢、血便、発熱	O157	VT1・VT2
12	7月 19日	29週	八幡浜	男	60歳代	なし	O105	VT2
	8月 14日	33週	八幡浜	女	80歳代	腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、 発熱	O157	VT1・VT2
13	8月 17日	33週	八幡浜	男	20歳代	なし	O157	VT1・VT2
	8月 17日	33週	八幡浜	男	50歳代	なし	O157	VT1・VT2
14	8月 21日	34週	宇和島	女	80歳代	腹痛、水様性下痢、血便	O165	VT1・VT2
	8月 26日	35週	宇和島	女	90歳以上	なし	O165	VT1・VT2
15	8月 26日	35週	西条	男	20歳代	水様性下痢、血便、発熱	O157	VT1・VT2
16	10月 7日	41週	西条	女	60歳代	なし	O124	VT2
17	10月 23日	43週	松山市	男	10歳代	なし	OUT	VT1

(続き)

事例番号	診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	血清型	ペロ毒素
18	10月 28日	44週	西条	男	50歳代	なし	O21	VT1
	10月 28日	44週	西条	男	60歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	男	30歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	男	40歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	男	40歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	男	40歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	男	40歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	男	60歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	男	60歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	男	60歳代	なし	O21	VT1
	11月 5日	45週	西条	女	50歳代	なし	O21	VT1
19	11月 21日	47週	西条	男	30歳代	水様性下痢	O157	VT1・VT2
20	12月 10日	50週	中予	女	60歳代	なし	OUT	VT1・VT2
21	12月 26日	52週	中予	男	40歳代	なし	O22	VT2



その他 4 疾患 (コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス) の届出はなかった。

(4) 四類感染症

E 型肝炎

E 型肝炎は 30 歳代女性 1 人の届出があった。感染地域は県内で、感染経路は経口感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
10月 24日	43週	松山市	女	30歳代	発熱、全身倦怠感、食欲不振、肝機能異常、肝腫大	県内	経口感染

A 型肝炎

A 型肝炎は 4 人の届出があった。性別はすべて女性で、年齢は 30 歳代 1 人、40 歳代 1 人、50 歳代 1 人、80 歳代が 1 人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路は経口感染 2 人、その他 1 人、不明が 1 人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
4月 22日	17週	松山市	女	30歳代	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常	県内	不明
4月 22日	17週	松山市	女	50歳代	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常	県内	経口感染
4月 24日	17週	松山市	女	40歳代	全身倦怠感、発熱、食欲不振、黄疸、肝機能異常	県内	経口感染
11月 18日	47週	松山市	女	80歳代	肝機能異常、腹痛	県内	その他

Q 熱

Q 熱は 6 人の届出があった。性別は男性 4 人、女性 2 人で、年齢は 40 歳代 1 人、50 歳代 3 人、60 歳代 2 人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路はいずれも不明であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
2月 22日	8週	八幡浜	男	40歳代	なし	県内	不明
2月 22日	8週	八幡浜	男	50歳代	なし	県内	不明
2月 22日	8週	八幡浜	男	50歳代	なし	県内	不明
2月 22日	8週	八幡浜	男	60歳代	なし	県内	不明
2月 22日	8週	八幡浜	女	50歳代	なし	県内	不明
2月 22日	8週	八幡浜	女	60歳代	なし	県内	不明

重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は6人の届出があった。性別は男性4人、女性2人で、年齢は10歳代1人、60歳代2人、70歳代2人、80歳代1人であった。感染地域はすべて県内(八幡浜保健所管内3人、中予保健所管内2人、宇和島保健所管内1人)で、いずれも感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染であり、2人にマダニ類による刺し口が確認された。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域(保健所)	感染経路
4月 25日	17週	中予	女	10歳代	4月 19日	発熱、頭痛、筋肉痛、腹痛、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、刺し口	中予	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月 14日	24週	松山市	男	60歳代	6月 13日	発熱、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月 28日	26週	松山市	男	70歳代	6月 26日	発熱、腹痛、下痢、嘔吐、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
7月 31日	31週	宇和島	男	60歳代	7月 27日	発熱、頭痛、筋肉痛、腹痛、下痢、食欲不振、血小板減少、白血球減少、刺し口	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 27日	39週	松山市	女	80歳代	9月 25日	発熱、腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 19日	47週	松山市	男	70歳代	11月 15日	発熱、下痢、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、紫斑、消化管出血、血尿	中予	動物・蚊・昆虫等からの感染

デング熱

デング熱は2人の届出があった。性別は男性1人、女性1人で、年齢は40歳代2人であった。感染地域はすべて国外(インドネシア、タイ、ベトナム(重複あり))で、感染経路はいずれも動物・蚊・昆虫等からの感染であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
4月 12日	15週	松山市	女	40歳代	発熱、2日以上続く発熱、頭痛、発疹、白血球減少、その他(嘔吐、下痢)	国外(インドネシア)	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 5日	45週	松山市	男	40歳代	発熱、2日以上続く発熱、頭痛、全身の筋肉痛、白血球減少	国外(タイ、ベトナム)	動物・蚊・昆虫等からの感染

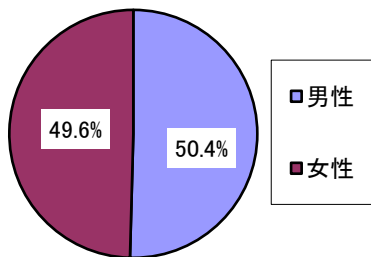
日本紅斑熱

日本紅斑熱は19人の届出があった。性別は男性14人、女性5人で、年齢は20歳代1人、50歳代1人、60歳代3人、70歳代11人、80歳代3人であった。感染地域は県内18人(松山市保健所管内、宇和島保健所管内各5人、今治保健所管内2人、中予保健所管内、八幡浜保健所管内各1人、管内不明4人)、県外1人で、感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染16人、その他2人、不明1人で、16人にマダニ類による刺し口が確認された。感染症法施行(1999年4月)以降に届出された患者232人のうち、性別は男性117人(50.4%)、女性115人(49.6%)であり、年齢は50歳以上が213人(91.8%)を占めている。また、患者の届出は、宇和島保健所が118人(50.9%)と多く、次いで松山市保健所が87人(37.5%)、今治保健所が9人(3.9%)、八幡浜保健所が7人(3.0%)、西条保健所、中予保健所が各5人(2.2%)、四国中央保健所が1人(0.4%)であった。なお、全国では届出開始以降最多となる523人の届出があった。

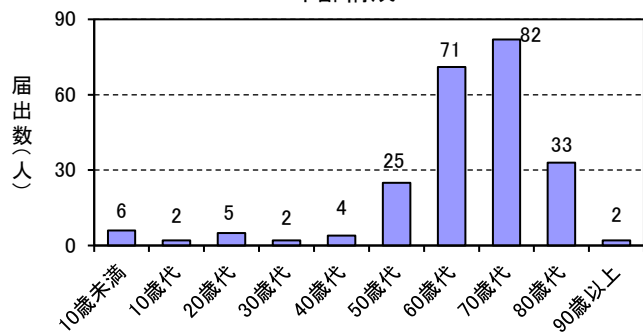
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	初診日	症状	感染地域(保健所)	感染経路
4月 23日	17週	松山市	女	70歳代	4月 18日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常、血小板低下	中予	その他
4月 26日	17週	宇和島	女	80歳代	4月 17日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
5月 16日	20週	宇和島	男	80歳代	5月 2日	発熱、刺し口、発疹	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月 19日	25週	松山市	男	70歳代	5月 30日	発熱、刺し口	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月 21日	25週	宇和島	男	60歳代	6月 13日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
6月 25日	26週	松山市	男	20歳代	6月 7日	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常	県外	動物・蚊・昆虫等からの感染
7月 22日	30週	松山市	女	70歳代	7月 16日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
8月 22日	34週	松山市	男	50歳代	7月 29日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	県内	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 17日	38週	松山市	女	70歳代	9月 9日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	八幡浜	動物・蚊・昆虫等からの感染
9月 26日	39週	松山市	男	70歳代	8月 20日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常	県内	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 17日	42週	松山市	女	60歳代	10月 8日	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	県内	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 31日	44週	松山市	男	70歳代	10月 22日	発熱、刺し口、発疹、血小板低下、関節痛	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
10月 31日	44週	宇和島	男	70歳代	10月 20日	発熱、頭痛、刺し口、肝機能異常	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 5日	45週	松山市	男	70歳代	10月 5日	発熱、発疹、DIC、肝機能異常	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 6日	45週	今治	男	70歳代	10月 29日	発熱、発疹、DIC、肝機能異常	今治	その他
11月 6日	45週	宇和島	男	60歳代	10月 28日	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、食欲不振、全身倦怠感	宇和島	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 13日	46週	松山市	男	80歳代	11月 6日	発熱、刺し口、発疹	松山市	動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 25日	48週	今治	男	70歳代	10月 24日	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常	今治	動物・蚊・昆虫等からの感染
12月 20日	51週	松山市	男	70歳代	11月 12日	発熱、発疹、肝機能異常	県内	不明

感染症法施行(1999年4月)以降に届出された日本紅斑熱患者(232人)の内訳

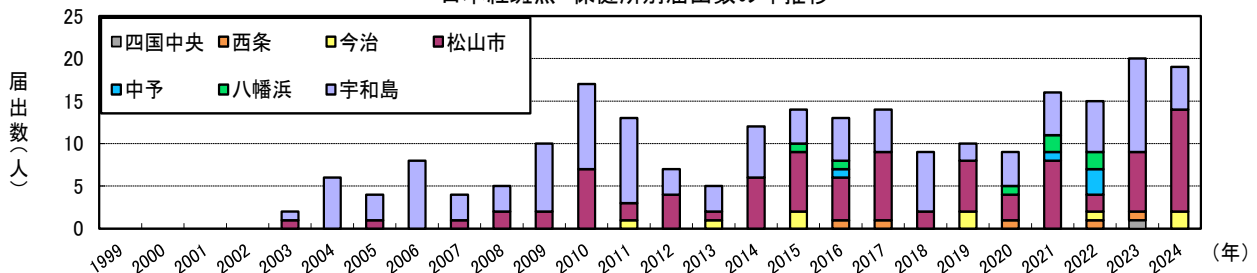
性別



年齢構成



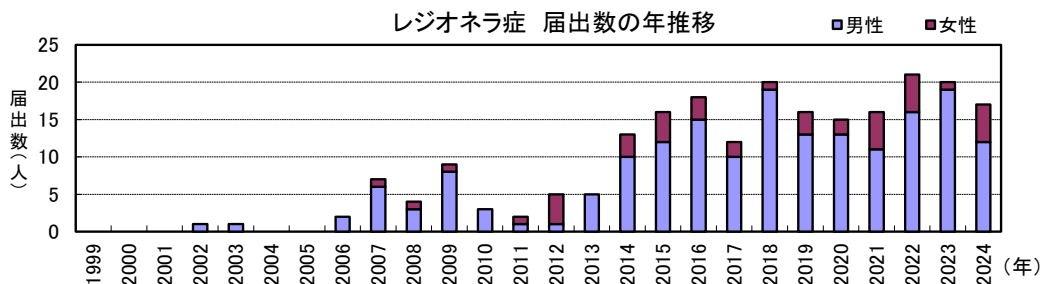
日本紅斑熱 保健所別届出数の年推移



レジオネラ症

レジオネラ症は 17 人の届出があり、病型はすべて肺炎型であった。性別は男性 12 人、女性 5 人で、年齢は 10 歳代 1 人、30 歳代 1 人、50 歳代 2 人、60 歳代 6 人、70 歳代 1 人、80 歳代 4 人、90 歳以上 2 人であった。感染地域は県内 16 人（松山市保健所管内 4 人、西条保健所管内、八幡浜保健所管内各 3 人、今治保健所管内、宇和島保健所管内各 1 人、管内不明 4 人）、県外 1 人で、感染経路は水系感染 5 人、その他 3 人、不明 9 人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域(保健所)	感染経路
3月 1日	9週	中予	男	60歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	松山市	水系感染
3月 2日	9週	松山市	女	60歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、下痢	県内	不明
6月 25日	26週	西条	男	60歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎	西条	水系感染
7月 7日	27週	松山市	男	60歳代	肺炎型	発熱、肺炎	県内	不明
7月 8日	28週	西条	男	90歳以上	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、肺炎	西条	不明
7月 12日	28週	松山市	女	30歳代	肺炎型	発熱、下痢、肺炎	松山市	不明
7月 25日	30週	西条	男	80歳代	肺炎型	発熱、肺炎	西条	その他
8月 15日	33週	宇和島	男	60歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎	宇和島	不明
8月 17日	33週	松山市	女	90歳以上	肺炎型	発熱、肺炎	県内	不明
10月 3日	40週	松山市	男	50歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎、頭痛、筋肉痛、関節痛、倦怠感	松山市	水系感染
10月 10日	41週	八幡浜	男	70歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、下痢、肺炎	八幡浜	不明
10月 16日	42週	松山市	女	50歳代	肺炎型	発熱、下痢、肺炎	今治	水系感染
10月 30日	44週	松山市	男	80歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、意識障害、肺炎、多臓器不全	県内	不明
11月 18日	47週	今治	男	60歳代	肺炎型	発熱、下痢、肺炎	県外	水系感染
11月 28日	48週	松山市	女	10歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、呼吸困難、腹痛、下痢、肺炎	松山市	その他
12月 11日	50週	八幡浜	男	80歳代	肺炎型	発熱、咳嗽、肺炎	八幡浜	その他
12月 19日	51週	八幡浜	男	80歳代	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	八幡浜	不明



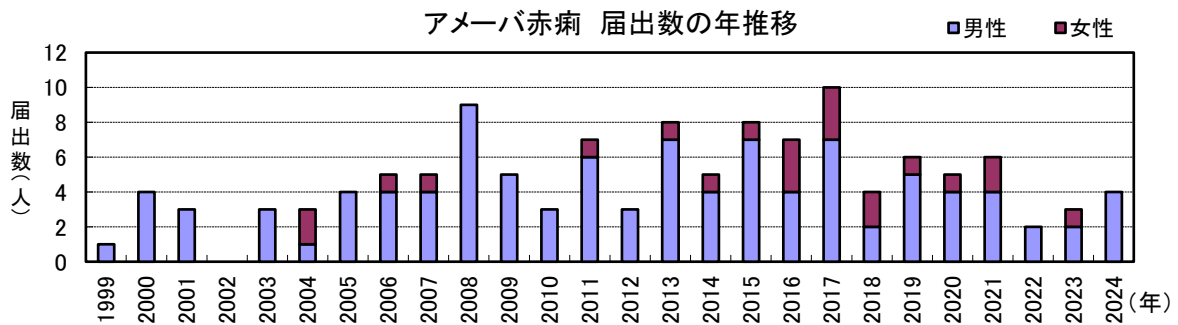
その他 37 疾患（ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)、エキノコックス症、エムポックス、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、狂犬病、コクシジオイデス症、ジカウイルス感染症、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(H5N1 及び H7N9 を除く。)、ニパウイルス感染症、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱) の届出はなかった。

(5) 五類感染症

アメーバ赤痢

アメーバ赤痢は 4 人の届出があり、病型は腸管アメーバ症 3 人、腸管外アメーバ症 1 人であった。性別はすべて男性で、年齢は 50 歳代 3 人、60 歳代 1 人であった。感染地域は県内 3 人、不明 1 人で、感染経路はすべて不明であった。

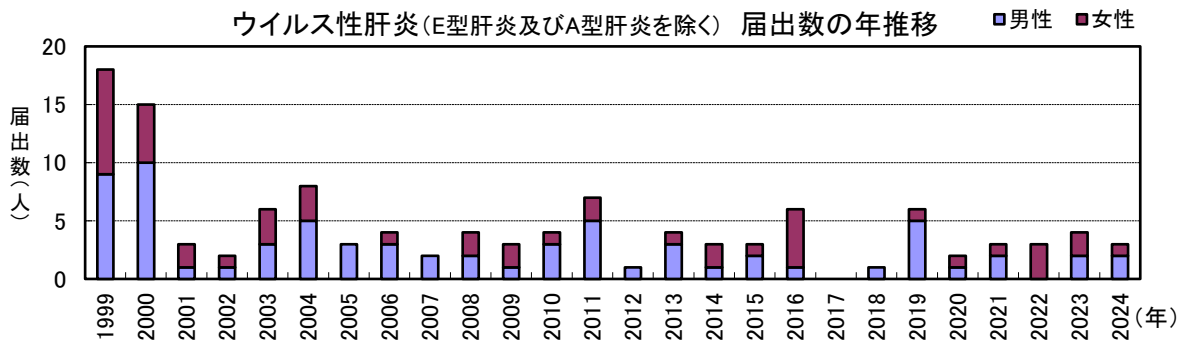
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
1月 23日	4週	松山市	男	50歳代	腸管外アメーバ症	肝膿瘍	不明	不明
5月 14日	20週	松山市	男	50歳代	腸管アメーバ症	便潜血陽性	県内	不明
5月 20日	21週	西条	男	60歳代	腸管アメーバ症	軟便	県内	不明
9月 6日	36週	西条	男	50歳代	腸管アメーバ症	下痢、粘血便、大腸粘膜異常所見	県内	不明



ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)

ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)は3人の届出があり、病型はすべてB型であった。性別は男性2人、女性1人で、年齢は30歳代2人、50歳代1人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路は性的接触が2人、不明が1人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
5月 27日	22週	松山市	男	30歳代	B型	全身倦怠感、褐色尿、肝機能異常、黄疸	県内	性的接触
7月 23日	30週	中予	女	50歳代	B型	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、黄疸、劇症肝炎	県内	不明
12月 4日	49週	松山市	男	30歳代	B型	全身倦怠感	県内	性的接触



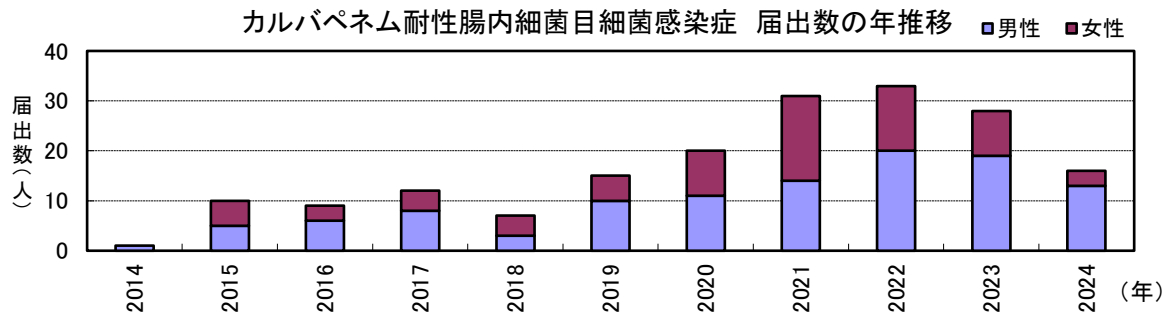
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症は16人の届出があった。性別は男性13人、女性3人で、年齢は20歳代1人、50歳代1人、60歳代2人、70歳代6人、80歳代6人であった。感染地域は県内14人、不明2人で、感染経路は以前からの保菌8人、医療器具関連感染1人、不明7人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 12日	2週	宇和島	男	70歳代	尿路感染症	県内	不明
1月 20日	3週	松山市	男	80歳代	尿路感染症、発熱	県内	不明
1月 20日	3週	松山市	女	80歳代	胆管炎	県内	以前からの保菌
2月 7日	6週	松山市	男	50歳代	菌血症、発熱	県内	不明
3月 18日	12週	松山市	女	80歳代	尿路感染症	県内	以前からの保菌
4月 6日	14週	松山市	男	70歳代	肺炎	県内	不明
4月 18日	16週	宇和島	女	80歳代	腹膜炎	県内	以前からの保菌
5月 17日	20週	松山市	男	70歳代	肺炎	県内	以前からの保菌
5月 23日	21週	松山市	男	70歳代	左鼠径部膨隆	不明	不明
7月 2日	27週	今治	男	80歳代	肺炎、菌血症	県内	以前からの保菌
7月 19日	29週	松山市	男	60歳代	敗血症、腹腔内膿瘍、発熱	県内	以前からの保菌
8月 21日	34週	宇和島	男	70歳代	肺炎	不明	以前からの保菌

(続き)

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
8月 27日	35週	宇和島	男	70歳代	肺炎	県内	医療器具関連感染
8月 29日	35週	松山市	男	80歳代	肺炎、発熱	県内	以前からの保菌
11月 7日	45週	宇和島	男	60歳代	菌血症	県内	不明
11月 19日	47週	松山市	男	20歳代	創部感染症	県内	不明



急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)

急性脳炎は8人の届出があった。性別は男性4人、女性4人で、年齢は10歳未満6人、10歳代2人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染2人、経口感染1人、動物・蚊・昆虫等からの感染1人、不明5人であった(重複あり)。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
7月 29日	31週	松山市	男	10歳未満	発熱、痙攣、意識障害	県内	不明
9月 2日	36週	松山市	男	10歳未満	発熱、頭痛、嘔吐、痙攣、意識障害	県内	不明
10月 12日	41週	西条	女	10歳未満	発熱、痙攣、髄液細胞数の増加	県内	経口感染、動物・蚊・昆虫等からの感染
11月 11日	46週	松山市	女	10歳未満	発熱、痙攣、意識障害	県内	不明
11月 25日	48週	松山市	男	10歳代	発熱、頭痛、嘔吐、項部硬直、意識障害	県内	不明
12月 6日	49週	松山市	男	10歳代	発熱、頭痛、意識障害	県内	不明
12月 17日	51週	松山市	女	10歳未満	発熱、痙攣、意識障害、髄液細胞数の増加	県内	飛沫・飛沫核感染
12月 25日	52週	松山市	女	10歳未満	発熱、嘔吐、意識障害	県内	飛沫・飛沫核感染

クリプトスポリジウム症

クリプトスポリジウム症は30歳代男性1人の届出があった。感染地域、感染経路は不明であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
11月 25日	48週	四国中央	男	30歳代	下痢、血便、体重減少	不明	不明

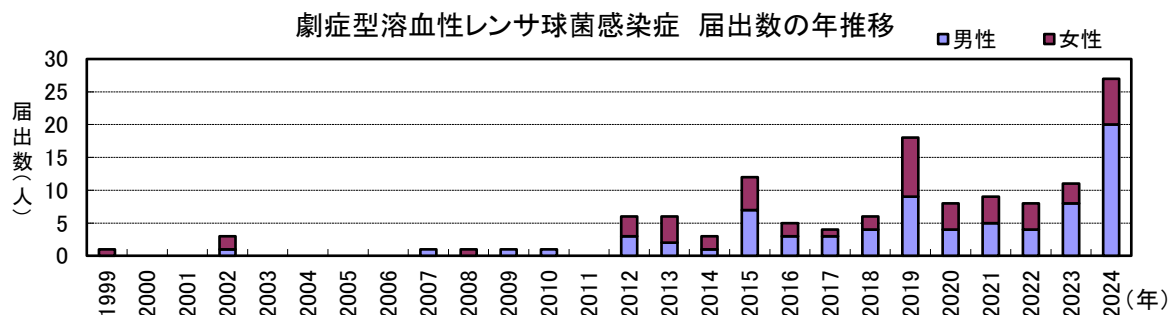
劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は27人の届出があった。性別は男性20人、女性7人で、年齢は30歳代2人、50歳代5人、60歳代6人、70歳代6人、80歳代3人、90歳以上5人であった。感染地域は県内25人、不明2人で、感染経路は創傷感染11人、その他3人、不明13人であった。検出された病原体の血清群はA群13人、G群が11人、B群が3人であった。

診断日	診断週	届出 保健所	性別	年齢	病原体	症状	感染地域	感染経路
1月 16日	3週	宇和島	男	60歳代	G群	ショック、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、中枢神経症状	県内	創傷感染
1月 23日	4週	松山市	男	80歳代	B群	ショック、肝不全、腎不全、DIC	県内	不明
1月 25日	4週	西条	男	70歳代	A群	ショック、急性呼吸窮迫症候群、軟部組織炎、全身チアノーゼ、発熱	県内	創傷感染
2月 19日	8週	松山市	男	80歳代	G群	ショック、腎不全、軟部組織炎、化膿性脊髄炎	県内	不明
2月 28日	9週	松山市	男	70歳代	G群	ショック、DIC、中枢神経症状	県内	不明
2月 28日	9週	宇和島	男	90歳以上	G群	ショック、DIC、中枢神経症状	県内	その他
3月 10日	10週	宇和島	男	90歳以上	B群	ショック、DIC、中枢神経症状	県内	その他
3月 11日	11週	松山市	女	70歳代	A群	ショック、腎不全、軟部組織炎、中枢神経症状	県内	不明
3月 13日	11週	松山市	女	60歳代	G群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染
3月 26日	13週	松山市	男	50歳代	G群	ショック、腎不全、DIC、感染性心内膜炎	県内	不明
4月 25日	17週	松山市	男	50歳代	A群	ショック、肝不全、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染
5月 21日	21週	松山市	女	80歳代	A群	ショック、腎不全、軟部組織炎、壊死性腹膜炎	県内	創傷感染
6月 12日	24週	中予	女	30歳代	A群	軟部組織炎	県内	不明
6月 18日	25週	西条	男	60歳代	G群	ショック、腎不全、中枢神経症状	県内	創傷感染
7月 8日	28週	中予	男	70歳代	B群	ショック、急性呼吸窮迫症候群、中枢神経症状	県内	不明
8月 26日	35週	松山市	男	70歳代	G群	ショック、腎不全、DIC、腹膜炎	県内	不明
8月 26日	35週	松山市	女	50歳代	A群	ショック、腎不全、DIC、軟部組織炎	県内	不明

(続き)

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病原体	症状	感染地域	感染経路
9月 13日	37週	中予	女	30歳代	A群	発熱、嘔気、めまい、しびれ、脱水等	県内	不明
9月 15日	37週	八幡浜	男	70歳代	A群	ショック、肝不全、腎不全、DIC	県内	不明
9月 30日	40週	松山市	男	60歳代	A群	ショック、腎不全、DIC、軟部組織炎、中枢神経症状	不明	不明
10月 22日	43週	松山市	男	50歳代	A群	ショック、肝不全、腎不全、DIC	県内	その他
10月 24日	43週	松山市	女	90歳以上	G群	ショック、腎不全、急性呼吸窮迫症候群、軟部組織炎	不明	不明
11月 11日	46週	松山市	男	60歳代	A群	ショック、肝不全、腎不全	県内	創傷感染
11月 15日	46週	西条	男	90歳以上	G群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染
11月 18日	47週	松山市	男	50歳代	A群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染
12月 8日	49週	松山市	男	60歳代	A群	ショック、DIC、軟部組織炎	県内	創傷感染
12月 18日	51週	宇和島	男	90歳以上	G群	ショック、腎不全、軟部組織炎	県内	創傷感染



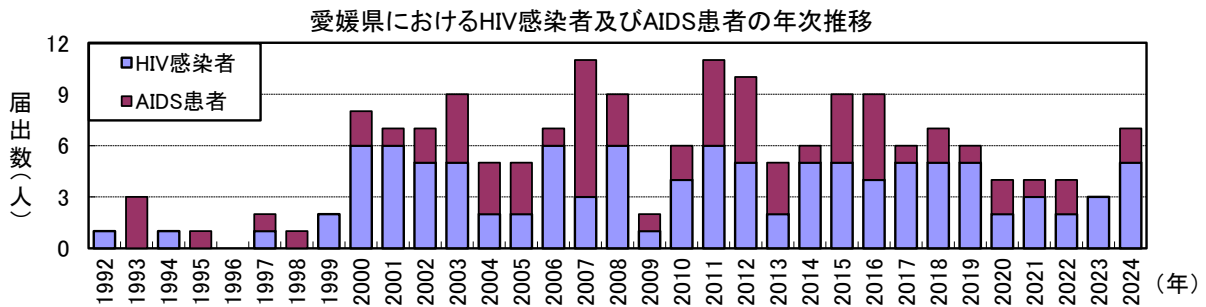
後天性免疫不全症候群

後天性免疫不全症候群は7人の届出があり、病型は無症候性キャリア4人、AIDS 2人、その他1人であった。性別は男性6人、女性1人で、年齢は30歳代3人(無症候性キャリア2人、その他1人)、40歳代2人(AIDS、無症候性キャリア各1人)、50歳代1人(無症候性キャリア)、60歳代1人(AIDS)であった。感染地域は県内4人、国外2人、県外1人で、感染経路は同性間性的接触4人、異性間性的接触2人、性的接触(不明)1人であった。

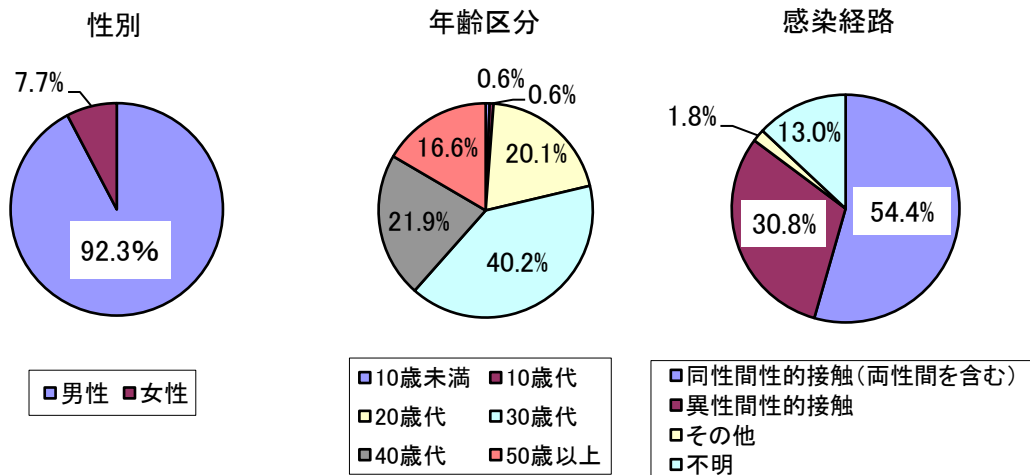
県内のHIV感染者(無症候性キャリア、その他)及びAIDS患者数は、1999年4月以降、感染症法に基づいて届出された169人のうち、性別は男性が156人と全体の92.3%を占めている。男性の年齢は、10歳代が1人(0.6%)、20歳代が33人(21.2%)、30歳代が64人(41.0%)、40歳代が32人(20.5%)、50歳代が16人(10.3%)、60歳以上が10人(6.4%)であり、20~40歳代が129人(82.7%)と多い。感染経路は性的接触が144人(同性間(両性間を含む)92人、異性間52人)と85.2%を占め、感染地域は国内感染例が134人(79.3%)を占める。これらことから、県内におけるHIV感染者及びAIDS患者は、20歳代から40歳代の男性を中心に、国内での性的接触によるものが多いと言える。また、AIDSを発症してはじめて感染が確認される

割合は年齢が上がるにつれ多くなり、50歳以上では7割以上を占めることから、発症前の検査で早期に発見することが重要である。

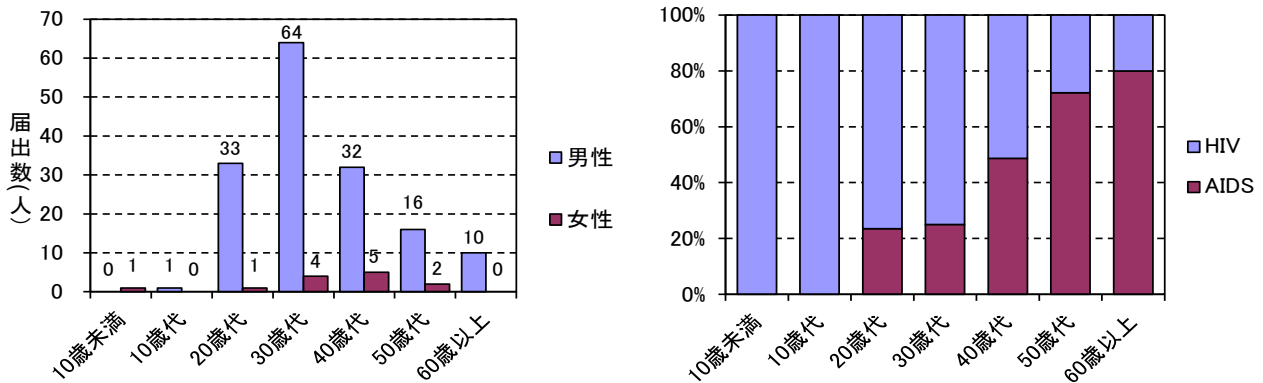
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	感染地域	感染経路
1月 18日	3週	今治	男	60歳代	AIDS	県内	同性間性的接触
1月 25日	4週	西条	男	30歳代	無症候性キャリア	国外 (ペルー)	異性間性的接触
4月 15日	16週	中予	男	40歳代	無症候性キャリア	県内	同性間性的接触
4月 17日	16週	中予	男	40歳代	AIDS	県内	性的接触
6月 1日	22週	松山市	男	30歳代	その他	県内	同性間性的接触
6月 11日	24週	中予	男	30歳代	無症候性キャリア	県外	同性間性的接触
10月 25日	43週	松山市	女	50歳代	無症候性キャリア	国外 (キューバ)	異性間性的接触



1999年4月以降 感染症法に基づいて届出されたHIV感染者及びAIDS患者(169人)の内訳



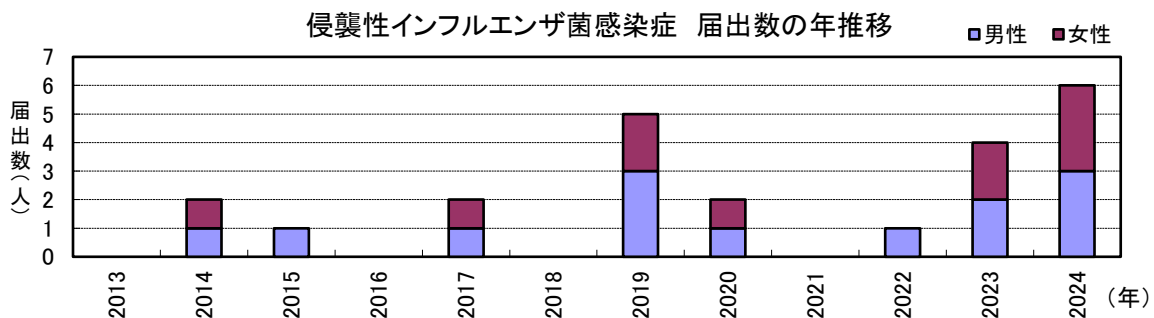
1999年4月以降 感染症法に基づいて届出された HIV 感染者及び AIDS 患者の年齢分布 (n=169)



侵襲性インフルエンザ菌感染症

侵襲性インフルエンザ菌感染症は 6 人の届出があった。性別は男性 3 人、女性 3 人で、年齢は 70 代 3 人、80 歳代 2 人、90 歳以上 1 人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染 3 人、不明 3 人であった。

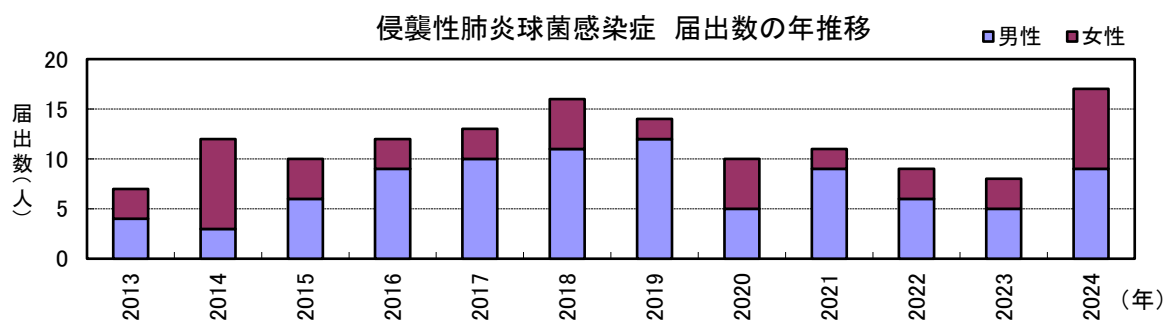
診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 4日	1週	宇和島	男	70歳代	発熱、意識障害、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
4月 10日	15週	宇和島	男	80歳代	発熱、肺炎、菌血症	県内	不明
4月 25日	17週	松山市	男	70歳代	発熱、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
5月 10日	19週	八幡浜	女	90歳以上	発熱、肺炎、菌血症、咳	県内	不明
9月 12日	37週	松山市	女	70歳代	ショック、肺炎、菌血症	県内	不明
10月 1日	40週	宇和島	女	80歳代	発熱、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染



侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は17人の届出があった。性別は男性9人、女性8人で、年齢は10歳未満3人、50歳代2人、60歳代1人、70歳代2人、80歳代3人、90歳以上6人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染が10人、接触感染1人、その他1人、不明5人であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
1月 4日	1週	松山市	女	90歳以上	発熱、意識障害、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
3月 23日	12週	松山市	男	10歳未満	発熱、咳、肺炎、菌血症	県内	不明
5月 3日	18週	今治	女	50歳代	発熱、肺炎、菌血症	県内	不明
5月 14日	20週	宇和島	男	10歳未満	発熱、咳、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
6月 3日	23週	松山市	女	10歳未満	発熱、菌血症	県内	不明
6月 11日	24週	四国中央	男	80歳代	発熱、菌血症	県内	その他
6月 11日	24週	中予	女	70歳代	発熱、全身倦怠感、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
7月 4日	27週	宇和島	男	90歳以上	発熱	県内	不明
7月 5日	27週	松山市	女	60歳代	発熱、肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
7月 15日	29週	松山市	女	90歳以上	肺炎、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
7月 23日	30週	八幡浜	女	90歳以上	発熱、菌血症	県内	飛沫・飛沫核感染
7月 23日	30週	宇和島	男	80歳代	発熱、全身倦怠感、意識障害、肺炎	県内	飛沫・飛沫核感染
8月 5日	32週	松山市	男	90歳以上	発熱、肺炎、膿胸	県内	飛沫・飛沫核感染
8月 21日	34週	松山市	女	70歳代	発熱、菌血症	県内	不明
9月 30日	40週	松山市	男	50歳代	発熱、全身倦怠感、下痢、網状皮斑、四肢抹消蒼白	県内	接触感染
11月 21日	47週	宇和島	男	90歳以上	全身倦怠感、肺炎、菌血症、食欲低下	県内	飛沫・飛沫核感染
12月 16日	51週	西条	男	80歳代	発熱、肺炎、菌血症、軟便	県内	飛沫・飛沫核感染



水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）（入院例）

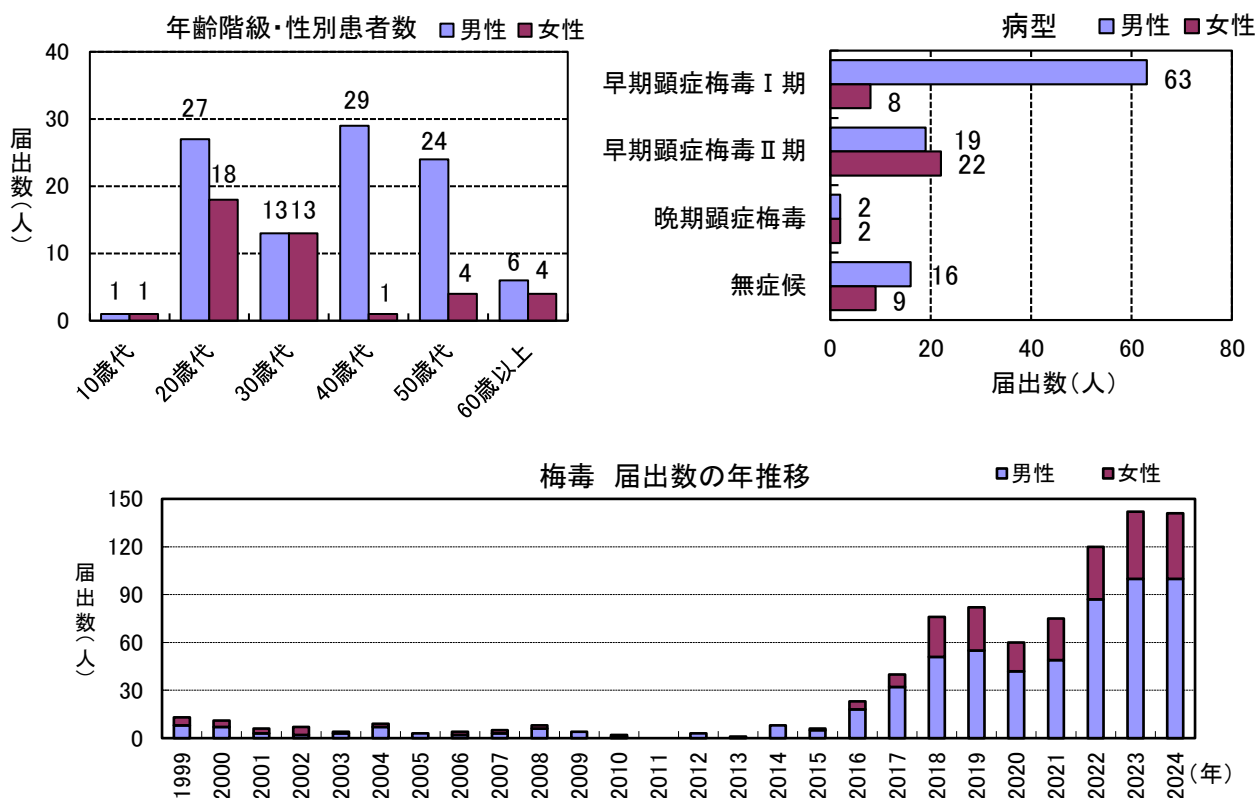
水痘（入院例）は60歳代男性1人の届出があり、病型は臨床診断例であった。感染地域は県内で、感染経路は不明であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	病型	症状	感染地域	感染経路
7月 21日	29週	宇和島	男	60歳代	臨床診断例	発熱、発疹、水疱、痂皮	県内	不明

梅毒

梅毒は141人の届出があった。性別は男性100人、女性41人で、男性の年齢は10歳代1人、20歳代27人、30歳代13人、40歳代29人、50歳代24人、60歳代6人で、20～40歳代が69.0%を占めた。女性の年齢は10歳代1人、20歳代18人、30歳代13人、40歳代1人、50歳代4人、60歳代2人、80歳代1人、90歳以上1人で、20～40歳代が78.0%を占めた。病型は早期顕症梅毒112人（Ⅰ期71人、Ⅱ期41人）、晚期顕症梅毒4人、無症候25人であった。感染地域は国内133人（うち県内102人、県外23人、都道府県不明8人）、国外（インドネシア）1人、不明7人で、感染経路は性的接触が132人、不明が9人であった。

県内の梅毒届出数は1999年から2015年までは年間1～13人であったが、2016年以降届出数が増加している。2020年に一旦減少したものの2021年からは再び増加し、2024年は141人と届出開始以降最多となった2023年から横ばいとなった。なお、全国も同様に横ばいで14,829人の届出があった。



播種性クリプトコックス症

播種性クリプトコックス症は4人の届出があった。性別は男性3人、女性1人で、年齢は50歳代1人、60歳代1人、70歳代1人、80歳代1人であった。感染地域はすべて県内で、感染経路・感染原因は鳥類の糞などとの接触3人、免疫不全2人であった（重複あり）。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	感染地域	感染経路
2月 21日	8週	中予	男	50歳代	頭痛、発熱、真菌血症、聴力低下、右臀部感覚低下	県内	鳥類の糞などとの接触
3月 4日	10週	松山市	男	70歳代	発熱、意識障害、項部硬直、呼吸器症状、胸部異常陰影、皮疹、中枢神経系病変、真菌血症	県内	鳥類の糞などとの接触、免疫不全
10月 15日	42週	松山市	男	60歳代	頭痛、発熱	県内	鳥類の糞などとの接触
12月 23日	52週	松山市	女	80歳代	真菌血症	県内	免疫不全

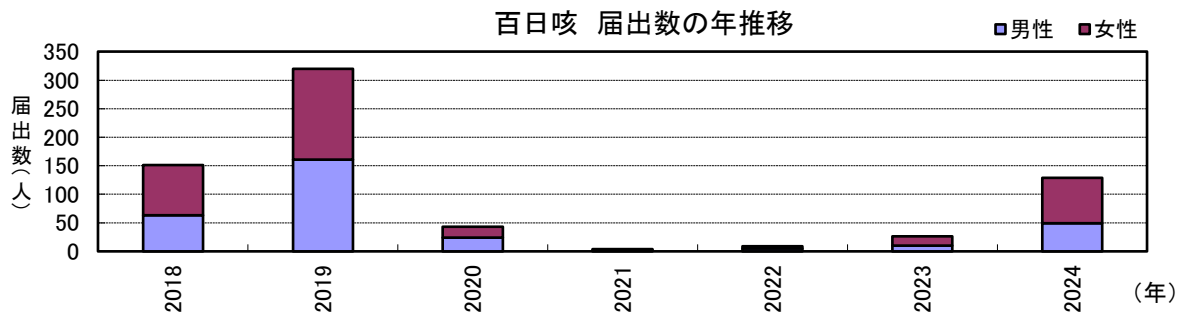
バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌感染症は2人の届出があった。性別は男性1人、女性1人で、年齢は70歳代1人、80歳代1人であった。遺伝子型はすべてVanAで、検体は喀痰、下肢浸出液であった。感染地域はすべて県内で、感染経路はいずれも不明であった。

診断日	診断週	届出保健所	性別	年齢	症状	遺伝子型	菌検出検体	感染地域	感染経路
9月 30日	40週	松山市	男	80歳代	肺炎	VanA	喀痰	県内	不明
10月 22日	43週	松山市	女	70歳代	発熱、下肢蜂巣炎疑い	VanA	下肢浸出液	県内	不明

百日咳

百日咳は129人の届出があった。性別は男性49人、女性80人で、年齢は10歳未満66人、10歳代27人、20歳代5人、30歳代11人、40歳代15人、50歳代3人、70歳代2人であった。感染地域は県内123人、県外1人、国内（都道府県不明）1人、不明4人で、感染経路は家庭内感染が120人、不明が9人であった。



その他 10 疾患(急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)、クロイツフェルト・ヤコブ病、ジアルジア症、侵襲性髄膜炎菌感染症、先天性風しん症候群、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症)の届出はなかった。

(6) 新型インフルエンザ等感染症

新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、再興型新型コロナウイルス感染症の届出はなかった。

表 2-1-1 全数把握対象疾患発生状況(年推移)

感染症 種類	疾病名	年	愛媛県					全国							
			2024	2023	2022	2021	2020	2019	2024	2023	2022	2021	2020	2019	
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	痘そう														
	南米出血熱														
	ペスト														
	マールブルグ病														
二類	ラッサ熱														
	急性灰白髄炎														
	結核		138	112	125	138	158	147	16,240	15,377	14,798	16,299	17,745	21,672	
	ジフテリア														
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)														
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る)														
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)														
	鳥インフルエンザ(H7N9)														
	コレラ								2	2	1		1	5	
	細菌性赤痢			1					74	47	16	7	87	140	
	腸管出血性大腸菌感染症		44	16	11	16	17	17	3,748	3,826	3,370	3,243	3,092	3,744	
	腸チフス						1		42	39	16	4	21	37	
四類	バラチフス								7	9	10		7	21	
	E型肝炎		1	1	2		1	3	527	552	435	460	454	493	
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
	A型肝炎		4	1		1	1	2	137	56	69	71	120	425	
	エキノкокクス症								20	14	28	35	22	28	
	エムボックス ^{*1}								19	225	7				
	黄熱														
	オウム病								4	8	12	9	7	13	
	オムスク出血熱														
	回帰熱								11	23	25	10	15	7	
	キャサヌル森林病														
	Q熱		6	1					6	1		1		2	
	狂犬病													1	
	コクシジオイデス症								4	4	2		6	2	
	ジカウイルス感染症								4	2			1	3	
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限る)		6	3	4	2	2	3	122	134	118	110	78	101	
	腎症候性出血熱														
	西部ウマ脳炎														
	ダニ媒介脳炎								2						
	炭疽														
	チクングニア熱								10	7	5			3	49
	つつが虫病			1					354	445	492	544	536	404	
	デング熱		2					1	230	175	98	8	45	461	
	東部ウマ脳炎														
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)														
	ニパウイルス感染症														
	日本紅斑熱		19	20	15	16	9	10	523	500	457	490	421	318	
	日本脳炎								9	6	5	3	5	9	
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病														2
	鼻疽														
	ブルセラ症								5	2	1	1	2	2	
	ベネズエラウマ脳炎														
	ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス															
ポツナス症								7		1	5	4	3		
マラリア			1	1			1	44	36	31	30	21	57		
野兔病															
ライム病								25	28	14	23	27	17		
リッサウイルス感染症															
リフトバレー熱															
類鼻疽								2		2		1	2		
レジオネラ症		17	20	21	16	15	16	2,428	2,291	2,143	2,133	2,058	2,316		
レプトスピラ症			1	1			1	53	49	38	34	16	32		
ロッキー山紅斑熱															
五類	アメーバ赤痢		4	3	2	6	5	6	523	489	533	537	613	853	
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)		3	4	3	3	2	6	228	244	211	203	246	331	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ^{*2}		16	28	33	31	20	15	2,293	2,113	2,015	2,066	1,952	2,333	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) ^{*3}			1	1		1	1	48	55	41	25	34	78	
	急性脳炎 ^{*4}		8	1	1	2	5	1	633	661	399	338	490	959	
	クリプトスポリジウム症		1						27	16	7	5	6	19	
	クロイツフェルト・ヤコブ病					3	6	3	174	170	172	179	154	193	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		27	11	8	9	8	18	1,893	939	708	622	764	894	
	後天性免疫不全症候群		7	3	4	4	4	6	1,006	948	893	1,053	1,096	1,231	
	ジアルジア症								42	39	32	32	28	53	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		6	4	1		2	5	651	566	211	194	253	543	
	侵襲性髄膜炎菌感染症								66	21	8	1	14	48	
	侵襲性肺炎球菌感染症		17	8	9	11	10	14	2,553	1,987	1,347	1,405	1,655	3,344	
	水痘(入院例)		1	5	4	3	1	3	486	405	327	301	362	492	
	先天性風しん症候群											1	1	4	
	梅毒		141	142	120	75	60	82	14,829	15,055	13,221	7,978	5,871	6,642	
	播種性クリプトコックス症		4	4	7	4	1	1	190	173	159	163	152	156	
	破傷風			2	2	3	1	3	86	109	96	93	105	126	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2	2	1			1	124	115	133	124	136	80	
	百日咳 ^{*5}		129	26	9	4	43	320	4,080	1,000	491	707	2,947	16,845	
	風しん				1		1	6	9	12	15	12	102	2,298	
	麻しん								45	28	6	6	10	744	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症								6	15	13	6	10	24	
新型インフルエンザ等	新型インフルエンザ														
	再興型インフルエンザ														
	新型コロナウイルス感染症		—	14,254	163,285	4,940	471	—	—	—	19,068,920	1,484,328	243,553	—	
	再興型新型コロナウイルス感染症														
計		603	14,676	163,671	5,287	846	692	54,651	49,018	19,112,152	1,523,899	285,350	68,655		

*1:2023年5月26日付けでサル痘から名称変更 *2:2023年5月26日付けでカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から名称変更 *3:2018年5月1日からの集計 *4:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 *5:2018年1月1日からの集計 *6:*7,*8及び*9については 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。 *7:2020年2月3日からの集計 *8:全国の値は2022年9月25日(第38週)まで *9:愛媛県の値は2023年5月7日(第18週)まで

表 2-1-2 2024年全数把握対象疾患発生状況(月別)

2024年1月1日～2024年12月29日

感染症 類 型	疾病名	月													
		計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一類	エボラ出血熱														
	クリミア・コンゴ出血熱														
	痘そう														
	南米出血熱														
	ペスト														
二類	マールブルグ病														
	ラッサ熱														
	急性灰白髄炎														
	結核	138	12	14	10	7	13	21	7	11	12	8	9	14	
	ジフテリア														
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限り)														
三類	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限り)														
	鳥インフルエンザ(H5N1)														
	鳥インフルエンザ(H7N9)														
	コレラ														
四類	細菌性赤痢														
	腸管出血性大腸菌感染症	44			5	1	3	3	9	6		4	11	2	
	腸チフス														
五類	パラチフス														
	E型肝炎	1										1			
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
	A型肝炎	4				3							1		
	エキノコックス症														
	エムボックス														
	黄熱														
	オウム病														
	オムスク出血熱														
	回帰熱														
	キャサスル森林病														
	Q熱	6		6											
	狂犬病														
	コクシジオイデス症														
	ジカウイルス感染症														
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限り)	6				1		2	1		1			1	
	腎症候性出血熱														
	西部ウマ脳炎														
	ダニ媒介脳炎														
	炭疽														
	チクングニア熱														
	つつが虫病														
	デング熱	2				1								1	
	東部ウマ脳炎														
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)														
	ニパウイルス感染症														
	日本紅斑熱	19				2	1	3	1	1	2	3	5	1	
	日本脳炎														
	ハンタウイルス肺症候群														
	Bウイルス病														
	鼻疽														
	ブルセラ症														
	ペネズエラウマ脳炎														
	ヘンドラウイルス感染症														
	発しんチフス														
	ボツリヌス症														
	マラリア														
	野兔病														
	ライム病														
	リッサウイルス感染症														
	リフトバレー熱														
	類鼻疽														
	レジオネラ症	17			2				1	4	2		4	2	2
	レプトスピラ症														
	ロッキー山紅斑熱														
五類	アムーバ赤痢	4	1				2					1			
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)	3					1		1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	16	3	1	1	2	2		2	3			2		
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)														
	急性脳炎*	8							1		1	1	2	3	
	クリプトスポリジウム症	1												1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病														
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	27	3	3	4	1	1	2	1	2	3	2	3	2	
	後天性免疫不全症候群	7	2			2		2				1			
	ジアルジア症														
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6	1			2	1				1	1			
	侵襲性髄膜炎菌感染症														
	侵襲性肺炎球菌感染症	17	1		1		2	3	5	2	1		1	1	
	水痘(入院例)	1								1					
	先天性風しん症候群														
	梅毒	141	8	12	8	15	15	11	10	18	13	15	10	6	
	播種性クリプトコックス症	4		1	1								1	1	
	破傷風														
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2									1	1			
百日咳	129		2		1	3	8	13	35	33	23	6	5		
風しん															
麻しん															
薬剤耐性アシネトバクター感染症															
新型イン フルエンザ等	新型インフルエンザ														
	再興型インフルエンザ														
	新型コロナウイルス感染症														
	再興型新型コロナウイルス感染症														
	計	603	31	39	32	38	44	56	56	80	69	65	55	38	

(診断年月日による集計)

*1:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

表 2-1-3 2024年全数把握対象疾患発生状況(保健所別)

2024年1月1日～2024年12月29日

感染症 類 型	疾病名	保健所	計	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
一類	エボラ出血熱									
	クリミア・コンゴ出血熱									
	痘そう									
	南米出血熱									
	ペスト									
	マールブルグ病									
	ラッサ熱									
二類	急性灰白髄炎									
	結核		138	6	15	22	38	9	18	30
	ジフテリア									
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)									
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る)									
	鳥インフルエンザ(H5N1)									
三類	鳥インフルエンザ(H7N9)									
	コレラ									
	細菌性赤痢									
	腸管出血性大腸菌感染症		44		16	2	13	6	4	3
四類	腸チフス									
	パラチフス									
	E型肝炎		1				1			
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)									
	A型肝炎		4				4			
	エキノコックス症									
	エムボックス									
	黄熱									
	オウム病									
	オムスク出血熱									
	回帰熱									
	キャサスル森林病									
	Q熱		6						6	
	狂犬病									
	コクシオイデス症									
	ジカウイルス感染症									
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限る)		6				4	1		1
	腎症候性出血熱									
	西部ウマ脳炎									
	ダニ媒介脳炎									
	炭疽									
	チクングニア熱									
	つつが虫病									
	デング熱		2				2			
	東部ウマ脳炎									
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)									
	ニパウイルス感染症									
	日本紅斑熱		19			2	12			5
	日本脳炎									
	ハンタウイルス肺症候群									
	Bウイルス病									
	鼻疽									
	ブルセラ症									
	ベネズエラウマ脳炎									
	ヘンドラウイルス感染症									
	発しんチフス									
	ボツリヌス症									
	マラリア									
	野兎病									
	ライム病									
	リッサウイルス感染症									
	リフトバレー熱									
	類鼻疽									
	レジオネラ症		17		3	1	8	1	3	1
レプトスピラ症										
ロッキー山紅斑熱										
五類	ア메ーバ赤痢		4		2		2			
	ウイルス性肝炎(E型肝炎、A型肝炎を除く)		3				2	1		
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		16			1	10			5
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)									
	急性脳炎*		8		1		7			
	クリプトスポリジウム症		1	1						
	クロイツフェルト・ヤコブ病									
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		27		3		16	3	1	4
	後天性免疫不全症候群		7		1	1	2	3		
	ジアルジア症									
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		6				2		1	3
	侵襲性髄膜炎菌感染症									
	侵襲性肺炎球菌感染症		17	1	1	1	8	1	1	4
	水痘(入院例)		1							1
	先天性風しん症候群									
	梅毒		141	8	25	11	77	8	6	6
	播種性クリプトコックス症		4				3	1		
	破傷風									
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症									
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2				2			
百日咳		129	1	111	1	14		1	1	
風しん										
麻疹										
薬剤耐性アシネトバクター感染症										
新型イン フルエンザ等	新型インフルエンザ									
	再興型インフルエンザ									
	新型コロナウイルス感染症									
	再興型新型コロナウイルス感染症									
	計		603	17	178	42	227	34	41	64

(届出受理保健所による集計)

*1:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

表 2-1-4 2024年全数把握対象疾患発生状況(年齢別)

2024年1月1日～2024年12月29日

感染症 類型	疾病名	年齢区分																
		計	0 歳	1 	5 	10 	15 	20 	25 	30 	35 	40 	45 	50 	55 	60 	65 	70 歳 以上
一類	エボラ出血熱																	
	クリミア・コンゴ出血熱																	
	痘そう																	
	南米出血熱																	
	ペスト																	
	マールブルグ病																	
二類	ラッサ熱																	
	急性灰白髄炎																	
	結核	138	8				2	11	7	3	6	5	3	5	2	1	9	76
	ジフテリア																	
	重症急性呼吸器症候群(SARS-CoVに限る)																	
	中東呼吸器症候群(MERS-CoVに限る)																	
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)																	
	鳥インフルエンザ(H7N9)																	
	コレラ																	
	細菌性赤痢																	
	腸管出血性大腸菌感染症	44				1	5	3	1	4	4	4	4	1	3	6	3	5
	腸チフス																	
四類	パラチフス																	
	B型肝炎	1									1							
	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)																	
	A型肝炎	4									1		1	1				1
	エキノコックス症																	
	エムボックス																	
	黄熱																	
	オウム病																	
	オムスク出血熱																	
	回帰熱																	
	キャサヌル森林病																	
	Q熱	6										1		1	2	1	1	
	狂犬病																	
	コクシジオイデス症																	
	ジカウイルス感染症																	
	重症熱性血小板減少症候群(SFTSVに限る)	6				1										1	1	3
	腎症候性出血熱																	
	西部ウマ脳炎																	
	ダニ媒介脳炎																	
	炭疽																	
	チクングニア熱																	
	つつが虫病																	
	デング熱	2											1	1				
	東部ウマ脳炎																	
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)																	
	ニパウイルス感染症																	
	日本紅斑熱	19								1					1	2	1	14
	日本脳炎																	
	ハンタウイルス肺症候群																	
	Bウイルス病																	
	鼻疽																	
	ブルセラ症																	
	ベネズエラウマ脳炎																	
	ヘンドラウイルス感染症																	
発しんチフス																		
ボツリヌス症																		
マラリア																		
野兔病																		
ライム病																		
リッサウイルス感染症																		
リフトバレー熱																		
類鼻疽																		
レジオネラ症	17					1					1			1	1	4	2	7
レプトスピラ症																		
ロッキー山紅斑熱																		
五類	アメーバ赤痢	4																
	ウイルス性肝炎(B型肝炎を除く)	3															3	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	16							1		1	1			1		2	12
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)																	
	急性脳炎 ^{*1}	8	1	1	4	2												
	クリプトスポリジウム症	1									1							
	クロイツフェルト・ヤコブ病																	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	27									1	1		1	4	5	1	14
	後天性免疫不全症候群	7									1	2	1	1	1	1		
	ジアルジア症																	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6																6
	侵襲性髄膜炎菌感染症																	
	侵襲性肺炎球菌感染症	17		3										1	1		1	11
	水痘(入院例)	1															1	
	先天性風しん症候群																	
	梅毒	141					2	17	28	12	14	17	13	17	11	5	3	2
	播種性クリプトコックス症	4														1	1	2
	破傷風																	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症																	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2																2	
百日咳	129	2	15	49	22	5	1	4	7	4	12	3	1	2			2	
風しん																		
麻しん																		
薬剤耐性アシネトバクター感染症																		
新型イン フルエンザ等	新型インフルエンザ																	
	再興型インフルエンザ																	
	新型コロナウイルス感染症																	
	再興型コロナウイルス感染症																	
計	603	11	19	53	26	15	33	41	29	36	41	26	31	32	28	25	157	

(届出時の年齢による集計)

*1:ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

2 定点把握対象五類感染症

(1) 定点把握対象疾患発生動向の概況

2024年(令和6年)における定点把握感染症の流行状況を、愛媛県内の流行規模で分類した。週報対象疾患は以下のとおりであった。なお、(イ)はインフルエンザ/COVID-19 定点、(小)は小児科定点、(眼)は眼科定点、(基)は基幹定点からの報告疾患であることを示す。

① 例年と比較し、大きな流行となった疾患

インフルエンザ(イ):2023/2024シーズンの患者報告数は35,628人(定点当たり584.97人/シーズン)で、前シーズンの3.5倍に増加した。1999年の感染症法施行以降最も早く注意報レベルを超え、例年に比べ流行期間が長く多峰性の発生動向となった。5~9歳が33.9%と最も多く、14歳以下が全体の75.5%を占めた。検出されたウイルス型別は、AH3が65例、AH1pdm09が38例、B型が30例であり、3つのウイルス型が流行したことが特徴であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(小):2024年の患者報告数は8,176人(定点当たり222.29人/年)で、前年の約2.4倍に増加し、1999年の調査開始以降で最も大きな発生規模となった。前年の流行が収束することなく比較的高い水準から始まり、通年で高い水準での発生が継続した。10~14歳が15.6%と最も多く、1~9歳までが全体の80.9%を占めた。

手足口病(小):2024年の患者報告数は12,397人(定点当たり339.92人/年)で、前年の約15.2倍に急増し、1999年の調査開始以降で最も大きな発生規模となった。例年にみられない時期に大規模な流行となり、10月上旬に極めて高いピークに達する二峰性の発生動向を示した。1歳が21.4%と最も多く、1~6歳までが全体の85.0%を占めた。病原体はコクサッキーウイルスA16型が27例、コクサッキーウイルスA6型が20例、ライノウイルスが17例、コクサッキーウイルスA10型が12例、エンテロウイルス71型が2例、エンテロウイルス68型が1例検出された。

② 例年と同程度の流行となった疾患

RSウイルス感染症(小):2024年の患者報告数は2,589人(定点当たり70.28人/年)で、前年と同程度の発生規模であった。例年より早い3月下旬から報告数が増加し始め、7月中旬に最高値となる定点当たり5.41人/週に達し、高止まりとなった後、減少に転じた。

咽頭結膜熱(小):2024年の患者報告数は1,048人(定点当たり28.53人/年)で、過去最大規模となった前年の約0.4倍に減少した。第1週(1月上旬)に最高値となる定点当たり2.00人/週となった後は緩やかに減少し、5月と11月に増加傾向がみられたものの、概ね収束傾向で推移した。

感染性胃腸炎(小):2023/2024シーズンの患者報告数は12,068人(定点当たり326.56人/シーズン)で、前シーズンと同程度の発生規模であった。11月中旬から増加し、1月中旬にピークを迎えたほか、5月下旬にも再度増加がみられた。病原体はサポウイルス、ノロウイルスが検出された

水痘(小):2024年の患者報告数は279人(定点当たり7.62人/年)で、前年の約1.9倍に増加したが、過去10年の推移と比較すると、依然として低い発生水準で推移した。

伝染性紅斑(小):2024年の患者報告数は39人(定点当たり1.08人/年)で、依然として極めて低い発生水準で推移した。年間を通じて報告数は少なく、大きな変動はみられなかった。

ヘルパンギーナ(小):2024年の患者報告数は1,231人(定点当たり33.35人/年)で、過去10年で最大規模となった前年の約0.5倍に減少した。4月上旬から報告数が増加し、7月中旬にピークを迎えた。

流行性耳下腺炎(小):2024年の患者報告数は57人(定点当たり1.55人/年)で、前年の約0.6倍に減少し、1999年の調査開始以降で最も小さな発生規模となった。年間を通じて大きく変動せず推移した。

流行性角結膜炎(眼):2024年の患者報告数は541人(定点当たり67.63人/年)で、前年と同程度の発生規模であった。前年の流行が収束せず比較的高い水準から始まり、増減を繰り返しながら年間を通じて増加傾向を示した。

マイコプラズマ肺炎(基):2024年の患者報告数は126人(定点当たり21.00人/年)で、前年の21倍に増加し、2016年以来の大規模な流行となった。長期間流行がみられていなかったが、8月下旬から報告数が増加し、11月上旬と12月中旬にピークに達した。10~14歳が36.5%と最も多く、2016年と比較すると、1~4歳の割合が大幅に減少しており、5~14歳の患者が多くを占めた。

③ 例年と比較し、小さな流行となった疾患

突発性発しん(小):2024年の患者報告数は713人(定点当たり19.44人/年)で、1999年の調査開始以降で最も小さな発生規模となった前年をさらに下回った。年間を通じて大きく変動せず推移した。

④ 報告が少なかった疾患

急性出血性結膜炎(眼):2024年の患者報告数は2人(定点当たり0.25人/年)で、前年と同様少数の報告であった。本疾患は、2004年9~10月に宇和島地区で地域的な短期流行があって以降、県内各地でごく少数例の報告に留まっている。

感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(基):2024年の患者報告数は5人(定点当たり0.83人/年)で、前年と同様程度の少数の報告であった。

細菌性髄膜炎(基):2024年の患者報告数は5人(定点当たり0.83人/年)で、前年から増加したが少数の報告であった。病原体はその他のレンサ球菌が1例、不明4例であった。

無菌性髄膜炎(基):2024年の患者報告数は2人(定点当たり0.33人/年)で、前年から減少した。病原体はマイコプラズマが1例、不明が1例であった。

クラミジア肺炎(基):2024年の患者報告はなかった。

⑤ その他

新型コロナウイルス感染症(イ):2024年の患者報告数は19,679人(定点当たり323.76人/年)であった。五類感染症移行後、初めて年間を通じて調査が実施され、冬季と夏季で二峰性ピークを形成する発生動向となった。年齢別では乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層で報告があり、0~4歳、10~14歳、5~9歳の順に報告が多かった。

STD 定点対象疾患(月報)では、**性器クラミジア感染症**(301人)は前年と同程度であった。**性器ヘルペスウイルス感染症**(123人)は前年と同程度であったが、男性は減少し、女性は増加した。**尖圭コンジローマ**(79人)は前年に比べて減少したが、女性では増加した。**淋菌感染症**(85人)は男性女性ともに前年に比べ減少した。

基幹定点対象疾患(月報)では、**メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症**(106人)は前年と同程度であった。**ペニシリン耐性肺炎球菌感染症**、**薬剤耐性緑膿菌感染症**の報告はなかった。

表2-2-1 週報対象疾患一週別患者報告数

週	期間	インフルエンザ/ COVID-19定点		小児科定点						
		イン フル エン ザ ^{*1}	感 染 症 ^{*2} 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑
1	1/1 ~ 1/7	588	374		72	79	178	5	14	
2	1/8 ~ 1/14	876	624		50	141	270	2	14	
3	1/15 ~ 1/21	1,228	852	2	56	195	433	8	20	
4	1/22 ~ 1/28	1,106	1,064	2	45	232	409	3	14	
5	1/29 ~ 2/4	1,144	1,301	3	29	222	373	7	10	
6	2/5 ~ 2/11	901	1,106	1	26	230	419	5	11	
7	2/12 ~ 2/18	858	782	3	28	225	357	6	9	1
8	2/19 ~ 2/25	750	500	1	37	225	340	6	20	
9	2/26 ~ 3/3	678	395	2	21	206	409	6	21	
10	3/4 ~ 3/10	868	331	4	17	229	412	4	17	1
11	3/11 ~ 3/17	1,298	320	5	19	240	354	3	24	
12	3/18 ~ 3/24	1,558	271	21	34	191	280	2	21	2
13	3/25 ~ 3/31	1,574	227	23	9	180	289	8	25	
14	4/1 ~ 4/7	590	179	32	18	194	243	2	36	
15	4/8 ~ 4/14	230	139	51	10	194	233	3	62	
16	4/15 ~ 4/21	150	128	69	22	202	242	4	65	
17	4/22 ~ 4/28	79	115	67	13	236	211	4	133	
18	4/29 ~ 5/5	38	80	61	6	171	122	4	146	
19	5/6 ~ 5/12	18	109	79	12	168	173	2	193	
20	5/13 ~ 5/19	15	128	92	14	216	237	3	273	
21	5/20 ~ 5/26	16	103	91	23	223	325	3	259	2
22	5/27 ~ 6/2	8	110	93	29	217	242	4	294	
23	6/3 ~ 6/9	5	164	113	49	211	258	9	315	1
24	6/10 ~ 6/16	8	146	82	24	269	243	3	241	
25	6/17 ~ 6/23	22	186	79	31	225	171	6	237	1
26	6/24 ~ 6/30	28	249	98	31	218	189	3	239	
27	7/1 ~ 7/7	46	412	173	21	180	210	5	267	
28	7/8 ~ 7/14	42	849	200	23	155	178	2	309	
29	7/15 ~ 7/21	52	1,088	183	16	149	142	4	180	
30	7/22 ~ 7/28	29	1,126	191	12	87	135	5	187	
31	7/29 ~ 8/4	20	1,068	157	16	85	194	5	174	
32	8/5 ~ 8/11	25	807	142	18	98	157	5	179	
33	8/12 ~ 8/18	16	460	47	9	65	78	3	112	
34	8/19 ~ 8/25	21	505	73	10	94	121	9	130	
35	8/26 ~ 9/1	26	406	53	5	106	153	5	260	
36	9/2 ~ 9/8	34	304	31	9	104	167	11	408	
37	9/9 ~ 9/15	35	272	34	5	130	166	9	559	1
38	9/16 ~ 9/22	27	223	17	8	78	135	5	739	2
39	9/23 ~ 9/29	33	239	21	9	90	107	4	835	2
40	9/30 ~ 10/6	36	145	10	3	94	122	4	851	
41	10/7 ~ 10/13	38	109	21	3	129	121	9	1,017	
42	10/14 ~ 10/20	61	112	18	5	101	109	6	736	1
43	10/21 ~ 10/27	81	174	11	6	115	120	5	660	2
44	10/28 ~ 11/3	94	141	26	6	99	123	14	669	
45	11/4 ~ 11/10	79	99	10	6	80	111	10	470	1
46	11/11 ~ 11/17	122	97	11	15	107	134	7	260	1
47	11/18 ~ 11/24	145	71	13	14	102	134	7	224	1
48	11/25 ~ 12/1	285	107	14	15	136	154	6	185	2
49	12/2 ~ 12/8	685	145	11	27	125	165	8	102	8
50	12/9 ~ 12/15	1,734	181	7	24	107	187	9	90	3
51	12/16 ~ 12/22	3,161	218	17	21	100	182	4	48	3
52	12/23 ~ 12/29	5,101	338	24	17	121	184	3	33	4
合計		26,662	19,679	2,589	1,048	8,176	11,201	279	12,397	39
男性		14,136	9,583	1,384	536	4,485	6,097	147	6,770	15
女性		12,526	10,096	1,205	512	3,691	5,104	132	5,627	24

*1: 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

*2: 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年

*3: 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

(人)

			眼科定点		基幹定点					定点数				
突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎 ^{*3}	細菌性髄膜炎 ^{*4}	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	C O V I D - 19 ザ ／	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
6	2			24						59	36	8	6	
12	6	1		21				1		61	37	8	6	
12	6	2		13						61	37	8	6	
10	6	2		10						61	37	8	6	
16	11	2		10				1		61	37	8	6	
12	4	1		16						61	37	8	6	
13	3	1		10						61	37	8	6	
9	5	2		7	1					61	37	8	6	
13	7			8				1		61	37	8	6	
5	5			5						61	37	8	6	
15	5			11						61	37	8	6	
9	2			10						61	37	8	6	
13	11	2		9						61	37	8	6	
11	6	1		5		1				61	37	8	6	
9	16			4						61	37	8	6	
16	23	1		5	1					61	37	8	6	
11	63			9						61	37	8	6	
11	44			5						61	37	8	6	
19	62	2	1	7	1					61	37	8	6	
24	74	1		9						61	37	8	6	
16	39	2		5						61	37	8	6	
15	48	3		4						61	37	8	6	
21	66	1		8	1			1		61	37	8	6	
12	51	1		7						61	37	8	6	
19	47	1		9						61	37	8	6	
18	64	2		9						61	37	8	6	
13	76	1		18						61	37	8	6	
25	91	2		21	1					61	37	8	6	
15	85	2		5				1		61	37	8	6	
15	55	2		10				1		61	37	8	6	
12	38	1		16		1	1	1		61	37	8	6	
23	27	1	1	15				1		60	36	8	6	
12	16	1		10				1		60	36	8	6	
16	27			8						61	37	8	6	
16	23	1		5		1	1	4		61	37	8	6	
16	25	1		10				2		61	37	8	6	
13	12			15				6		61	37	8	6	
9	23	1		12						61	37	8	6	
10	15	1		4				5		60	36	8	6	
9	10			9				10		60	36	8	6	
15	7			17				4		60	36	8	6	
18	6	2		8				5		60	36	8	6	
11	5	1		5				5		60	36	8	6	
12	5	2		11		1		6		60	36	8	6	
17	2	1		6				12		60	36	8	6	
12	2	1		8				11		60	36	8	6	
9	1			8				7		60	36	8	6	
13	1	1		18				7		60	36	8	6	
17	1	2		12		1		10		60	36	8	6	
14	1			14				12		60	36	8	6	
13		5		13				5		60	36	8	6	
11	1			23				6		60	36	8	6	
713	1,231	57	2	541	5	5	2	126						
368	644	38	1	250	2	4	1	65						
345	587	19	1	291	3	1	1	61						

一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)

*4: インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

表2-2-2 週報対象疾患一週別定点当たり患者報告数

週	期 間	インフルエンザ/ COVID-19定点		小児科定点						
		イン フル エン ザ ^{*1}	感 染 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス ^{*2}	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	咽 頭 炎	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病
1	1/1 ~ 1/7	9.97	6.34		2.00	2.19	4.94	0.14	0.39	
2	1/8 ~ 1/14	14.36	10.23		1.35	3.81	7.30	0.05	0.38	
3	1/15 ~ 1/21	20.13	13.97	0.05	1.51	5.27	11.70	0.22	0.54	
4	1/22 ~ 1/28	18.13	17.44	0.05	1.22	6.27	11.05	0.08	0.38	
5	1/29 ~ 2/4	18.75	21.33	0.08	0.78	6.00	10.08	0.19	0.27	
6	2/5 ~ 2/11	14.77	18.13	0.03	0.70	6.22	11.32	0.14	0.30	
7	2/12 ~ 2/18	14.07	12.82	0.08	0.76	6.08	9.65	0.16	0.24	0.03
8	2/19 ~ 2/25	12.30	8.20	0.03	1.00	6.08	9.19	0.16	0.54	
9	2/26 ~ 3/3	11.11	6.48	0.05	0.57	5.57	11.05	0.16	0.57	
10	3/4 ~ 3/10	14.23	5.43	0.11	0.46	6.19	11.14	0.11	0.46	0.03
11	3/11 ~ 3/17	21.28	5.25	0.14	0.51	6.49	9.57	0.08	0.65	
12	3/18 ~ 3/24	25.54	4.44	0.57	0.92	5.16	7.57	0.05	0.57	0.05
13	3/25 ~ 3/31	25.80	3.72	0.62	0.24	4.86	7.81	0.22	0.68	
14	4/1 ~ 4/7	9.67	2.93	0.86	0.49	5.24	6.57	0.05	0.97	
15	4/8 ~ 4/14	3.77	2.28	1.38	0.27	5.24	6.30	0.08	1.68	
16	4/15 ~ 4/21	2.46	2.10	1.86	0.59	5.46	6.54	0.11	1.76	
17	4/22 ~ 4/28	1.30	1.89	1.81	0.35	6.38	5.70	0.11	3.59	
18	4/29 ~ 5/5	0.62	1.31	1.65	0.16	4.62	3.30	0.11	3.95	
19	5/6 ~ 5/12	0.30	1.79	2.14	0.32	4.54	4.68	0.05	5.22	
20	5/13 ~ 5/19	0.25	2.10	2.49	0.38	5.84	6.41	0.08	7.38	
21	5/20 ~ 5/26	0.26	1.69	2.46	0.62	6.03	8.78	0.08	7.00	0.05
22	5/27 ~ 6/2	0.13	1.80	2.51	0.78	5.86	6.54	0.11	7.95	
23	6/3 ~ 6/9	0.08	2.69	3.05	1.32	5.70	6.97	0.24	8.51	0.03
24	6/10 ~ 6/16	0.13	2.39	2.22	0.65	7.27	6.57	0.08	6.51	
25	6/17 ~ 6/23	0.36	3.05	2.14	0.84	6.08	4.62	0.16	6.41	0.03
26	6/24 ~ 6/30	0.46	4.08	2.65	0.84	5.89	5.11	0.08	6.46	
27	7/1 ~ 7/7	0.75	6.75	4.68	0.57	4.86	5.68	0.14	7.22	
28	7/8 ~ 7/14	0.69	13.92	5.41	0.62	4.19	4.81	0.05	8.35	
29	7/15 ~ 7/21	0.85	17.84	4.95	0.43	4.03	3.84	0.11	4.86	
30	7/22 ~ 7/28	0.48	18.46	5.16	0.32	2.35	3.65	0.14	5.05	
31	7/29 ~ 8/4	0.33	17.51	4.24	0.43	2.30	5.24	0.14	4.70	
32	8/5 ~ 8/11	0.42	13.45	3.94	0.50	2.72	4.36	0.14	4.97	
33	8/12 ~ 8/18	0.27	7.67	1.31	0.25	1.81	2.17	0.08	3.11	
34	8/19 ~ 8/25	0.34	8.28	1.97	0.27	2.54	3.27	0.24	3.51	
35	8/26 ~ 9/1	0.43	6.66	1.43	0.14	2.86	4.14	0.14	7.03	
36	9/2 ~ 9/8	0.56	4.98	0.84	0.24	2.81	4.51	0.30	11.03	
37	9/9 ~ 9/15	0.57	4.46	0.92	0.14	3.51	4.49	0.24	15.11	0.03
38	9/16 ~ 9/22	0.44	3.66	0.46	0.22	2.11	3.65	0.14	19.97	0.05
39	9/23 ~ 9/29	0.55	3.98	0.58	0.25	2.50	2.97	0.11	23.19	0.06
40	9/30 ~ 10/6	0.60	2.42	0.28	0.08	2.61	3.39	0.11	23.64	
41	10/7 ~ 10/13	0.63	1.82	0.58	0.08	3.58	3.36	0.25	28.25	
42	10/14 ~ 10/20	1.02	1.87	0.50	0.14	2.81	3.03	0.17	20.44	0.03
43	10/21 ~ 10/27	1.35	2.90	0.31	0.17	3.19	3.33	0.14	18.33	0.06
44	10/28 ~ 11/3	1.57	2.35	0.72	0.17	2.75	3.42	0.39	18.58	
45	11/4 ~ 11/10	1.32	1.65	0.28	0.17	2.22	3.08	0.28	13.06	0.03
46	11/11 ~ 11/17	2.03	1.62	0.31	0.42	2.97	3.72	0.19	7.22	0.03
47	11/18 ~ 11/24	2.42	1.18	0.36	0.39	2.83	3.72	0.19	6.22	0.03
48	11/25 ~ 12/1	4.75	1.78	0.39	0.42	3.78	4.28	0.17	5.14	0.06
49	12/2 ~ 12/8	11.42	2.42	0.31	0.75	3.47	4.58	0.22	2.83	0.22
50	12/9 ~ 12/15	28.90	3.02	0.19	0.67	2.97	5.19	0.25	2.50	0.08
51	12/16 ~ 12/22	52.68	3.63	0.47	0.58	2.78	5.06	0.11	1.33	0.08
52	12/23 ~ 12/29	85.02	5.63	0.67	0.47	3.36	5.11	0.08	0.92	0.11
合計		440.60	323.76	70.28	28.53	222.29	304.51	7.62	339.92	1.08
男性		233.59	157.64	37.57	14.58	121.92	165.75	4.01	185.58	0.41
女性		207.02	166.11	32.71	13.95	100.37	138.76	3.61	154.34	0.66

*1:鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

*2:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年

*3:感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

(人/定点当たり)

			眼科定点		基幹定点					定点数			
突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎 ^{*3}	細菌性髄膜炎 ^{*4}	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	Cインフルエンザ 19ザ	小児科	眼科	基幹
0.17	0.06			3.00						59	36	8	6
0.32	0.16	0.03		2.63				0.17		61	37	8	6
0.32	0.16	0.05		1.63						61	37	8	6
0.27	0.16	0.05		1.25						61	37	8	6
0.43	0.30	0.05		1.25				0.17		61	37	8	6
0.32	0.11	0.03		2.00						61	37	8	6
0.35	0.08	0.03		1.25						61	37	8	6
0.24	0.14	0.05		0.88	0.17					61	37	8	6
0.35	0.19			1.00				0.17		61	37	8	6
0.14	0.14			0.63						61	37	8	6
0.41	0.14			1.38						61	37	8	6
0.24	0.05			1.25						61	37	8	6
0.35	0.30	0.05		1.13						61	37	8	6
0.30	0.16	0.03		0.63		0.17				61	37	8	6
0.24	0.43			0.50						61	37	8	6
0.43	0.62	0.03		0.63	0.17					61	37	8	6
0.30	1.70			1.13						61	37	8	6
0.30	1.19			0.63						61	37	8	6
0.51	1.68	0.05	0.13	0.88	0.17					61	37	8	6
0.65	2.00	0.03		1.13						61	37	8	6
0.43	1.05	0.05		0.63						61	37	8	6
0.41	1.30	0.08		0.50						61	37	8	6
0.57	1.78	0.03		1.00	0.17			0.17		61	37	8	6
0.32	1.38	0.03		0.88						61	37	8	6
0.51	1.27	0.03		1.13						61	37	8	6
0.49	1.73	0.05		1.13						61	37	8	6
0.35	2.05	0.03		2.25						61	37	8	6
0.68	2.46	0.05		2.63	0.17					61	37	8	6
0.41	2.30	0.05		0.63				0.17		61	37	8	6
0.41	1.49	0.05		1.25				0.17		61	37	8	6
0.32	1.03	0.03		2.00		0.17	0.17	0.17		61	37	8	6
0.64	0.75	0.03	0.13	1.88				0.17		60	36	8	6
0.33	0.44	0.03		1.25				0.17		60	36	8	6
0.43	0.73			1.00						61	37	8	6
0.43	0.62	0.03		0.63		0.17	0.17	0.67		61	37	8	6
0.43	0.68	0.03		1.25				0.33		61	37	8	6
0.35	0.32			1.88				1.00		61	37	8	6
0.24	0.62	0.03		1.50						61	37	8	6
0.28	0.42	0.03		0.50				0.83		60	36	8	6
0.25	0.28			1.13				1.67		60	36	8	6
0.42	0.19			2.13				0.67		60	36	8	6
0.50	0.17	0.06		1.00				0.83		60	36	8	6
0.31	0.14	0.03		0.63				0.83		60	36	8	6
0.33	0.14	0.06		1.38		0.17		1.00		60	36	8	6
0.47	0.06	0.03		0.75				2.00		60	36	8	6
0.33	0.06	0.03		1.00				1.83		60	36	8	6
0.25	0.03			1.00				1.17		60	36	8	6
0.36	0.03	0.03		2.25				1.17		60	36	8	6
0.47	0.03	0.06		1.50		0.17		1.67		60	36	8	6
0.39	0.03			1.75				2.00		60	36	8	6
0.36		0.14		1.63				0.83		60	36	8	6
0.31	0.03			2.88				1.00		60	36	8	6
19.44	33.35	1.55	0.25	67.63	0.83	0.83	0.33	21.00					
10.03	17.45	1.03	0.13	31.25	0.33	0.67	0.17	10.83					
9.41	15.90	0.52	0.13	36.38	0.50	0.17	0.17	10.17					

一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。)

*4: インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

表2-2-3 週報対象疾患一年齢区分別患者報告数

年齢区分	インフルエンザ/ COVID-19定点		小児科定点										眼科定点				基礎定点			
	インフルエンザ イ*1	感染*2 症コロナウイルス	R	咽頭結膜熱	咽頭炎 頭群溶血性レンサ球菌	A	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロ*3 タウウイルス胃腸炎	細菌性髄膜炎 細*4	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)
6ヶ月未満	72	215	209	7	7	73	2	79	1	7	12					1	1		2	
12ヶ月未満	240	446	314	54	35	490	18	628	2	160	97							1	11	
1歳	678	696	804	266	239	1,254	19	2,651	2	399	274	2							43	
2歳	761	515	534	151	418	1,087	10	2,128	5	100	231	2				1			46	
3歳	954	459	297	135	701	1,050	8	1,831	5	33	176	6							11	
4歳	1,155	470	158	139	880	1,009	24	1,679	7	8	167	9				1			2	
5歳	1,421	534	113	92	1,071	1,084	23	1,354	2	5	109	5						1	1	
6歳	1,812	499	38	61	1,033	981	8	899	1		78	5							3	
7歳	1,848	482	28	42	941	676	27	395	7		40	8	1						2	
8歳	1,920	506	25	32	725	600	29	269	3		19	4							1	
9歳	2,040	511	18	27	609	491	20	159	1		11	4								
10~14歳	6,901	2,618	32	31	1,275	1,486	78	280	3	1	17	11					1		1	
15~19歳	1,730	1,194	7	6	93	233	9	19				1							1	
20~29歳*5	774	1,287	12	5	149	687	4	26												
30~39歳	1,261	1,516																		
40~49歳	1,221	1,875																		
50~59歳	807	1,844																		
60~69歳	494	1,420																		
70~79歳*6	333	1,395																		
80歳以上	240	1,197																		
合計	26,662	19,679	2,589	1,048	8,176	11,201	279	12,397	39	713	1,231	57				5	5	2	126	

*1:鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *2:病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。 *3:感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) *4:インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。 *5:小児科定点疾患について
は20歳以上の全患者数を"20~29歳"に計上。 *6:眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70~79歳"に計上。

表2-2-4 月報対象疾患一月別患者報告数

月	STD定点 (定点数:11)						基幹定点 (定点数:6)						定点数					
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		S	T	D	基幹
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男				
1	27	12	15	9	7	2	7	6	1	2	8	2	7	5	2	11	6	6
2	28	10	18	7	5	2	6	5	1	4	7	4	9	5	4	11	6	6
3	25	5	20	9	7	2	7	6	1	3	3	3	7	5	2	11	6	6
4	31	13	18	10	9	1	6	4	2	3	6	3	15	12	3	11	6	6
5	21	7	14	15	13	2	10	8	2	2	4	2	6	4	2	11	6	6
6	29	13	16	9	7	2	9	8	1	1	7	1	5	5		11	6	6
7	21	9	12	13	11	2	7	7		1	5	1	12	6	6	11	6	6
8	26	8	18	11	9	2	7	6	1	3	10	3	11	7	4	11	6	6
9	22	5	17	13	11	2	5	4	1	3	3	3	7	3	4	11	6	6
10	20	2	18	7	3	4	4	3	1	2	2	2	9	4	5	11	6	6
11	34	9	25	11	9	2	5	3	2	1	1	1	9	5	4	11	6	6
12	17	6	11	9	7	2	6	5	1	4	1	1	9	8	1	11	6	6
合計	301	99	202	123	98	25	79	65	14	85	60	25	106	69	37			

(人)

表2-2-5 月報対象疾患一月別定点当たり患者報告数

(人/定点当たり)

月	STD定点 (定点数:11)						基幹定点 (定点数:6)						定点数				
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		S T D	基 幹	
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男			女
1	2.45	1.09	1.36	0.82	0.64	0.18	0.91	0.73	0.18	1.17	0.83	0.33	1.17	0.83	0.33	11	6
2	2.55	0.91	1.64	0.64	0.45	0.18	1.00	0.64	0.36	1.50	0.83	0.67	1.50	0.83	0.67	11	6
3	2.27	0.45	1.82	0.82	0.64	0.18	0.55	0.27	0.27	1.17	0.83	0.33	1.17	0.83	0.33	11	6
4	2.82	1.18	1.64	0.91	0.82	0.09	0.82	0.55	0.27	2.50	2.00	0.50	2.50	2.00	0.50	11	6
5	1.91	0.64	1.27	1.36	1.18	0.18	0.55	0.36	0.18	1.00	0.67	0.33	1.00	0.67	0.33	11	6
6	2.64	1.18	1.45	0.82	0.64	0.18	0.73	0.64	0.09	0.83	0.83		0.83	0.83		11	6
7	1.91	0.82	1.09	1.18	1.00	0.18	0.55	0.45	0.09	2.00	1.00	1.00	2.00	1.00	1.00	11	6
8	2.36	0.73	1.64	1.00	0.82	0.18	1.18	0.91	0.27	1.83	1.17	0.67	1.83	1.17	0.67	11	6
9	2.00	0.45	1.55	1.18	1.00	0.18	0.55	0.27	0.27	1.17	0.50	0.67	1.17	0.50	0.67	11	6
10	1.82	0.18	1.64	0.64	0.27	0.36	0.36	0.18	0.18	1.50	0.67	0.83	1.50	0.67	0.83	11	6
11	3.09	0.82	2.27	1.00	0.82	0.18	0.09	0.09		1.50	0.83	0.67	1.50	0.83	0.67	11	6
12	1.55	0.55	1.00	0.82	0.64	0.18	0.45	0.36	0.09	1.50	1.33	0.17	1.50	1.33	0.17	11	6
合計	27.36	9.00	18.36	11.18	8.91	2.27	7.18	5.91	1.27	17.67	11.50	6.17	17.67	11.50	6.17		

表2-2-6 月報対象疾患一年齢区分別患者報告数

年齢区分	STD定点 (定点数:11)						基幹定点 (定点数:6)								
	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症		
	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女
0歳															
1～4歳															
5～9歳															
10～14歳	3		3				1		2						
15～19歳	44	1	43	3		3	13	2	11	1					
20～24歳	87	17	70	7	3	4	14	9	5	3					
25～29歳	63	22	41	8	2	6	16	15	1						
30～34歳	33	11	22	8	7	1	10	7	3	1					
35～39歳	28	13	15	8	6	2	14	10	4	3					
40～44歳	11	8	3	3	1	2	5	5							
45～49歳	16	13	3	6	5	1	6	6		2					
50～54歳	6	4	2	24	21	3	3	3		4	3	1			
55～59歳	1	1		24	24		1	1		7	3	4			
60～64歳	5	5		7	7					10	6	4			
65～69歳	3	3		5	3	2	1	1		6	4	2			
70歳以上	1	1		20	19	1	1	1		64	44	20			
合計	301	99	202	123	98	25	85	60	25	106	69	37			

(人)

(2)インフルエンザ/COVID-19 定点対象疾患(週報)

インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)

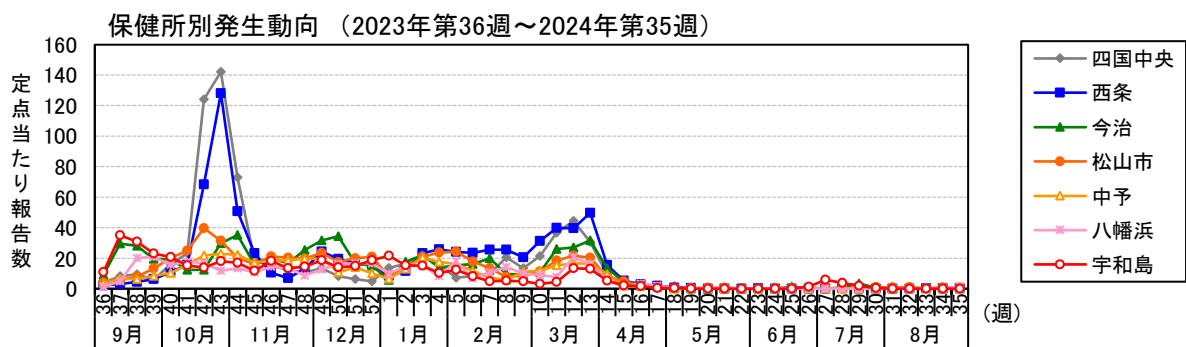
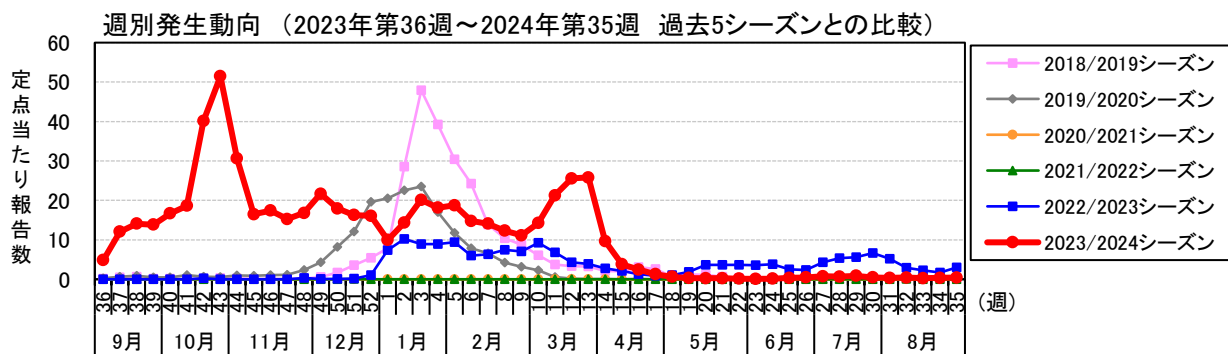
2023/2024 シーズン(2023年第36週～2024年第35週)の患者報告数は35,628人(定点当たり584.97人/シーズン)で、前シーズン(患者報告数10,267人、定点当たり168.38人/シーズン)の3.5倍に増加した。本シーズンは、前シーズンから続いていた比較的低い水準の流行から始まり、第37週(9月中旬)に1999年の感染症法施行以降最も早く注意報レベル(定点当たり10人/週)を超えた。その後も増加傾向となり、第42週(10月中旬)には急増し、第43週(10月中旬)に最初のピーク(定点当たり51.46人/週)に達した。ピークアウト後は急減したものの、依然として例年より高い水準で推移した。その後、第2週(1月中旬)から再度増加に転じ、第3週(1月中旬)、第13週(3月下旬)にもピークを形成した。本シーズンは、例年に比べ流行の期間が長く、多峰性の発生動向となった。

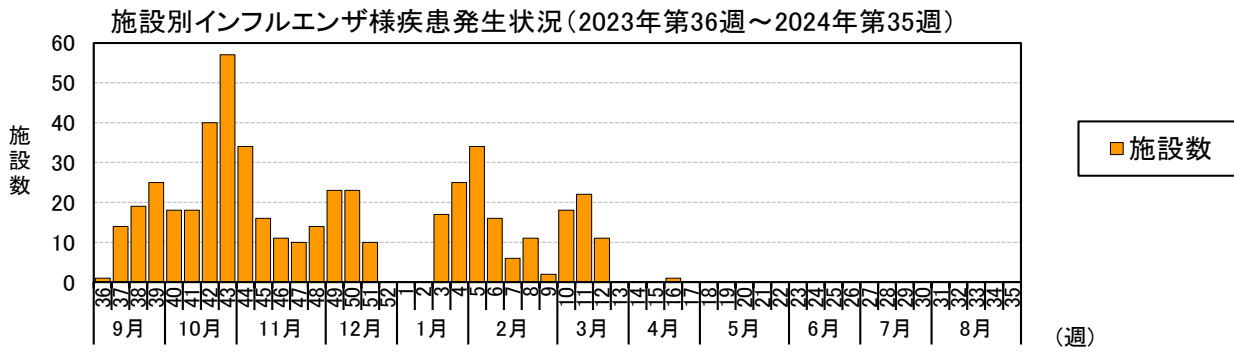
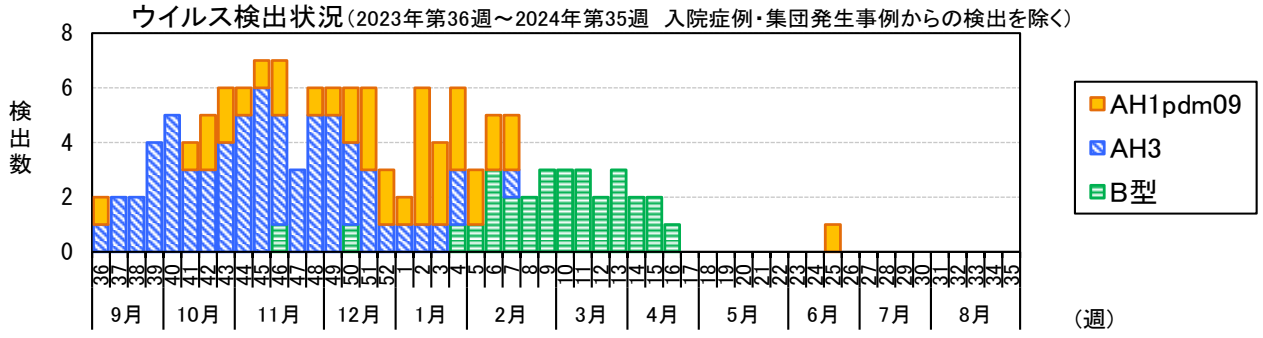
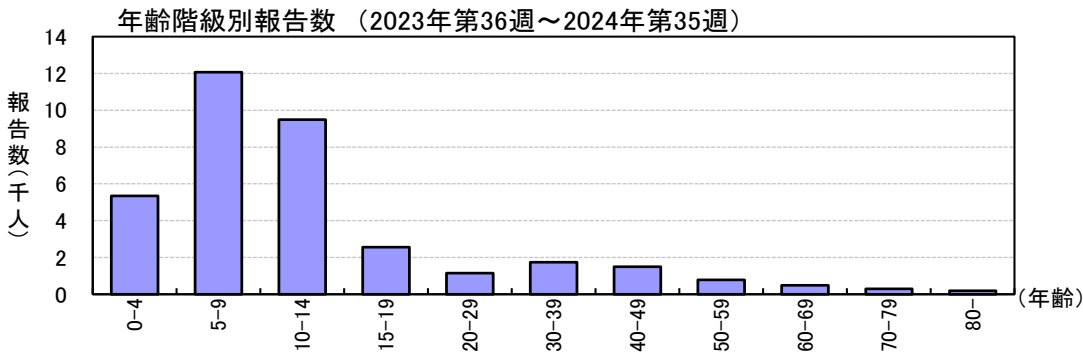
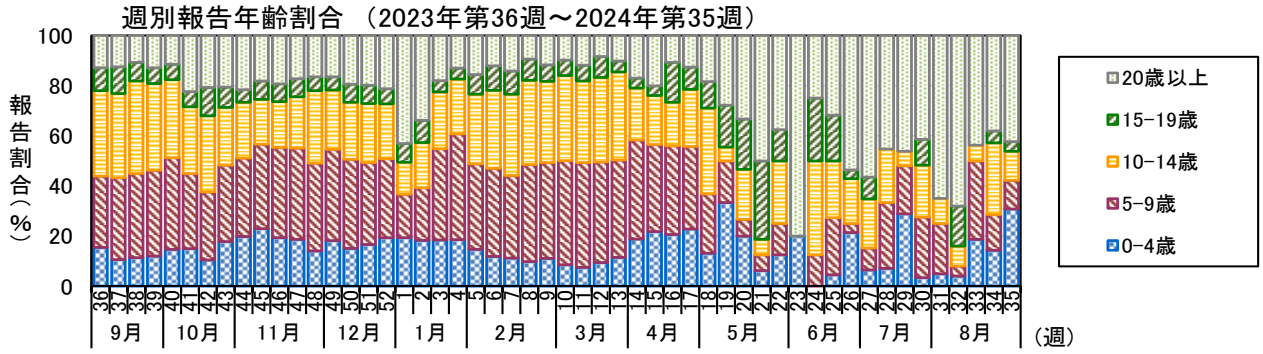
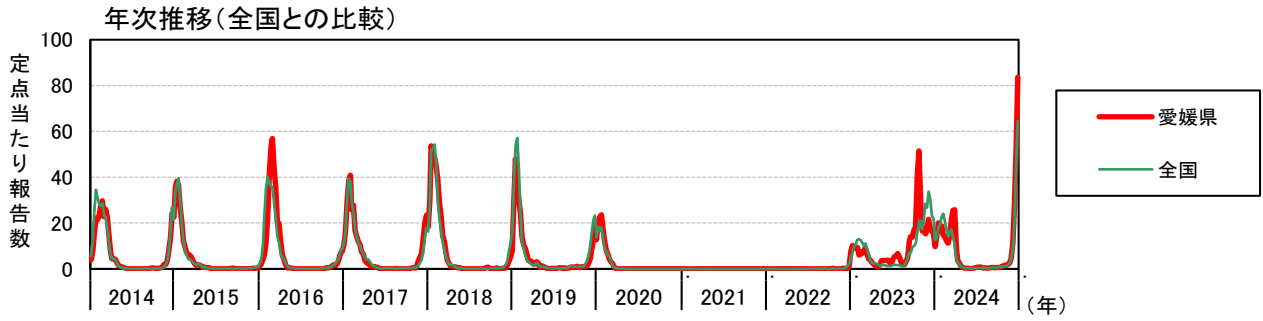
地域別の定点当たり報告数は、西条保健所799.10人/シーズンが最も多く、次いで四国中央保健所775.00人/シーズン、今治保健所628.75人/シーズン、松山市保健所565.56人/シーズン、宇和島保健所467.00人/シーズン、中予保健所434.57人/シーズン、八幡浜保健所410.00人/シーズンの順であった。第37週に今治保健所、宇和島保健所が先行して急増しピークに達した後、減少した。その他の保健所は比較的緩やかな増加傾向であったが、第42週に四国中央保健所、西条保健所で著しく急増し、43週に四国中央保健所(142.20人/週)、西条保健所(128.10人/週)と極めて高いピークに達した。県全体の報告数でみられた第3週のピークについては、すべての保健所がほぼ同水準で、第13週のピークについては、特に東予地域で顕著な増加がみられた。

年齢別の患者報告数は、5～9歳が12,070人(33.9%)と最も多く、10～14歳9,497人(26.7%)、0～4歳5,340人(15.0%)の順で、特に14歳以下が26,907人と全体の75.5%を占めた。

検出されたウイルス型別は、AH3が65例、AH1pdm09が38例、B型が30例であり、3つのウイルス型が流行したことが特徴であった。

学校等におけるインフルエンザ様疾患の発生報告は496施設/シーズンであった。





(参考)インフルエンザ【2024年第1週～2024年第52週】

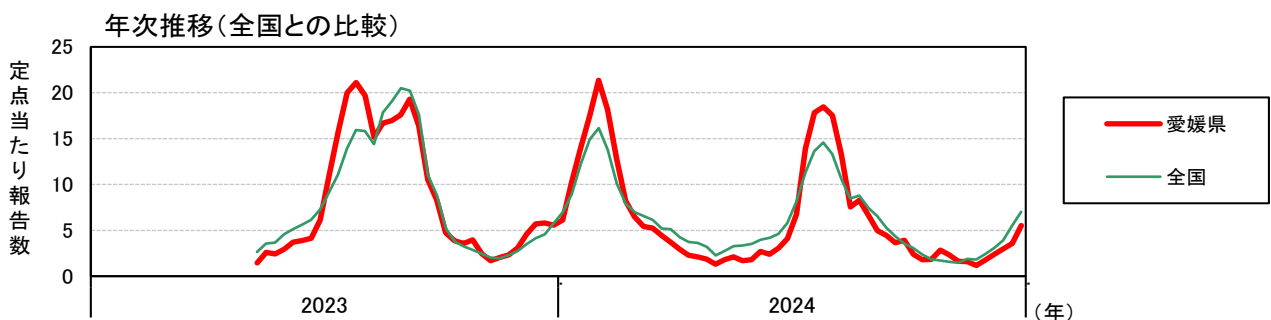
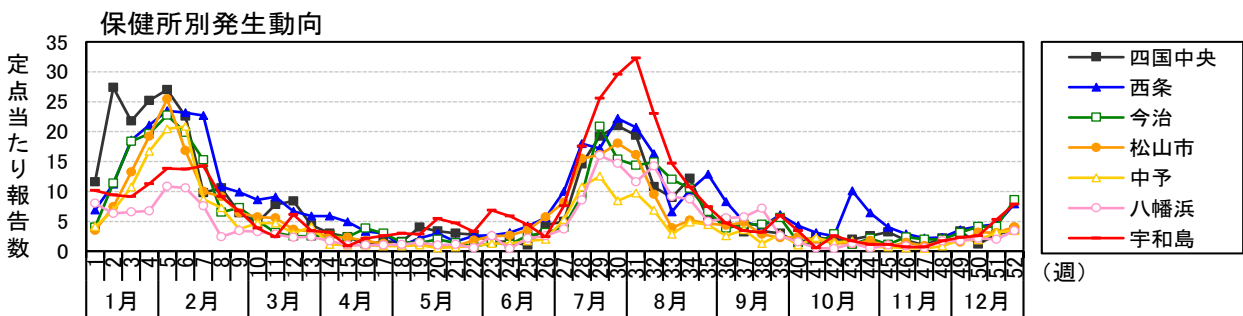
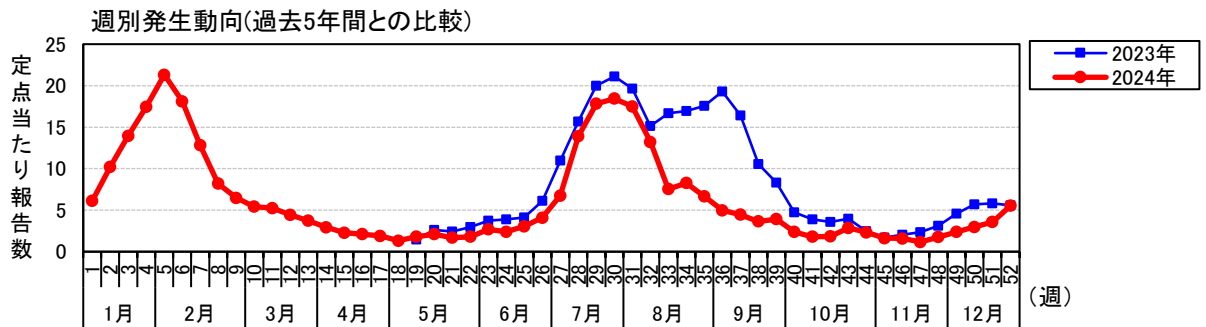
月週	患者報告数											定点当たり報告数									
	2024年 保健所別					愛媛県					全国										
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	2024	2023	2022					
1	69	85	46	120	46	70	152	588	451	50	13.80	8.50	5.75	8.00	6.57	10.00	21.71	9.97	7.39	12.70	4.78
2	82	116	142	231	92	105	108	876	625	54	16.40	11.60	17.75	13.14	13.14	15.00	15.43	14.36	10.25	13.00	7.39
3	106	234	176	358	143	105	106	1,228	544	71	21.20	23.40	22.00	20.43	20.43	15.00	15.14	20.13	8.92	17.73	9.59
4	80	258	111	402	124	58	73	1,106	544	60	16.00	25.80	13.88	23.65	17.71	8.29	10.43	18.13	8.92	19.22	10.39
5	36	242	123	416	113	127	87	1,144	575	75	7.20	24.20	15.38	24.47	16.14	18.14	12.43	18.75	9.43	22.62	12.66
6	42	235	130	305	83	48	58	901	368	37	8.40	23.50	16.25	17.94	11.86	6.86	8.29	14.77	6.03	23.99	12.95
7	50	257	160	230	50	76	35	858	387	26	10.00	25.70	20.00	13.53	7.14	10.86	5.00	14.07	6.34	20.65	12.58
8	103	257	77	133	42	101	37	750	457	53	20.60	25.70	9.63	7.82	6.00	14.43	5.29	12.30	7.49	16.78	11.31
9	67	206	75	148	78	69	35	678	430	38	13.40	20.60	9.38	8.71	11.14	9.86	5.00	11.11	7.05	13.97	10.18
10	107	313	86	195	83	62	22	868	565	18	21.40	31.30	10.75	11.47	11.86	8.86	3.14	14.23	9.26	16.14	11.10
11	184	398	208	315	107	55	31	1,298	416	17	36.80	39.80	26.00	18.53	15.29	7.86	4.43	21.28	6.82	17.27	8.44
12	222	396	216	368	117	145	94	1,558	261	14	44.40	39.60	27.00	21.65	16.71	13.43	25.54	25.84	4.28	14.08	6.44
13	153	498	253	348	117	113	92	1,574	234	15	30.60	49.80	31.63	20.47	16.71	16.14	13.14	25.80	3.90	11.18	4.05
14	47	155	108	137	66	40	37	590	166	16	9.40	15.50	13.50	8.06	9.43	5.71	5.29	9.67	2.72	5.09	2.77
15	18	53	38	83	14	9	15	230	130	6	3.60	5.30	4.75	4.88	2.00	1.29	2.14	3.77	2.13	2.69	2.15
16	13	31	25	33	12	24	12	150	77	18	2.60	3.10	3.13	1.94	1.71	3.43	1.71	2.46	1.26	1.85	2.50
17	2	19	13	20	7	14	4	79	52	8	0.40	1.90	1.63	1.18	1.00	2.00	0.57	1.30	0.85	1.07	2.23
18	9	8	2	10	1	4	4	38	63	11	1.80	0.80	0.25	0.59	0.14	0.57	0.57	0.62	1.03	0.45	1.70
19	1	4		8	2	2	1	18	115	6	0.20	0.40		0.47	0.29	0.29	0.14	0.30	1.89	0.34	1.35
20	1			12	2	2		15	223	4	0.20		0.25	0.71	0.29			0.25	3.66	0.28	1.89
21			2	13	1			16	224	8		0.25	0.76	0.14	0.14			0.26	3.67	0.24	1.61
22		1		6	1			8	222	2	0.10	0.10		0.35	0.14			0.13	3.54	0.19	1.50
23		2		1	1	1		5	219	7	0.20	0.20		0.06	0.14	0.14		0.08	3.69	0.17	1.35
24			1	7				8	232	6		0.13	0.13	0.41	0.14			0.13	3.80	0.15	1.27
25			10	9	2		1	22	151	6		1.25	0.53	0.29	0.29		0.14	0.36	2.48	0.16	1.19
26			3	13	2	1	9	28	143	12		0.38	0.76	0.29	0.29		1.29	0.46	2.34	0.19	1.24
27			5				41	46	264	48		0.20	0.29	0.29			5.86	0.75	4.33	0.28	1.64
28		2	7	6			27	42	327	175		0.88	0.35	0.35			3.86	0.69	5.36	0.33	1.74
29		1	27	10			14	52	341	187		0.10	0.38	0.59			2.00	0.85	5.59	0.37	1.56
30		1	6	18			4	29	407	145		0.10	0.75	1.06			0.57	0.48	6.67	0.39	1.63
31			1	16	1	1	1	1	317	160		0.13	0.94	0.14	0.14	0.14	0.14	0.33	5.20	0.39	1.44
32	1		6	17	1	1		25	179	133	0.20		0.75	1.06	0.14	0.14	0.14	0.42	2.93	0.37	1.09
33		3	3	5	4		1	16	137	138		0.30	0.38	0.31	0.57		0.14	0.27	2.25	0.28	1.02
34		3	3	15	2		1	21	102	138		0.30	0.38	0.88	0.29		0.14	0.34	1.67	0.29	1.40
35		4	4	11		11		26	185	135		0.40	0.40	0.65	0.29	1.57	0.57	0.43	3.03	0.38	2.56
36			4	17	4	8		34	296	133		0.10	0.50	1.00	0.57	1.14	1.14	0.56	4.85	0.45	4.48
37		1	3	16	6	12		35	736	111		0.10	0.38	0.94	0.86	1.71	1.71	0.57	12.07	0.52	7.05
38	5		3	17	2			27	858	80	1.00		0.38	1.00	0.29			0.44	14.07	0.55	7.09
39	7	1	4	9		12		33	844	52	1.40	0.10	0.50	0.56	0.56	1.71		0.55	13.84	0.64	9.57
40	3	5	4	19		5		36	1,018	71	0.60	0.50	0.50	1.19	1.19	0.71	0.60	0.60	16.69	0.78	10.01
41	1	4	1	28	3		1	38	1,117	97	0.20	0.40	0.13	1.75	1.75	0.43	0.20	0.63	18.62	0.89	11.07
42	3	5	5	38	7	3		61	2,447	111	0.60	0.50	0.63	2.38	2.38	1.00	0.60	1.02	40.11	0.25	7.73
43	5	12	45	45	14		5	81	3,139	159	1.00	1.20	1.20	2.81	2.81	2.00	1.00	1.35	51.46	0.87	19.68
44	2	12	2	48	16	7	7	94	1,868	274	0.40	1.20	0.25	3.00	3.00	2.29	1.00	1.57	30.62	1.04	21.14
45	8	9	6	36	10	8	2	79	1,004	412	1.60	0.90	0.75	2.25	2.25	1.43	1.14	2.32	16.46	1.06	17.35
46	6	3	21	70	8	8	6	122	1,061	555	1.20	0.30	2.63	4.38	4.38	1.14	1.14	2.03	17.39	0.88	21.65
47	11	13	45	49	16	4	7	145	932	547	2.20	1.30	5.63	3.06	3.06	2.29	0.57	2.42	15.28	0.37	28.32
48	23	30	55	114	34	20	9	285	1,024	638	4.60	3.00	6.88	7.13	7.13	4.86	2.86	4.75	16.79	0.31	4.86
49	72	85	92	247	62	93	34	685	1,322	746	14.40	8.00	11.50	15.44	15.44	8.86	13.29	11.42	21.67	1.11	9.05
50	104	292	318	514	176	154	154	1,734	1,095	2,618	20.80	29.20	39.75	32.13	32.13	25.14	22.00	28.90	17.95	19.08	29.95
51	182	739	364	961	261	368	286	3,161	992	1,163	36.40	73.90	45.50	60.06	60.06	37.29	52.57	52.68	16.26	42.74	23.14
52	394	1,188	817	1,460	380	438	424	5,101	964	1,022	78.80	118.80	102.13	91.25	91.25	54.29	62.57	85.02	16.07	64.43	21.73
合計	2,219	6,182	3,796	7,712	2,312	2,404	2,037	26,662	30,850	150	443.80	618.20	474.50	468.04	468.04	330.29	343.43	440.60	506.37	387.63	468.53

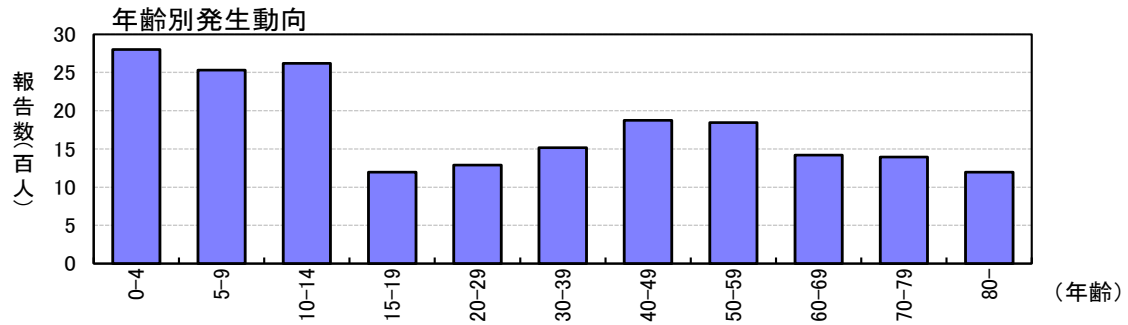
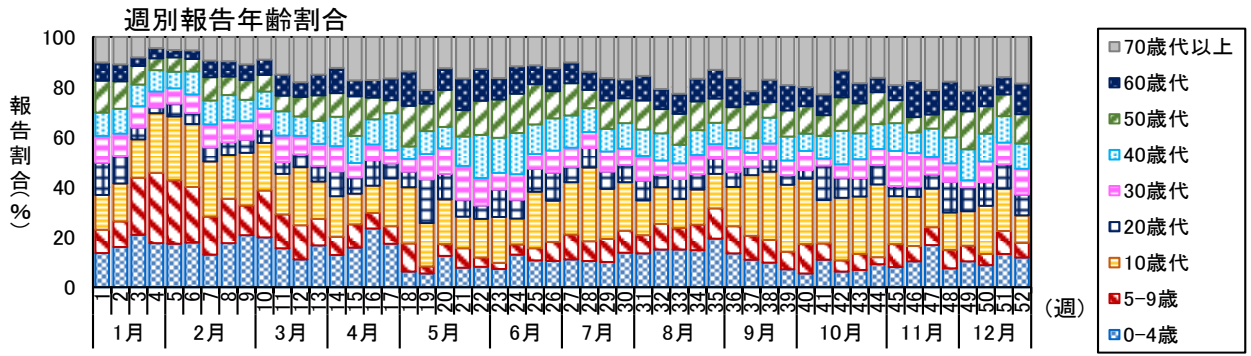
新型コロナウイルス感染症

2024 年は、五類感染症移行後、初めて年間を通じて定点把握として調査が実施された年であり、患者報告数は 19,679 人（定点当たり 323.76 人/年）であった。第 2 週（1 月中旬）に注意報レベル（定点当たり 10 人/週）を超え、第 5 週（2 月上旬）に定点あたり 21.33 人/週と最初のピークに達した後、急減し、一旦収束傾向となった。6 月上旬から再び増加傾向となり、第 27 週（7 月上旬）から急増、第 30 週（7 月下旬）には定点あたり 18.46 人/週と 2 回目のピークに達した後、減少に転じた。通年で、冬季と夏季で二峰性ピークを形成する発生動向となった。

地域別の定点当たり報告数は、西条保健所 436.70 人/年が最も多く、次いで四国中央保健所 380.20 人/年、宇和島保健所 378.57 人/年、今治保健所 328.38 人/年、松山市保健所 297.09 人/年、中予保健所 226.29 人/年、八幡浜保健所 221.57 人/年の順であった。すべての保健所で、概ね県全体の動向と同様に二峰性のピークを形成したが、南予地域においてはそのほかの地域とは異なり、冬季に比べ夏季の発生規模が大きく推移した。特に宇和島保健所は第 31 週（8 月上旬）に定点あたり 32.29 人/週と最も大きなピークに達した。

年齢別の患者報告数は、幅広い年齢層で報告があり、0～4 歳が 2,801 人（14.2%）と最も多く、10～14 歳が 2,618 人（13.3%）、5～9 歳が 2,532 人（12.9%）の順であった。ゲノム解析の結果は「Ⅲ2024 年（令和 6 年）感染症発生動向調査結果－病原体検査結果－2 ウイルス検査状況」に掲載している。





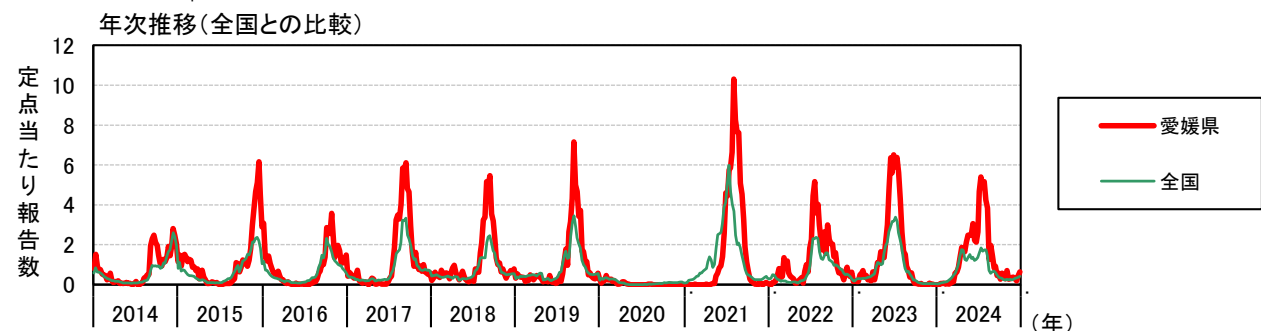
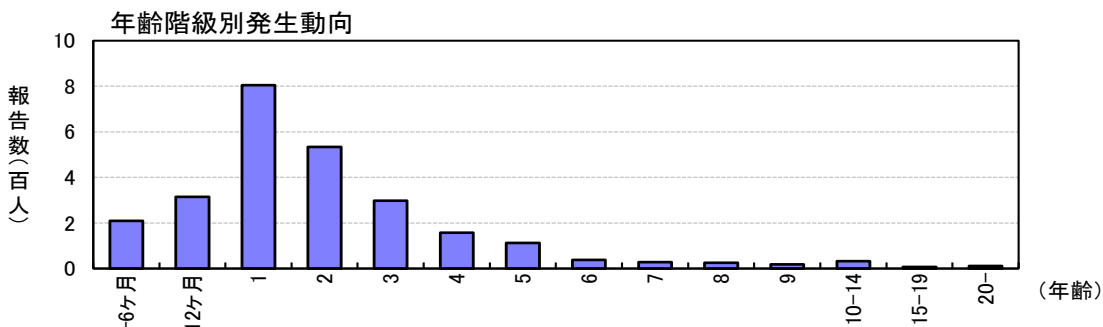
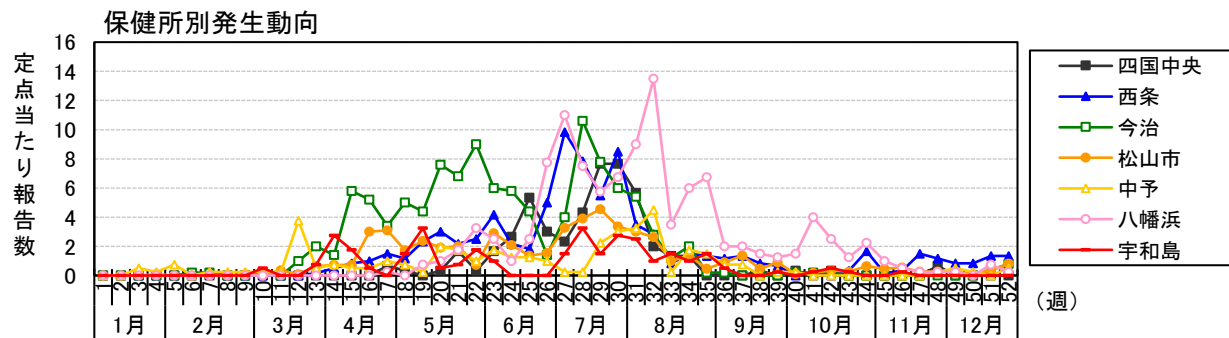
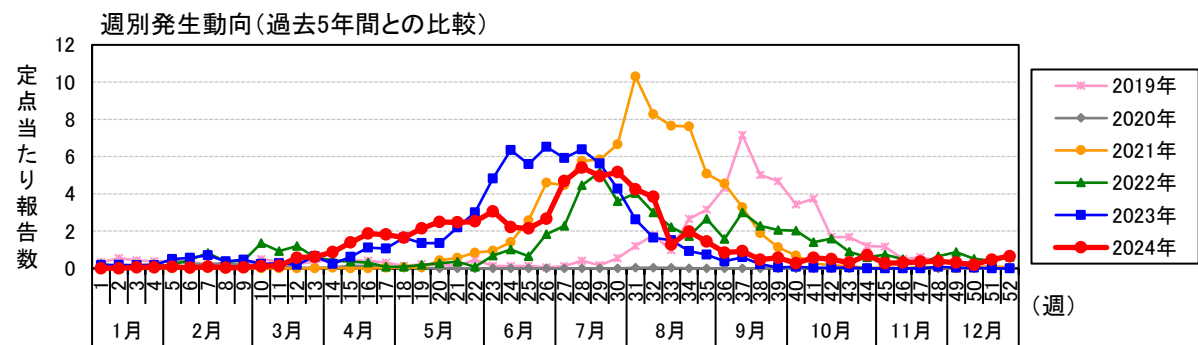
(3)小児科定点対象疾患(週報)

RS ウイルス感染症

2024年の患者報告数は2,589人(定点当たり70.28人/年)で、前年(患者報告数2,651人、定点当たり71.67人/年)と同程度の発生規模であった。例年より早い3月下旬から報告数が増加し始め、第27週(7月上旬)に急増した。第28週(7月中旬)に最高値となる定点当たり5.41人/週に達し、第30週(7月下旬)まで高止まりとなった後、減少に転じた。

地域別の定点当たり報告数は、八幡浜保健所112.00人/年が最も多く、次いで今治保健所111.80人/年、西条保健所83.83人/年、松山市保健所58.19人/年、四国中央保健所50.00人/年、中予保健所41.25人/年、宇和島保健所33.50人/年の順であった。地域によって流行の時期に差異があり、特に、今治保健所は4月から8月にかけて、八幡浜保健所は6月から10月にかけて大きく流行した。

年齢別の患者報告数は、1歳が804人(31.1%)で最も多く、次いで2歳534人(20.6%)、6~12か月未満314人(12.1%)の順であった。

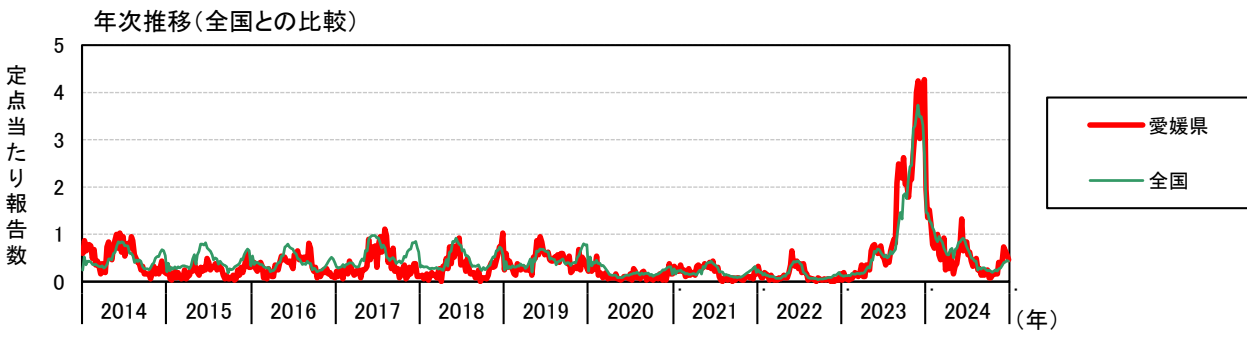
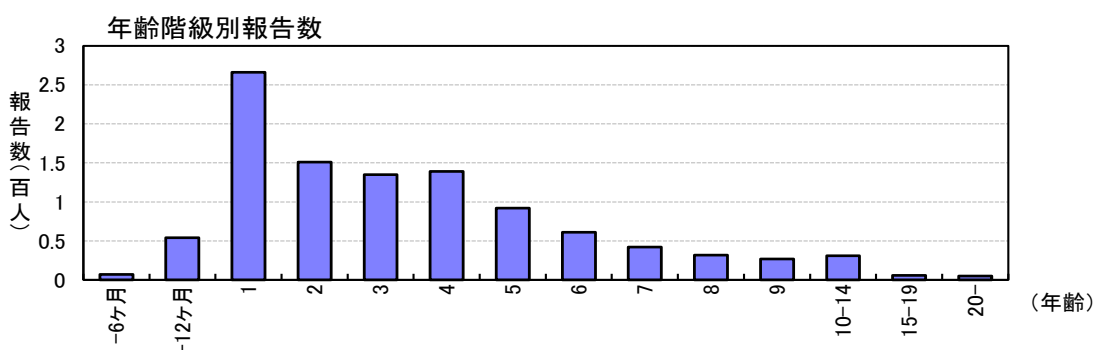
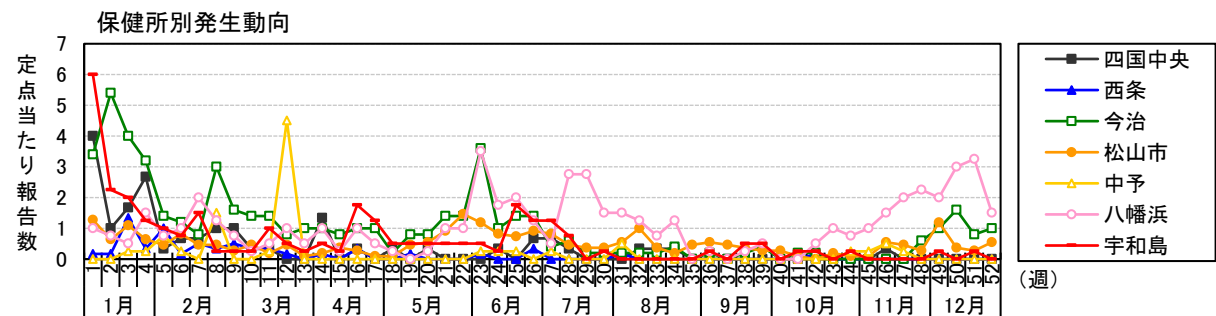
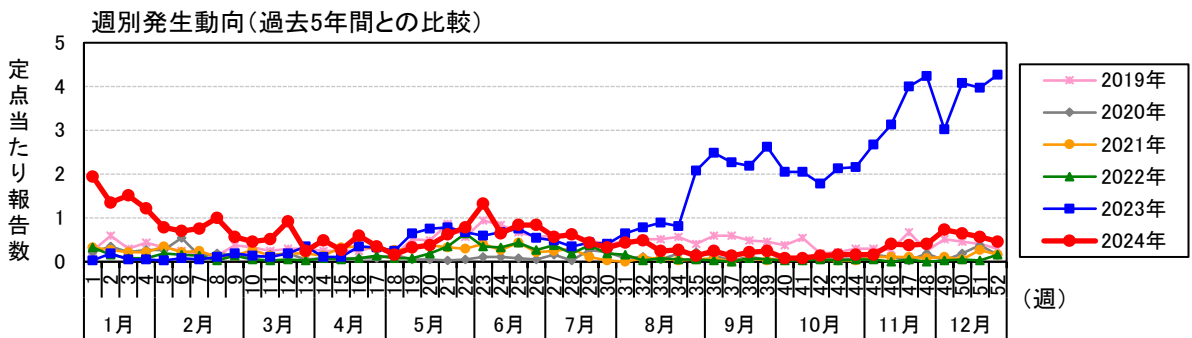


咽頭結膜熱

2024年の患者報告数は1,048人(定点当たり28.53人/年)で、過去最大規模の流行となった前年(患者報告数2,375人、定点当たり64.26人/年)の約0.4倍に減少した。前年の流行が収束することなく高い水準で始まっており、第1週(1月上旬)に最高値となる定点当たり2.00人/週となった。その後、緩やかな減少を経て収束傾向となったが、5月上旬から増加に転じた。第23週(6月上旬)にピークに達した後は再び収束したものの、11月中旬に再び増加傾向がみられた。

地域別の定点当たり報告数は、八幡浜保健所57.50人/年が最も多く、次いで今治保健所53.00人/年、宇和島保健所32.00人/年、松山市保健所26.55人/年、四国中央保健所19.33人/年、中予保健所10.50人/年、西条保健所6.83人/年の順であったが、地域によって流行の時期にばらつきがみられた。

年齢別の患者報告数は、1歳が266人(25.4%)で最も多く、次いで2歳151人(14.4%)、4歳139人(13.3%)の順であった。



咽頭結膜炎

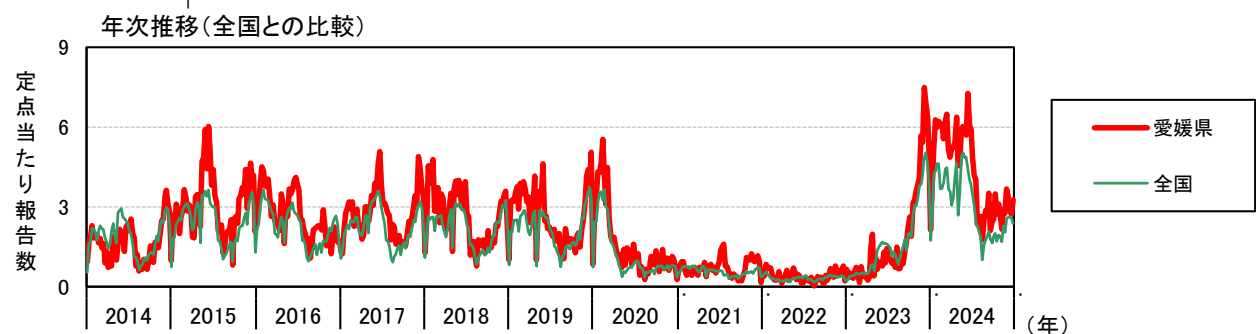
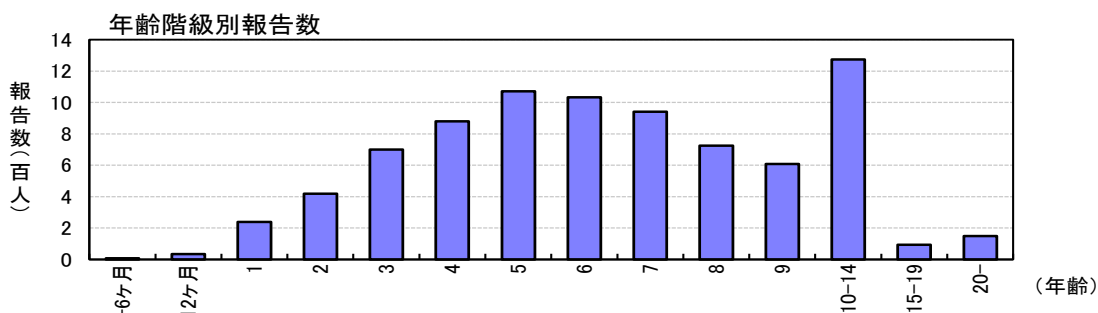
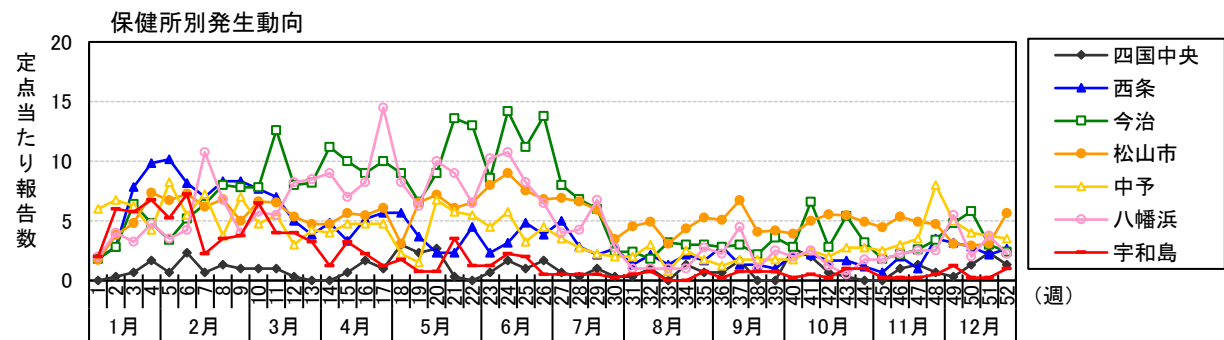
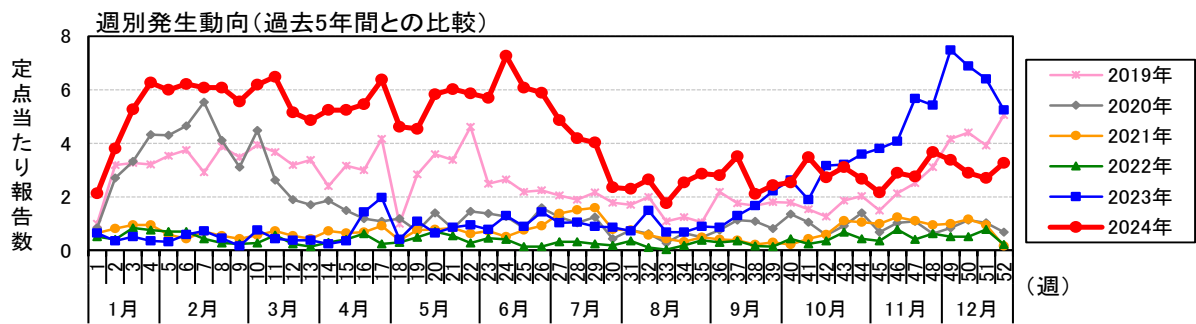
月	週	患者報告数										定点当仁L報告数																											
		2024年 保健所別					愛媛県					全国					2024年 保健所別					愛媛県					全国												
		四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024
1	1	12	1	17	14	1	24	72	1	12	4,524	364	777	4.00	0.17	3.40	1.40	6.00	2.00	0.03	0.32	1.46	0.12	0.25															
2	2	3	1	27	7	9	50	56	7	6	4,526	362	587	1.00	0.17	5.40	0.64	2.25	1.35	0.19	0.16	1.44	0.11	0.19															
3	3	5	8	20	12	8	56	45	2	3	4,001	386	628	1.67	1.33	4.00	1.09	2.00	1.51	0.05	0.08	1.28	0.12	0.20															
4	4	8	2	16	7	5	45	45	2	3	3,881	375	454	2.67	0.33	3.20	0.64	1.25	1.22	0.05	0.08	1.24	0.12	0.14															
5	5	1	6	7	5	3	29	4	1	7	3,602	406	534	0.33	1.00	1.40	0.45	1.00	0.78	0.03	0.19	1.15	0.13	0.17															
6	6	2	1	6	9	4	3	26	3	6	3,347	389	410	0.67	0.17	1.20	0.82	0.75	0.70	0.05	0.16	1.07	0.12	0.13															
7	7	2	3	4	5	6	28	2	5	5	2,887	529	416	0.67	0.50	0.80	0.45	2.00	1.50	0.08	0.14	0.91	0.17	0.13															
8	8	3	2	15	5	6	37	1	4	1	2,643	494	322	1.00	0.33	3.00	0.45	1.50	1.00	0.11	0.03	0.84	0.16	0.10															
9	9	3	3	8	5	3	21	4	7	5	2,994	487	331	1.00	0.50	1.60	0.27	0.75	0.57	0.19	0.14	0.95	0.15	0.11															
10	10	1	2	7	5	1	17	5	5	2	2,748	528	306	0.33	0.33	1.40	0.45	0.25	0.46	0.14	0.05	0.88	0.17	0.10															
11	11	1	2	7	2	1	4	19	4	1	2,593	530	302	0.33	0.33	1.40	0.18	1.00	0.51	0.11	0.03	0.83	0.17	0.10															
12	12	1	1	4	5	18	34	7	2	2	2,199	505	230	0.80	0.17	0.80	0.45	4.50	0.92	0.19	0.05	0.70	0.16	0.07															
13	13	1	1	5	1	1	1	9	13	1	1,971	578	214	1.00	0.09	1.00	0.09	0.50	0.24	0.36	0.03	0.63	0.18	0.07															
14	14	4	1	5	2	2	18	4	4	3	1,770	541	233	1.33	0.17	1.00	0.18	1.00	0.49	0.11	0.08	0.57	0.17	0.07															
15	15	4	4	4	4	1	10	4	4	3	1,764	615	223	0.33	0.33	0.80	0.36	0.25	0.27	0.11	0.06	0.56	0.20	0.07															
16	16	1	2	5	3	3	7	22	13	3	2,109	828	308	0.33	0.33	1.00	0.27	1.00	0.75	0.59	0.08	0.67	0.26	0.10															
17	17	1	1	5	1	2	5	13	12	5	2,193	978	390	1.00	0.09	1.00	0.09	0.50	0.35	0.32	0.14	0.70	0.31	0.12															
18	18	1	1	4	1	1	2	6	9	3	1,566	882	360	0.33	0.17	0.20	0.09	0.25	0.16	0.24	0.08	0.50	0.28	0.11															
19	19	4	1	4	5	5	12	12	24	3	2,137	1,444	554	0.33	0.17	0.80	0.45	0.50	0.32	0.65	0.08	0.68	0.46	0.18															
20	20	1	1	4	6	2	2	14	28	7	2,228	1,414	571	0.33	0.33	0.80	0.55	0.80	0.38	0.76	0.19	0.71	0.45	0.18															
21	21	1	1	7	10	4	2	23	29	13	2,603	2,016	997	0.67	0.33	1.40	0.91	1.00	0.50	0.62	0.78	0.35	0.83	0.64	0.32														
22	22	2	2	7	16	2	2	29	25	24	2,629	1,931	1,144	1.40	0.33	1.40	1.45	1.00	0.78	0.69	0.65	0.84	0.62	0.36															
23	23	1	1	18	13	1	14	49	22	13	2,798	2,166	1,314	0.33	0.17	3.60	1.18	0.25	1.32	0.59	0.35	0.89	0.69	0.42															
24	24	1	1	5	9	1	7	1	24	25	2,896	2,093	1,301	0.33	0.17	1.00	0.82	0.25	0.65	0.68	0.32	0.92	0.67	0.41															
25	25	2	2	7	8	1	5	31	28	16	2,704	1,924	1,347	0.67	0.33	1.40	0.73	2.00	0.84	0.76	0.43	0.86	0.61	0.43															
26	26	2	2	7	10	1	5	31	20	10	2,838	1,775	1,364	0.67	0.33	1.40	0.91	1.25	0.84	0.54	0.27	0.74	0.56	0.43															
27	27	2	2	2	9	1	5	21	18	14	2,114	1,629	1,185	0.67	0.33	0.40	0.82	0.25	0.57	0.49	0.38	0.67	0.52	0.38															
28	28	1	1	3	5	5	3	11	13	7	1,878	1,747	1,096	0.33	0.33	0.60	0.45	0.75	0.62	0.35	0.19	0.60	0.56	0.35															
29	29	1	1	1	4	4	11	16	16	14	1,576	1,587	623	0.33	0.33	0.20	0.36	2.75	0.43	0.43	0.38	0.50	0.50	0.20															
30	30	1	1	1	4	1	1	12	15	7	1,506	1,681	544	0.33	0.33	0.20	0.36	1.50	0.32	0.41	0.19	0.48	0.53	0.17															
31	31	1	1	1	6	2	6	16	24	6	1,346	1,998	398	0.33	0.17	0.20	0.55	0.50	0.43	0.65	0.16	0.43	0.64	0.13															
32	32	1	1	1	11	5	5	18	29	1	1,339	1,784	259	0.33	0.33	0.20	1.10	0.25	0.50	0.78	0.03	0.43	0.58	0.08															
33	33	1	1	1	4	4	9	9	33	3	713	1,955	226	0.33	0.33	0.20	0.40	0.75	0.25	0.89	0.08	0.24	0.63	0.07															
34	34	1	1	2	2	2	2	10	30	2	913	2,132	231	0.33	0.33	0.40	0.18	1.25	0.27	0.81	0.05	0.29	0.68	0.07															
35	35	5	5	5	5	5	5	77	2	2	825	3,077	219	0.33	0.33	0.40	0.45	0.25	0.14	2.08	0.05	0.26	0.98	0.07															
36	36	1	1	1	6	1	1	9	92	1	915	3,972	190	0.33	0.33	0.20	0.55	0.25	0.24	2.49	0.03	0.29	1.26	0.06															
37	37	5	5	5	5	5	5	84	8	2	923	4,578	215	0.33	0.33	0.20	0.45	0.25	0.14	2.27	0.08	0.29	1.46	0.07															
38	38	1	1	1	4	1	2	8	81	3	795	4,145	137	0.33	0.33	0.40	0.36	0.50	0.22	2.19	0.08	0.25	1.32	0.04															
39	39	3	3	2	3	3	2	9	97	2	717	5,724	168	0.33	0.33	0.40	0.30	0.50	0.25	2.62	0.05	0.23	1.82	0.05															
40	40	3	3	3	3	3	3	76	1	1	747	5,846	156	0.33	0.33	0.20	0.30	0.25	0.08	2.05	0.03	0.24	1.86	0.05															
41	41	1	1	1	1	1	1	3	76	2	701	5,507	148	0.33	0.33	0.20	0.10	0.25	0.08	2.11	0.03	0.22	1.75	0.05															
42	42	1	1	1	1	1	1	5	66	2	589	6,811	201	0.33	0.33	0.20	0.20	0.25	0.14	1.78	0.05	0.19	2.16	0.06															
43	43	4	4	4	4	4	4	6	79	1	678	7,655	227	0.33	0.33	0.20	0.20	1.00	0.17	2.14	0.03	0.22	2.43	0.07															
44	44	1	1	1	1	1	1	6	80	2	787	7,732	249	0.33	0.33	0.10	0.10	0.25	0.17	2.16	0.05	0.25	2.46	0.08															
45	45	1	1	1	1	1	1	6	99	2	677	10,199	276	0.33	0.33	0.10	0.10	0.25	0.17	2.68	0.05	0.22	3.24	0.09															
46	46	1	1	6	6	2	6	15	116	6	844	10,327	263	0.33	0.33	0.60	0.60	0.50	0.42	3.14	0.05	0.27	3.29	0.08															
47	47	1	1	8	8	1	8	14	148	2	887	11,140	306	0.33	0.33	0.50	0.50	0.25	0.39	4.00	0.05	0.28	3.54	0.10															
48	48	3	3	3	3	3	3	15	157	1	1,070	11,733	430	0.33	0.33	0.60	0.30	2.25	0.42	4.24	0.05	0.34	3.73	0.14															
49	49	5	5	5	5	5	5	8	112	1	1,250	10,950	421	0.33	0.33	1.00	1.30	0.25	0.75	3.03	0.03	0.40	3.48	0.13															
50	50	8	8	8	8	8	8	24	151	2	1,275	10,969	499	0.33	0.33	1.60	0.40	0.25	0.67	4.08	0.05	0.41	3.49	0.16															
51	51	4	4	4	4	4	4	21	147	1	1,391	10,413	587	0.33	0.33	0.80	0.30	0.25	0.58	3.97	0.03	0.44	3.31	0.19															
52	52	5	5	5	5	5	5	17	158	6	1,358	8,264	419	0.33	0.33	1.00	0.60	1.50	0.47	4.27	0.16	0.43	2.66	0.14															
合計		58	41	265	284	42	230	1,048	2,375	251	99,435	178,095	25,290	19.33	6.83	53.00	26.55	32.00	28.53	64.26	6.80	31.76	56.72	8.05															

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2024年の患者報告数は8,176人(定点当たり222.29人/年)で、前年(患者報告数3,415人、定点当たり92.36人/年)の約2.4倍に増加し、1999年の調査開始以降で最も大きな発生規模となった。前年の流行が収束することなく比較的高い水準から始まり、第4週(1月下旬)にかけて急増し定点当たり6.27人/週に達した。以降は高止まりが続いたが、第24週(6月中旬)に急増し、定点当たり7.27人/週となるピークに達した。その後は減少したものの、8月中旬以降も比較的高い水準を維持したまま推移した。通年で、収束することなく高い水準で発生が継続する発生動向であった。

地域別の定点当たり報告数は、今治保健所317.40人/年が最も多く、次いで松山市保健所287.20人/年、八幡浜保健所251.00人/年、中予保健所202.50人/年、西条保健所194.17人/年、宇和島保健所95.50人/年、四国中央保健所49.67人/年の順であった。地域によって発生動向が異なっており、西条保健所、中予保健所、宇和島保健所、は1月から2月上旬にかけての流行以降は減少傾向に転じたのに対し、今治保健所、八幡浜保健所は1月から6月にかけて増加傾向となった。松山市保健所は比較的高い水準で通年を横ばいで推移し、四国中央保健所は大きな流行はみられなかった。

年齢別の患者報告数は、10~14歳が1,275人(15.6%)で最も多く、次いで5歳1,071人(13.1%)、6歳1,033人(12.6%)の順であり、特に1~9歳までが6,617人と全体の80.9%を占めた。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

月	週	患者報告数										定点当たり報告数														
		愛媛県					全国					愛媛県					全国									
		西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024
1	1	11	9	19	24	8	79	24	19	5,404	673	1,223	1.83	1.80	1.90	6.00	2.00	2.00	2.19	0.65	0.51	1.74	0.21	0.39		
1	2	17	14	42	27	16	141	13	15	8,867	867	1,471	2.83	2.80	3.82	6.75	4.00	6.00	3.81	0.35	0.41	2.83	0.27	0.47		
1	3	47	32	53	25	23	195	19	31	13,389	1,264	1,771	7.83	6.40	4.82	6.25	3.25	5.75	5.27	0.51	0.84	4.28	0.40	0.56		
1	4	59	24	81	17	27	232	13	28	13,621	1,271	1,504	9.83	4.80	7.36	4.25	4.75	6.75	6.27	0.35	0.76	4.35	0.40	0.48		
2	5	61	17	74	33	21	222	12	26	14,491	1,387	1,246	10.17	3.40	6.73	8.25	3.50	6.00	6.22	0.32	0.70	4.63	0.44	0.40		
2	6	49	26	80	22	29	230	22	26	14,500	1,312	987	8.17	5.20	7.27	5.50	4.25	7.25	6.22	0.59	0.70	4.63	0.42	0.31		
2	7	2	42	32	68	29	225	27	16	11,539	1,648	985	7.00	6.40	6.18	7.25	10.75	6.08	6.08	0.73	0.43	3.68	0.52	0.31		
2	8	4	50	40	75	15	225	17	10	11,591	1,472	855	8.33	8.00	6.82	3.75	6.75	6.08	6.08	0.46	0.27	3.70	0.47	0.27		
2	9	3	50	39	55	28	206	6	9	12,225	1,510	802	1.00	8.33	5.00	7.00	4.00	3.75	5.57	0.16	0.24	3.90	0.48	0.25		
3	10	3	46	39	73	19	223	26	10	13,810	1,607	824	7.67	7.80	6.64	4.75	5.75	6.19	6.19	0.76	0.27	4.41	0.51	0.26		
3	11	3	42	63	72	22	240	16	21	14,057	1,620	866	7.00	12.60	6.55	5.50	5.50	6.49	6.49	0.43	0.57	4.48	0.52	0.28		
3	12	1	30	40	59	12	191	14	9	11,525	1,503	635	0.33	8.00	5.36	3.00	8.25	5.16	4.00	0.38	0.24	3.67	0.48	0.20		
3	13	23	41	52	17	34	180	14	5	11,176	1,625	697	3.83	8.20	4.73	4.25	8.50	4.86	3.39	0.14	3.57	0.52	0.22			
4	14	29	56	52	16	36	194	9	11	9,573	1,541	664	4.83	11.20	4.73	4.00	9.00	5.24	5.24	0.24	0.31	3.06	0.49	0.21		
4	15	2	20	50	62	19	228	13	15	10,404	1,846	786	0.67	3.33	5.64	4.75	7.00	3.25	5.24	0.35	0.42	3.32	0.59	0.25		
4	16	5	31	45	60	19	202	53	23	12,807	2,520	908	5.17	9.00	5.45	4.75	8.25	5.46	4.09	1.43	0.64	4.09	0.80	0.29		
4	17	3	34	50	67	19	236	73	9	14,541	2,594	752	1.00	10.00	6.09	6.09	14.50	6.38	6.38	1.97	0.25	4.65	0.80	0.24		
5	18	9	34	45	34	7	171	15	11	8,342	1,837	574	3.00	9.00	3.09	2.25	8.25	4.62	4.62	0.41	0.31	2.69	0.59	0.18		
5	19	7	22	33	72	6	168	40	18	11,134	3,155	846	3.67	6.60	6.55	1.50	6.25	4.54	7.27	1.08	0.49	3.55	1.01	0.27		
5	20	8	14	45	79	3	216	24	26	15,438	4,203	1,020	2.67	3.33	7.18	6.75	10.00	5.84	6.08	0.38	0.70	4.91	1.34	0.32		
5	21	1	14	68	67	23	223	36	20	15,820	4,678	948	2.33	13.60	6.09	5.75	9.00	6.03	6.03	0.86	0.54	5.04	1.49	0.30		
5	22	27	65	72	22	26	217	26	17	15,224	4,951	1,091	4.50	13.00	6.55	5.50	6.50	5.86	5.86	0.75	0.27	4.85	1.58	0.35		
6	23	2	14	43	88	18	211	29	10	15,332	5,255	1,078	0.67	8.60	8.00	4.50	10.25	1.25	5.70	0.78	0.46	4.88	1.68	0.34		
6	24	5	19	71	99	23	269	48	15	14,024	5,093	1,174	3.17	14.20	9.00	5.75	10.75	7.27	7.27	1.30	0.41	4.46	1.62	0.37		
6	25	3	29	56	83	13	225	33	8	12,686	5,133	1,100	4.83	11.20	7.55	3.25	8.25	6.08	6.08	0.89	0.14	4.04	1.63	0.35		
6	26	5	23	69	75	18	218	53	5	12,021	5,037	1,032	1.67	13.80	6.82	4.50	6.50	5.89	5.89	1.43	0.14	3.83	1.60	0.33		
7	27	2	30	40	76	14	180	38	12	10,730	4,811	1,248	5.00	8.00	6.91	3.50	4.00	4.86	4.86	1.03	0.32	3.42	1.53	0.40		
7	28	1	17	34	73	11	172	39	12	9,437	4,551	1,318	2.83	6.80	6.64	2.75	4.25	4.19	4.03	1.05	0.32	3.00	1.45	0.42		
7	29	3	13	30	65	9	149	33	9	7,491	3,561	826	1.00	6.00	5.91	2.25	6.75	4.03	4.03	0.89	0.24	2.38	1.13	0.26		
7	30	1	16	12	38	8	87	32	7	7,107	4,147	889	2.67	2.40	3.45	2.00	2.75	2.35	2.35	0.86	0.19	2.26	1.32	0.28		
8	31	8	12	50	8	4	85	27	13	6,396	3,868	881	1.33	2.40	4.55	2.00	1.00	2.30	2.30	0.73	0.35	2.03	1.23	0.28		
8	32	3	13	9	54	12	98	55	4	5,885	3,092	614	2.17	1.80	5.40	3.00	1.00	2.72	2.72	1.49	0.11	1.89	1.00	0.20		
8	33	8	16	34	3	4	65	25	1	2,963	2,566	568	1.33	3.20	3.40	0.75	1.00	1.81	1.81	0.68	0.03	1.01	0.83	0.18		
8	34	4	13	15	48	10	94	25	7	4,916	3,547	659	2.17	3.00	4.36	2.50	1.00	2.54	2.54	0.68	0.19	1.57	1.13	0.21		
8	35	2	10	15	58	7	106	33	14	5,506	4,239	892	1.67	3.00	5.27	1.75	2.75	2.86	2.86	0.89	0.38	1.75	1.35	0.28		
9	36	2	17	14	56	5	104	32	11	5,920	4,857	899	2.83	2.80	5.09	1.25	2.25	2.81	2.81	0.86	0.30	1.89	1.54	0.29		
9	37	5	8	15	74	7	130	48	13	6,515	5,596	960	1.33	3.00	6.73	1.75	4.50	3.51	3.51	1.30	0.35	2.07	1.78	0.31		
9	38	8	11	45	7	4	78	62	6	5,582	4,286	797	1.33	2.20	4.09	1.75	1.00	2.10	2.10	1.68	0.16	1.78	1.36	0.25		
9	39	6	18	46	7	10	90	82	5	5,146	6,188	1,038	1.00	3.60	4.60	1.75	2.50	2.50	2.50	2.22	0.14	1.64	1.97	0.33		
10	40	8	13	14	43	7	94	97	16	6,040	6,338	1,185	2.67	2.80	4.30	1.75	2.00	2.61	2.61	2.62	0.43	1.92	2.02	0.38		
10	41	6	13	33	55	10	129	70	9	6,280	5,909	1,113	2.00	6.60	5.50	2.50	2.50	3.58	3.58	1.94	0.24	2.00	1.88	0.35		
10	42	2	10	14	61	8	101	117	13	5,334	8,420	1,316	1.67	2.80	6.10	2.00	1.25	2.81	2.81	3.16	0.35	1.70	2.67	0.42		
10	43	1	7	27	60	11	115	119	25	6,098	9,634	1,387	1.67	5.40	6.00	2.75	0.50	3.19	3.19	3.22	0.68	1.94	3.06	0.44		
10	44	7	16	54	11	7	99	133	16	5,977	9,574	1,191	1.17	3.20	5.40	2.75	1.75	2.75	2.75	3.59	0.43	1.91	3.04	0.38		
11	45	4	9	49	10	7	80	141	13	5,301	10,523	1,287	0.67	1.80	4.90	2.50	1.75	2.22	2.22	3.81	0.35	1.69	3.34	0.41		
11	46	3	12	11	59	12	107	151	29	7,179	11,956	1,249	2.00	2.20	5.90	3.00	2.25	2.97	2.97	4.08	0.78	2.29	3.80	0.40		
11	47	4	6	13	54	14	102	210	15	6,404	12,128	1,111	1.33	2.60	5.40	3.50	2.50	2.83	2.83	5.68	0.41	2.04	3.86	0.35		
11	48	2	21	17	32	10	136	20	23	8,105	13,118	1,165	0.67	3.40	5.20	8.00	2.50	3.78	3.78	5.43	0.62	2.58	4.17	0.37		
11	49	1	19	24	34	20	125	277	16	8,193	15,198	1,164	0.33	4.80	3.40	5.00	5.50	1.25	3.47	7.49	0.51	2.61	4.83	0.37		
12	50	4	17	29	32	16	107	255	19	8,195	15,837	1,333	2.83	5.80	3.20	4.00	2.00	2.97	2.97	6.89	0.51	2.61	5.04	0.42		
12	51	7	13	15	34	15	100	237	29	8,222	14,726	1,186	2.17	3.00	3.40	3.75	3.75	2.78	2.78	6.41	0.78	2.62	4.69	0.38		
12	52	4	16	12	62	14	121	194	8	7,469	11,970	794	2.67	2.40	6.20	3.50	2.25	3.36	3.36	5.24	0.22	2.38	3.85	0.26		
	合計	149	1,165	1,587	3,079	810	1,004	382	8,176	49,932	266,242	52,909	194.17	317.40	287.20	202.50	251.00	222.29	222.29	92.36	20.54	158.39	84.79	16.84		

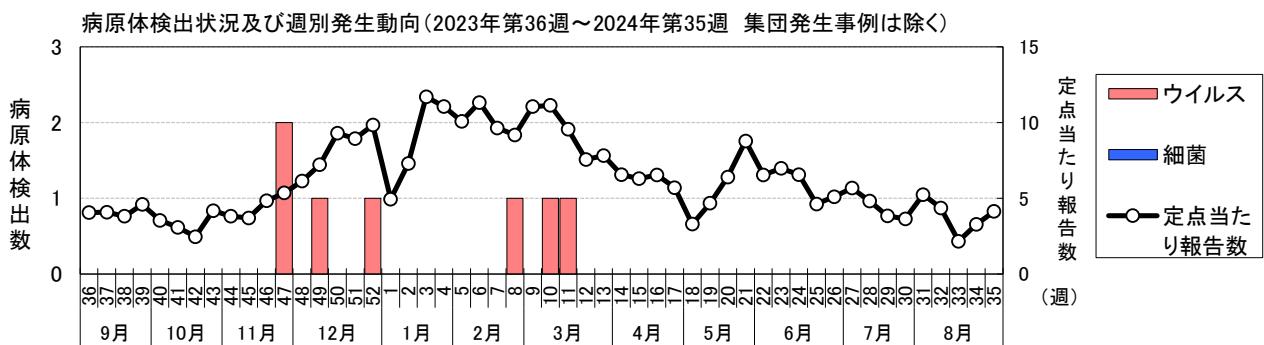
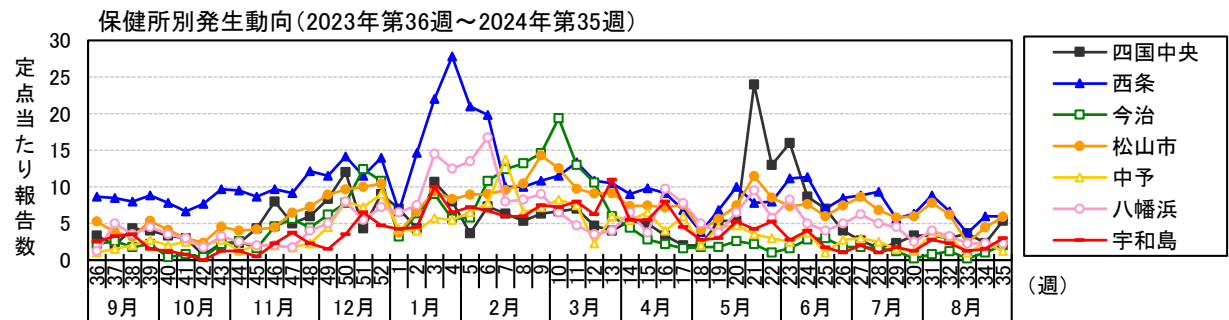
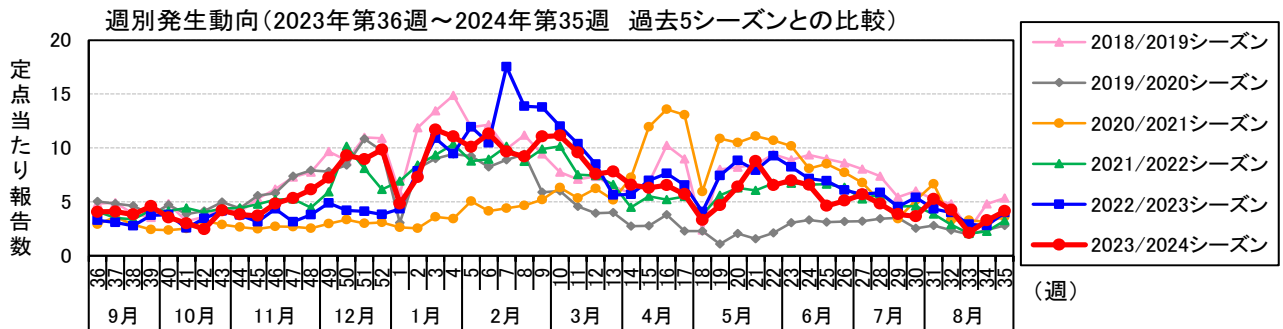
感染性胃腸炎

2023/2024 シーズン(2023年第36週～2024年第35週)の患者報告数は12,068人(定点当たり326.56人/シーズン)であり、前シーズン(患者報告数12,241人、定点当たり330.99人/シーズン)と同程度の発生規模であった。11月中旬から報告数が増加傾向となり、2023年第52週(12月下旬)には定点当たり9.84人/週に達した。第1週に一旦急減となった後、急増し第3週(1月中旬)に定点あたり11.70人/週となった。以降は高止まりとなり、3月中旬から減少傾向となったが、第18週(5月上旬)に再度増加に転じ、第21週(5月下旬)にピークに達した後、減少傾向となった。

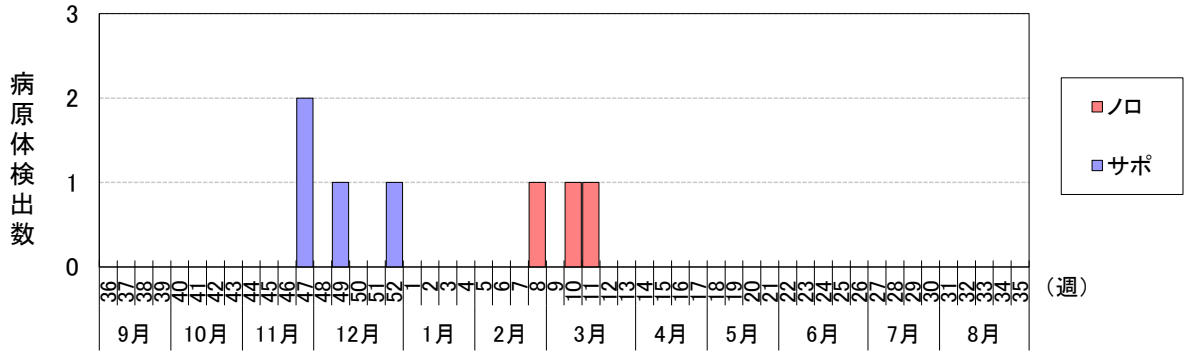
地域別の定点当たり報告数をみると、西条保健所525.83人/シーズンが最も多く、次いで松山市保健所368.44人/シーズン、四国中央保健所292.33人/シーズン、八幡浜保健所291.75人/シーズン、今治保健所238.20人/シーズン、中予保健所208.75人/シーズン、宇和島保健所201.75人/シーズンの順であった。特に西条保健所では1～2月、今治保健所では2～3月、四国中央保健所では5～6月にかけてそれぞれ大きな流行となった。

年齢別の患者報告数は10～14歳が1,460人(12.1%)と最も多く、次いで1歳1,362人(11.3%)、2歳1,253人(10.4%)の順であった。

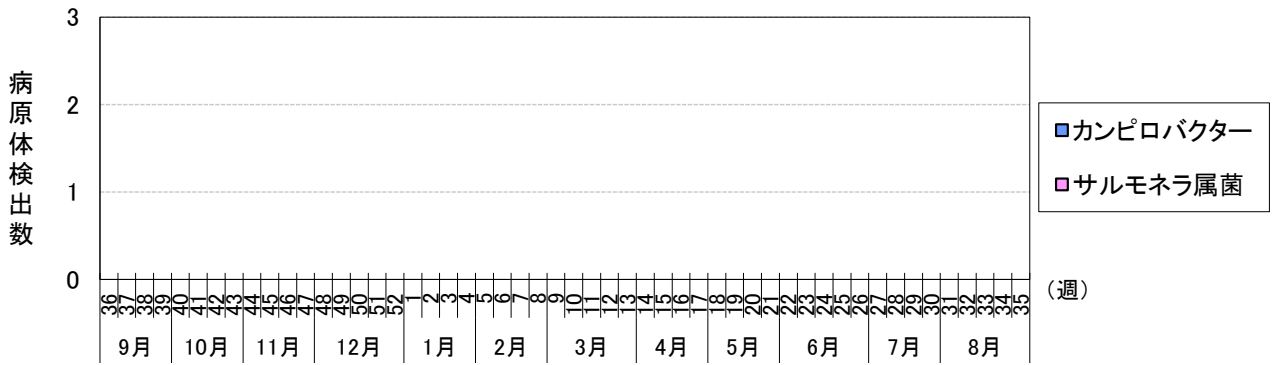
病原体は11～12月にかけてサポウイルスが4例、2～3月にかけてノロウイルスが3例検出された。



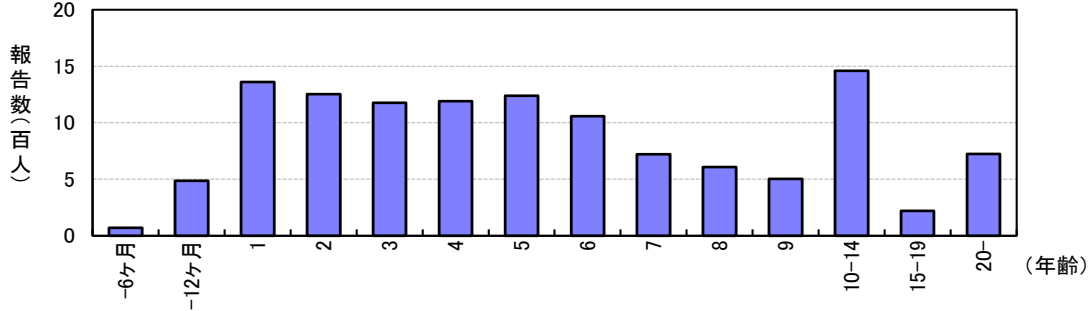
(ウイルス検出状況 詳細)



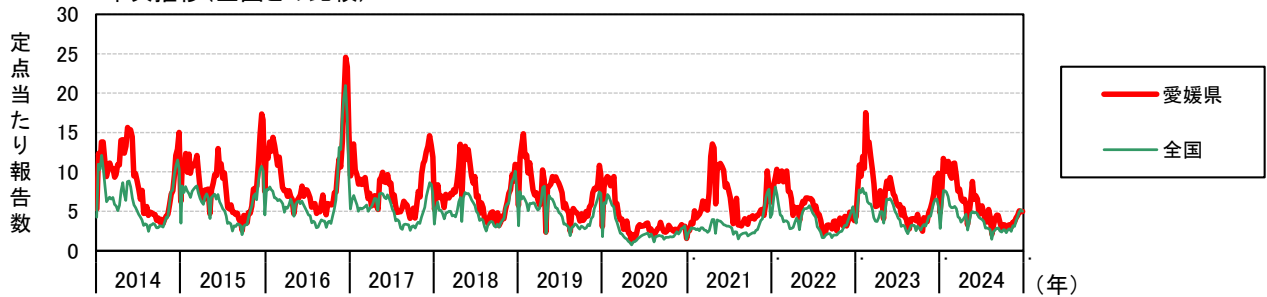
(細菌検出状況 詳細)



年齢階級別報告数(2023年第36週~2024年第35週)



年次推移(全国との比較)



感染性胃腸炎【2023/2024シーズン(2023年第36週～2024年第35週)】

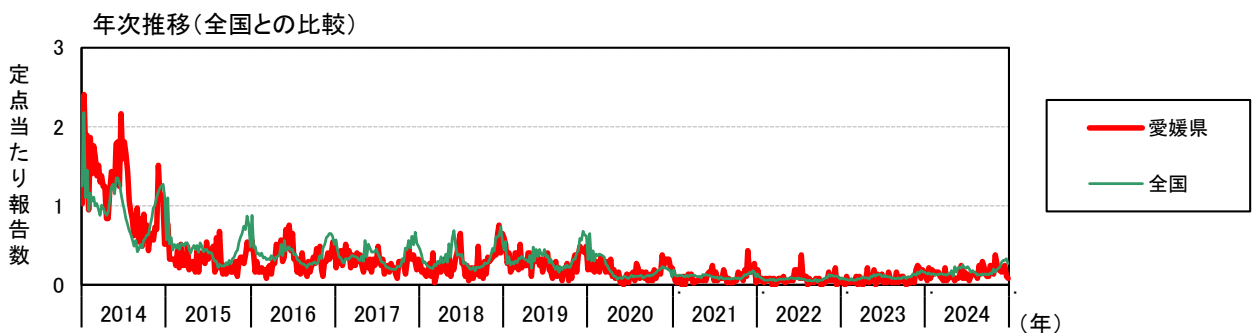
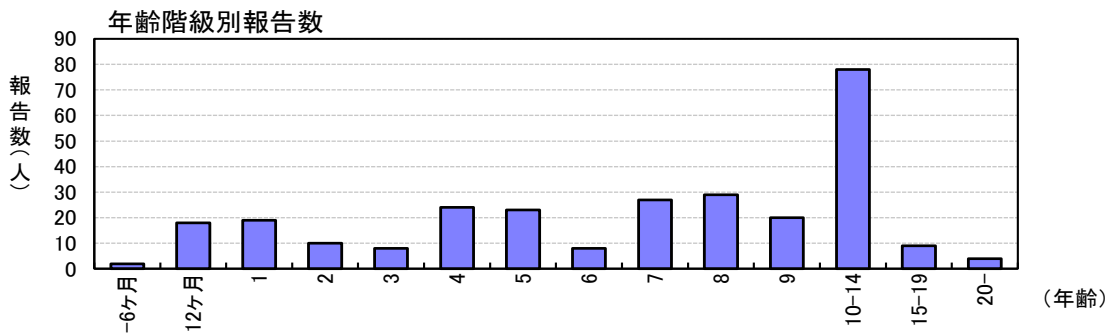
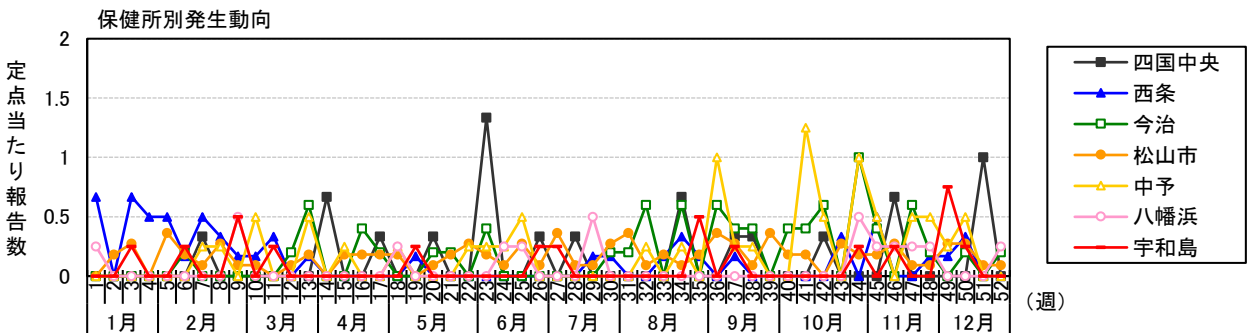
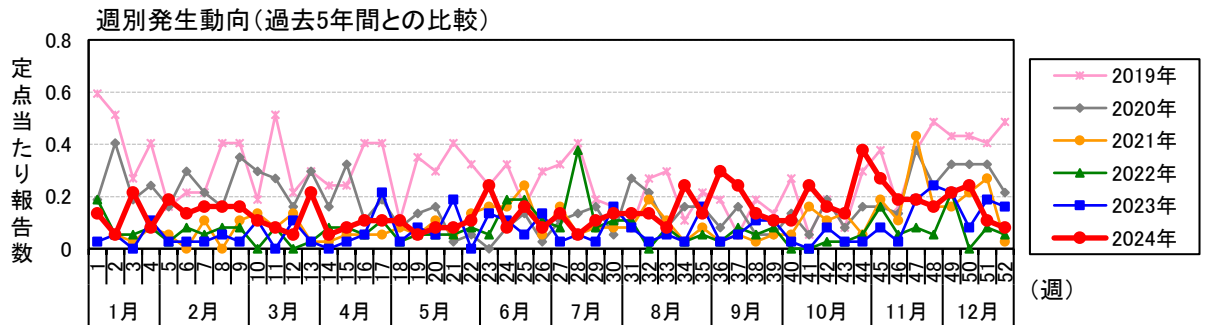
月	週	患者報告数											定点当たり報告数														
		2023/2024シーズン						愛媛県					全国														
		四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2023/2024	2022/2023	2021/2022	2023	2022	2021	2023	2022	2021	2023	2022	2021							
9	36	10	52	11	58	4	5	10	150	121	151	6,791	7,063	3.33	8.67	2.20	5.27	1.00	1.25	2.50	4.05	3.27	4.08	3.23	2.16	2.24	
9	37	6	51	13	42	6	20	13	151	114	130	6,787	7,149	2.00	8.50	2.60	3.82	1.50	5.00	3.50	3.25	3.08	3.51	3.21	2.16	2.27	
9	38	13	48	9	35	8	14	14	141	102	124	7,911	5,913	4.33	8.00	1.80	3.18	2.00	3.50	3.50	3.50	3.81	2.76	3.55	2.52	1.64	1.87
9	39	12	53	11	59	11	18	6	170	138	156	6,927	6,434	4.00	8.83	2.20	5.36	2.75	4.50	1.50	1.50	4.59	3.73	4.22	3.10	2.01	2.03
10	40	10	47	2	45	8	14	5	131	140	153	9,020	6,200	3.33	7.83	0.40	4.09	2.00	3.50	1.25	3.54	3.78	4.14	2.87	1.98	2.15	
10	41	9	40	4	33	10	12	3	111	95	164	8,262	7,234	3.00	6.67	0.80	3.00	2.50	3.00	0.75	3.08	2.57	4.43	2.63	1.98	2.30	
10	42	2	46	2	26	8	7	7	91	128	149	9,637	7,052	0.67	7.67	0.40	2.36	2.00	1.75	1.75	2.46	3.46	4.03	3.06	2.23	2.24	
10	43	4	58	11	50	11	5	5	155	153	162	7,496	7,496	2.33	9.67	2.20	4.55	2.75	2.25	1.25	4.19	4.14	4.38	3.34	2.39	2.59	
10	44	7	57	13	44	5	10	5	141	139	164	9,847	8,417	2.33	9.50	2.60	4.00	1.25	2.50	1.25	3.81	3.76	4.43	3.13	2.44	2.66	
10	45	13	52	8	46	8	8	2	137	116	176	11,665	8,773	4.33	8.67	1.60	4.18	2.00	2.00	0.50	3.70	3.14	4.76	3.71	2.79	3.23	
11	46	24	58	23	49	8	8	9	179	161	192	13,717	12,107	8.00	9.67	4.60	4.45	2.00	2.00	2.25	4.84	4.35	5.19	4.36	3.22	3.84	
11	47	15	55	28	71	7	7	15	198	116	194	13,811	10,138	5.00	9.17	5.60	6.45	1.75	1.75	3.75	5.35	3.14	5.24	4.39	3.22	4.06	
11	48	18	73	22	80	9	16	9	227	140	165	16,134	12,036	6.00	12.17	4.40	7.27	2.25	4.00	2.25	6.14	4.46	5.13	3.82	5.26	5.26	
12	49	25	69	31	98	18	20	6	267	181	219	19,021	13,802	8.33	11.50	6.20	8.91	4.50	5.00	1.50	7.22	4.89	5.92	6.05	4.38	6.66	
12	50	36	85	39	106	32	32	14	344	155	375	20,465	15,655	12.00	14.17	7.80	9.64	8.00	8.00	3.50	9.30	4.19	10.14	6.51	4.97	7.44	
12	51	13	69	62	110	29	22	26	331	152	299	20,549	17,653	4.33	11.50	12.40	10.00	7.25	5.50	6.50	8.95	4.11	8.08	6.54	5.60	7.81	
12	52	27	84	54	115	36	29	19	364	141	227	17,224	12,922	9.00	14.00	10.80	10.45	9.00	7.25	4.75	9.84	3.81	6.14	5.53	4.17	4.19	
1	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	1	21	40	16	41	17	26	17	178	161	256	8,782	10,989	7.00	6.67	3.20	4.10	4.25	6.50	4.25	4.94	4.35	6.92	2.83	3.50	4.67	
1	2	13	88	32	73	16	30	18	270	291	311	16,795	18,261	4.33	14.67	6.40	6.64	4.00	7.50	4.50	7.30	7.86	8.41	5.36	5.79	6.67	
1	3	32	132	45	103	23	58	40	433	403	346	23,875	24,310	10.67	22.00	9.00	9.36	5.75	14.50	10.00	11.70	10.89	9.35	7.63	7.71	8.08	
1	4	24	167	28	92	22	50	26	409	350	383	23,806	23,297	8.00	27.83	5.60	5.50	5.50	12.50	6.50	11.05	7.60	10.35	7.60	7.39	7.12	
2	5	11	126	29	98	26	54	29	373	442	325	23,290	24,974	3.67	21.00	5.80	8.91	6.50	13.50	7.25	10.08	11.95	8.78	7.44	7.92	5.77	
2	6	22	119	54	99	31	67	27	419	387	331	21,606	22,902	7.33	19.83	10.80	9.00	7.75	16.75	6.75	11.32	10.46	8.95	6.90	7.27	4.56	
2	7	19	60	62	105	55	32	24	357	649	375	17,961	13,743	6.33	10.00	12.40	9.55	13.75	8.00	6.00	9.65	17.54	10.14	5.73	7.33	4.38	
2	8	16	60	66	115	26	33	24	340	513	324	17,114	19,605	5.33	10.00	13.20	10.45	6.50	8.25	6.00	9.19	13.86	8.76	5.46	6.23	3.67	
2	9	19	65	73	157	29	36	30	419	517	366	17,197	18,777	6.33	10.83	14.60	14.27	7.25	9.00	7.50	11.05	13.78	9.89	5.48	5.95	3.81	
2	10	20	69	97	138	33	26	41	444	444	375	17,593	18,599	6.67	11.50	19.40	12.55	8.25	6.50	7.25	11.14	12.00	10.14	5.61	5.91	3.77	
3	11	21	80	65	107	30	19	32	354	384	278	16,698	16,869	7.00	13.33	13.00	9.73	7.50	4.75	8.00	9.57	10.38	7.51	5.33	5.38	3.56	
3	12	14	65	53	100	9	14	25	280	314	275	13,442	13,275	4.67	10.83	10.60	9.09	2.25	3.50	6.25	7.57	8.49	7.43	4.28	4.22	2.80	
3	13	12	63	30	100	24	16	44	289	208	244	12,892	11,753	4.00	10.50	6.00	9.09	6.00	4.00	11.00	7.81	5.78	6.78	4.11	3.73	2.82	
3	14	16	54	22	81	22	26	22	243	210	166	11,394	11,682	5.33	9.00	4.40	7.36	5.50	6.50	5.50	6.57	5.68	4.61	3.64	3.72	2.94	
3	15	15	59	14	82	26	15	22	233	258	204	12,101	13,166	5.00	9.83	2.80	7.45	6.50	3.75	5.50	6.30	6.97	5.67	3.86	4.20	3.56	
3	16	10	55	11	79	16	39	32	242	282	192	13,142	15,589	3.33	9.17	2.20	7.18	4.00	9.75	8.00	6.54	7.62	5.33	4.19	4.97	4.11	
3	17	6	41	8	83	24	31	18	143	242	203	14,397	15,561	2.00	6.83	1.60	7.55	6.00	7.75	4.50	5.70	6.54	5.64	4.61	4.96	3.74	
4	18	6	23	9	45	8	20	11	122	151	141	8,062	10,898	2.00	3.83	1.80	4.09	2.00	3.00	2.75	3.30	4.08	3.92	2.60	3.48	2.67	
4	19	16	41	9	62	18	15	12	173	275	207	11,425	16,540	5.33	6.83	1.80	5.64	4.50	3.75	3.00	4.68	7.43	5.89	3.64	5.27	4.17	
4	20	16	60	13	82	19	26	21	237	327	232	14,982	20,505	5.33	10.00	2.60	7.45	4.75	6.50	5.25	6.41	8.84	6.27	4.77	6.54	4.95	
4	21	72	47	11	126	14	38	17	325	293	224	15,526	20,342	24.00	7.83	2.20	11.45	3.50	9.50	4.25	8.78	7.92	6.05	4.94	6.48	5.32	
4	22	39	48	5	94	12	23	21	242	343	248	15,056	20,801	13.00	8.00	1.00	8.55	3.00	5.75	5.25	6.54	9.27	6.70	4.80	6.63	5.33	
4	23	48	67	8	81	10	33	11	258	304	248	15,278	19,722	16.00	11.17	1.60	7.36	2.50	8.25	2.75	6.97	8.22	6.70	4.86	6.29	5.44	
4	24	26	68	14	84	15	20	16	243	264	244	14,775	18,173	8.67	11.33	2.80	7.64	3.75	5.00	4.00	4.00	7.14	6.89	4.70	5.79	5.72	
4	25	21	42	15	66	4	16	7	171	257	245	13,318	16,757	7.00	7.00	3.00	6.00	1.00	4.00	1.75	4.62	6.97	6.62	4.25	4.99	5.31	
4	26	12	51	9	82	11	20	4	189	225	235	12,854	14,604	4.00	8.50	1.80	7.45	2.75	5.00	1.00	5.11	6.08	6.35	4.09	4.65	4.78	
4	27	8	53	9	95	12	25	8	210	210	194	12,415	12,999	2.67	8.83	1.80	8.64	3.00	6.25	2.00	5.68	5.68	5.24	3.95	4.14	4.56	
4	28	5	56	8	75	10	20	4	178	217	211	11,661	13,306	1.67	9.33	1.60	6.82	2.50	5.00	1.00	4.81	5.86	5.70	3.71	3.91	4.25	
4	29	7	34	6	64	6	18	7	142	168	169	9,089	9,716	2.33	5.67	1.20	5.82	1.50	4.50	1.75	3.84	4.54	4.57	2.89	3.09	3.02	
4	30	10	38	1	66	5	10	5	135	200	170	8,945	10,242	3.33	6.33	0.20	6.00	1.25	2.50	1.25	3.65	5.41	4.59	2.85	3.26	2.74	
4	31	10	53	4	86	14	16	11	194	160	143	8,784	9,738	3.33	8.83	0.80	7.82	3.50	4.00	2.75	5.24	4.32	3.86	2.79	3.10	2.38	
4	32	9	40	6	68	12	13	9	157	148	106	8,426	7,845	3.00	6.67	1.20	6.80	3.00	3.25	2.25	2.25	4.36	4.00	2.86	2.71	2.53	
4	33	11	22	1	26	4	9	5	78	108	76	4,187	6,598	3.67	3.67	0.20	2.60	1.00	2.25	1.25	2.17	2.92	2.05	1.43	2.14	1.67	
4	34	7	36	5	49	9	6	6	121	103	83	7,575	8,642	2.33	6.00	1.00	4.45	2.25	2.25	1.50	3.27	2.78	2.24	2.42	2.76	1.94	
4	35																										

水痘

2024年の患者報告数は279人(定点当たり7.62人/年)であり、前年(患者報告数146人、定点当たり3.95人/年)の約1.9倍に増加したが、過去10年の推移と比較すると、依然として低い発生水準で推移しており、2014年10月のワクチン定期接種の開始以降、明らかなピークは見られなくなった。年間を通して報告数が少なく、第44週(10月下旬)の定点当たり0.39人/週が最高値であった。

地域別の発生動向をみると、定点当たり報告数は、中予保健所10.25人/年が最も多く、次いで今治保健所9.40人/年、松山市保健所9.01人/年、四国中央保健所7.00人/年、西条保健所7.00人/年、宇和島保健所4.25人/年、八幡浜保健所3.75人/年の順であった。

年齢別の患者報告数は、10~14歳が78人(28.0%)で最も多く、次いで8歳29人(10.4%)、7歳27人(9.7%)の順であった。



水痘 【2024年第1週～2024年第52週】

月	週	患者報告数										定点点当々月報告数																				
		2024年 保健所別					愛媛県					2024年 保健所別						愛媛県			全国											
		四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	
1	1		4				5	1	7	7	441	274	452	274	441	0.67				0.18	0.27	0.25	0.14	0.03	0.19	0.15	0.09	0.14	0.05	0.14	0.08	0.10
1	2		4				2	2	2	2	302	267	450	267	302	0.67				0.27		0.25	0.05	0.05	0.05	0.14	0.08	0.14	0.08	0.10	0.09	
1	3		4				8	3	4	3	292	234	480	234	292	0.50						0.25	0.08	0.08	0.15	0.07	0.07	0.15	0.07	0.09	0.08	
1	4		3				3	4	3	3	252	230	406	230	252	0.50						0.50	0.08	0.08	0.13	0.07	0.08	0.13	0.07	0.08	0.08	
2	5		3				7	1	1	1	190	205	454	205	190	0.50				0.36		0.50	0.19	0.03	0.03	0.14	0.06	0.14	0.06	0.06	0.06	
2	6		1				1	1	3	3	181	185	427	185	181	0.17				0.18		0.17	0.14	0.03	0.08	0.14	0.06	0.14	0.06	0.06	0.06	
2	7	1	3				6	1	2	2	199	251	365	251	199	0.33				0.09	0.25	0.25	0.16	0.03	0.05	0.12	0.08	0.12	0.08	0.06	0.06	
2	8		2				6	2	3	3	193	199	399	199	193	0.33				0.27	0.25	0.50	0.16	0.05	0.08	0.13	0.06	0.13	0.06	0.06	0.06	
2	9		1				6	1	3	3	216	203	404	203	216	0.17				0.09	0.50	0.50	0.16	0.03	0.08	0.13	0.06	0.13	0.06	0.07	0.07	
2	10		1				4	4	4	4	180	187	428	180	180	0.17				0.09	0.50	0.50	0.11	0.11	0.08	0.14	0.06	0.14	0.06	0.06	0.06	
3	11		2				3	3	3	3	209	238	434	209	209	0.33				0.09	0.50	0.25	0.08	0.08	0.08	0.14	0.08	0.14	0.08	0.07	0.07	
3	12		1				2	4	4	4	168	225	410	168	168	0.17				0.20	0.50	0.50	0.05	0.11	0.08	0.13	0.08	0.13	0.08	0.05	0.05	
3	13		1				8	1	1	1	204	239	407	204	204	0.17				0.18	0.50	0.50	0.22	0.03	0.03	0.13	0.08	0.13	0.08	0.06	0.06	
4	14	2					2	2	3	3	209	302	389	302	209	0.67				0.18	0.25		0.05	0.05	0.08	0.12	0.10	0.10	0.07	0.07	0.07	
4	15						3	1	3	3	214	283	449	283	214	0.67				0.18	0.25		0.08	0.03	0.08	0.14	0.09	0.14	0.09	0.07	0.07	
4	16						4	2	2	2	225	271	451	271	225	0.67				0.18	0.25		0.11	0.05	0.06	0.14	0.09	0.14	0.09	0.07	0.07	
4	17	1					4	8	4	4	213	283	549	283	213	0.33				0.18	0.25	0.25	0.11	0.22	0.11	0.18	0.09	0.18	0.09	0.07	0.07	
5	18						4	1	1	1	225	229	333	229	225	0.17				0.18	0.25	0.25	0.11	0.03	0.03	0.11	0.07	0.11	0.07	0.07	0.07	
5	19		1				2	3	2	2	262	344	722	344	262	0.33				0.09	0.25	0.25	0.05	0.08	0.05	0.23	0.11	0.11	0.08	0.08	0.08	
5	20	1					3	2	2	2	226	312	506	312	226	0.33				0.20	0.25	0.25	0.08	0.05	0.05	0.16	0.10	0.10	0.07	0.07	0.07	
5	21		1				3	7	2	2	269	397	684	397	269	0.33				0.18	0.25	0.25	0.08	0.19	0.05	0.22	0.13	0.13	0.09	0.09	0.09	
5	22						4	4	3	3	274	346	684	346	274	0.33				0.27	0.25	0.25	0.11	0.08	0.08	0.22	0.11	0.11	0.09	0.09	0.09	
6	23	4					9	5	2	2	251	397	671	397	251	1.33				0.18	0.25	0.25	0.24	0.14	0.05	0.21	0.13	0.13	0.08	0.08	0.08	
6	24						3	4	7	7	260	401	774	401	260	0.67				0.09	0.25	0.25	0.08	0.11	0.19	0.25	0.13	0.13	0.08	0.08	0.08	
6	25						6	2	2	2	262	418	686	418	262	0.67				0.27	0.50	0.50	0.16	0.05	0.19	0.22	0.13	0.13	0.08	0.08	0.08	
6	26	1					3	5	4	4	287	325	656	325	287	0.33				0.09	0.50	0.50	0.25	0.08	0.14	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	
7	27						5	1	3	3	215	374	716	374	215	0.33				0.36		0.25	0.14	0.03	0.08	0.23	0.12	0.12	0.07	0.07	0.07	
7	28	1					2	2	1	1	241	312	635	312	241	0.33				0.09	0.50	0.50	0.05	0.05	0.38	0.20	0.10	0.10	0.08	0.08	0.08	
7	29		1				4	1	3	3	214	349	492	349	214	0.17				0.09	0.50	0.50	0.11	0.03	0.08	0.16	0.11	0.11	0.07	0.07	0.07	
7	30		1				5	6	4	4	207	299	564	299	207	0.17				0.27	0.25	0.25	0.14	0.16	0.11	0.10	0.10	0.07	0.07	0.07	0.07	
8	31						5	3	4	4	195	306	491	306	195	0.67				0.36	1.00	1.00	0.14	0.08	0.11	0.16	0.10	0.10	0.06	0.06	0.06	
8	32						5	1	1	1	159	244	456	244	159	0.67				0.10	0.25	0.25	0.14	0.03	0.08	0.15	0.08	0.08	0.05	0.05	0.05	
8	33		1				5	2	3	3	174	290	342	290	174	0.17				0.20	0.25	0.25	0.08	0.05	0.08	0.12	0.09	0.09	0.06	0.06	0.06	
8	34	2					9	1	1	1	151	251	396	251	151	0.67				0.09	0.25	0.25	0.24	0.03	0.03	0.13	0.08	0.08	0.05	0.05	0.05	
8	35		1				5	6	2	2	169	254	377	254	169	0.17				0.18	0.25	0.25	0.50	0.16	0.05	0.12	0.08	0.08	0.05	0.05	0.05	
9	36						11	1	1	1	160	288	434	288	160	0.33				0.36	1.00	1.00	0.30	0.03	0.03	0.14	0.09	0.09	0.05	0.05	0.05	
9	37	1					9	2	3	3	213	267	405	267	213	0.33				0.27	0.25	0.25	0.24	0.05	0.08	0.13	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	
9	38	1					5	4	2	2	138	241	437	241	138	0.33				0.09	0.25	0.25	0.14	0.11	0.05	0.14	0.08	0.08	0.04	0.04	0.04	
9	39						4	4	4	4	192	321	396	321	192	0.33				0.40	0.25	0.25	0.11	0.11	0.08	0.13	0.10	0.10	0.06	0.06	0.06	
10	40						4	1	1	1	190	303	412	303	190	0.67				0.40	0.25	0.25	0.40	0.20	0.08	0.13	0.10	0.10	0.06	0.06	0.06	
10	41						9	9	6	6	183	261	458	261	183	0.33				0.40	0.25	0.25	0.25	0.17	0.08	0.15	0.08	0.08	0.06	0.06	0.06	
10	42	1					6	3	1	1	236	319	455	319	236	0.33				0.30	0.50	0.50	0.17	0.08	0.03	0.14	0.10	0.10	0.08	0.08	0.08	
10	43		2				5	1	1	1	274	317	463	317	274	0.33				0.30	0.50	0.50	0.14	0.03	0.03	0.20	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	
10	44						14	1	2	2	271	321	507	321	271	0.50				0.20	1.00	1.00	0.39	0.03	0.05	0.16	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09	
11	45		3				10	3	6	6	394	427	602	427	394	0.67				0.20	0.50	0.50	0.28	0.08	0.16	0.19	0.14	0.14	0.13	0.13	0.13	
11	46	2					7	1	2	2	357	402	650	402	357	0.67				0.30	0.50	0.50	0.19	0.03	0.05	0.21	0.13	0.13	0.11	0.11	0.11	
11	47						7	7	3	3	379	363	724	363	379	0.67				0.10	0.50	0.50	0.19	0.19	0.08	0.23	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	
11	48		1				6	9	2	2	358	514	896	514	358	0.67				0.10	0.50	0.50	0.17	0.24	0.05	0.29	0.16	0.16	0.11	0.11	0.11	
12	49		1				8	8	8	8	431	431	961	431	431	0.67				0.30	0.25	0.25	0.22	0.22	0.22	0.31	0.14	0.14	0.11	0.11	0.11	
12	50		2				9	3	3	3	338	560	960	560	338	0.67				0.30	0.50	0.50	0.25	0.08	0.16	0.31	0.18	0.18	0.11	0.11	0.11	
12	51	3					4	7	3	3	323	520	1,051	520	323	1.00				0.10	0.50	0.50	0.11	0.19	0.08	0.33	0.17	0.17	0.10	0.10	0.10	
12																																

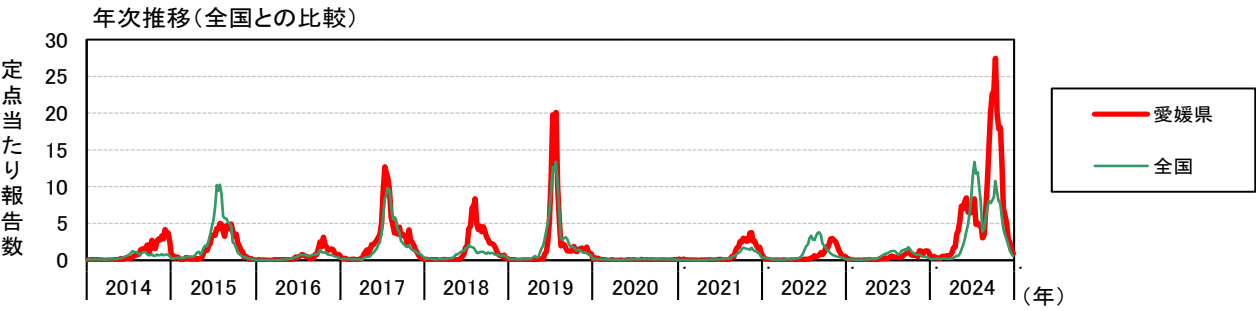
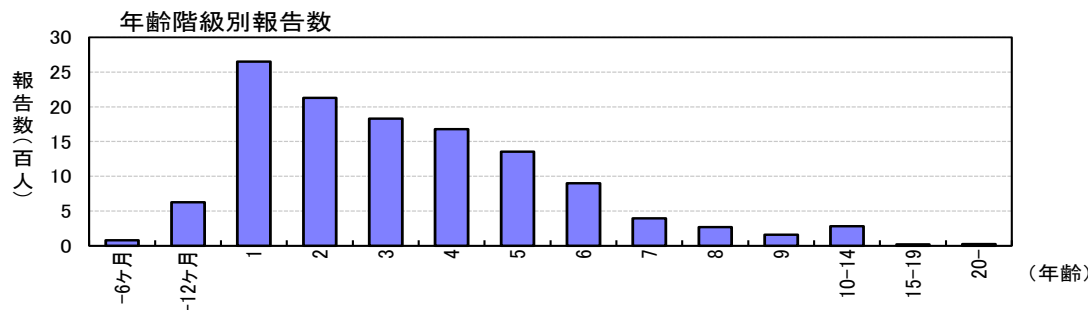
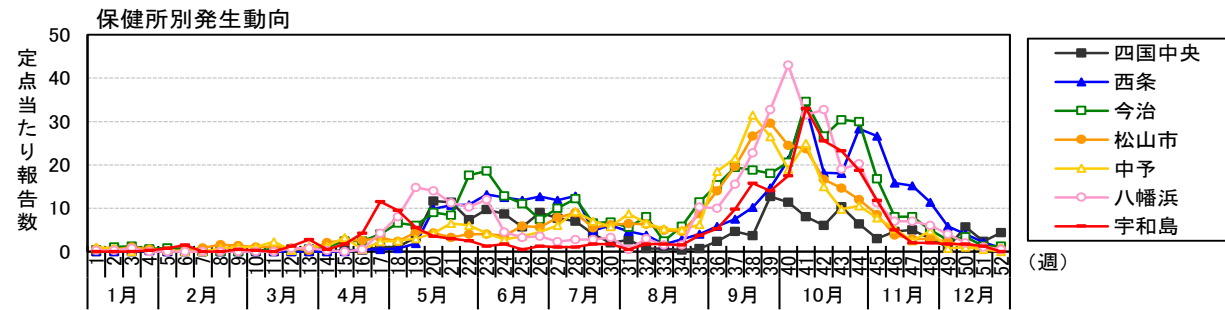
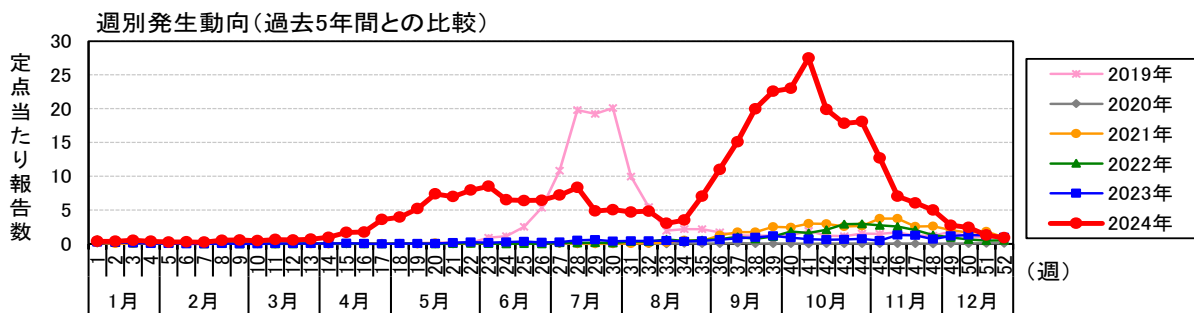
手足口病

2024年の患者報告数は12,397人(定点当たり339.92人/年)であり、前年(患者報告数813人、定点当たり21.99人/年)の約15.2倍に急増し、1999年の調査開始以降で最も大きな発生規模となった。4月上旬から増加し、第23週(6月上旬)に定点当たり8.51人/週となった。以降は高止まりとなり、7月中旬からは減少傾向となったが、第35週(8月下旬)から著しく急増し、第41週(10月上旬)には定点当たり28.25人/週と極めて高いピークに達した後、年末にかけて収束した。例年にみられない時期に大規模に流行し、二峰性の発生動向となった。

地域別の発生動向をみると、定点当たり報告数は、今治保健所442.60人/年が最も多く、次いで八幡浜保健所383.25人/年、西条保健所376.83人/年、松山市保健所337.53人/年、中予保健所313.00人/年、宇和島保健所257.00人/年、四国中央保健所189.67人/年の順であった。多くの保健所で10月に大規模な流行が発生したが、四国中央保健所は他の地域にくらべて比較的流行の規模は小さかった。

年齢別の患者報告数は、1歳が2,651人(21.4%)で最も多く、次いで2歳2,128人(17.2%)、3歳1,831人(14.8%)の順であった。特に1~6歳までが10,542人と全体の85.0%を占めた。

病原体はコクサッキーウイルスA16型が27例、コクサッキーウイルスA6型が20例、ライノウイルスが17例、コクサッキーウイルスA10型が12例、エンテロウイルス71型が2例、エンテロウイルス68型が1例検出された。

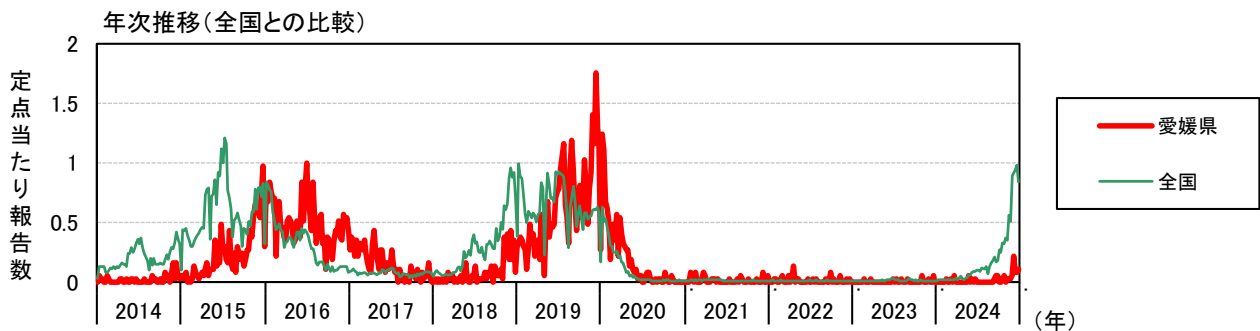
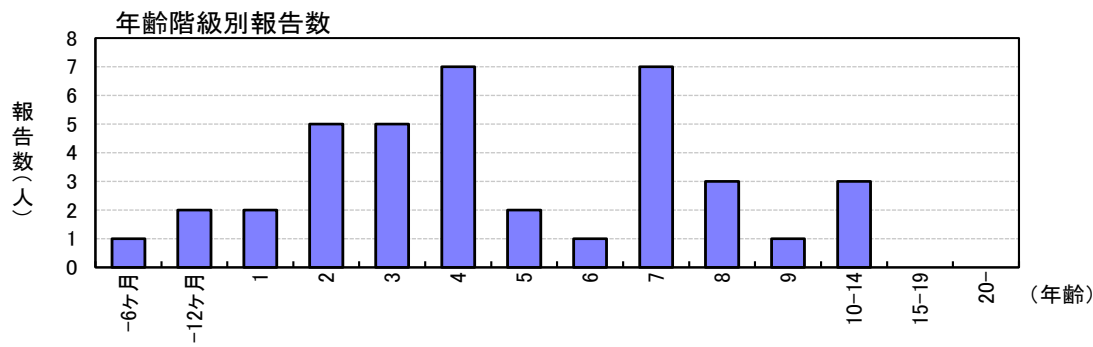
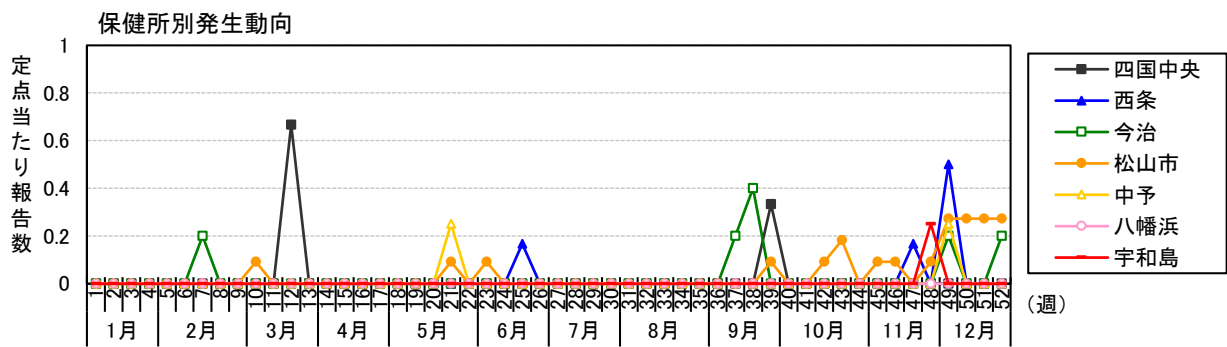
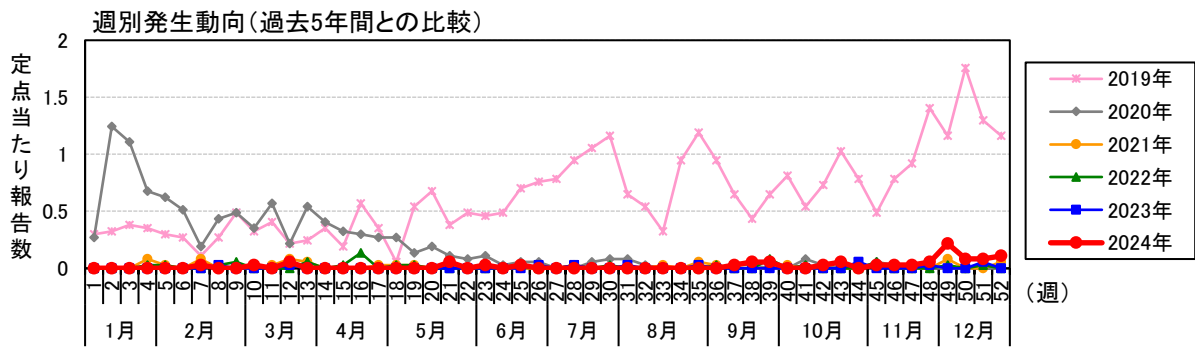


伝染性紅斑

2024年の患者報告数は39人(定点当たり1.08人/年)であり、依然として極めて低い発生水準で推移している。年間を通じて報告数は少なく、大きく変動せず推移した。

地域別の発生動向をみると、定点当たり報告数は、松山市保健所2.17人/年が最も多く、次いで今治保健所1.20人/年、四国中央保健所1.00人/年、西条保健所0.83人/年、中予保健所0.50人/年、宇和島保健所0.25人/年の順であり、八幡浜保健所からの報告はなかった。

年齢別の患者報告数は4歳および7歳が各7人(各17.9%)で最も多く、次いで2歳、3歳が各5人(各12.8%)の順であった。



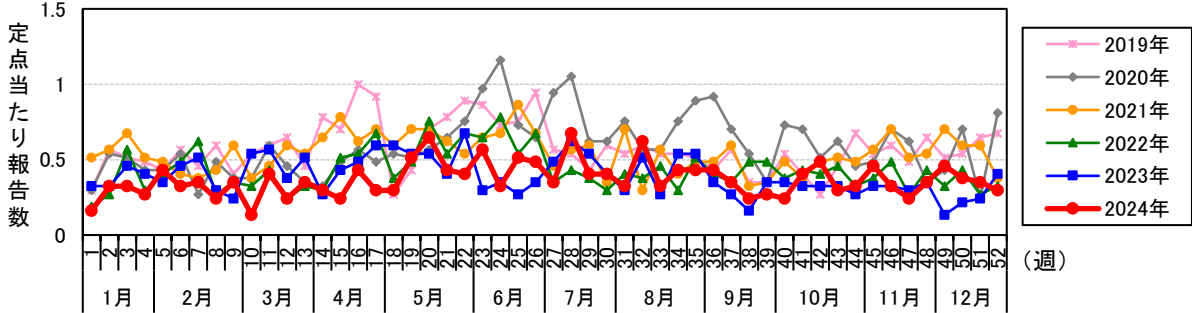
突発性発しん

2024年の患者報告数は713人(定点当たり19.44人/年)であり、前年(患者報告数756人、定点当たり20.46人/年)の約0.9倍に減少し、1999年の調査開始以降で最も小さな発生規模となった前年をさらに下回る発生規模であり、年間を通じて大きく変動せず推移した。

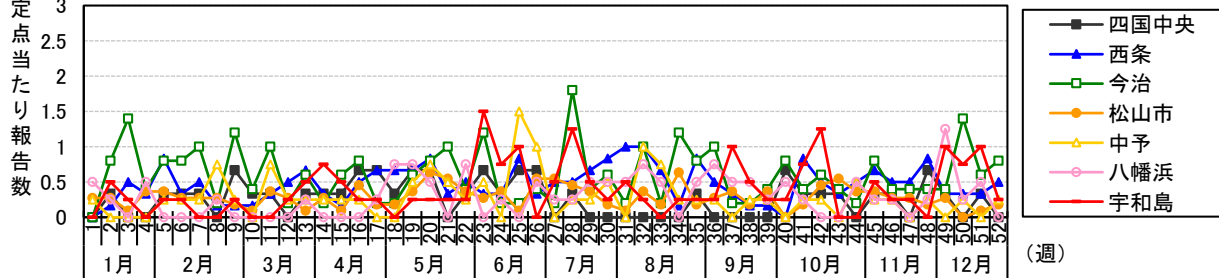
地域別の定点当たり報告数は、今治保健所31.40人/年が最も多く、次いで西条保健所24.67人/年、宇和島保健所20.25人/年、松山市保健所15.35人/年、中予保健所15.25人/年、八幡浜保健所15.25人/年、四国中央保健所13.67人/年の順であった。

年齢別の患者報告数は、1歳が399人(56.0%)で最も多く、次いで6~12か月未満が160人(22.4%)、2歳100人(14.0%)の順であった。

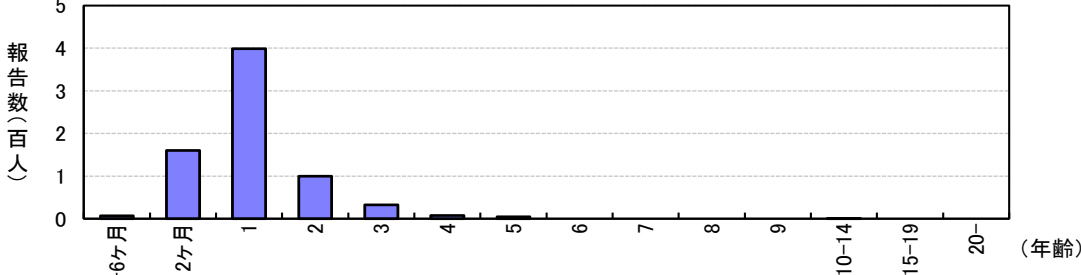
週別発生動向(過去5年間との比較)



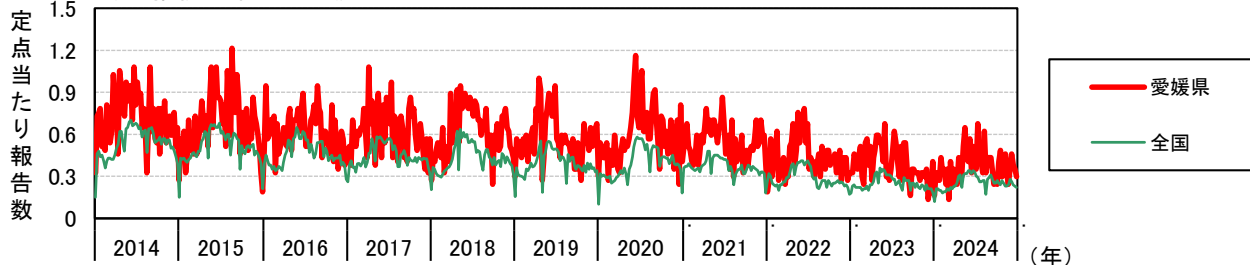
保健所別発生動向



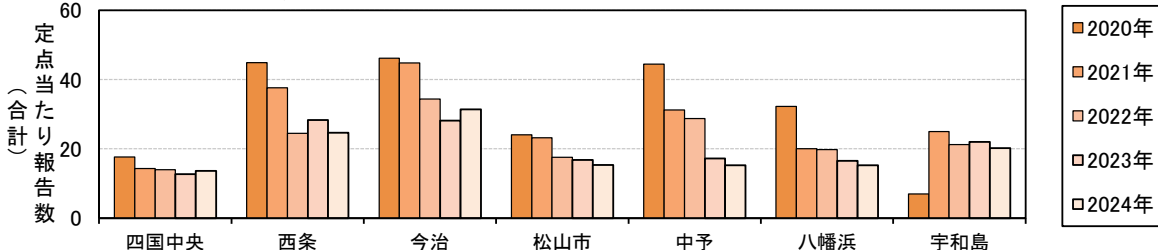
年齢階級別報告数



年次推移(全国との比較)



保健所別年間報告数



突発性発しん

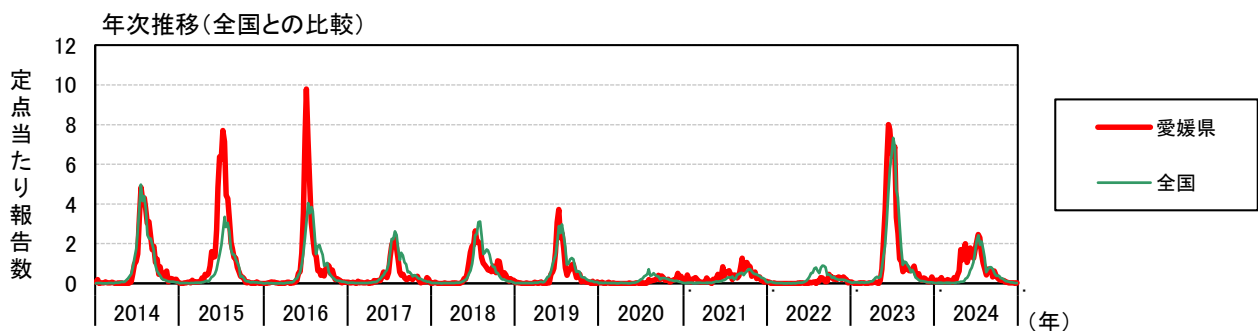
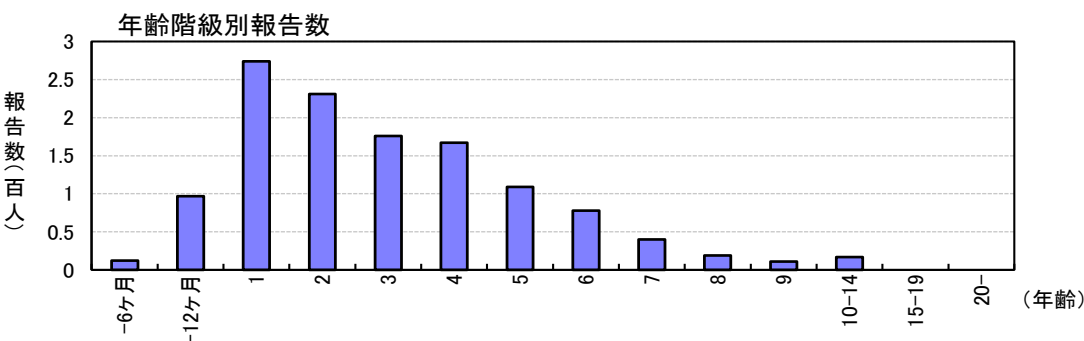
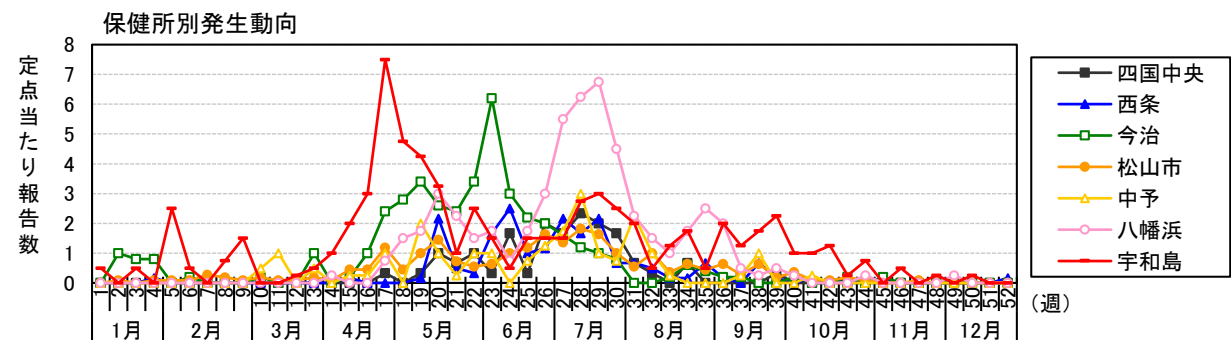
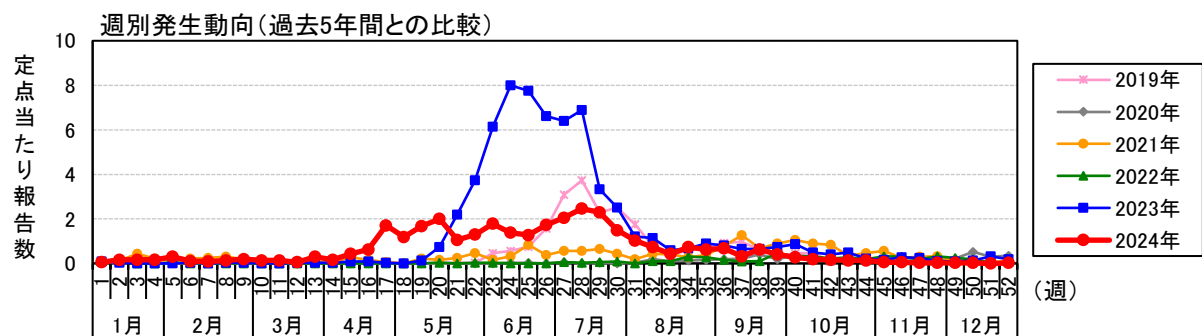
月	週	患者報告数										定点当日報告数																					
		愛媛県					全国					愛媛県					全国																
		四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022		
1	1	1	1	4	3	1	6	12	7	822	358	564	822	0.33	0.17	0.80	0.27	0.30	0.25	0.50	0.17	0.33	0.83	0.80	0.36	0.36	0.25	0.50	0.32	0.19	0.12	0.18	0.26
2	2	1	3	7	3	12	12	12	10	1,015	643	732	1,015	0.33	0.50	1.40	0.09	0.27	0.50	0.25	0.32	0.33	0.83	0.80	0.36	0.36	0.25	0.32	0.32	0.27	0.21	0.23	0.30
3	3	1	3	7	4	12	17	17	21	936	655	751	936	0.33	0.33	1.40	0.36	0.36	0.25	0.27	0.46	0.33	0.83	0.80	0.36	0.36	0.25	0.46	0.57	0.21	0.24	0.30	
4	4	1	2	2	4	10	15	15	11	800	638	695	800	0.33	0.33	0.40	0.36	0.36	0.25	0.41	0.30	0.33	0.83	0.80	0.36	0.36	0.25	0.41	0.30	0.20	0.22	0.25	
5	5	1	5	4	4	16	13	13	15	758	631	697	758	0.33	0.83	0.80	0.36	0.36	0.25	0.43	0.35	0.33	0.83	0.80	0.36	0.36	0.25	0.43	0.41	0.20	0.22	0.24	0.23
6	6	1	2	4	3	12	17	17	18	678	578	678	720	0.33	0.33	0.80	0.27	0.27	0.25	0.46	0.46	0.33	0.83	0.80	0.36	0.36	0.25	0.46	0.49	0.18	0.22	0.23	
7	7	1	3	5	3	13	19	23	23	592	592	686	747	0.33	0.33	1.00	0.27	0.27	0.25	0.35	0.51	0.62	0.33	0.80	0.27	0.35	0.51	0.62	0.19	0.22	0.24	0.24	
8	8	1	1	1	3	9	11	10	10	639	591	615	639	0.67	0.17	0.20	0.27	0.27	0.75	0.24	0.30	0.17	0.20	0.27	0.27	0.75	0.24	0.30	0.27	0.19	0.20	0.20	
9	9	2	1	6	2	13	9	13	13	665	665	653	763	0.67	0.17	1.20	0.18	0.18	0.25	0.35	0.24	0.67	0.17	1.20	0.18	0.25	0.35	0.24	0.35	0.21	0.21	0.24	
10	10	1	1	2	1	2	5	20	12	634	646	646	759	0.33	0.17	0.40	0.09	0.09	0.25	0.14	0.54	0.32	0.20	0.40	0.14	0.54	0.32	0.20	0.21	0.21	0.24	0.24	
11	11	1	2	5	4	3	15	21	16	703	703	723	825	0.33	0.33	1.00	0.36	0.36	0.75	0.41	0.57	0.43	1.00	0.36	0.36	0.75	0.43	0.22	0.23	0.26	0.26	0.26	
12	12	1	3	1	3	9	9	14	9	657	635	635	806	0.33	0.50	0.20	0.27	0.27	0.25	0.24	0.38	0.24	0.20	0.27	0.25	0.24	0.38	0.24	0.21	0.20	0.26	0.26	
13	13	1	4	3	1	13	19	12	12	706	706	758	900	0.33	0.67	0.60	0.09	0.09	0.25	0.50	0.53	0.33	0.67	0.60	0.09	0.25	0.53	0.33	0.23	0.24	0.29	0.29	
14	14	1	2	1	3	11	10	11	11	714	714	759	923	0.33	0.33	0.20	0.27	0.27	0.25	0.30	0.27	0.33	0.33	0.20	0.27	0.25	0.30	0.27	0.31	0.24	0.24	0.29	
15	15	1	1	3	1	1	9	16	19	784	784	807	1,032	0.33	0.17	0.60	0.09	0.09	0.25	0.43	0.43	0.33	0.60	0.09	0.45	0.25	0.43	0.49	0.56	0.30	0.32	0.33	
16	16	2	3	4	5	1	16	18	20	933	933	1,015	1,197	0.67	0.50	0.80	0.45	0.45	0.25	0.43	0.49	0.56	0.80	0.45	0.25	0.43	0.49	0.56	0.30	0.32	0.33		
17	17	2	4	1	2	1	11	22	25	983	983	1,045	1,219	0.67	0.67	0.20	0.18	0.18	0.25	0.30	0.39	0.69	0.20	0.18	0.25	0.30	0.39	0.69	0.31	0.33	0.39	0.39	
18	18	1	4	1	2	1	11	22	14	673	673	793	973	0.33	0.50	0.40	0.36	0.36	0.25	0.25	0.41	0.68	0.50	0.40	0.36	0.25	0.41	0.68	0.34	0.34	0.41	0.41	
19	19	2	4	3	4	2	19	20	18	979	979	1,145	1,155	0.67	0.67	0.60	0.36	0.36	0.50	0.51	0.54	0.60	0.60	0.36	0.50	0.51	0.54	0.49	0.31	0.36	0.37	0.37	
20	20	2	5	4	7	3	24	28	28	991	991	1,026	1,270	0.67	0.83	0.80	0.64	0.64	0.75	0.65	0.54	0.76	0.80	0.64	0.75	0.65	0.54	0.32	0.33	0.40	0.40	0.38	
21	21	2	2	5	6	2	16	15	20	1,014	1,014	1,097	1,272	0.33	0.33	1.00	0.55	0.55	0.50	0.43	0.41	0.54	1.00	0.55	0.50	0.43	0.41	0.54	0.32	0.35	0.40	0.40	0.38
22	22	1	3	2	4	1	15	25	25	1,078	1,078	1,067	1,302	0.33	0.50	0.40	0.36	0.36	0.25	0.25	0.41	0.68	0.50	0.40	0.36	0.25	0.41	0.68	0.34	0.34	0.41	0.41	
23	23	2	2	6	3	2	6	21	11	24	24	985	1,286	0.67	0.33	1.20	0.27	0.27	0.50	1.50	0.57	0.32	1.20	0.27	0.50	1.50	0.57	0.32	0.34	0.31	0.38	0.38	
24	24	1	2	1	4	3	12	13	29	1,005	983	983	1,205	0.67	0.33	0.20	0.36	0.36	0.50	0.75	0.32	0.35	0.20	0.36	0.50	0.75	0.32	0.35	0.32	0.31	0.38	0.38	
25	25	2	5	1	2	1	19	10	20	1,056	1,056	975	1,271	0.67	0.83	0.20	0.09	0.09	1.50	0.51	0.27	0.54	0.20	0.09	1.50	0.51	0.27	0.54	0.34	0.31	0.40	0.40	0.38
26	26	2	2	2	6	4	18	13	25	1,047	935	1,294	1,294	0.67	0.33	0.40	0.55	1.00	1.00	0.49	0.35	0.68	0.40	0.55	1.00	0.49	0.35	0.68	0.33	0.30	0.41	0.41	0.38
27	27	3	1	6	1	6	13	18	13	951	877	877	1,229	0.33	0.50	0.20	0.55	0.55	0.25	0.50	0.35	0.49	0.20	0.55	0.25	0.50	0.35	0.49	0.35	0.28	0.39	0.39	
28	28	1	3	9	5	1	5	25	23	914	894	894	1,173	0.33	0.50	1.80	0.45	0.45	0.25	1.25	0.68	0.62	1.80	0.45	0.45	1.25	0.68	0.62	0.43	0.29	0.28	0.37	0.37
29	29	4	4	2	4	2	15	20	14	809	767	767	955	0.67	0.67	0.40	0.36	0.36	0.25	0.41	0.54	0.60	0.40	0.36	0.25	0.41	0.54	0.38	0.26	0.24	0.30	0.30	
30	30	5	1	3	2	1	15	15	15	813	813	786	884	0.67	0.83	0.60	0.18	0.18	0.50	0.25	0.41	0.30	0.60	0.18	0.50	0.25	0.41	0.30	0.26	0.24	0.28	0.28	
31	31	6	1	1	1	12	12	11	15	837	848	848	903	1.00	1.00	0.20	0.09	0.09	1.00	0.32	0.30	1.00	0.20	0.09	0.50	0.32	0.30	0.41	0.27	0.27	0.29	0.29	
32	32	6	5	4	4	3	23	19	14	830	705	680	680	1.00	1.00	1.00	0.40	0.40	1.00	0.51	0.38	1.00	1.00	0.40	0.40	0.51	0.38	0.27	0.23	0.22	0.22	0.22	
33	33	4	1	2	2	3	12	10	17	494	605	656	656	0.67	0.67	0.20	0.20	0.20	0.75	0.33	0.27	0.20	0.20	0.20	0.75	0.33	0.27	0.46	0.17	0.20	0.21	0.21	
34	34	1	6	1	7	1	16	20	11	882	913	744	744	0.17	0.17	1.20	0.64	0.64	0.25	0.43	0.54	1.20	0.64	0.25	0.43	0.54	0.30	0.28	0.29	0.24	0.24	0.24	
35	35	1	5	4	2	1	16	20	19	924	849	839	848	0.33	0.83	0.80	0.18	0.18	0.25	0.28	0.43	0.54	0.80	0.18	0.25	0.28	0.43	0.54	0.29	0.27	0.27	0.27	
36	36	3	5	3	3	1	16	13	15	978	862	862	856	0.50	0.50	1.00	0.27	0.27	0.25	0.43	0.35	1.00	0.27	0.25	0.43	0.35	0.41	0.31	0.27	0.27	0.27	0.27	
37	37	2	1	4	4	3	13	10	13	866	855	863	863	0.33	0.33	0.20	0.36	0.36	0.25	1.00	0.35	0.20	0.36	0.36	0.25	1.00	0.35	0.27	0.35	0.28	0.27	0.27	
38	38	1	1	2	1	2	9	6	18	792	637	706	706	0.17	0.17	0.20	0.18	0.18	0.25	0.24	0.16	0.20	0.18	0.25	0.24	0.16	0.20	0.25	0.20	0.22	0.22	0.22	
39	39	1	2	1	2	4	10	13	18	770	791	791	848	0.17	0.17	0.40	0.40	0.40	0.25	0.28	0.35	0.40	0.40	0.40	0.25	0.28	0.35	0.49	0.25	0.25	0.27	0.27	
40	40	2	4	4	4	9	15	13	14	853	800	772	772	0.67	0.67	0.80	0.80	0.80	0.25	0.25	0.35	0.80	0.80	0.80	0.25	0.25	0.35	0.38	0.27	0.25	0.25	0.25	
41	41	1	5	2	2	3	15	12	16	788	690	690	739	0.33	0.83	0.40	0.20	0.20	0.25	0.75	0.42	0.40	0.40	0.20	0.25	0.75	0.42	0.42	0.25	0.22	0.23	0.23	
42	42	1	3	3	5	1	18	12	15	765	772	781	781	0.33	0.50	0.60	0.50	0.50	0.25	1.25	0.50	0.60	0.60	0.50	0.25	1.25	0.50	0.41	0.24	0.25	0.25	0.25	
43	43	1	2	2	6	4	11	12	17	832	681	774	774	0.33	0.33	0.40	0.60	0.60	0.25	0.31	0.32	0.40	0.60	0.25	0.31	0.32	0.46	0.27	0.25	0.25	0.25	0.25	
44	44	3	1																														

ヘルパンギーナ

2024年の患者報告数は1,231人(定点当たり33.35人/年)であり、過去10年で最大規模の流行となった前年(患者報告数2,450人、定点当たり66.23人/年)の約0.5倍に減少した。4月上旬から報告数が増加し始め、第17週(4月下旬)に定点あたり1.70人/週となった後、高止まりとなった。第26週(6月下旬)から再度増加し、第28週(7月中旬)に定点あたり2.46人/週とピークに達した後、減少傾向となった。

地域別の定点当たり報告数は、宇和島保健所69.50人/年が最も多く、次いで八幡浜保健所54.25人/年、今治保健所42.40人/年、松山市保健所23.97人/年、中予保健所22.25人/年、西条保健所20.33人/年、四国中央保健所17.33人/年の順であった。地域によって流行の時期に差異があり、特に、宇和島保健所は4~5月にかけて、今治保健所は5~6月にかけて、八幡浜保健所は7月に大きく流行した。

年齢別の患者報告数は、1歳が274人(22.3%)で最も多く、次いで2歳が231人(18.8%)、3歳が176人(14.3%)の順であった。1~6歳が1,035人と全体の約8割強(84.1%)を占めた。



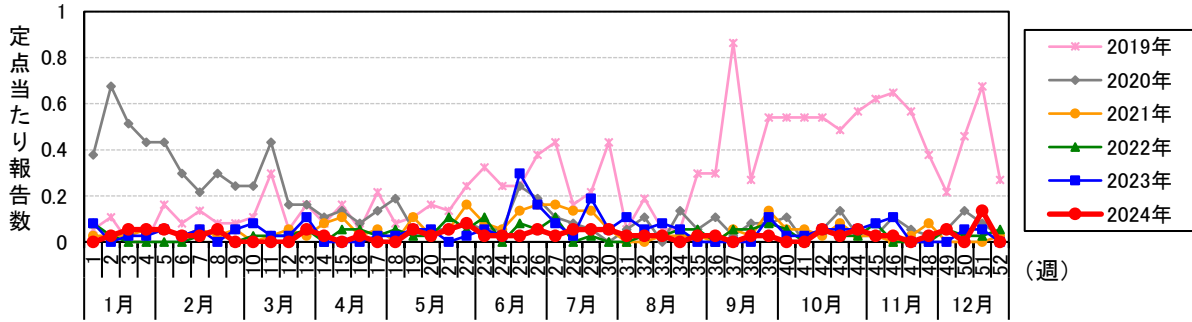
流行性耳下腺炎

2024年の患者報告数は57人(定点当たり1.55人/年)であり、前年(患者報告数95人、定点当たり2.57人/年)の約0.6倍に減少し、1999年の調査開始以降で最も小さな発生規模であった。年間を通じて大きく変動せず推移した。

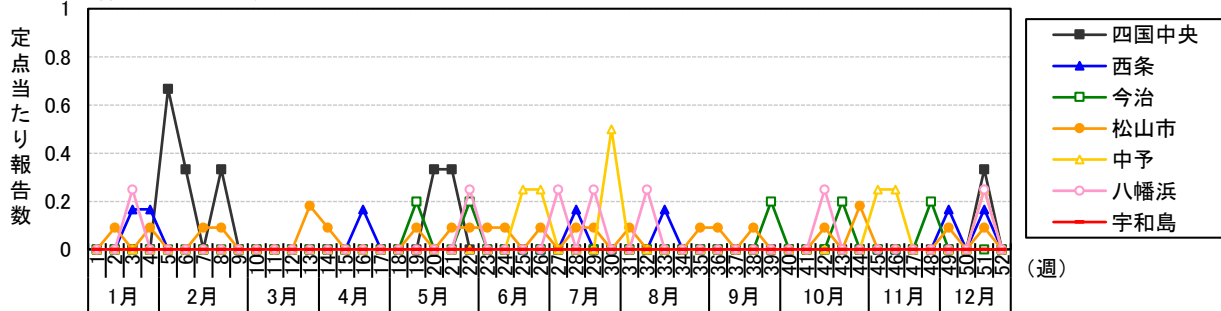
地域別の定点当たり報告数は、四国中央保健所2.33人/年が最も多く、次いで松山市保健所2.23人/年、中予保健所1.75人/年、八幡浜保健所1.75人/年、西条保健所1.17人/年、今治保健所1.00人/年の順で、宇和島保健所からの報告はなかった。

年齢別の患者報告数は、10～14歳が11人(19.3%)で最も多く、次いで4歳が9人(15.8%)、7歳が8人(14.0%)の順であった。

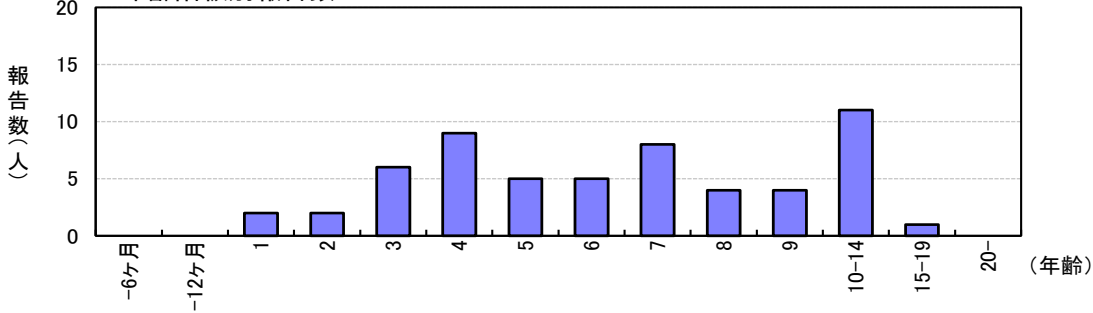
週別発生動向(過去5年間との比較)



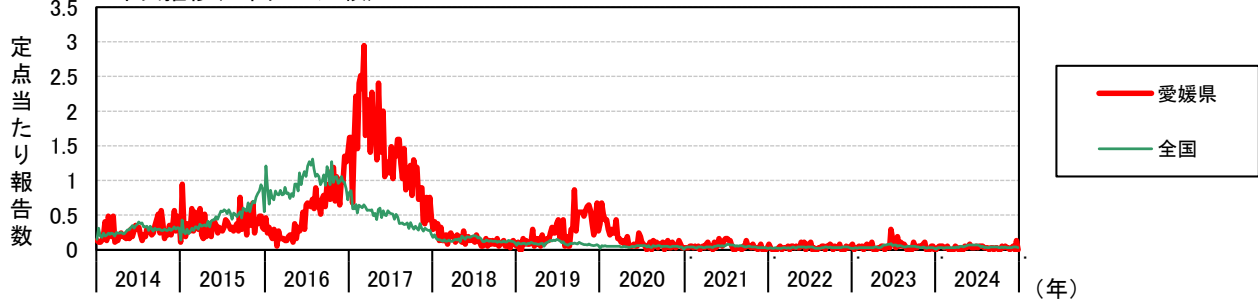
保健所別発生動向



年齢階級別報告数



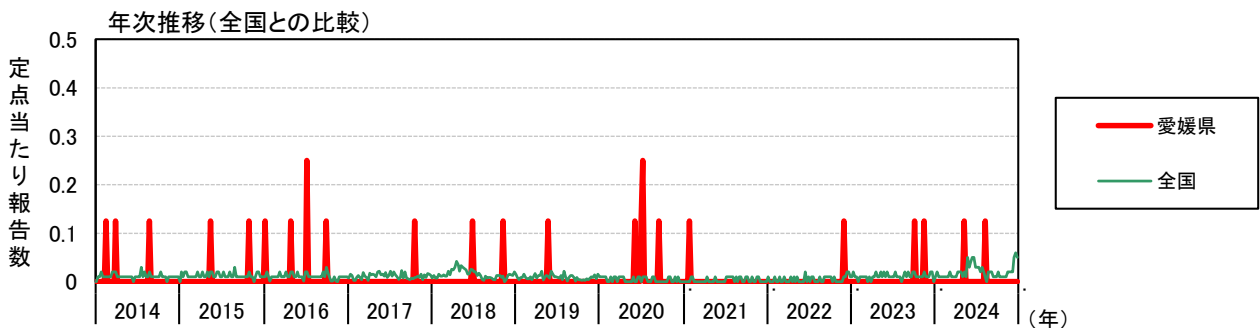
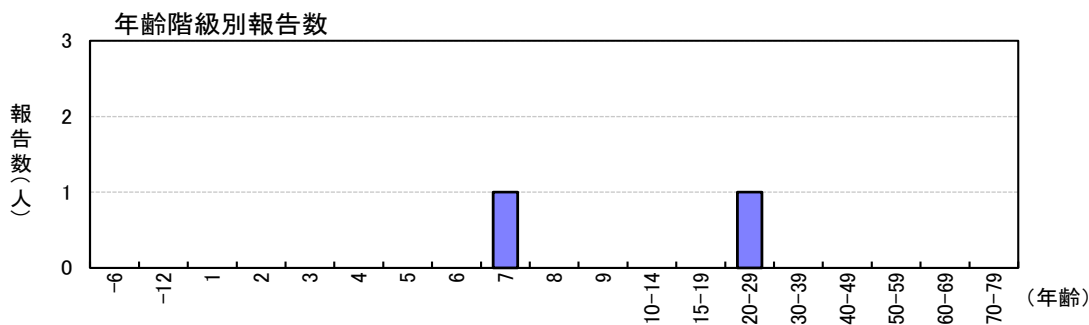
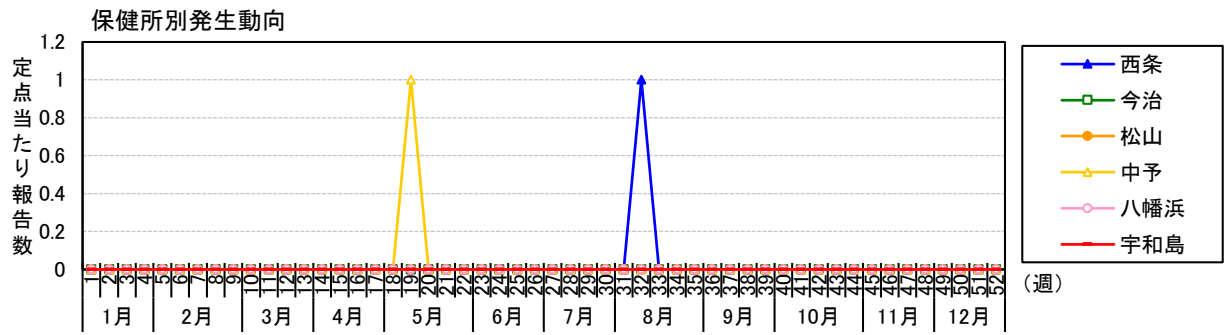
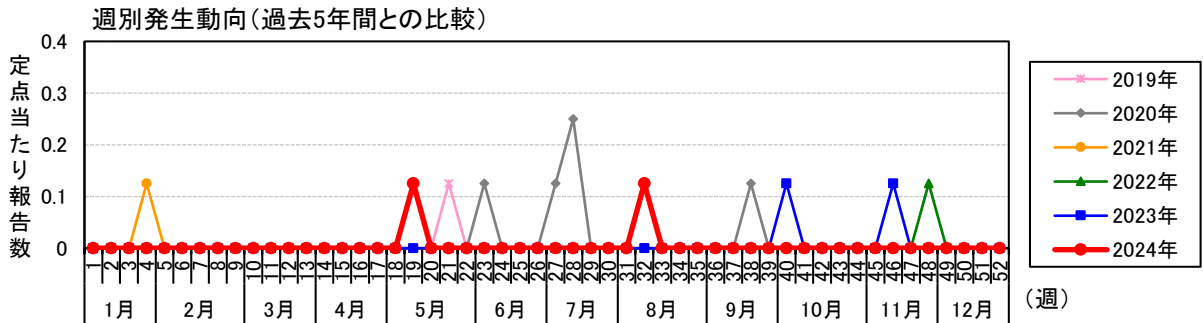
年次推移(全国との比較)



(4)眼科定点対象疾患(週報)

急性出血性結膜炎

2024年の患者報告数は2人(定点当たり0.25人/年)で、前年(患者報告数2人、定点当たり0.25人/年)と同様で少数の報告であった。本疾患は、2004年9~10月に宇和島地区で地域的な短期流行があつて以降、県内各地でごく少数例の報告に留まっている。

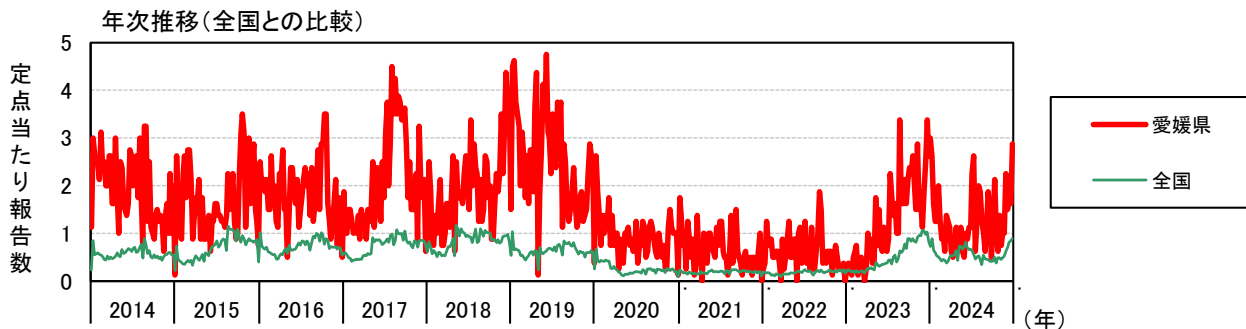
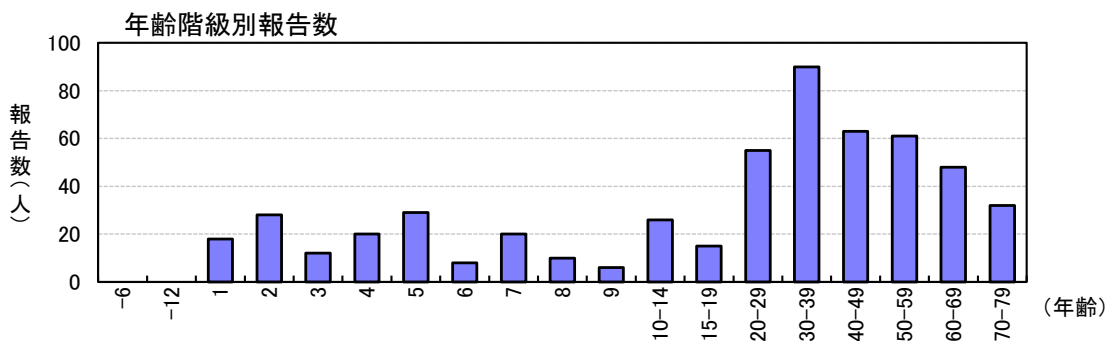
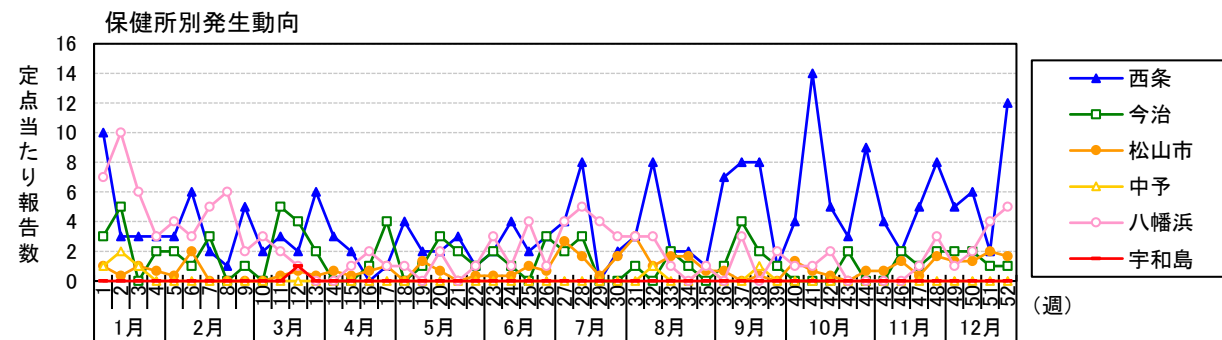
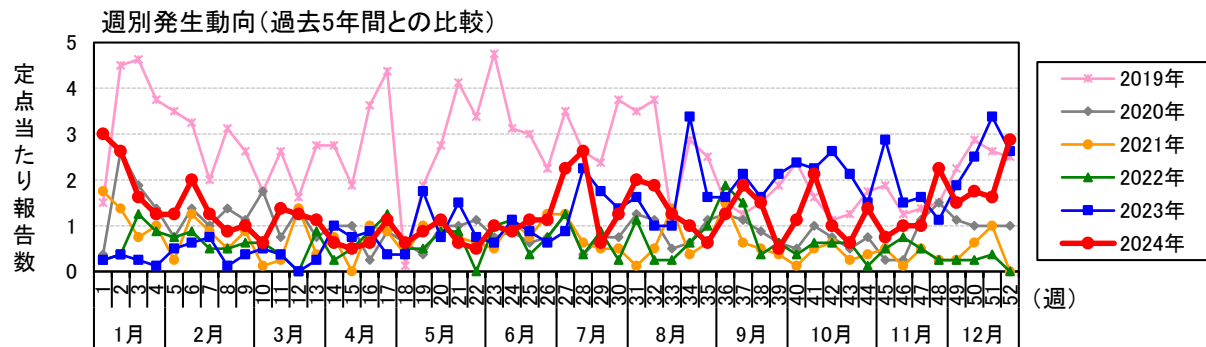


流行性角結膜炎

2024年の患者報告数は541人(定点当たり67.63人/年)であり、前年(患者報告数533人、定点当たり66.63人/年)と同程度の発生規模であった。前年の流行が収束することなく比較的高い水準から始まり、第1週(1月上旬)に最高値となる定点当たり3.00人/週となった後、減少傾向となり低水準で推移したが、7月から明確なピークはみられないものの増減を繰り返しながら増加傾向となった。

地域別の定点当たり報告数は、西条保健所が211.00人/年で最も多く、次いで八幡浜保健所が118.00人/年、今治保健所76.00人/年、松山市保健所42.67人/年、中予保健所7.00人/年、宇和島保健所1.00人/年の順であった。

年齢別の患者報告数は、30歳代90人(16.6%)、40歳代63人(11.6%)、50歳代61人(11.3%)の順で、20歳以上の成人が349人と全体64.5%を占めた。



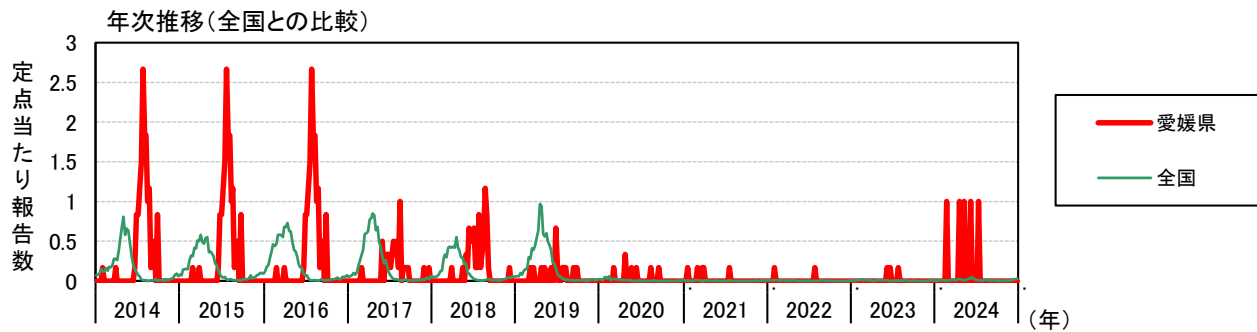
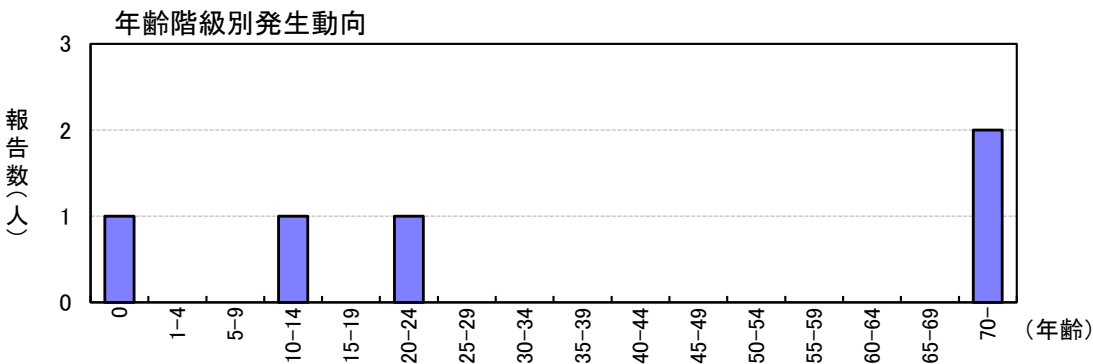
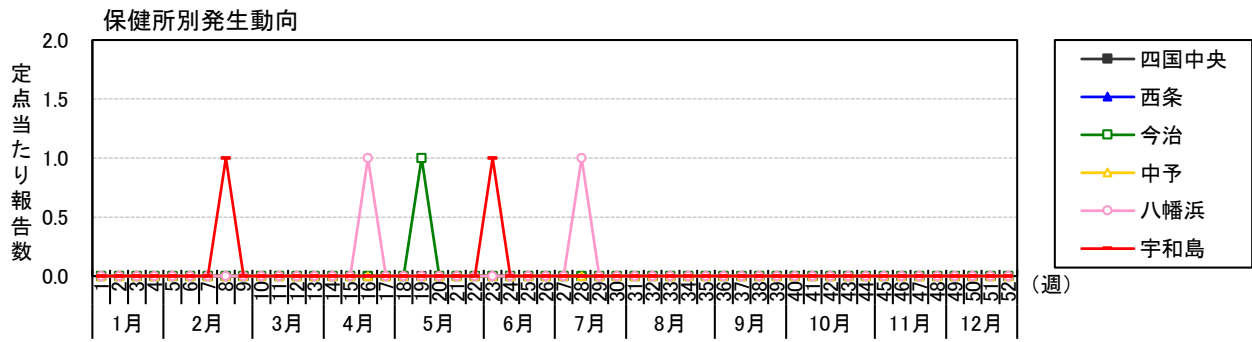
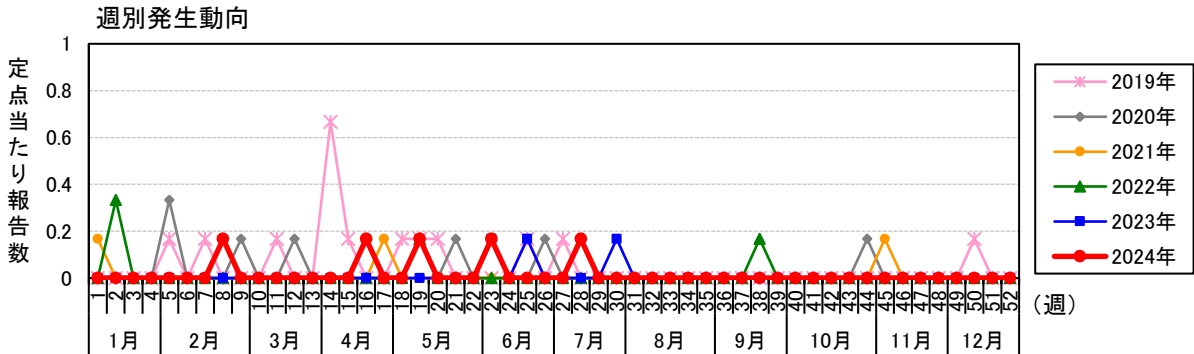
流行性角結膜炎

月	週	患者報告数										定点当たり報告数										
		2024年 保健所別					愛媛県					2024年 保健所別			愛媛県							
		西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022
1	10	3	5	3	1	7	24	2	495	150	134	10.00	3.00	1.00	1.00	7.00	3.00	0.25	0.25	0.72	0.22	0.19
2	3	5	3	1	2	10	21	3	619	169	128	3.00	5.00	0.33	2.00	10.00	2.63	0.38	0.38	0.89	0.24	0.18
3	3	3	6	3	1	6	13	2	446	145	118	3.00	3.00	1.00	1.00	6.00	1.63	0.25	1.25	0.64	0.21	0.17
4	3	2	3	3	1	3	10	7	409	131	122	3.00	2.00	0.67	1.00	3.00	1.25	0.13	0.88	0.59	0.19	0.18
5	3	2	2	1	4	4	10	4	368	144	113	3.00	2.00	0.33	4.00	4.00	1.25	0.50	0.75	0.53	0.21	0.16
6	6	1	5	6	7	3	16	5	351	125	83	6.00	1.00	2.00	5.00	3.00	2.00	0.63	0.88	0.51	0.18	0.12
7	2	3	3	10	6	5	10	4	326	156	93	2.00	3.00	3.00	6.00	5.00	1.25	0.75	0.50	0.47	0.22	0.13
8	1	1	6	7	1	6	7	1	295	122	79	1.00	1.00	1.00	6.00	6.00	0.88	0.13	0.50	0.42	0.18	0.11
9	5	1	1	3	5	3	8	5	313	129	106	5.00	1.00	1.00	2.00	2.00	1.00	0.38	0.63	0.45	0.19	0.15
10	2	2	5	4	4	3	5	4	297	143	95	2.00	5.00	0.33	3.00	3.00	0.63	0.50	0.63	0.43	0.21	0.14
11	3	5	4	1	3	2	11	3	264	143	82	3.00	5.00	0.33	2.00	2.00	1.38	0.38	0.38	0.38	0.21	0.12
12	2	4	2	2	1	1	10	2	290	108	63	2.00	4.00	0.67	1.00	1.00	1.25	0.42	0.42	0.16	0.09	0.09
13	6	2	2	1	7	9	9	2	356	156	99	6.00	2.00	0.33	6.00	6.00	1.13	0.25	0.88	0.51	0.22	0.14
14	3	3	2	2	5	5	5	8	369	191	106	3.00	2.00	0.67	3.00	3.00	0.63	1.00	0.25	0.53	0.27	0.15
15	2	2	1	1	4	1	4	6	366	170	95	2.00	1.00	0.33	1.00	1.00	0.50	0.75	0.50	0.53	0.25	0.14
16	1	1	2	2	5	2	5	7	383	193	105	1.00	1.00	0.67	2.00	2.00	0.63	0.88	0.88	0.55	0.28	0.15
17	1	4	3	3	1	1	17	3	441	170	97	1.00	4.00	1.00	1.00	1.00	1.13	0.38	1.43	0.64	0.25	0.14
18	4	4	1	1	3	1	5	3	297	158	116	4.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.63	0.38	0.50	0.43	0.23	0.17
19	2	1	1	4	7	2	14	4	518	274	119	2.00	1.00	1.33	7.00	2.00	0.88	1.75	0.50	0.74	0.39	0.17
20	2	3	2	2	9	2	9	6	501	251	109	2.00	3.00	0.67	2.00	2.00	1.13	0.75	0.88	0.72	0.36	0.16
21	3	2	2	2	5	1	5	12	469	217	118	3.00	2.00	2.00	3.00	3.00	0.63	1.50	0.88	0.67	0.31	0.17
22	1	1	1	1	4	1	4	6	505	226	136	1.00	1.00	0.33	1.00	1.00	0.50	0.75	0.72	0.32	0.17	0.20
23	2	2	2	1	8	3	8	5	571	242	148	2.00	2.00	0.33	3.00	3.00	1.00	0.63	1.00	0.82	0.35	0.21
24	4	1	1	1	7	1	7	9	489	242	134	4.00	1.00	0.33	1.00	1.00	0.88	1.13	1.13	0.70	0.35	0.19
25	2	3	3	3	4	4	10	3	456	257	123	2.00	1.00	1.00	4.00	4.00	1.13	0.88	0.38	0.66	0.37	0.18
26	3	3	3	2	1	1	9	5	468	266	154	3.00	3.00	0.67	1.00	1.00	1.13	0.63	0.75	0.67	0.38	0.22
27	4	2	2	8	7	4	18	7	438	308	166	4.00	2.00	2.67	4.00	4.00	2.25	0.88	1.25	0.63	0.44	0.24
28	8	3	3	5	5	5	21	18	384	304	145	8.00	3.00	1.67	5.00	5.00	2.63	2.25	0.38	0.55	0.44	0.21
29	2	1	4	1	4	4	5	14	325	251	140	3.00	3.00	0.33	4.00	4.00	0.63	1.75	0.88	0.46	0.36	0.20
30	2	1	5	5	3	3	10	2	352	350	156	2.00	2.00	1.67	2.00	2.00	1.25	1.38	0.25	0.51	0.50	0.22
31	3	1	9	2	3	3	16	13	368	374	122	3.00	1.00	3.00	3.00	3.00	2.00	1.63	1.13	0.53	0.54	0.18
32	5	8	3	3	1	3	15	8	311	271	84	8.00	1.00	1.00	3.00	3.00	1.88	1.00	0.25	0.45	0.40	0.12
33	2	2	5	2	10	8	10	8	226	323	119	2.00	2.00	1.67	1.00	1.00	1.25	1.00	0.25	0.34	0.47	0.17
34	2	1	5	5	8	1	8	27	380	440	144	2.00	1.00	1.67	2.00	2.00	1.00	3.38	0.63	0.54	0.63	0.21
35	1	1	2	2	1	1	5	13	329	420	152	1.00	1.00	0.67	1.00	1.00	0.63	1.63	1.00	0.47	0.60	0.22
36	7	1	2	2	10	13	10	13	313	451	131	7.00	1.00	0.67	7.00	7.00	1.25	1.63	1.88	0.45	0.65	0.19
37	8	4	4	4	15	17	15	17	317	544	159	8.00	4.00	1.00	8.00	8.00	1.88	2.13	1.50	0.45	0.78	0.23
38	8	2	2	1	12	13	12	13	287	470	131	8.00	2.00	0.33	1.00	1.00	1.50	1.63	0.38	0.41	0.68	0.19
39	1	1	1	4	4	2	4	17	287	620	116	1.00	1.00	1.00	2.00	2.00	0.50	2.13	0.63	0.41	0.89	0.17
40	4	4	4	4	9	19	9	19	295	616	132	4.00	1.00	1.33	1.00	1.00	1.13	2.38	0.38	0.42	0.89	0.19
41	14	5	2	2	17	18	17	18	348	581	139	14.00	2.00	0.67	1.00	1.00	2.13	2.25	0.63	0.50	0.83	0.20
42	5	3	1	1	8	21	5	5	263	619	159	5.00	2.00	0.33	2.00	2.00	1.00	2.63	0.63	0.38	0.89	0.23
43	3	2	3	3	17	5	5	17	344	578	147	3.00	2.00	0.33	3.00	3.00	0.63	2.13	0.63	0.49	0.83	0.21
44	9	2	2	2	11	12	11	12	340	564	130	9.00	2.00	0.67	9.00	9.00	1.38	1.50	0.13	0.49	0.81	0.19
45	4	4	2	4	6	23	6	23	312	644	147	4.00	2.00	0.67	4.00	4.00	0.75	2.88	0.50	0.45	0.92	0.21
46	2	2	4	4	8	12	8	12	345	668	136	2.00	2.00	1.33	2.00	2.00	1.00	1.50	0.75	0.49	0.96	0.20
47	5	1	1	1	8	13	8	13	367	661	135	5.00	1.00	0.33	1.00	1.00	1.00	1.63	0.50	0.53	0.95	0.19
48	8	2	5	5	18	9	2	438	738	160	8.00	2.00	1.67	8.00	8.00	2.25	1.13	0.25	0.63	1.06	1.06	0.23
49	5	2	4	4	12	15	2	498	743	160	5.00	2.00	1.33	5.00	5.00	1.50	1.88	0.25	0.71	1.06	0.23	
50	6	2	2	2	14	20	2	563	682	130	6.00	2.00	1.33	6.00	6.00	1.75	2.50	0.25	0.81	1.06	0.19	
51	2	1	6	6	13	27	3	587	715	169	2.00	1.00	2.00	2.00	4.00	1.63	3.38	0.38	0.84	1.03	0.24	
52	12	1	5	5	23	21	23	623	564	107	12.00	1.00	1.67	1.00	5.00	2.88	2.63	0.63	0.89	0.89	0.82	0.16
合計	211	76	128	7	118	1	541	259	20,302	18,177	6,491	211.00	76.00	42.67	7.00	118.00	67.63	66.63	32.55	29.25	26.15	9.37

(5) 基幹定点対象疾患(週報)

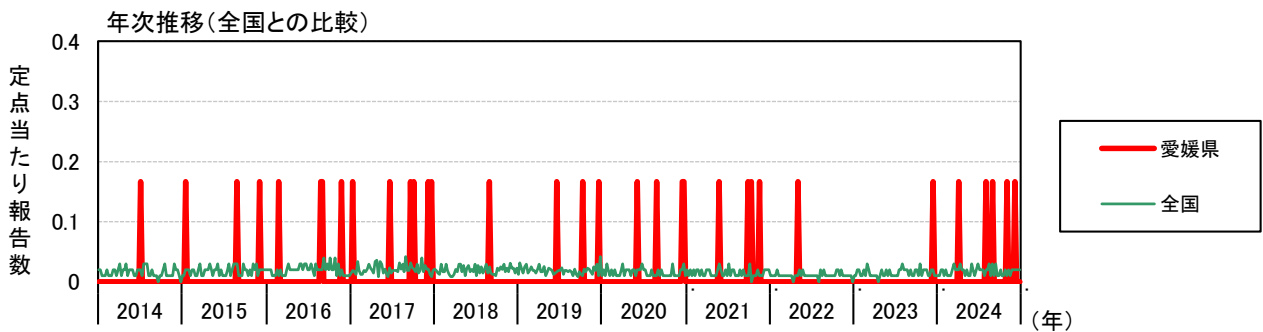
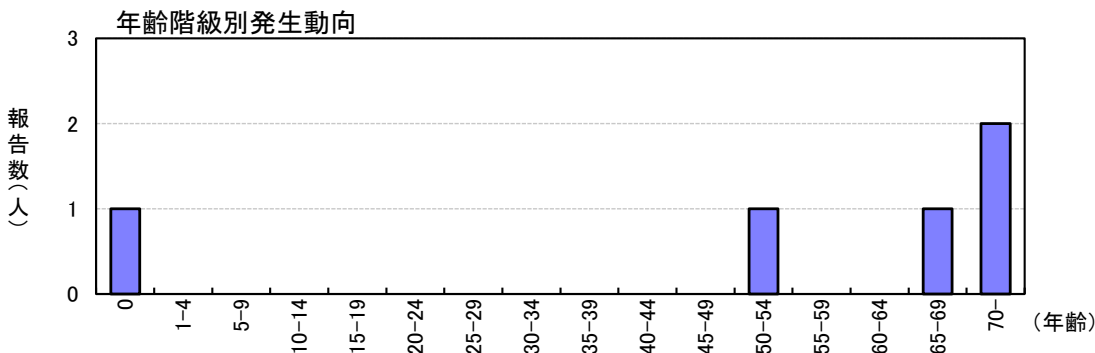
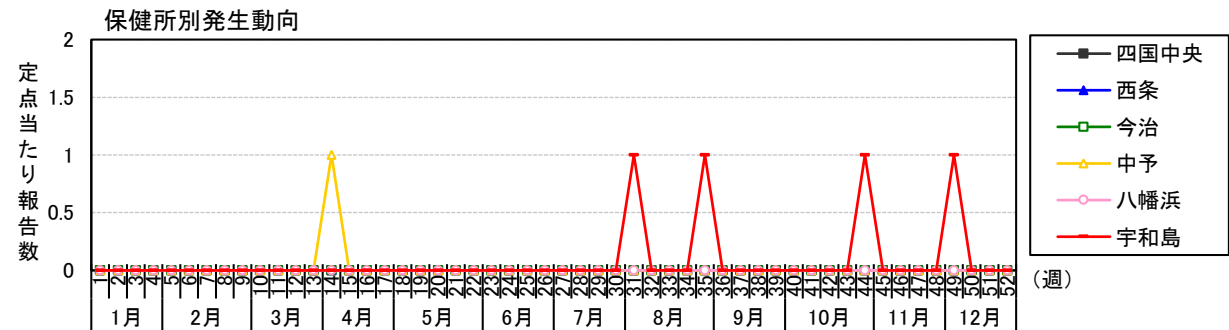
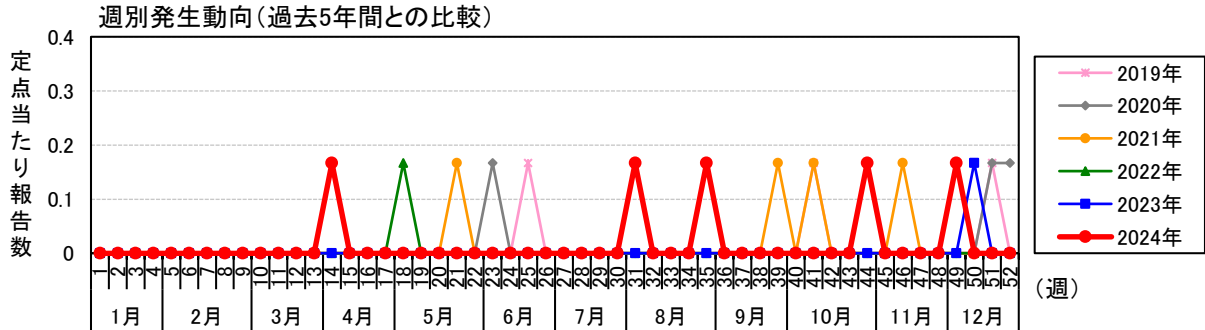
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(ロタウイルス胃腸炎)

2024年の患者報告数は5人(定点当たり0.83人/年)で、前年(患者報告数3人、定点当たり0.50人/年)と同程度の報告であった。八幡浜保健所、宇和島保健所から各2人、今治保健所から1人の報告があり、年齢別の患者報告数は、70歳以上が2人、0歳、10~14歳、20~24歳が各1人であった。



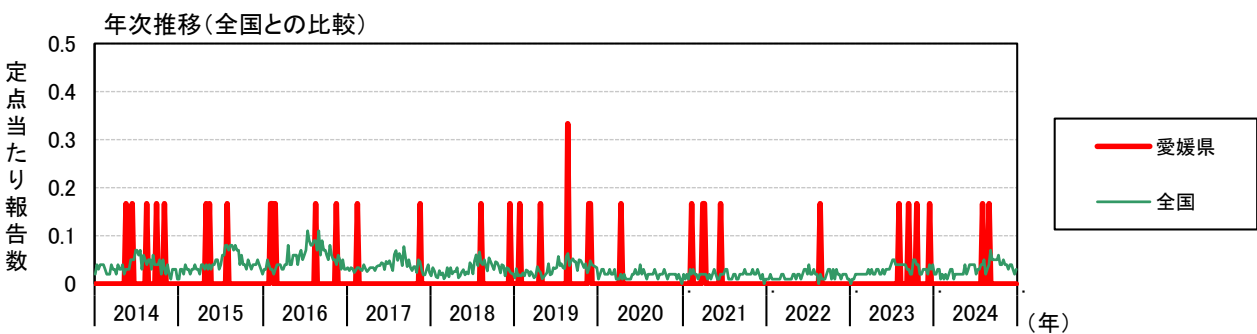
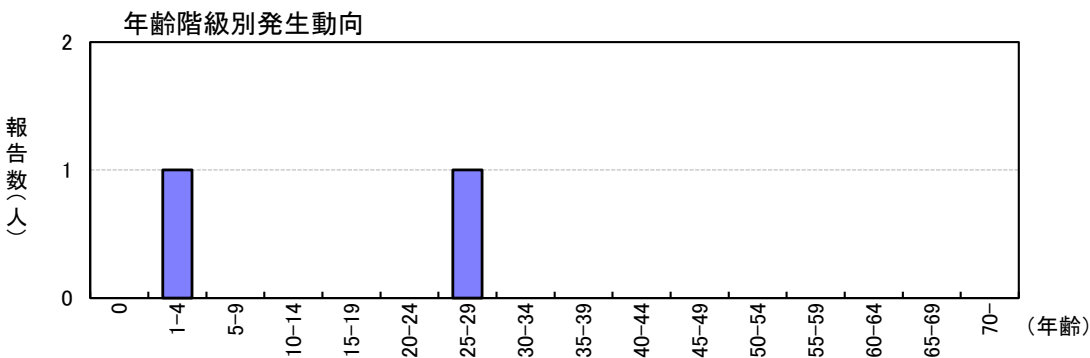
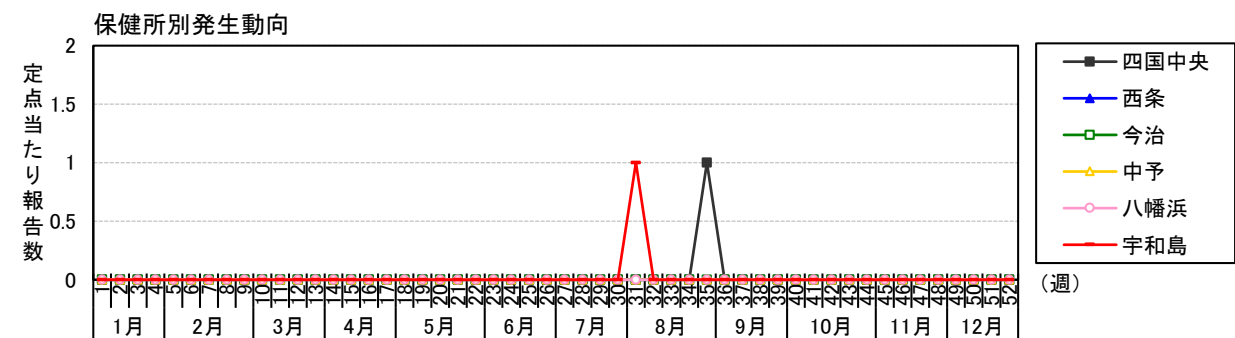
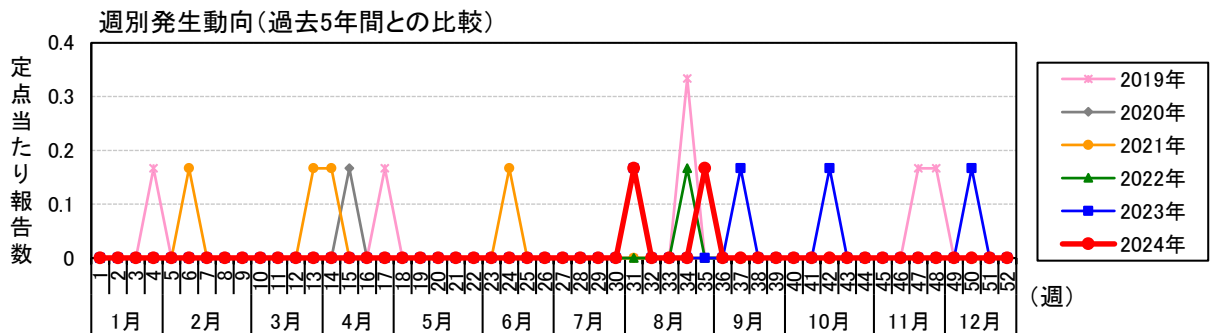
細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）

2024年の患者報告数は5人（定点当たり0.83人/年）で、前年（患者報告数1人、定点当たり0.17人/年）から増加した。宇和島保健所から4人、中予保健所から1人の報告があり、年齢別の患者報告は、70歳以上が2人、0歳、50～54歳、65～69歳が各1人であった。病原体はその他のレンサ球菌が1例、不明4例であった。



無菌性髄膜炎

2024年の患者報告数は2人(定点当たり0.33人/年)で、前年(患者報告数4人、定点当たり0.67人/年)から減少した。四国中央保健所、宇和島保健所から各1人の報告があり、年齢別の患者報告は、1~4歳、25~29歳が各1人であった。病原体はマイコプラズマが1例、不明が1例であった。



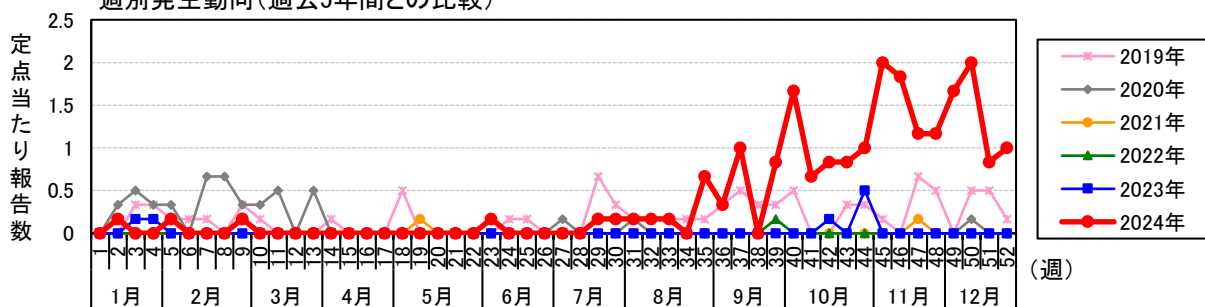
マイコプラズマ肺炎

2024年の患者報告数は126人(定点当たり21.00人/年)であり、前年(患者報告数6人、定点当たり1.00人/年)の21倍に増加した。本疾患は数年おきに流行期を迎える傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症流行の影響で、長期間流行がみられておらず、2016年(患者報告数208人、定点当たり34.67/年)以来の大規模な流行となった。7月までは散発的な報告に留まっていたが、8月下旬から報告数が増加傾向となり、第45週(11月上旬)、50週(12月中旬)には最高値となる定点当たり2.00人/週に達した。

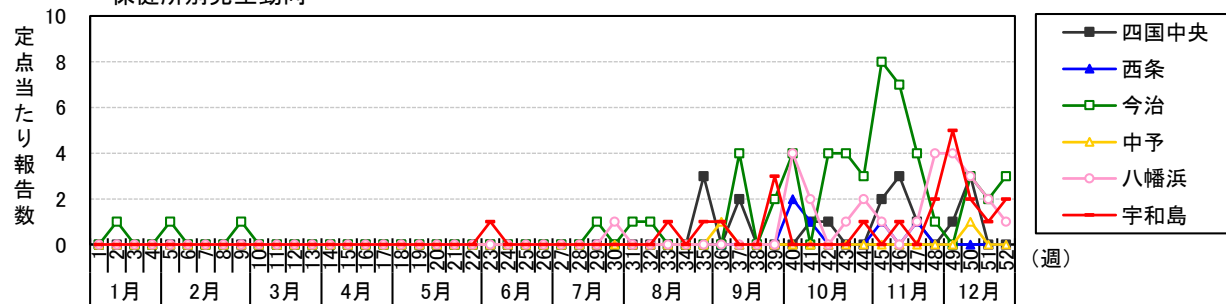
地域別の報告数は、今治保健所55人、八幡浜保健所26人、宇和島保健所21人、四国中央保健所17人、西条保健所5人、中予保健所2人であった。

年齢別の患者報告は、10~14歳が46人(36.5%)で最も多く、次いで5~9歳が43人(34.1%)、1~4歳、15~19歳が各11人(各8.7%)の順であった。2016年(1~4歳が48.6%、5~9歳が26.9%、10~14歳が19.2%)と比較すると、本年は1~4歳の割合が大幅に減少しており、5~14歳の患者が多くを占めた。

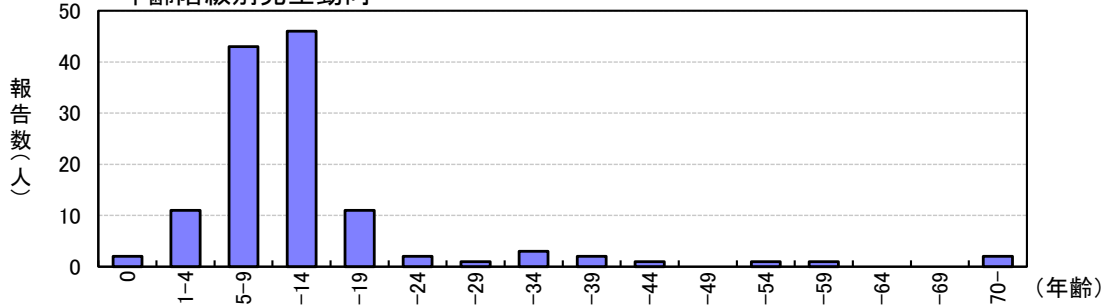
週別発生動向(過去5年間との比較)



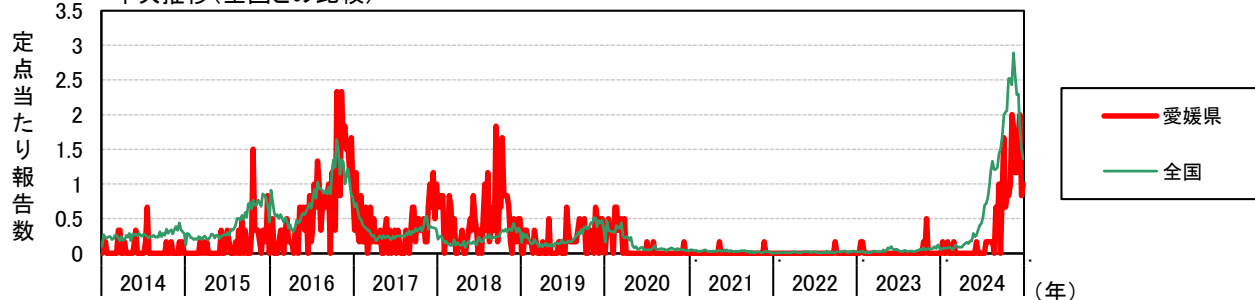
保健所別発生動向



年齢階級別発生動向

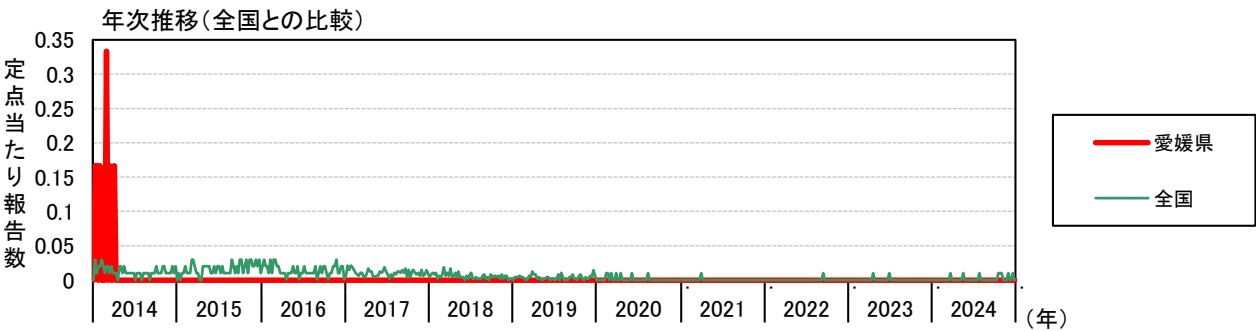
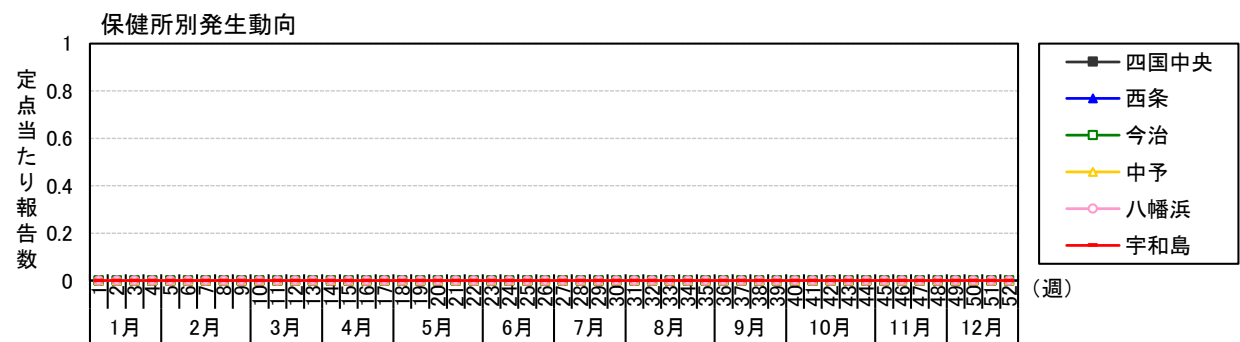
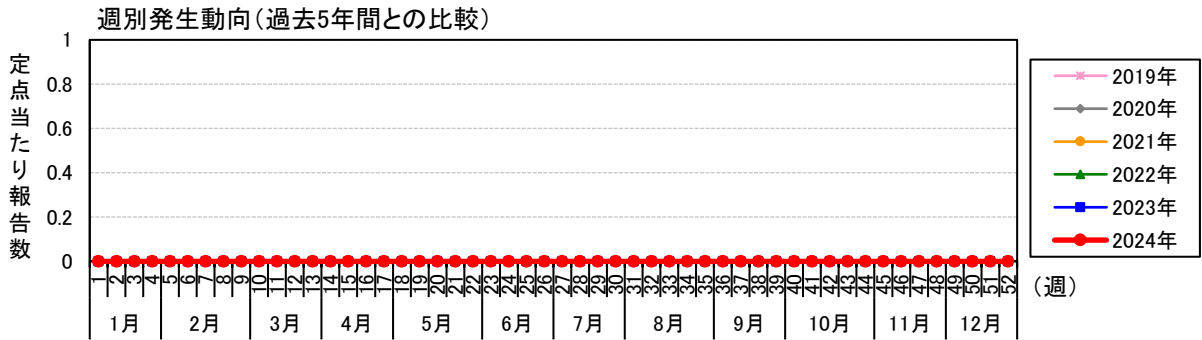


年次推移(全国との比較)



クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2024年の患者報告は前年同様なかった。1999年の調査開始以降、2004年に4人、2013年に10人、2014年に7人の報告があった以外は、年間0～2人と少数の報告で推移している。



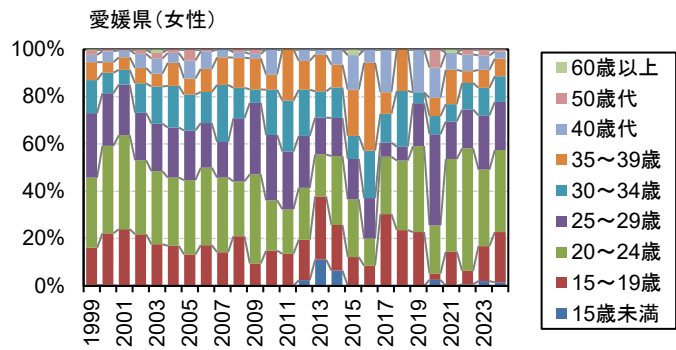
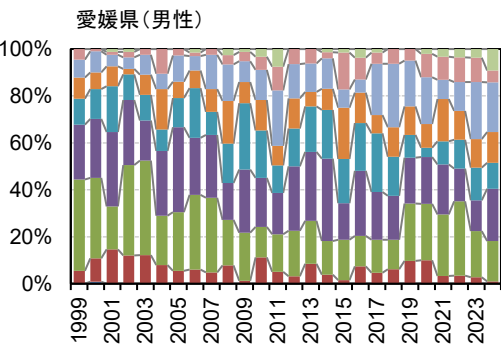
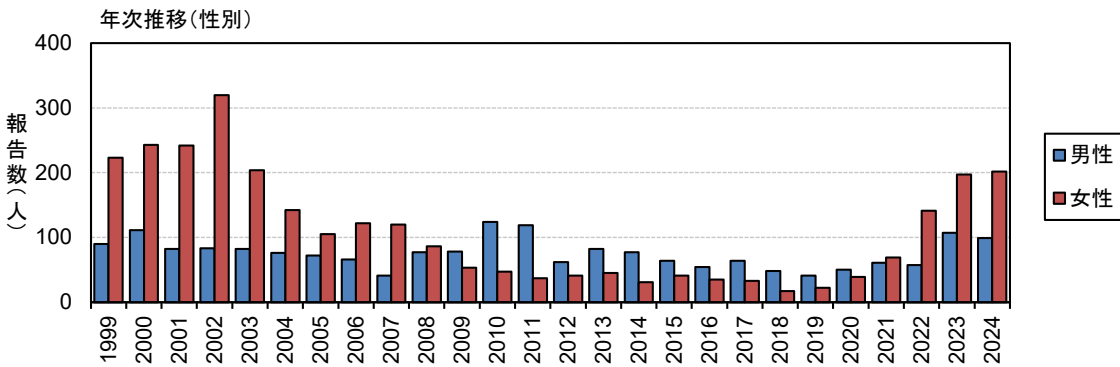
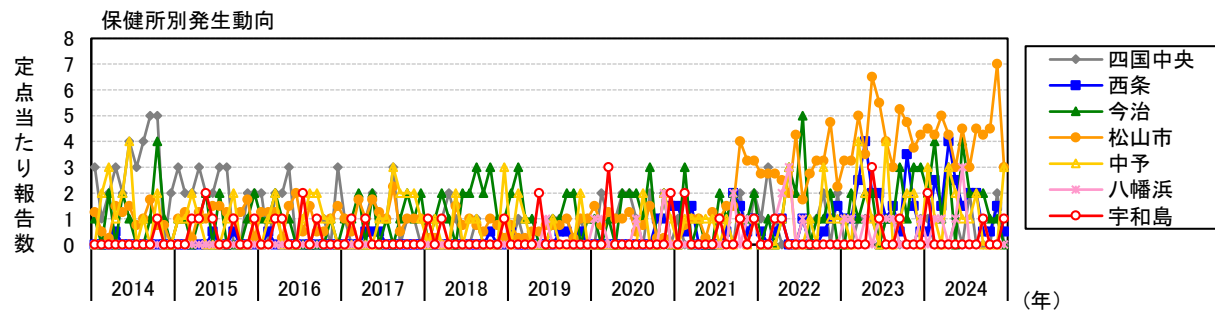
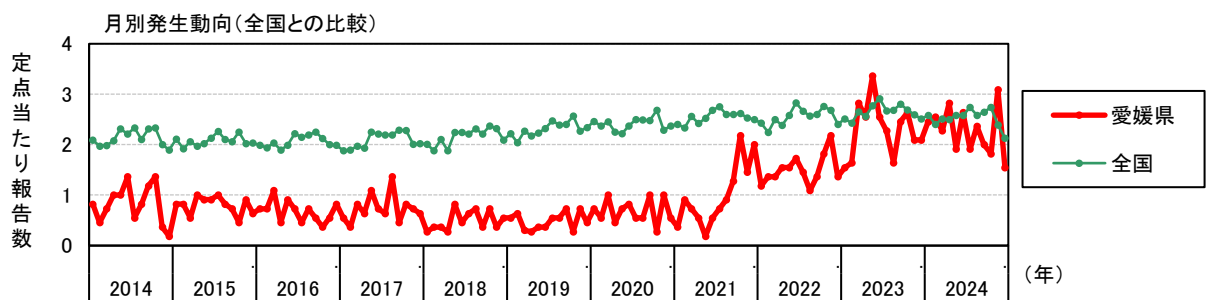
(6)STD 定点対象疾患(月報)

性器クラミジア感染症

2024年の患者報告数は301人(定点当たり27.36人/年)で、前年(患者報告数304人、定点当たり27.64人/年)と同程度の報告であったが、2021年以降、以前と比較して高い水準で推移している。年間を通じて高い水準で推移し、11月が定点あたり3.09人/月と最も高かった。

地域別の定点当たり報告数は、松山市保健所が51.75人/年(207人)と最も多く、次いで今治保健所22.00人/年(22人)、西条保健所19.50人/年(39人)、中予保健所16.00人/年(16人)、八幡浜保健所7.00人/年(7人)、四国中央保健所6.00人/年(6人)、宇和島保健所4.00人/年(4人)の順であった。

性別は男性99人(32.9%)、女性202人(67.1%)で、前年(男性107人、女性197人)と比較して横ばいであった。年齢別の患者報告数では男性は20~39歳が63.6%(63人)を占め、女性は15~39歳が94.6%(191人)を占めた。

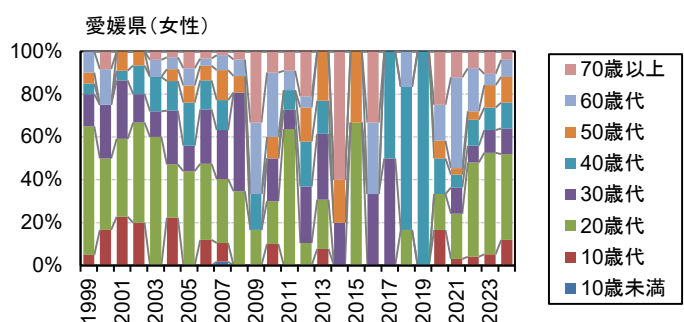
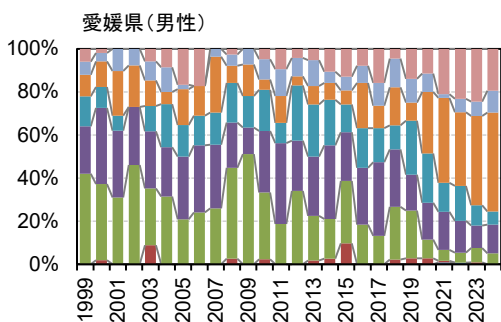
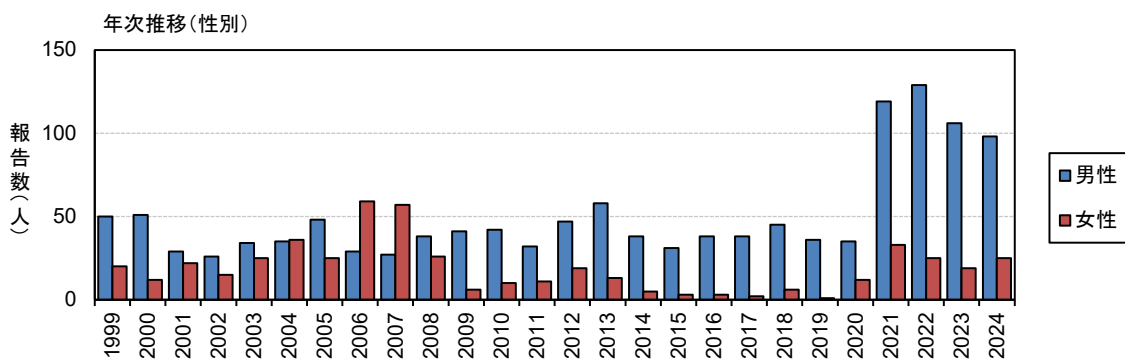
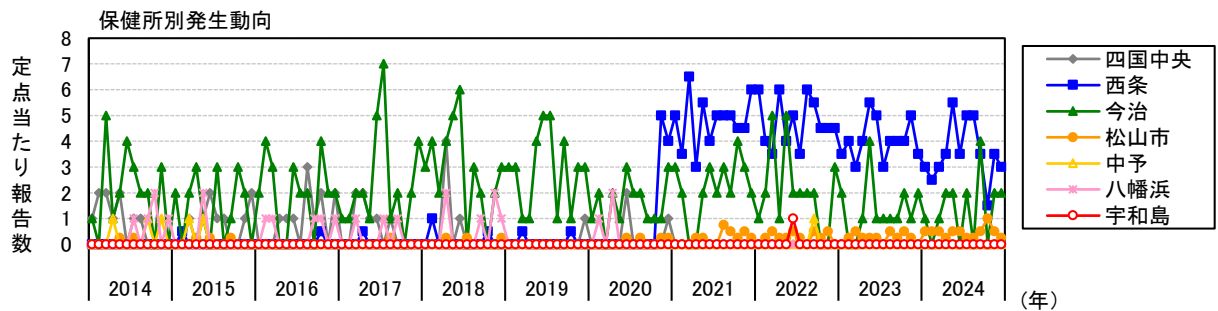
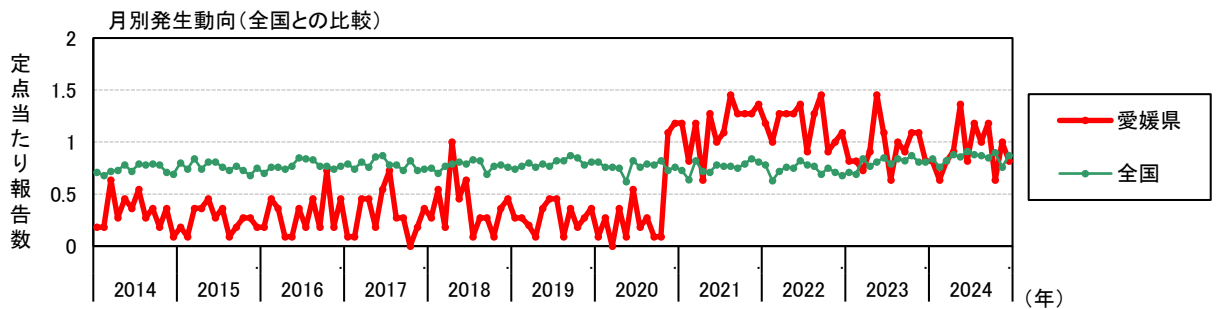


性器ヘルペスウイルス感染症

2024年の患者報告数は123人(定点当たり11.18人/年)であり、前年(患者報告数125人、定点当たり11.36人/年)と同程度の報告であったが、2021年以降、以前と比較して高い水準で推移している。

地域別の定点当たり報告数は、西条保健所が42.50人/年(85人)と最も多く、次いで今治保健所16.00人/年(16人)、松山市保健所5.50人/年(22人)の順であった。四国中央保健所、中予保健所、八幡浜保健所、宇和島保健所からの報告はなかった。

性別は男性98人(79.7%)、女性25人(20.3%)で、前年(男性106人、女性19人)と比較して男性は0.9倍、女性は1.3倍であった。年齢別の患者報告数は、男性では50歳代45人(45.9%)、70歳以上19人(19.4%)、30歳代13人(13.3%)の順で、2020年以降50歳代が占める割合が増加している。女性では20歳代が10人(40.0%)と最も多かった。



性器クラミジア感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数												
	2024年 保健所別					愛媛県					全国												
	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	
1	1	1	2	18	3	2	27	17	13	2,532	2,471	2,396	1.00	0.50	2.00	4.50	3.00		2.00	2.45	1.55	1.18	2.58
2		5	4	17	1		28	18	15	2,350	2,396	2,204		2.50	4.00	4.25	1.00	1.00		2.55	1.64	1.36	2.40
3		3	1	20			25	31	15	2,467	2,615	2,468		1.50	1.00	5.00		1.00		2.27	2.82	1.36	2.51
4		8	3	17	3		31	28	17	2,460	2,512	2,344		4.00	3.00	4.25	3.00			2.82	2.55	1.55	2.50
5	1	5		12	2		21	37	17	2,527	2,721	2,541	1.00	2.50		3.00	2.00	1.00		1.91	3.36	1.55	2.58
6		3	4	18	1	3	29	28	19	2,534	2,872	2,780		1.50	4.00	4.50	1.00	3.00		2.64	2.55	1.73	2.58
7	2	4	2	12	1		21	25	16	2,689	2,635	2,613	2.00	2.00	2.00	3.00	1.00			1.91	2.27	1.45	2.74
8		4	2	18	2		26	18	12	2,529	2,634	2,519		2.00	2.00	4.50	2.00			2.36	1.64	1.09	2.58
9		1	2	17		1	22	27	15	2,602	2,749	2,559		0.50	2.00	4.25		1.00		2.00	2.45	1.36	2.64
10		1	1	18			20	29	20	2,688	2,648	2,715		0.50	1.00	4.50				1.82	2.64	1.82	2.74
11	2	3	1	28			34	23	24	2,346	2,547	2,634	2.00	1.50	1.00	7.00				3.09	2.09	2.18	2.39
12		1		12	3	1	17	23	15	2,082	2,470	2,363		0.50		3.00	3.00		1.00	1.55	2.09	1.36	2.13
合計	6	39	22	207	16	4	301	304	198	29,806	31,270	30,136	6.00	19.50	22.00	51.75	16.00	7.00	4.00	27.36	27.64	18.00	30.38

性器ヘルペスウイルス感染症

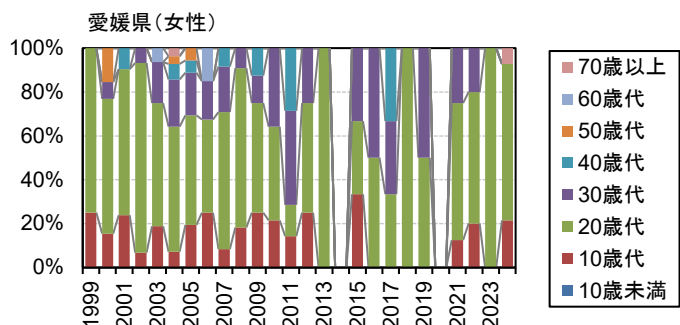
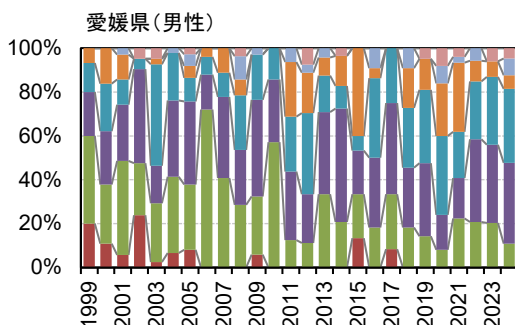
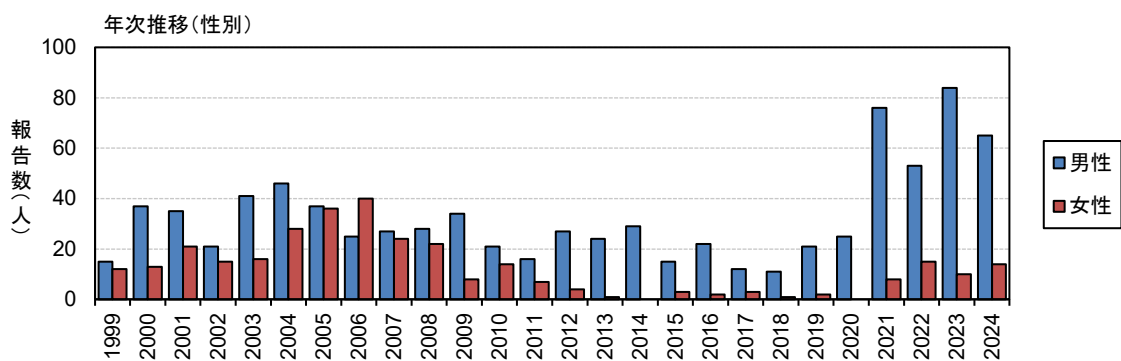
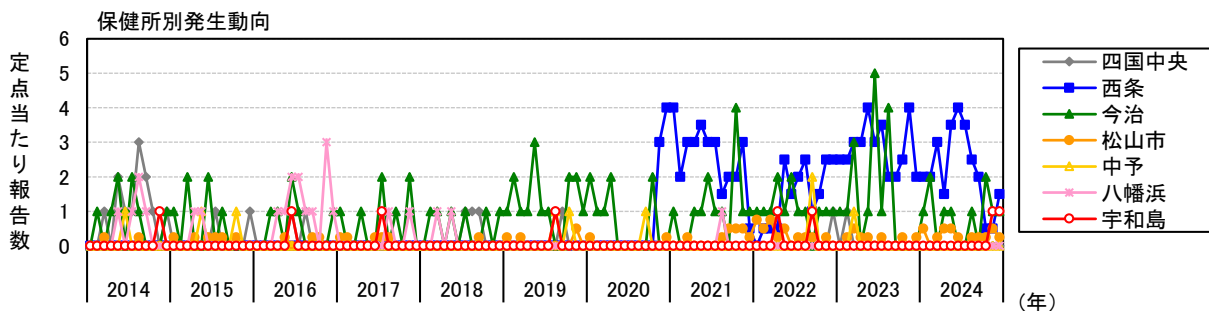
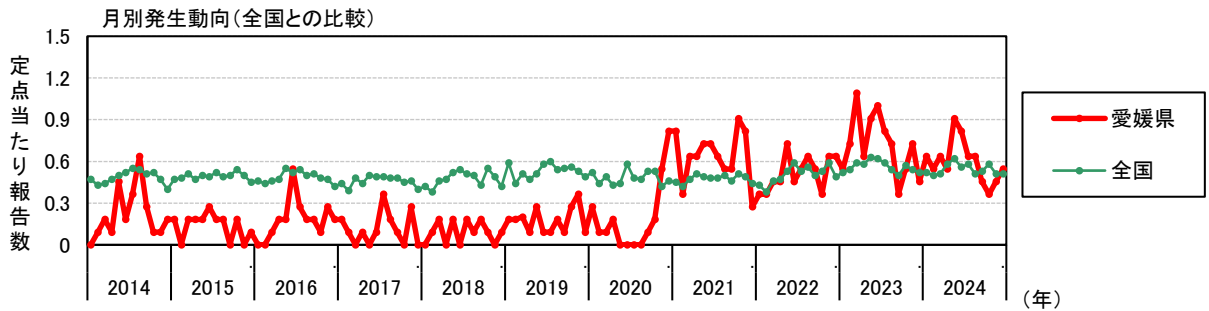
月	患者報告数										定点当たり報告数												
	2024年 保健所別					愛媛県					全国												
	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022			
1		6	1	2			9	9	13	820	704	770		3.00	1.00	0.50				0.82	0.82	1.18	0.84
2		5		2			7	9	11	743	682	618		2.50		0.50				0.64	0.82	1.00	0.76
3		6	1	2			9	8	14	807	829	714		3.00	1.00	0.50				0.82	0.73	1.27	0.82
4		7	2	1			10	10	14	864	757	748		3.50	2.00	0.25				0.91	0.91	1.27	0.88
5		11	2	2			15	16	14	846	801	741		5.50	2.00	0.50				1.36	1.45	1.27	0.86
6		7		2			9	12	15	892	835	811		3.50		0.50				0.82	1.09	1.36	0.91
7		10	2	1			13	7	10	869	783	766		5.00	2.00	0.25				1.18	0.64	0.91	0.88
8		10		1			11	11	14	853	822	752		5.00		0.25				1.00	1.00	1.27	0.87
9		7	4	2			13	10	16	834	803	675		3.50	4.00	0.50				1.18	0.91	1.45	0.85
10		3		4			7	12	10	884	859	739		1.50		1.00				0.64	1.09	0.91	0.90
11		7	2	2			11	12	11	749	794	700		3.50	2.00	0.50				1.00	1.09	1.00	0.76
12		6	2	1			9	9	12	849	800	671		3.00	2.00	0.25				0.82	0.82	1.09	0.87
合計	85	16	22			4	123	125	154	10,010	9,469	8,705	42.50	16.00	5.50		5.50	7.00	4.00	11.18	11.36	14.00	10.20

尖圭コンジローマ

2024年の患者報告数は79人(定点当たり7.18人/年)であり、前年(患者報告数94人、定点当たり8.55人/年)の約0.8倍に減少したが、2021年以降、以前と比較して高い水準で推移している。

地域別の定点当たり報告数は、西条保健所が26.50人/年(53人)と突出して多く、全報告数の7割弱(67.1%)を占めた。

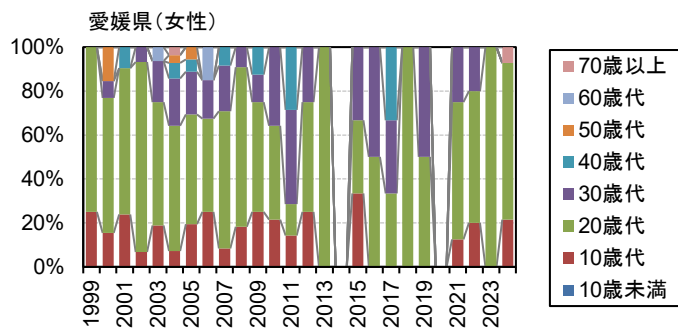
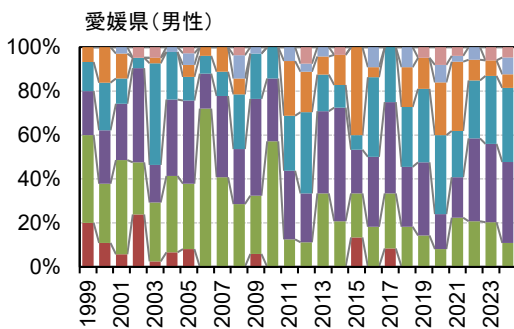
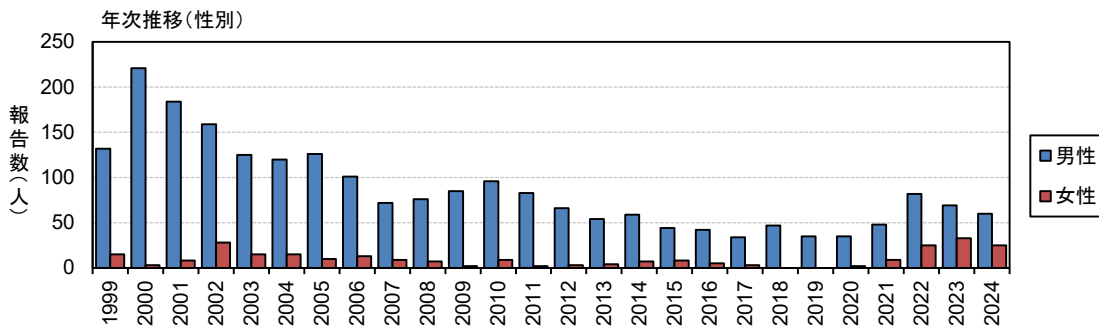
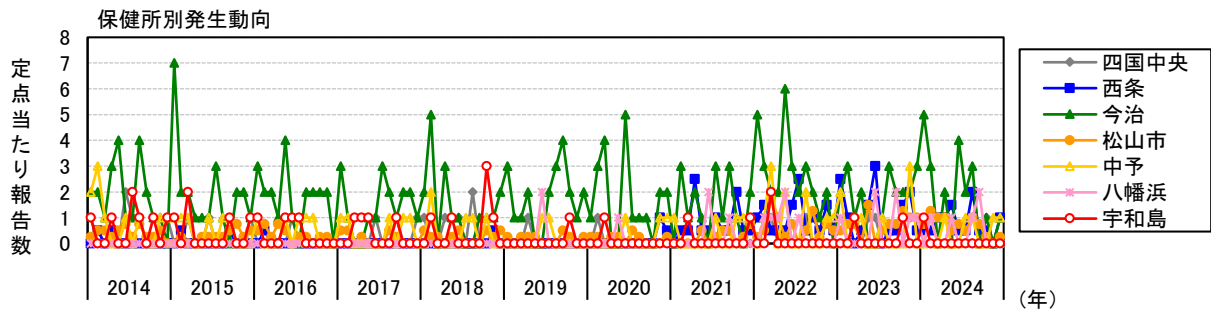
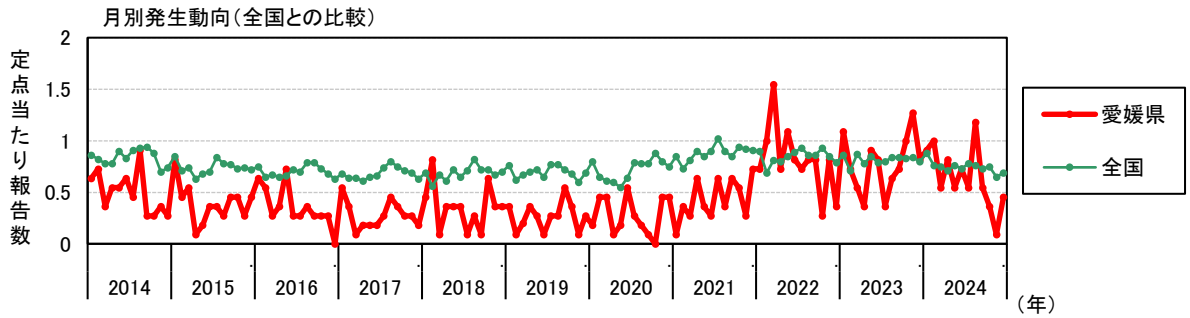
性別は男性65人(82.3%)、女性14人(17.7%)で、前年(男性84人、女性10人)と比較して、男性は0.8倍に減少したが、女性は1.4倍に増加した。年齢別の患者報告数は、男性は30歳代が24人(36.9%)と最も多く、次いで40歳代が22人(33.8%)、20歳代が7人(10.8%)の順であった。女性は20歳代が10人(71.4%)と最も多く、次いで15~19歳が3人(21.4%)であった。



淋菌感染症

2024年の患者報告数は85人(定点当たり7.73人/年)であり、前年(患者報告数102人、定点当たり9.27人/年)の約0.8倍に減少した。

性別は男性60人(70.6%)、女性25人(29.4%)で、前年(男性69人、女性33人)と比較して、男性は0.9倍、女性は0.8倍に減少した。年齢別の患者報告数は、男性は20歳代が24人(40.0%)、30歳代が17人(28.3%)、40歳代が11人(18.3%)と続き、20~40歳代が52人と全体の86.7%を占めた。女性は10歳代12人(48.0%)、30歳代7人(28.0%)、20歳代6人(24.0%)の順であった。



尖圭コンジローマ

月	患者報告数										定点当たり報告数												
	2024年 保健所別					愛媛県					全国												
	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022		
1	4	1	2			7	6	4	424	509	508	4	509	508	424	2.00	1.00	0.50			0.64	0.55	0.36
2	4	2				6	8	4	376	487	529	4	487	529	376	2.00	2.00				0.55	0.73	0.36
3	6		1			7	12	5	457	500	579	5	500	579	457	3.00		0.25			0.64	1.09	0.45
4	3	1	2			6	7	5	458	568	571	5	568	571	458	1.50	1.00	0.50			0.55	0.64	0.45
5	7	1	2			10	10	8	523	605	617	8	605	617	523	3.50	1.00	0.50			0.91	0.91	0.73
6	8		1			9	11	5	581	551	610	5	551	610	581	4.00		0.25			0.82	1.00	0.45
7	7					7	9	6	520	575	581	6	575	581	520	3.50					0.64	0.82	0.55
8	5	1	1			7	8	7	552	499	530	7	499	530	552	2.50	1.00	0.25			0.64	0.73	0.64
9	4		1			5	4	4	496	520	491	6	520	491	496	2.00	2.00	0.25			0.45	0.36	0.55
10	1	2	1			4	6	4	521	571	563	4	571	563	521	0.50	2.00	0.25			0.36	0.55	0.36
11	1	1	2			5	8	7	584	502	534	7	502	534	584	0.50	1.00	0.50	1.00		0.45	0.73	0.64
12	3	1	1			6	5	7	487	500	508	7	500	508	487	1.50	1.00	0.25	1.00		0.55	0.45	0.64
合計	53	10	14			79	94	68	5,979	6,387	6,621	68	6,387	6,621	5,979	26.50	10.00	3.50	2.00		7.18	8.55	6.18

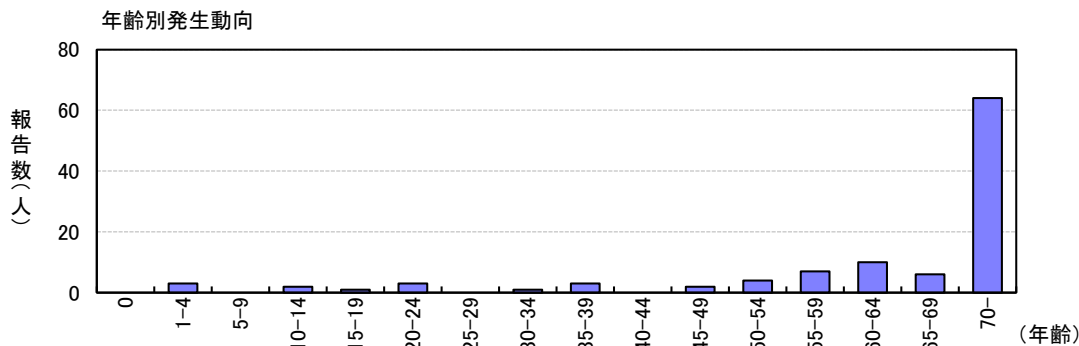
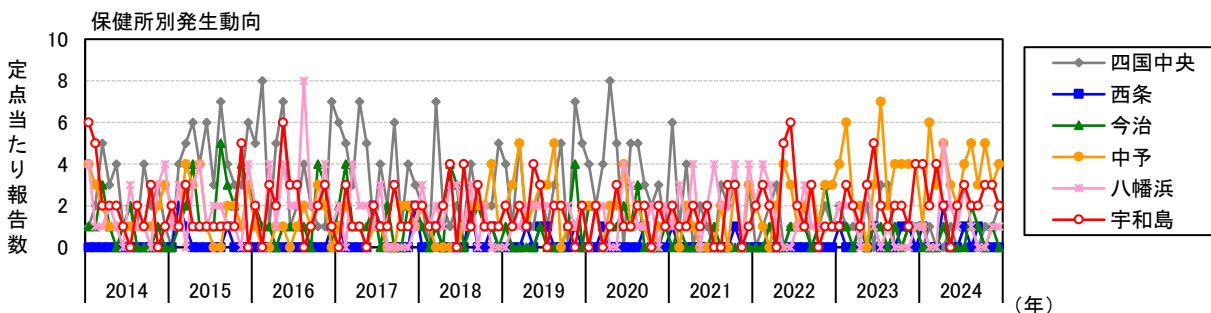
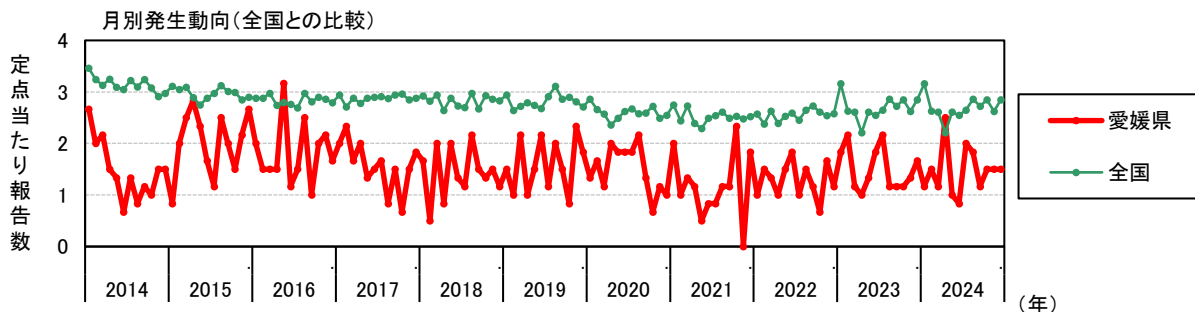
淋菌感染症

月	患者報告数										定点当たり報告数												
	2024年 保健所別					愛媛県					全国												
	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022		
1	1	5	3			1	10	8	888	863	851	8	863	851	888	0.50	5.00	0.75	1.00		0.91	1.09	0.73
2	1	3	5	1	1		11	8	685	747	701	11	747	701	685	0.50	3.00	1.25	1.00	1.00	1.00	0.73	1.00
3	2		4				6	6	796	740	860	17	740	860	796	1.00		1.00			0.55	0.55	1.55
4	2	2	4	1			9	4	791	695	767	8	695	767	791	1.00	2.00	1.00	1.00		0.82	0.36	0.73
5	3		2		1		6	10	837	743	838	12	743	838	837	1.50		0.50	1.00	1.00	0.55	0.91	1.09
6	1	4	3				8	9	871	718	776	9	718	776	871	0.50	4.00	0.75			0.73	0.82	0.82
7	1	2	2	1			6	4	915	766	793	8	766	793	915	0.50	2.00	0.50	1.00		0.55	0.36	0.73
8	4	3	4	1	1		13	7	840	750	827	9	750	827	840	2.00	3.00	1.00	1.00	1.00	1.18	0.64	0.82
9	1		3		2		6	8	845	722	822	9	722	822	845	0.50		0.75	2.00		0.55	0.73	0.82
10	1	1	1				4	3	911	732	819	3	732	819	911	1.00	1.00	0.25			0.36	1.00	0.27
11				1			1	14	840	641	829	9	641	829	840				1.00		0.09	1.27	0.82
12	2	1	1	1			5	9	774	674	791	4	674	791	774	1.00	1.00	0.25	1.00		0.45	0.82	0.36
合計	1	19	21	32	6	5	85	107	9,993	8,791	9,674	107	8,791	9,674	9,993	9.50	21.00	8.00	6.00	5.00	7.73	9.27	9.73

(7) 基幹定点対象疾患(月報)

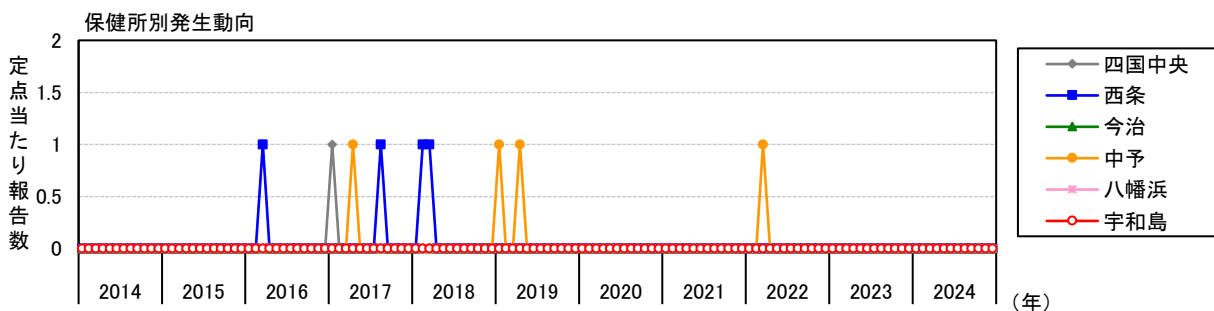
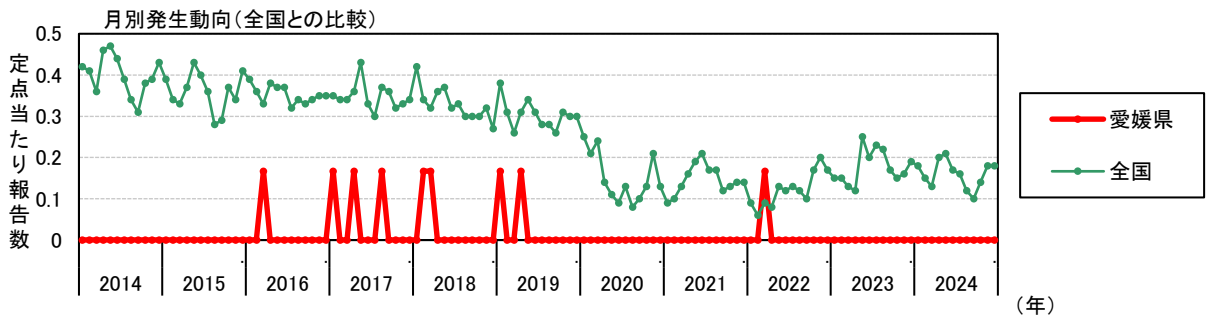
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

2024年の患者報告数は106人(定点当たり17.67人/年)で、前年(患者報告数108人、定点当たり18.00人/年)と同程度の報告であった。70歳以上が64人と全体の60.4%を占めた。



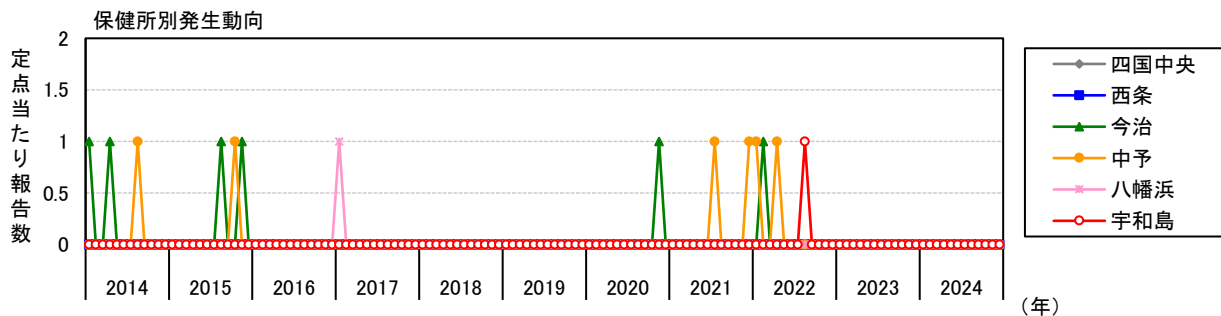
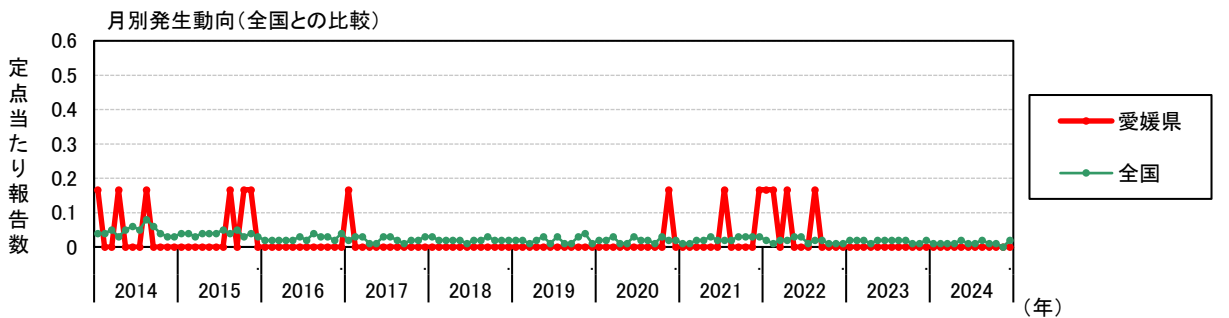
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2024年に県内での患者報告はなかった。県内の患者報告数は、2007年以降年間6人以下の少数報告で推移している。



薬剤耐性緑膿菌感染症

2024年に県内での患者報告はなかった。県内の患者報告数は2003年以降年間10人以下の少数報告で推移している。



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

月	患者報告数											定点当たり報告数													
	2024年 保健所別						愛媛県			全国			2024年 保健所別						愛媛県			全国			
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	
1		1		1	1	4	7	11	6	1,366	1,521	1,232		1.00			1.00	1.00	4.00	1.17	1.83	1.00	2.84	3.16	2.57
2	1			6		2	9	13	9	1,339	1,263	1,144	1.00			6.00		2.00	1.50	2.17	1.50	2.80	2.63	2.38	
3				3		4	7	7	8	1,375	1,259	1,264				3.00		4.00	1.17	1.17	1.33	2.86	2.61	2.63	
4		2	1	5	5	2	15	6	6	1,283	1,059	1,145		2.00	1.00	5.00	5.00	2.00	2.50	1.00	1.00	2.67	2.21	2.39	
5	1			3	2		6	8	9	1,286	1,249	1,212	1.00			3.00	2.00		1.00	1.33	1.50	2.67	2.61	2.53	
6				2	1	2	5	11	11	1,228	1,225	1,243				2.00	1.00	2.00	0.83	1.83	1.83	2.55	2.55	2.59	
7	1	1		4	3	3	12	13	6	1,385	1,273	1,176	1.00	1.00		4.00	3.00	3.00	2.00	2.17	1.00	2.87	2.65	2.45	
8	1		2	5	1	2	11	7	9	1,344	1,372	1,271	1.00		2.00	5.00	1.00	2.00	1.83	1.17	1.50	2.79	2.86	2.65	
9		1	1	3		2	7	7	7	1,242	1,310	1,311		1.00	1.00	3.00		2.00	1.17	1.17	1.17	2.59	2.72	2.73	
10	1			5		3	9	7	4	1,346	1,370	1,247	1.00			5.00		3.00	1.50	1.17	0.67	2.80	2.85	2.61	
11	1		1	3	1	3	9	8	10	1,218	1,259	1,218	1.00		1.00	3.00	1.00	3.00	1.50	1.33	1.67	2.53	2.62	2.54	
12	2			4	1	2	9	10	7	1,332	1,371	1,231	2.00			4.00	1.00	2.00	1.50	1.67	1.17	2.77	2.85	2.58	
合計	8	5	5	44	15	29	106	108	92	15,744	15,531	14,694	8.00	5.00	5.00	44.00	15.00	29.00	17.67	18.00	15.33	32.80	32.36	30.68	

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

月	患者報告数											定点当たり報告数													
	2024年 保健所別						愛媛県			全国			2024年 保健所別						愛媛県			全国			
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	
1										86	71	44											0.18	0.15	0.09
2										74	71	28											0.15	0.15	0.06
3									1	61	62	42									0.17	0.13	0.13	0.09	
4										94	59	39											0.20	0.12	0.08
5										99	119	61											0.21	0.25	0.13
6										81	97	57											0.17	0.20	0.12
7										77	111	62											0.16	0.23	0.13
8										56	104	56											0.12	0.22	0.12
9										46	81	49											0.10	0.17	0.10
10										69	71	83											0.14	0.15	0.17
11										87	75	95											0.18	0.16	0.20
12										86	90	82											0.18	0.19	0.17
合計									1	916	1,011	698										0.17	1.91	2.11	1.46

薬剤耐性緑膿菌感染症

月	患者報告数											定点当たり報告数															
	2024年 保健所別						愛媛県			全国			2024年 保健所別						愛媛県			全国					
	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022	四国中央	西条	今治	中予	八幡浜	宇和島	2024	2023	2022	2024	2023	2022			
1											1	6	9	8									0.17	0.01	0.02	0.02	
2											1	7	11	5									0.17	0.01	0.02	0.01	
3												4	8	8										0.01	0.02	0.02	
4											1	3	4	10									0.17	0.01	0.01	0.02	
5												10	8	15										0.02	0.02	0.03	
6												5	11	12										0.01	0.02	0.03	
7												7	11	7										0.01	0.02	0.01	
8												1	8	8	11									0.17	0.02	0.02	0.02
9												6	8	9										0.01	0.02	0.02	
10												3	6	6										0.01	0.01	0.01	
11												2	5	6											0.01	0.01	0.01
12												11	8	6											0.02	0.02	0.01
合計											4	72	97	103									0.67	0.15	0.20	0.22	

Ⅲ 2024年(令和6年)感染症発生動向調査結果

一 病原体検査結果一

Ⅲ 2024年(令和6年)感染症発生動向調査結果 ー病原体検査結果ー

1 細菌検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

(1) 全数把握対象感染症

赤痢

県内で細菌性赤痢患者の届出があった場合には、分離された菌株について、当所で確認検査を実施するとともに、国立感染症研究所に菌株を送付している。国立感染症研究所では、Multilocus variable-number tandem-repeat analysis (MLVA) 法による型別を実施し、当所では血清型別試験、細胞侵入性関連遺伝子 (*invE*、*ipaH*) の遺伝子検査を実施している。

腸管出血性大腸菌感染症

県内で腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症患者及び無症状病原体保有者の届出があった場合には、分離された菌株について当所で確認検査を実施するとともに、国立感染症研究所に菌株を送付している。国立感染症研究所では、EHEC O26、O111、O157 については Multilocus variable-number tandem repeat analysis (MLVA) 法による型別を実施し、その他の EHEC についてはパルスフィールドゲル電気泳動 (PFGE) 法による型別を実施して、全国規模の同時多発的な集団発生“diffuse outbreak (散在的集団発生)”を監視している。当所では、分離株の生化学的性状、O 抗原及び H 抗原の血清型別、ベロ毒素 (VT) の型別、薬剤感受性試験、PFGE 法に加え、EHEC O157、O26、O111 については MLVA 法を実施し県内規模の diffuse outbreak を監視している。薬剤感受性試験は、臨床・検査標準協会 (CLSI) の抗菌薬ディスク感受性試験実施基準等に基づき、アンピシリン (ABPC)、セフトキシム (CTX)、ゲンタマイシン (GM)、カナマイシン (KM)、イミペネム (IPM)、ノルフロキサシン (NFLX)、シプロフロキサシン (CPFX)、ナリジクス酸 (NA)、ST 合剤 (SXT)、メロペネム (MEPM)、セフトジジム (CAZ)、ホスホマイシン (FOM)、クロラムフェニコール (CP)、セフォキシチン (CFX)、アミカシン (AMK)、ストレプトマイシン (SM)、テトラサイクリン (TC)、コリスチン (CL) の 18 薬剤に対する耐性の有無を判定している。

県内で届出のあった EHEC 患者及び無症状病原体保有者 46 名から分離された EHEC について解析を行った (表 2)。分離株の血清型別及び VT 型別を併せた分類では、O157:H7VT1&2、O21:H21VT1 が各 12 株、O165:Hg25VT1&2 が 3 株、O103:H2VT1、O157:H-VT1&2、O157:H7VT2、O181:H49VT2 が 2 株、O8:H19VT2、O22:H8VT2、O26:H11VT1、O105:H7VT2、O118:H16VT1、O123:Hg10VT1&2、O157:H-VT1&2、O157:HUTVT1&2、O157:H-VT1、OUT:Hg32VT1、OUT:H45VT1&2 が各 1 株であった。

事例 5 (患者 2 名、O157:H7VT1&2) は、一宮市、埼玉県、福岡県、大阪府、神戸市の分離株と MLVA 型 (20m0218) が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

事例 8 (患者 1 名、O157:H7VT2) は、東京都の分離株と MLVA 型 (24m0166) が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

事例 10 (患者 1 名、O157:H7VT1&2) は、埼玉県の分離株と MLVA 型 (23m0103) が一致したが

疫学的な関連は見いだせなかった。

事例 11 (患者 5 名、O157:H7 VT1&2) は、大分県の分離株と MLVA 型 (24m0164) が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

事例 15 (患者 1 名、O157:HUT VT1&2) は、徳島県及び東京都の分離株と MLVA 型 (24m0307) が一致したが疫学的な関連は見いだせなかった。

病原因子関連遺伝子は、*eae* 及び *hlyA* 遺伝子を共に保有していたのは 24 株 (12 事例)、*eae* 遺伝子のみ保有が 3 株 (3 事例)、*hlyA* 遺伝子のみ保有が 3 株 (2 事例)、*eae* 及び *hlyA* 遺伝子を共に保有していなかったのは 16 株 (5 事例) であった。

薬剤感受性試験の結果、KM、ST、CP、SM、TC の 5 剤耐性が 1 株 (1 事例)、ST、CP、SM、TC の 4 剤耐性が 1 株 (1 事例)、ST、CP、TC の 3 剤耐性が 1 株 (1 事例)、SM、TC の 2 剤耐性が 2 株 (2 事例)、SM 及び ABPC の 1 剤耐性が各 2 株 (2 事例)、TC の 1 剤耐性が 1 株 (1 事例) であった (表 2)。

表 2 愛媛県における腸管出血性大腸菌感染症患者からの分離株(2024 年)

事例番号	診断月日	保健所名	疫学情報	患者感染者数 (無症状者再掲)	血清型		VT型別	病原因子	耐性薬剤	MLVA型 ²⁾	MLVA ³⁾ コンプレックス	株数	
					O	H ¹⁾							
1	2024/03/08	今治	散发	1	165	Hg25	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	なし	24m7001		1	
2	2024/4/4	松山市	家庭内 友人	3 (1)	118	16	1	<i>eae, hlyA</i>	KM,ST,CP, SM,TC			1	
	157				—	1							
	2024/3/23	松山市			157	—	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	なし	24m0063	24c008	3	
	2024/3/27	中予			157	—	1, 2						
3	2024/03/30	今治	散发	1	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	なし	15m0370		1	
4	2024/04/30	松山市	散发	1	26	11	1	<i>eae, hlyA</i>	なし	24m2068		1	
5	2024/05/14	松山市	家庭内	3 (2)	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	なし	TC	20m0218		1
		中予			103	2	1	<i>eae, hlyA</i>	なし	19m4016		1	
	2024/05/17	中予			103	2	1	<i>eae, hlyA</i>	なし	SM,TC	19m4016		1
	2024/05/17	中予			157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	なし	20m0218		1	
6	2024/06/14	松山市	家庭内	2 (2)	181	49	2	<i>hlyA</i>	なし			2	
7	2024/06/28	松山市	散发	1 (1)	123	Hg10	1, 2	<i>hlyA</i>	なし			1	
8	2024/07/01	中予	散发	1 (1)	157	7	2	<i>eae, hlyA</i>	ST,CP,SM,TC	24m0166		1	
9	2024/07/08	西条	散发	1	157	7	2	<i>eae, hlyA</i>	なし	24m0319		1	
10	2024/07/08	宇和島	散发	1	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	SM,TC	23m0103		1	
11	2024/07/11~7/17	松山市	集団	5 (3)	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	なし	24m0164		5	
12	2024/07/19	八幡浜	散发	1 (1)	105	7	2	<i>eae</i>	なし			1	
13	2024/08/14~08/17	八幡浜	家庭内	3 (2)	157	7	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	なし	24m0408		3	
14	2024/08/21	宇和島	施設内	2 (1)	165	Hg25	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	ABPC	24m7004	24c701	2	
	2024/08/26	宇和島						<i>eae</i>	ABPC	24m7005			
15	2024/08/26	西条	散发	1	157	UT	1, 2	<i>eae, hlyA</i>	SM	24m0307		1	
16	2024/10/05	西条	散发	1 (1)	8	19	2	なし	SM			1	
17	2024/10/23	松山市	散发	1 (1)	UT	Hg32	1	なし	ST,CP,TC			1	
18	2024/10/28~11/05	西条	施設内	12 (12)	21	21	1	なし	なし			12	
19	2024/11/21	西条	散发	1	157	—	1, 2	<i>eae</i>	なし	24m0606		1	
20	2024/12/10	中予	散发	1 (1)	UT	45	1, 2	なし	なし			1	
21	2024/12/26	中予	散发	1 (1)	22	8	2	なし	なし			1	
計				44 (30)								46	

1) Hg : H-genotyping PCR法による判別. 国立感染症研究所で実施.
 2) MLVA : ゲノム上に散在するリポーター配列のリポーター数の違いを基に菌株を型別する方法. 国立感染症研究所によって付与されたMLVA型. "24mXXXX" [-24, 2024 (分離年), -m, MLVA, -XXXX, 番号] と表記.
 3) MLVA コンプレックス : SLV (Single locus variant : 一遺伝子座でリポーター数が異なる, PFGEにおける2~3バンド違いと同様の意味.) の関係にあるMLVA型. "24cYYYY" [-24, 2024 (分離年), -c, complex, -YYYY, 番号] と表記.

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症

県内でカルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）感染症の届出があった場合は、平成29年3月28日付け厚生労働省健康局結核感染症課長通知「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）感染症等に係る試験検査の実施について」に基づき、当該菌株について詳細な分子疫学解析を実施している。

県内で届出のあった CRE 感染症患者 16 名の患者由来株 18 株(1 名から 3 株)が搬入された。菌種の内訳は、*Klebsiella aerogenes* が 7 株、*Enterobacter cloacae* が 4 株、*Citrobacter freundii* 及び *Escherichia coli* が各 2 株、*Klebsiella pneumoniae*、*Klebsiella oxytoca*、*Enterobacter hormaechei* が各 1 株であった（表 3）。PCR 法による主要なカルバペネマーゼ遺伝子検出の結果、18 株中 4 株がカルバペネマーゼ産生株であった。内訳は、*Klebsiella oxytoca* が IMP-6 型であり、同一患者 1 名から分離された *Klebsiella pneumoniae*、*Enterobacter hormaechei*、*Escherichia coli* の 3 株はいずれも NDM 型であった（表 3）。

表 3 愛媛県におけるカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症患者からの分離株(2024 年)

菌株番号	診断月日	保健所	検出検体	検出菌種	PCR法			表現型検査			
					カルバペネマーゼ遺伝子 ¹⁾	ESBL ²⁾	AmpC ³⁾	クラブラン酸試験	SMA ⁴⁾	ポロン酸	クロキサリン
1	12/22	松山市	血液	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	EBC	-	-	+	-
2	1/12	宇和島	尿	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	-	-	-	-	-
3	1/20	松山市	血液	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-	-
4	1/20	松山市	尿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-	-
5	2/7	松山市	動脈カテーテル	<i>Citrobacter freundii</i>	-	-	-	-	-	-	-
6	3/18	松山市	尿	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	EBC	-	-	-	-
7	4/6	松山市	喀痰	<i>Citrobacter freundii</i>	-	-	-	-	-	-	-
8	4/18	宇和島	穿刺液	<i>Klebsiella oxytoca</i>	IMP-6	-	-	-	+	-	-
9	5/17	松山市	喀痰	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-	-
10	5/23	松山市	膿	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-	-
11	7/19	松山市	膿	<i>Escherichia coli</i>	-	TEM, CTX-M-9 group	-	+	-	-	-
12	8/21	宇和島	喀痰	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-	-
13	8/27	宇和島	喀痰	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-	-
14	8/29	松山市	喀痰	<i>Enterobacter cloacae</i>	-	-	-	-	-	-	-
15	11/7	宇和島	血液	<i>Klebsiella aerogenes</i>	-	-	-	-	-	-	-
16 ⁵⁾	11/19	松山市	膿	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	NDM	SHV	-	-	+	-	-
17 ⁵⁾	11/19	松山市	膿	<i>Escherichia coli</i>	NDM	-	-	-	+	-	-
18 ⁵⁾	11/19	松山市	膿	<i>Enterobacter hormaechei</i>	NDM	-	-	-	+	-	-

1) カルバペネマーゼ遺伝子: IMP, VIM, NDM, KPC, OXA-48, GES
 2) 基質拡張型β-ラクタマーゼ遺伝子: TEM型、SHV型、CTX-M-1group、CTX-M-2 group、CTX-M-9 group
 3) AmpC β-ラクタマーゼ遺伝子: MOX, CIT, DHA, EBC, FOX, ACC
 4) SMA:メルカプト酢酸ナトリウム試験
 5)同一患者

劇症型溶血性レンサ球菌感染症

県内で劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出があった場合には、当所で当該菌株について Lancefield の分類により群別を行い、A 群溶血性レンサ球菌については T 血清型別を実施している。

県内で届出のあった劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者由来 23 株が搬入された。Lancefield 分類による群別の結果、A 群溶血性レンサ球菌及び G 群溶血性レンサ球菌が各 10 株、B 群溶血性レンサ球菌

が3株であった。

A群溶血性レンサ球菌10株の菌種は、*Streptococcus pyogenes*で、T血清型別はT1が4株、型別不能が6株であった(表4)。

表4 愛媛県における劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者からの分離株(2024年)

診断月日	保健所名	菌種	Lancefield群別 血清型	T血清型別
1/16	宇和島	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
1/23	松山市	<i>Streptococcus agalactiae</i>	B群	—
1/25	西条	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	T1
2/19	松山市	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
2/28	宇和島	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
2/28	松山市	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
3/10	宇和島	<i>Streptococcus agalactiae</i>	B群	—
3/11	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	型別不能
3/13	松山市	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
3/26	松山市	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
4/25	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	T1
5/21	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	T1
6/18	西条	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
7/8	中予	<i>Streptococcus agalactiae</i>	B群	—
8/26	松山市	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
8/26	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	型別不能
9/15	八幡浜	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	型別不能
10/22	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	T1
10/24	松山市	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
11/11	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	型別不能
11/15	西条	<i>Streptococcus G</i>	G群	—
11/18	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	型別不能
12/8	松山市	<i>Streptococcus pyogenes</i>	A群	型別不能

バンコマイシン耐性腸球菌感染症

県内でバンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の届出があった場合は、平成29年3月28日付け健感発0328第4号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症等に係る試験検査の実施について」に基づき、当該菌株について菌種同定、耐性遺伝子検査等、詳細な分子疫学的解析を実施している。

県内で届出のあったVRE感染症患者2名の患者由来株が搬入された。菌種は*Enterococcus faecium*で、耐性遺伝子は*vanA*であった(表5)。

表5 愛媛県におけるバンコマイシン耐性腸球菌感染症患者からの分離株(2024年)

菌株番号	診断月日	保健所	検出検体	検出菌種	耐性遺伝子
1	9/30	松山市	喀痰	<i>Enterococcus faecium</i>	<i>vanA</i>
2	10/22	松山市	浸出液	<i>Enterococcus faecium</i>	<i>vanA</i>

(2) 定点把握対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた指定届出機関のうち、病原体定点等の医療機関において、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎等患者から採取された検体について細菌学的検査を実施している。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭ぬぐい液を羊血液寒天培地で分離を行い、 β 溶血を認めた集落について同定検査及びLancefieldの分類による群別試験を実施している。さらに、A群溶血性レンサ球菌と同定された菌株については、T血清型別を実施している。

感染性胃腸炎

検査対象病原体は下痢原性大腸菌、サルモネラ属菌及びカンピロバクター属菌とし、通常3種類の選択分離培地上に発育した集落を釣菌し、生化学的性状試験及び血清学的試験等により同定している。下痢原性大腸菌は11種類 (*stx1*、*stx2*、*stx2f*、*estA1*、*estA2*、*elt*、*invE*、*aggR*、*eae*、*astA*、*afaD*) の病原因子関連遺伝子の有無をPCR法で確認し、腸管出血性大腸菌(EHEC)、腸管侵入性大腸菌(EIEC)、腸管毒素原性大腸菌(ETEC)、腸管病原性大腸菌(EPEC)及び腸管凝集付着性大腸菌(EAggEC)、その他の大腸菌(EAST1EC、DAEC)に分類し、市販免疫血清で血清型別を実施している。カンピロバクター属菌は、*Campylobacter spp.*、*C. jejuni*、*C. coli*、*C. lari*、*C. upsaliensis*、*C. fetus*を対象としたMultiplex-PCRを実施し、*C. jejuni*についてはPennerの耐熱性抗原による血清型別試験及び遺伝子検査を実施している。

2 ウイルス検査状況

感染症の病原体に関する情報を収集するため、愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領に基づき、病原体検査を実施した。

(1) 全数把握対象感染症

全数把握対象感染症が発生した場合には、当所で遺伝子検査等によるウイルス検査を実施するとともに、必要に応じて国立感染症研究所へ検体を送付し、確認検査を依頼している。本年の県保健所及び松山市からの依頼により受け付けた検体は、血液（血清）が 68 検体、痂皮が 18 検体、糞便が 5 検体、咽頭ぬぐい液（鼻咽頭ぬぐい液、鼻汁を含む）が 33 検体、尿が 3 検体、髄液が 3 検体、水疱が 1 検体であった。

① 鳥インフルエンザ

疑い患者 29 例の検体（鼻咽頭ぬぐい液、鼻汁）について検査した結果、鳥インフルエンザウイルスは検出されなかった。

② 日本紅斑熱

疑い患者 28 例の検体（血清、痂皮）について抗体検査等を実施した。

③ 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

疑い患者 15 例の検体（血清）について検査した結果、6 例から SFTS ウイルスが検出された。

④ Q熱

疑い患者 8 例の検体（血清）について抗体検査等を実施した。

⑤ 急性脳炎

疑い事例 3 例の検体（咽頭ぬぐい液、血液（血清）、髄液、尿、ふん便）について検査した結果、1 例からコクサッキーウイルス A16 型が、1 例からインフルエンザウイルス AH1pdm09 型が検出された。

⑥ A型肝炎

疑い患者 2 例の検体（糞便）について検査した結果、ウイルスは検出されなかった。

⑦ 麻しん

疑い患者 1 例の検体（咽頭ぬぐい液、尿）について検査した結果、麻しんウイルスは検出されなかった。

⑧ エムポックス

疑い患者 1 例の検体（水疱、痂皮）について検査した結果、エムポックスウイルスは検出されなかった。

(2) 定点把握対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱に定められた患者定点として選定された医療機関のうち、病原体定点はインフルエンザ定点（指定提出機関）8（内科 4、小児科 4）、小児科定点 8、基幹定点 6、眼科定点 2 の機関が設定されている（2024.4.1 現在）。病原体検査対象疾患のうちウイルス性疾患は、インフルエンザ定点のインフルエンザ、小児科定点の咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、眼科定点の流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、基幹定点の無菌性髄膜炎である。これらの医療機関から、病原体検査要領に基づいて採取された検体について、ウイルス学的検査を実施した。

検査材料：臨床材料は、2024 年 1 月から 12 月の間に採取された。当所に搬入された呼吸器感染症等患者検体（咽頭ぬぐい液、結膜ぬぐい液等）は、試験に供するまで -80°C で冷凍保存した。また、感染性胃腸炎患者検体（糞便）は、試験に供するまで -30°C で冷凍保存した。

検査方法：呼吸器感染症等患者検体からのウイルス分離には FL、RD-18s、Vero 細胞を常用した。感染性胃腸炎起因ウイルス検索には、電子顕微鏡法 (EM)、PCR 法、リアルタイム PCR 法及び IC 法を用いた。

① 病原体定点種類別検体数

2024 年に病原体定点から受付を行った検体数は 172 検体であった。病原体定点種類別・臨床診断名別の受付状況を表 1 に示した。

2024 年はインフルエンザ定点等から受付を行ったインフルエンザ検体は 92 検体、その他 1 検体であった。小児科定点からの検体数は 80 検体で、対象疾患別では手足口病が最も多く 71 検体、次いで咽頭結膜熱が 4 検体、感染性胃腸炎が 3 検体、ヘルパンギーナが 1 検体、インフルエンザが 1 検体であった。眼科定点及び基幹定点からの検体の受付はなかった。

2016 年 4 月 1 日の改正感染症法施行以降、定点医療機関や地域ごとの検体数は概ね平準化されたものの、調査に十分な検体数には至っていない。一年間に流行する疾患の動向をより正確に把握し、県民へ情報提供するために、一定数の検体確保に努める必要がある。

② 呼吸器感染症等患者検体からの検出

呼吸器感染症等患者検体からのウイルス検出状況について、月別検出状況を表 2 に、臨床診断名別検出状況を表 3 に示した。169 検体についてウイルス検査を実施した結果、155 検体からウイルスが検出された (検出率 91.7%)。なお、1 検体から複数種類の病原体が検出されたものもあった。

表 1 定点医療機関からの臨床診断名別検体受付状況 (2024 年)

保健所名	種 別	イン フル エン ザ	咽 頭 結 膜 熱	感 染 性 胃 腸 炎	手 足 口 病	ヘル パ ン ギ ー ナ	そ の 他	合 計
四国中央	インフルエンザ	11					1	12
	小 児 科 基 幹		2		26			28
西 条	インフルエンザ	40						40
	小 児 科 基 幹	1			10			11
今 治	インフルエンザ	11						11
	小 児 科 眼 科 基 幹			3	17	1		21
中 予	インフルエンザ	13						13
	小 児 科 基 幹				1			1
八 幡 浜	インフルエンザ	2						2
	小 児 科 基 幹							
宇 和 島	インフルエンザ							
	小 児 科 基 幹							
松 山 市	インフルエンザ	14						14
	小 児 科 基 幹		2		17			19
合 計		92	4	3	71	1	1	172

表2 呼吸器感染症等患者検体からの月別ウイルス検出状況 (2024年)

ウイルス型		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフルエンザ	AH1pdm09	14	4				1			2	3	8	19	51
	AH3	5	1											6
	B(Victoria系統)	1	11	11	5									28
コクサッキー	CV-A6			1	3	9	3	4						20
	CV-A10			1	1	2	3	2	2	1				12
	CV-A16							2	3	10	6	4	2	27
エンテロウイルス	EV-A71									1		1		2
	EV D68											1		1
ライノ	Rhino				4	8		1	1	1	2		1	18
アデノ	Ad3	2	1											3
ヒトメタニューモ	hMPV			1										1
合計		22	17	14	13	19	7	9	6	15	11	14	22	169
検体数		25	19	17	13	12	11	8	6	14	10	12	22	169

表3 臨床診断名別ウイルス検出状況(2024年)

ウイルス型		インフル エンザ	手足 口病	咽頭 結膜 熱	ヘル パン ギー ナ	その 他	合 計
インフルエンザ	AH1pdm09	51					51
	AH3	6					6
	B(Victoria系統)	28					28
コクサッキー	CV-A6		20				20
	CV-A10		12				12
	CV-A16		27				27
エンテロウイルス	EV-A71		2				2
	EV D68		1				1
ライノ	Rhino		17		1		18
アデノ	Ad3			3			3
ヒトメタニューモ	hMPV					1	1
合計		85	79	3	1	1	169

表4 臨床材料別ウイルス検出状況(2024年)

臨床材料別		(鼻) 咽頭ぬぐい液	鼻腔ぬぐい液 (鼻汁)	結膜ぬぐい液	合 計
検体数		106	62	1	169
検出数		97	57	1	155
検出率(%)		91.5	91.9	100	91.7
インフルエンザ	AH1pdm09	22	29		51
	AH3	1	5		6
	B(Victoria系統)	8	20		28
コクサッキー	CV-A6	20			20
	CV-A10	11	1		12
	CV-A16	26		1	27
エンテロウイルス	EV A71	2			2
	EV D68	1			1
ライノ	Rhino	16	2		18
アデノ	Ad3	2			2
ヒトメタニューモ	hHPV		1		1

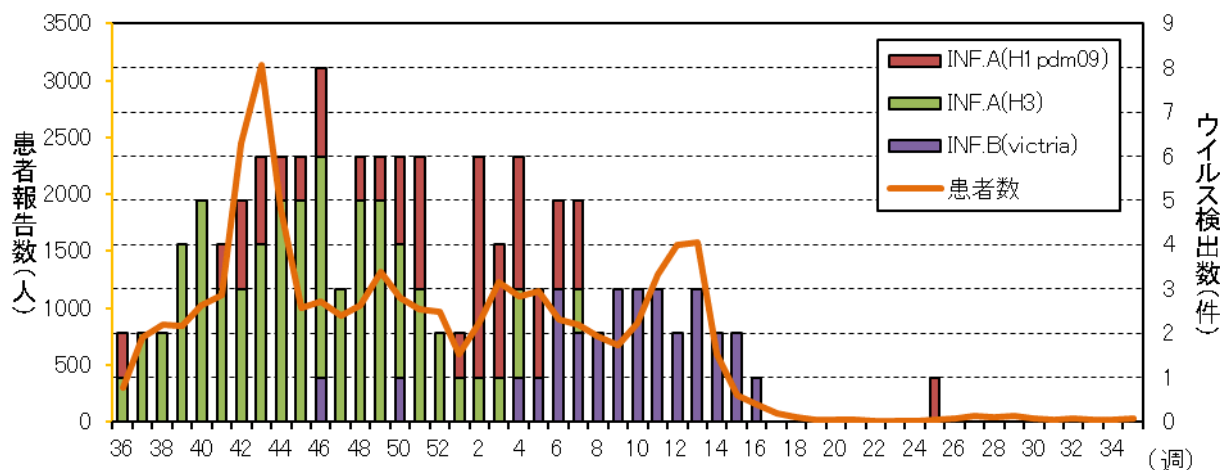
○ ウイルス別検出状況

・インフルエンザウイルス

インフルエンザウイルスは、5月、7月及び8月を除く各月のインフルエンザ患者検体から85件検出された。内訳は、AH1pdm09が51件、AH3が6件、B(Victoria系統)が28件であり、B(山形系統)は検出されなかった。AH1pdm09は1月から2月、6月及び9月から12月に検出されていた。またAH3は1月に多く検出されていた。B(Victoria系統)は1月下旬から4月に検出されていた。

図1に2023/2024シーズンの週毎のインフルエンザ患者報告数とインフルエンザウイルスの検出状況を示した。2023/2024シーズンは2022/2023シーズンから流行が終息することなく移行した。シーズン初期はAH3が多く検出されたが、12月の患者数増加とともに、次第にAH1pdm09の検出数も増加した。1月下旬からB(Victoria系統)の検出が増加しており、3月の患者数の増加はB(Victoria系統)による流行と考えられた。

図1 2023/2024シーズン インフルエンザウイルス検出状況



・エンテロウイルス

エンテロウイルスは3月から12月に手足口病及びヘルパンギーナから計79件検出された。

ウイルス型別では、コクサッキーウイルス(CV)-A16が27件、CV-A6が20件、CV-A10が12件、エンテロウイルス(EV)-A71が2件、EV-D68が1件検出された。臨床診断名別では、ヘルパンギーナで検出されたライノウイルス1件を除き、すべて手足口病患者検体からの検出で、CV-A16が27件、CV-A6が20件、CV-A10が12件、ライノウイルスが17件、エンテロウイルス(EV)-A71が2件、EV-D68が1件検出されており、月別の検出状況から2024年の手足口病の主病因は、CV-A6及びCV-A10からAV-A16に移行していったと考えられた。

・アデノウイルス

1月及び2月に採取された咽頭結膜炎患者検体から、アデノウイルス3型(Ad3)が3件検出された。流行性角結膜熱患者検体の受付はなかった。

○ 臨床材料別ウイルス検出状況

呼吸器感染症等患者検体からの臨床材料別のウイルス検出状況を表4に示した。検体数は計169検体で、その内訳は、(鼻)咽頭ぬぐい液106検体、鼻腔ぬぐい液(鼻汁)62検体、結膜ぬぐい液1検体であった。ウイルス検出率は(鼻)咽頭ぬぐい液91.5%、鼻腔ぬぐい液91.9%、結膜ぬぐい液100%であった。

○ 年齢別ウイルス検出状況

インフルエンザウイルス、エンテロウイルス等及びアデノウイルスの年齢別検出数を、それぞれ表5、表6に示した。

インフルエンザウイルスは、AH1pdm09は全ての年齢区分、AH3は0歳から4歳及び10歳から14歳の区分を除く全ての年齢区分、B(Victoria系統)は0歳から4歳を除く全ての年齢区分において検出された。いずれの型も検出年齢に明らかな傾向はみられなかった。また、B(山形系統)は検出されなかった。

エンテロウイルス等は、2024年の手足口病の前半の主病因と考えられたCV-A6が1歳から2歳で多く検出された一方、CV-A10は1歳から19歳まで偏りなく検出された。後半の主病因と考えられたCV-A16は1から4歳で多く検出された。ライノウイルスは1歳から2歳で多く検出された。

アデノウイルスは年齢区分に偏りなく検出された。

表5 インフルエンザウイルス年齢別検出数(2024年)

年齢区分	AH1pdm09	AH3	B(Victoria)
0～4	2		
5～9	6	1	2
10～14	2		2
15～19	3	1	5
20～29	4	1	5
30～39	8	2	6
≥40	26	1	8
合計	51	6	28

表6 エンテロ・アデノウイルス等年齢別検出数(2024年)

年齢区分	コクサッキー			エンテロ		ライノ	アデノ
	CV-A6	CV-A10	CV-A16	EV-A71	EV-D68	Rhino	Ad3
<1	3		1			3	
1～2	14	5	11			13	1
3～4	2	1	8	1	1	2	1
5～6	1	3	3				1
7～9		1	3	1			
10～19		2					
≥20							
合計	20	12	26	2	1	18	3

③ 感染性胃腸炎患者検体からの検出

感染性胃腸炎患者検体からの月別ウイルス検出状況を表7に示した。

○ 感染性胃腸炎患者検体からのウイルス検出状況

2024年に病原体定点から受付を行った感染性胃腸炎患者検体は3検体で、すべてノロウイルスGII(NoV GII)であった。ノロウイルスGI(NoV GI)、サポウイルス及びアストロウイルスは検出されなかった。

月別のウイルス検出数は2月に1件、3月に2件であった。

○ 胃腸炎起因ウイルス年齢別分布

胃腸炎起因ウイルスは1歳で1件、2歳で1件、10歳で1件検出された。それ以外の年齢層では検出されなかった。

表7 感染性胃腸炎患者からのウイルス検出状況(2024年)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
NoV GII		1	2										3
検体数	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
検出率(%)	0	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100

(3) 積極的疫学調査

2024 年は下記について積極的疫学調査（感染症法第 15 条に規定する感染症の発生の状況、動向及び原因の調査）に係る検査を実施した。

○次世代シーケンサーを用いた SARS-CoV-2 の全ゲノム遺伝子系統解析

SARS-CoV-2 の変異株の発生と動向の監視のために国からの要請を受け、SARS-CoV-2 陽性となった患者検体について次世代シーケンサー（NGS）を用いた全ゲノム遺伝子系統解析を実施した。

表 8 と図 2 に月別のゲノム解析数と NextClade 系統分類別検出数を示した。

表 8 SARS-CoV-2 ゲノム解析 NextClade 系統分類別検出数（月別）（2024 年）

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
23A(XBB.1.5~)	4	4											8
23D(XBB.1.9~)	1												1
23F(EG.5.1~)	6	5											11
23G(XBB.1.5.70~)	1												1
23H(HK.3~)	2		7										9
23I(BA.2.86~)	12	14	4										30
24A(JN.1~)	10	14	6	3	1								34
24B(JN.1.11.1~)							2	1			1		4
24C(KP.3~)						9	67	37	9	9	4	5	140
24E(KP.3.1.1~)								3		1	2	3	9
24F(XEC~)										1	1		2
Recombinant													0
ゲノム解析数	42	40	24	5	1	11	78	50	11	13	13	11	299

()内Pango系統

2024 年に全ゲノム解析を実施した SARS-CoV-2 陽性検体は 299 件であった。NextClade 系統分類別では、23I（Pango 系統：BA.2.86~）が 1 月から 3 月にかけて 30 件、24A（Pango 系統：JN.1~）が 1 月から 5 月にかけて 34 件、24C(Pango 系統：KP.3~)が 6 月から 12 月にかけて 140 件が検出された。

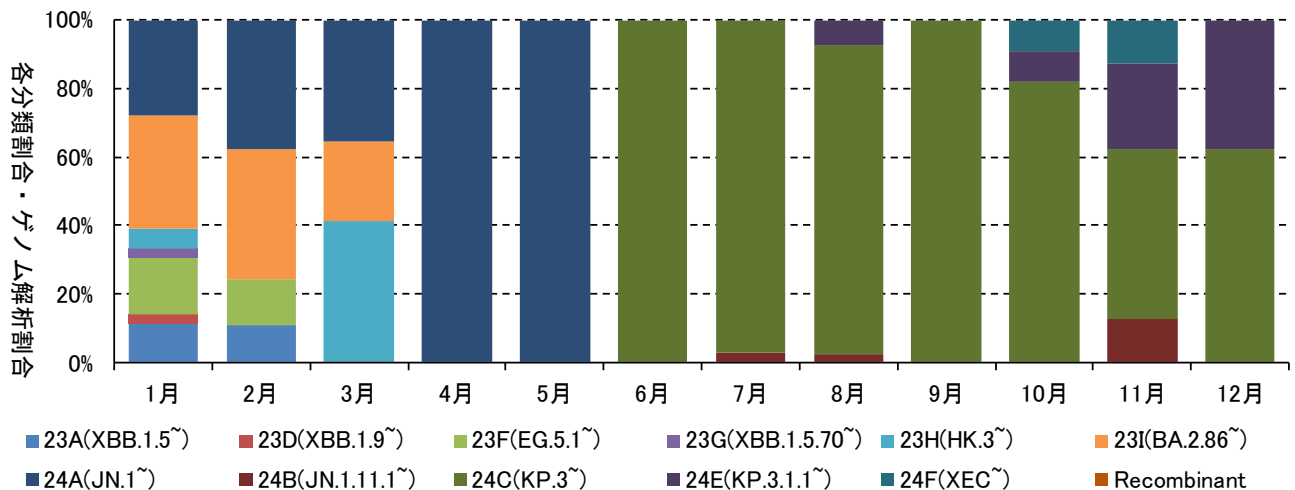


図 2 NextClade 系統分類別検出割合（月別）（2024 年）

IV 2024年(令和6年)結核登録者情報

IV 2024年(令和6年) 結核登録者情報

1 概況

2024年の結核新登録患者数(潜在性結核感染症は除く)は90人であり、前年(86人)と比べ増加した。結核罹患率(人口10万対率)は7.1となり、前年(6.7)と比べ増加したが、一般に結核低まん延の指標とされる「罹患率人口10万あたり10以下」を6年連続して下回った。新登録患者における70歳以上の割合は64.4%で、全国(60.2%)と比較し高齢者の占める割合が高かった。県内の年齢階級別罹患率は、前年と比較し10歳代、20歳代、30歳代、40歳代、60歳代、90歳以上では増加、50歳代、70歳代、80歳代では減少した。保健所別の罹患率は高い順に宇和島保健所16.9、八幡浜保健所12.4、今治保健所9.4、四国中央保健所6.4、松山市保健所5.0、西条保健所4.7、中予保健所4.1であった。喀痰塗抹陽性肺結核患者数は29人で前年の32人から3人減少した。罹患率は2.3であり、新登録肺結核患者のうち喀痰塗抹陽性者は46.8%を占めた。患者が発病してから初診までに2ヶ月以上経過している割合(受診の遅れ)は24.0%で、前年(7.4%)から増加した。初診から診断までに1ヶ月以上経過している割合(診断の遅れ)は14.7%で、前年(27.9%)から減少した。2024年末現在の結核登録患者数は187人(結核登録率14.7)、活動性結核患者数は64人(有病率5.0)であり、前年と比較して結核登録患者数は減少したが、活動性結核患者数は増加した。

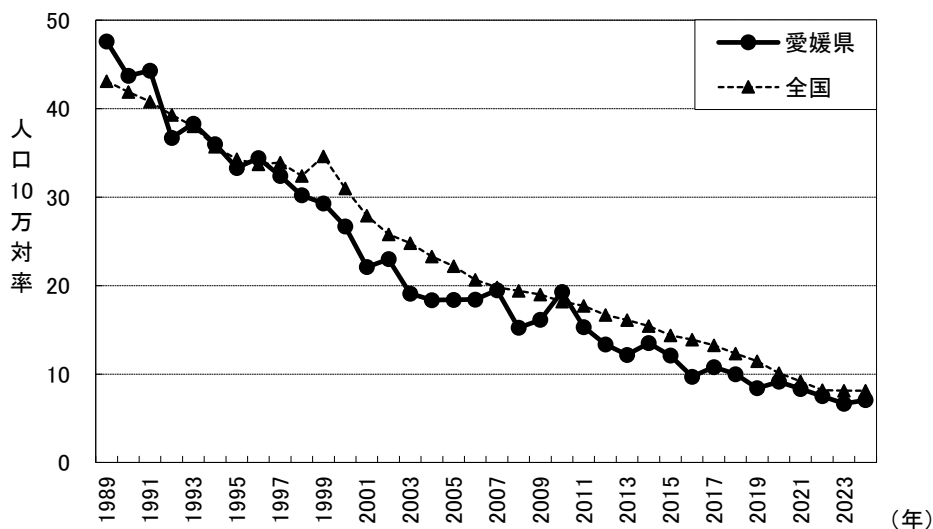
2 新登録患者の状況

(1) 患者数及び罹患率の動向

県内で2024年に新たに結核患者として登録された患者数(新登録患者数)は90人で、前年の86人から4人増加した。結核罹患率(人口10万人あたりの新登録患者数)は7.1となり、前年の6.7から0.4増加したものの、2019年以降続く低まん延状態の水準である「罹患率10以下」を維持しており、本県の罹患率は全国値を下回る水準にある。

全国の結核罹患率は8.1であり、前年(8.1)から横ばいで、2021年以降4年続けて結核低まん延の水準を下回った。都道府県別の罹患率は、大阪府(12.8)が最も高く、次いで徳島県(12.3)、大分県(10.7)、岐阜県(10.2)、和歌山県(10.2)、京都府(10.1)の順であった。一方、最も低かったのは山形県(4.1)で、次いで長野県(4.2)、山梨県(4.4)、新潟県(4.9)の順であり、41都道府県で罹患率10を下回った。なお、本県は低い順で20位となり、前年(18位)よりも順位が後退した。

結核罹患率の推移

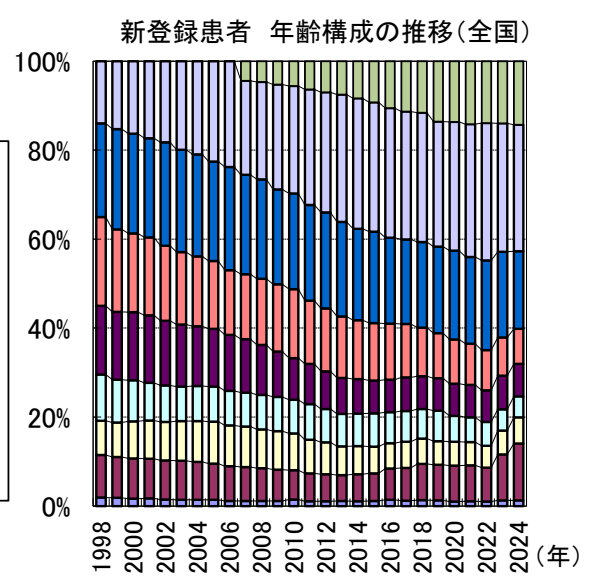
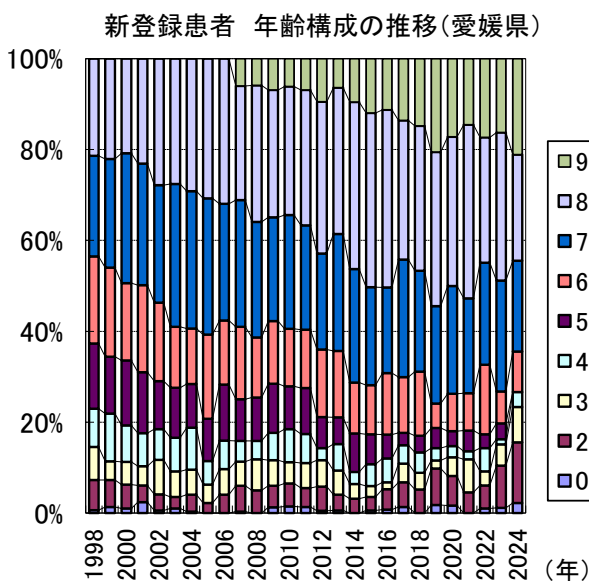
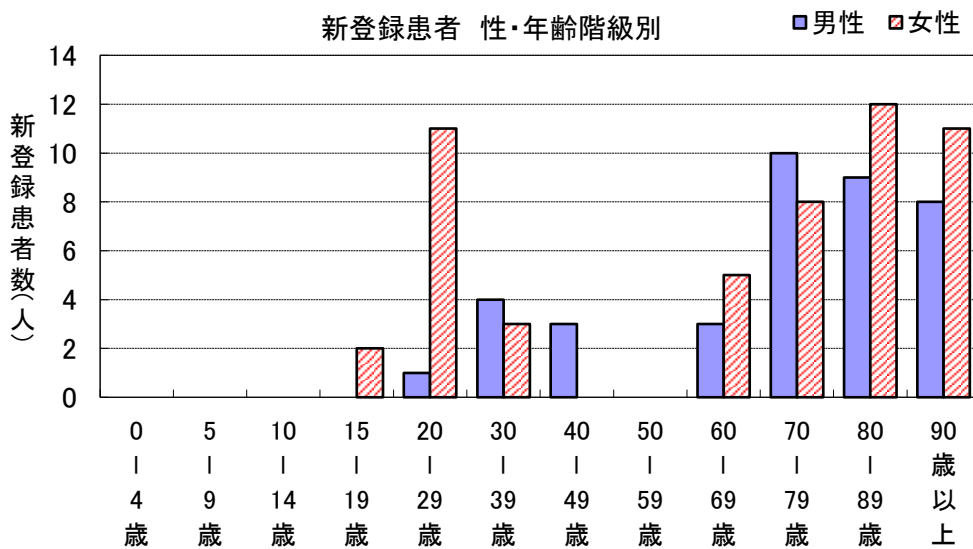


(2) 性・年齢階級別

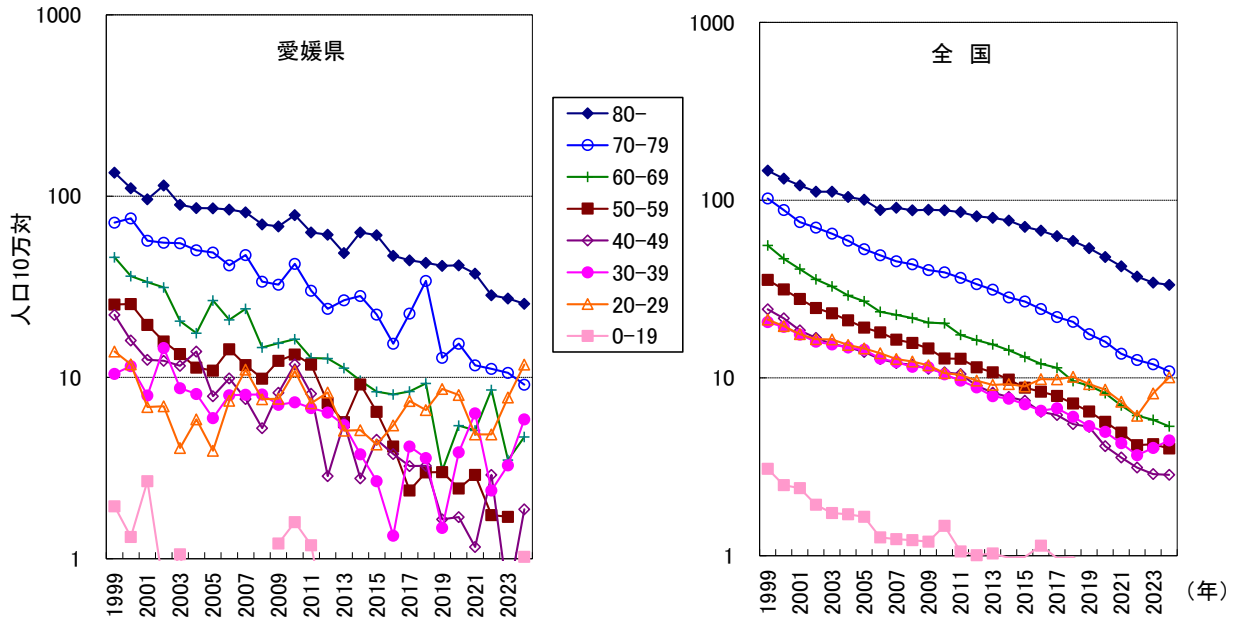
男女別の新登録患者数は、男性 38 人、女性 52 人であった。前年（男性 41 人、女性 45 人）と比較し、男性は 3 人減少し、女性は 7 人増加した。

年齢階級別の新登録患者数は、80 歳代が 21 人と最も多かった。10 歳代は 2012 年以降 0~2 人と患者数が少ない状況が続いており、本年も 2 人とごく少数の報告であった。なお、0~14 歳の小児結核はなかった（前年 0 人）。前年と比較し、20 歳代、30 歳代、40 歳代、60 歳代、90 歳以上は増加し、70 歳代、80 歳代では減少した。50 歳代の報告はなかった。70 歳以上の高齢者が 58 人（前年 63 人）と、新登録患者の 64.4%（前年 73.3%）と割合は減少したものの依然として高い割合を占めており、全国（60.2%）より高い割合であった。

年齢階級別の罹患率は、20 歳代は 11.8 と 2010 年（10.9）以来、初めて 10.0 を上回っており、全国でも 10.1 と増加した。70 歳代では 9.1 と初めて 10.0 を下回った。80 歳以上では 25.5 と依然として高かった。



新登録患者 年齢階級別罹患率の推移

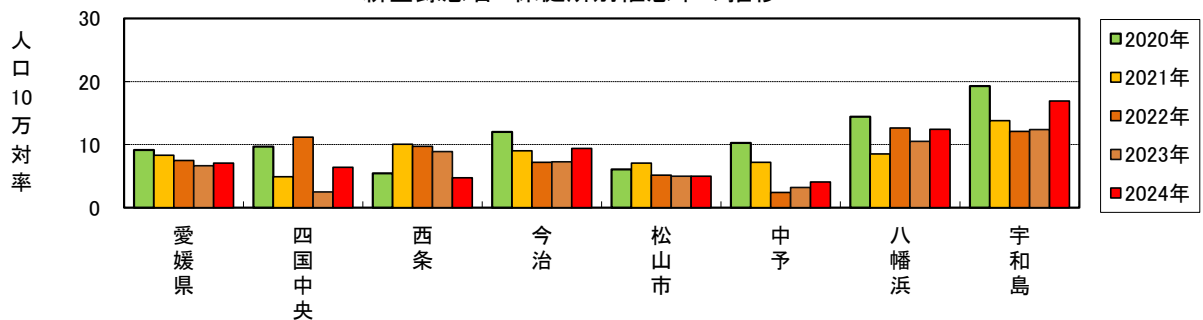


(3) 保健所別

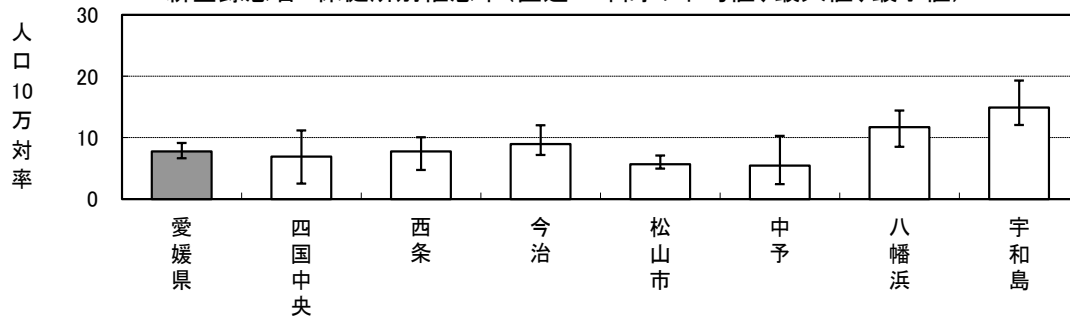
2024年の保健所別の罹患率を比較すると、高い順に、宇和島保健所 16.9（前年 12.4）、八幡浜保健所 12.4（前年 10.5）、今治保健所 9.4（前年 7.3）、四国中央保健所 6.4（前年 2.5）、松山市保健所 5.0（前年 5.0）、西条保健所 4.7（前年 8.9）、中予保健所 4.1（前年 3.2）であった。前年と比較し、四国中央保健所、今治保健所、中予保健所、八幡浜保健所、宇和島保健所で増加し、松山市保健所は横ばい、西条保健所では減少した。

保健所別の直近5年間（2020～2024年）の罹患率の平均は、高い順に宇和島保健所 14.9、八幡浜保健所 11.7、今治保健所 9.0、西条保健所 7.8、四国中央保健所 6.9、松山市保健所 5.7、中予保健所 5.4であり、南予で高い傾向が見られる。

新登録患者 保健所別罹患率の推移



新登録患者 保健所別罹患率(直近5年間の平均値、最大値、最小値)

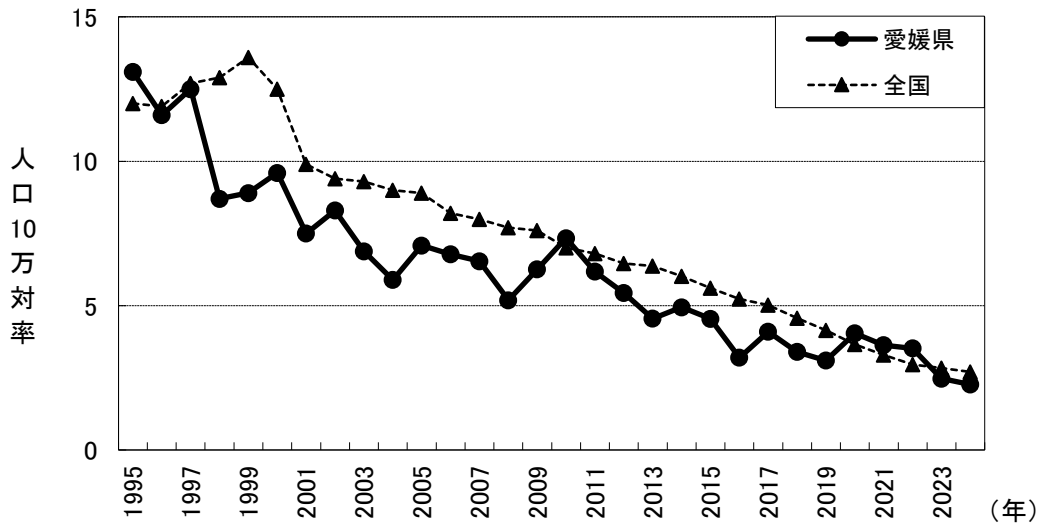


(4) 喀痰塗抹陽性肺結核患者数の動向

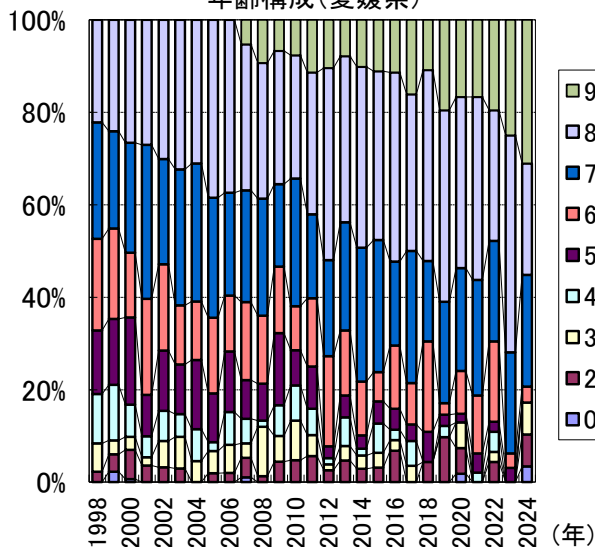
新登録患者のうち、排菌により感染拡大の危険が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は 29 人で、前年の 32 人から 3 人減少した。罹患率は 2.3 で、前年の 2.5 から 0.2 減少し、過去最少を更新した。全国の喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は 2.7 で前年の 2.8 より 0.1 減少したが、1999 年をピークに概ね減少傾向が続いている。

新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合は 46.8%で、前年 (54.2%) から減少したものの、依然として約半数を占めている。なお、喀痰塗抹陽性肺結核患者のうち 70 歳以上の高齢患者の割合は 79.3%と高かったが、前年 (93.8%) からは減少した。

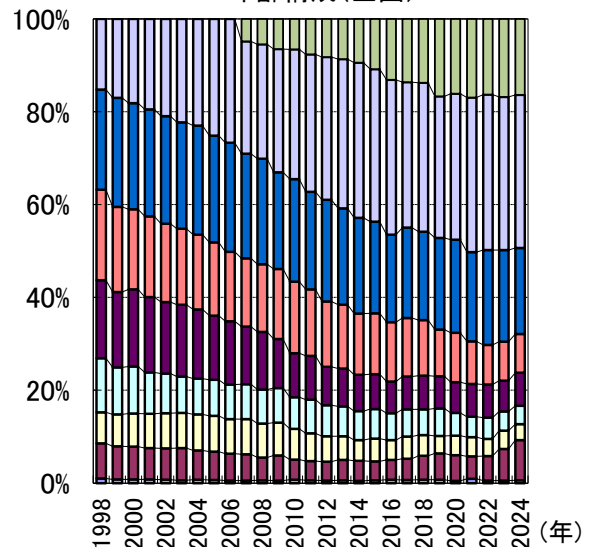
喀痰塗抹陽性肺結核罹患率の推移



新登録塗抹陽性肺結核患者
年齢構成(愛媛県)



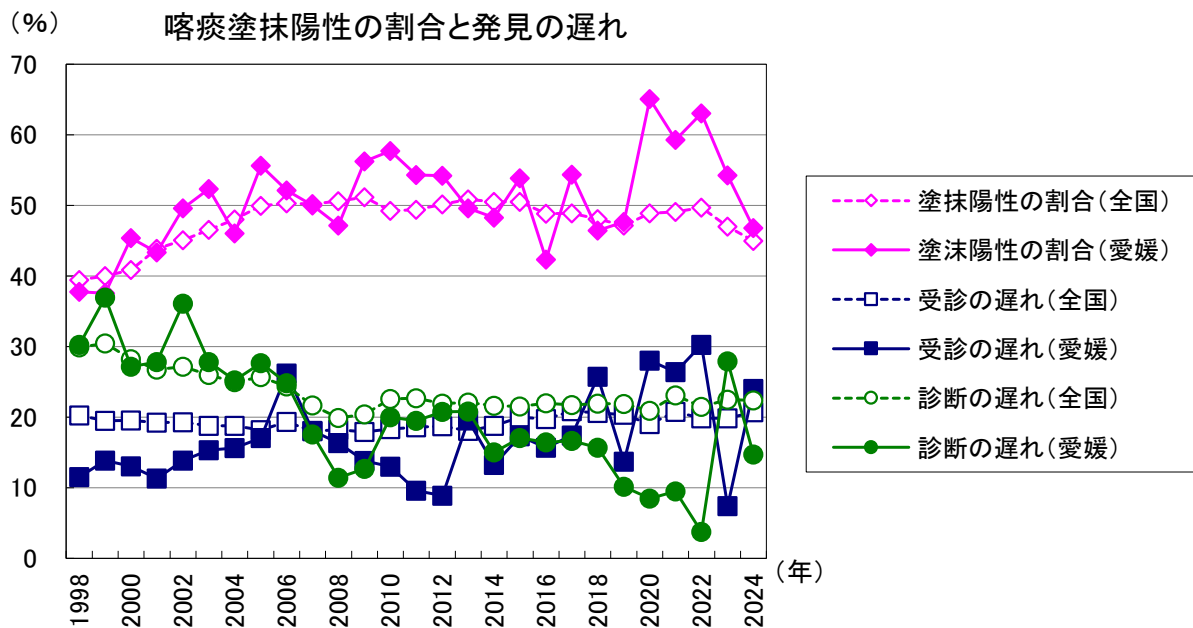
新登録塗抹陽性肺結核患者
年齢構成(全国)



(5) 発見の遅れ

新登録有症状肺結核患者において、発病から初診までに要する期間が2ヶ月以上の割合を「受診の遅れ」の指標とした場合、全国では18~20%でほぼ横ばいで推移している。本県では、2006年から2012年にかけて減少傾向にあったが、その後増減を繰り返しており、本年は24.0%と過去最低値であった前年7.4%から急増した。

一方、初診から診断(登録)までに要する期間が1ヶ月以上の割合を「診断の遅れ」の指標とした場合、全国では2007年以降20~22%でほぼ横ばいで推移している。本年は14.7%と、急増した前年の27.9%から減少に転じた。



塗抹陽性の割合：新登録肺結核患者に占める喀痰塗抹陽性者の割合

受診の遅れ：新登録有症状肺結核患者のうち、発病～初診の期間が2ヶ月以上の場合

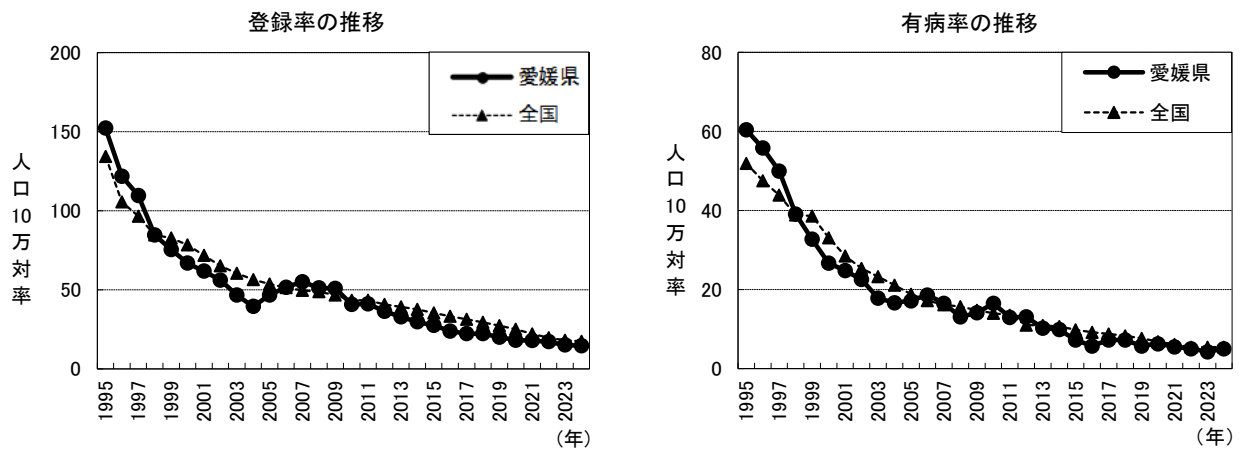
診断の遅れ：新登録有症状肺結核患者のうち、初診～診断(登録)の期間が1ヶ月以上の割合

3 年末現在結核登録者の状況

2024 年末の愛媛県における結核登録患者数は 187 人で、前年の 195 人より 8 人減少した。結核登録率（人口 10 万人当たりの年末現在結核登録者）は 14.7 で、前年の 15.1 から 0.4 減少し、過去最少となった。全国の登録率は 17.5（前年 18.0）であり、本県の登録率は引き続き全国値を下回っている。

年末現在の活動性結核患者数（年末時点で結核の治療を受けている、あるいは治療の必要がある患者数）は 64 人で、前年の 55 人より 9 人増加し、有病率（人口 10 万人当たりの年末現在活動性結核患者数）は 5.0 で、前年の 4.3 から 0.7 増加した。全国のお有病率は 5.4 で、前年の 5.5 より 0.1 減少した。

県内の登録率の年次推移をみると、2004 年までは順調に減少していたが、2005 年から 2007 年にかけて増加し、2006 年には全国値を上回った。2008 年以降は再び減少傾向を示し、本年は過去最少となった。



登録率：人口 10 万人当たりの年末現在結核登録者数

有病率：人口 10 万人当たりの年末現在活動性結核患者数

表 4-1 2024 年 新登録患者数－保健所別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性					肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	90	62	29	28	1	29	4	28	43
四国中央	5	3	2	2		1		2	1
西 条	10	3	1		1	1	1	7	5
今 治	14	12	6	6		4	2	2	8
松 山 市	25	16	7	7		8	1	9	12
中 予	5	4	2	2		2		1	2
八 幡 浜	15	11	7	7		4		4	3
宇 和 島	16	13	4	4		9		3	12

表 4-2 2024 年 新登録患者数－性、年齢階級別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性					肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	90	62	29	28	1	29	4	28	43
男	38	26	11	10	1	13	2	12	24
女	52	36	18	18		16	2	16	19
0-4歳									7
男									5
女									2
5-9歳									
男									
女									
10-14歳									
男									
女									
15-19歳	2	2	1	1		1			
男									
女	2	2	1	1		1			
20-29歳	12	9	2	2		4	3	3	5
男	1	1					1		
女	11	8	2	2		4	2	3	5
30-39歳	7	5	2	2		2	1	2	2
男	4	3	1	1		1	1	1	1
女	3	2	1	1		1		1	1
40-49歳	3	1				1		2	5
男	3	1				1		2	2
女									3
50-59歳									7
男									3
女									4
60-69歳	8	4	1	1		3		4	1
男	3	1				1		2	1
女	5	3	1	1		2		2	
70-79歳	18	10	7	7		3		8	10
男	10	5	4	4		1		5	10
女	8	5	3	3		2		3	
80-89歳	21	17	7	7		10		4	5
男	9	8	3	3		5		1	2
女	12	9	4	4		5		3	3
90歳以上	19	14	9	8	1	5		5	1
男	8	7	3	2	1	4		1	
女	11	7	6	6		1		4	1

表 4-3 新登録結核患者数及び罹患率の年次推移－保健所別

保健所	2024年		2023年		2022年		2021年		2020年		2019年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	90	7.1	86	6.7	98	7.5	110	8.3	122	9.1	112	8.4
四国中央	5	6.4	2	2.5	9	11.2	4	4.9	8	9.7	5	6.0
西条	10	4.7	19	8.9	21	9.7	22	10.1	12	5.4	19	8.6
今治	14	9.4	11	7.3	11	7.2	14	9.0	19	12.0	17	10.7
松山市	25	5.0	25	5.0	26	5.1	36	7.1	31	6.1	30	5.9
中予	5	4.1	4	3.2	3	2.4	9	7.2	13	10.3	10	7.8
八幡浜	15	12.4	13	10.5	16	12.7	11	8.5	19	14.4	20	15.0
宇和島	16	16.9	12	12.4	12	12.1	14	13.8	20	19.3	11	10.5

表 4-4 新登録結核患者数及び構成率の年次推移－年齢階級別

年齢階級	2024年		2023年		2022年		2021年		2020年		2019年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4									1	0.8		
5-9												
10-14									1	0.8		
15-19	2	2.2	1	1.2	1	1.0					2	1.8
20-29	12	13.3	8	9.3	5	5.1	5	4.5	8	6.6	9	8.0
30-39	7	7.8	4	4.7	3	3.1	8	7.3	5	4.1	2	1.8
40-49	3	3.3	1	1.2	5	5.1	2	1.8	3	2.5	3	2.7
50-59			3	3.5	3	3.1	5	4.5	4	3.3	5	4.5
60-69	8	8.9	6	7.0	15	15.3	9	8.2	10	8.2	6	5.4
70-79	18	20.0	21	24.4	22	22.4	23	20.9	29	23.8	24	21.4
80-89	21	23.3	28	32.6	27	27.6	42	38.2	40	32.8	38	33.9
90-	19	21.1	14	16.3	17	17.3	16	14.5	21	17.2	23	20.5

表 4-5 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び罹患率の年次推移－保健所別

保健所	2024年		2023年		2022年		2021年		2020年		2019年	
	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率	患者数	罹患率
愛媛県 総数	29	2.3	32	2.5	46	3.5	48	3.6	54	4.0	41	3.1
四国中央	2	2.6	1	1.3	6	7.4	1	1.2	2	2.4	1	1.2
西条	1	0.5	10	4.7	9	4.2	11	5.0	6	2.7	8	3.6
今治	6	4.0	4	2.6	8	5.2	6	3.9	11	7.0	7	4.4
松山市	7	1.4	9	1.8	11	2.2	14	2.7	12	2.3	12	2.4
中予	2	1.6	2	1.6	2	1.6	4	3.2	6	4.7	2	1.6
八幡浜	7	5.8	5	4.0	7	5.5	5	3.9	8	6.1	8	6.0
宇和島	4	4.2	1	1.0	3	3.0	7	6.9	9	8.7	3	2.9

表 4-6 新登録喀痰塗抹陽性患者数及び構成率の年次推移－年齢階級別

年齢階級	2024年		2023年		2022年		2021年		2020年		2019年	
	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率	患者数	構成率
0-4												
5-9												
10-14									1	1.9		
15-19	1	3.4										
20-29	2	6.9			2	4.3			3	5.6	4	9.8
30-39	2	6.9			1	2.2			3	5.6		
40-49					2	4.3	1	2.1			1	2.4
50-59			1	3.1	1	2.2	2	4.2	1	1.9	1	2.4
60-69	1	3.4	1	3.1	8	17.4	6	12.5	5	9.3	1	2.4
70-79	7	24.1	7	21.9	10	21.7	12	25.0	12	22.2	9	22.0
80-89	7	24.1	15	46.9	13	28.3	19	39.6	20	37.0	17	41.5
90-	9	31.0	8	25.0	9	19.6	8	16.7	9	16.7	8	19.5

表 4-7 2024 年 新登録患者数—結核病類、性、年齢階級別

	新登録患者数	肺結核		肺外結核								
		肺結核	気管支結核	粟粒結核	結核性胸膜炎	他のリンパ節結核	結核性髄膜炎	脊椎結核	腎・尿路結核	性器結核	結核性腹膜炎	その他の臓器の結核
愛媛県 総数	90	63		4	14	6	1	2	1	1	1	1
男	38	27		2	6		1		1	1	1	1
女	52	36		2	8	6		2				
0-4歳												
男												
女												
5-9歳												
男												
女												
10-14歳												
男												
女												
15-19歳	2	2										
男												
女	2	2										
20-29歳	12	9			1	3						
男	1	1										
女	11	8			1	3						
30-39歳	7	5				1				1		
男	4	3								1		
女	3	2				1						
40-49歳	3	2		1								1
男	3	2		1								1
女												
50-59歳												
男												
女												
60-69歳	8	4			1	1		1	1			
男	3	1			1				1			
女	5	3				1		1				
70-79歳	18	10		2	4		1				1	
男	10	5		1	2		1				1	
女	8	5		1	2							
80-89歳	21	17		1	2	1		1				
男	9	8			1							
女	12	9		1	1	1		1				
90歳以上	19	14			6							
男	8	7			2							
女	11	7			4							

注：結核病類は重複あり

表 4-8 2024 年 新登録肺結核患者数－職業、菌情報、保健所別

	総 数		接客業等		看護師・保健師		医師		その他の医療職	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数	29	33	1							1
四国中央	2	1								
西 条	1	2								
今 治	6	6								
松 山 市	7	9								
中 予	2	2								
八 幡 浜	7	4								1
宇 和 島	4	9	1							

	教員・保母		小中学生等児童		高校生以上の 生徒学生等		その他 常用勤労者		その他 臨時雇・日雇	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数					1		4	10		
四国中央										
西 条								1		
今 治							2	4		
松 山 市					1			3		
中 予								1		
八 幡 浜							1			
宇 和 島							1	1		

	その他 自営業・自由業		家事従事者		乳幼児		無職・その他		不明	
	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他	喀 痰 塗 抹 陽 性	その他
愛媛県 総数	4	3	1				18	19		
四国中央	1						1	1		
西 条							1	1		
今 治			1				3	2		
松 山 市	2	1					4	5		
中 予							2	1		
八 幡 浜	1						5	3		
宇 和 島		2					2	6		

表 4-9 2024 年 新登録患者数－発見方法別

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性					肺 外 結 核 活 動 性		
		総 数	嗜 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県 総数	90	62	29	28	1	29	4	28	43
健康診断	12	12	2	2		6	4		19
個別健康診断	2	2	1	1		1			
定期健康診断	10	10	1	1		5	4		2
学校健診									
住民健診									
職場健診	9	9	1	1		5	3		2
施設健診	1	1					1		
接触者健康診断									17
家族健診									5
その他									12
その他の集団検診									
医療機関	77	50	27	26	1	23		27	24
受診	51	27	17	16	1	10		24	7
他疾患入院中	16	14	7	7		7		2	5
他疾患通院中	10	9	3	3		6		1	12
その他	1							1	
不明									
登録中の健康診断									

表 4-10 2024 年 新登録有症状肺結核患者数－発見の遅れの期間別

	肺 結 核 活 動 性					
	総 数	嗜 痰 塗 抹 陽 性			そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他
		総 数	初 回 治 療	再 治 療		
発病～初診の期間						
総数	42	26	25	1	16	
2週未満	11	7	7		4	
2週以上1月未満	6	5	5		1	
1月以上2月未満	2	1	1		1	
2月以上3月未満	2	2	2			
3月以上6月未満	3	3	3			
6月以上	1	1	1			
不明・該当せず	17	7	6	1	10	
初診～診断の期間						
総数	42	26	25	1	16	
2週未満	24	19	18	1	5	
2週以上1月未満	5	3	3		2	
1月以上2月未満	3	2	2		1	
2月以上3月未満						
3月以上6月未満	1	1	1			
6月以上	1				1	
不明・該当せず	8	1	1		7	
発病～診断の期間						
総数	42	26	25	1	16	
2週未満	4	3	3		1	
2週以上1月未満	8	7	7		1	
1月以上2月未満	4	2	2		2	
2月以上3月未満	3	2	2		1	
3月以上6月未満	4	4	4			
6月以上	2	1	1		1	
不明・該当せず	17	7	6	1	10	

表 4-11 2024 年 新登録患者数—化療内容、保健所別(その1)

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結 核 感 染 症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
愛媛県									
総数	90	62	29	28	1	29	4	28	43
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	57	37	18	18		16	3	20	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上	1							1	
他INH、RFP含む3剤以上	21	18	8	7	1	10		3	
INH及びRFPの2剤									1
その他の2剤									
その他の3剤以上	2	2	2	2					
INH単独									41
その他単独									1
不明・化療なし	9	5	1	1		3	1	4	
四国中央									
総数	5	3	2	2		1		2	1
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	2	1	1	1				1	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	1	1	1	1					
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									1
その他単独									
不明・化療なし	2	1				1		1	
西条									
総数	10	3	1		1	1	1	7	5
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	6	1				1		5	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	1	1	1		1				
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									5
その他単独									
不明・化療なし	3	1					1	2	
今治									
総数	14	12	6	6		4	2	2	8
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	9	8	4	4		2	2	1	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	4	3	1	1		2		1	
INH及びRFPの2剤									1
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									7
その他単独									
不明・化療なし	1	1	1	1					

INH: イソニアジド、RFP: リファンピシン、PZA: ピラジナミド、EB: エタンブトール、SM: ストレプトマイシン

表 4-11 2024 年 新登録患者数—化療内容、保健所別(その 2)

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結 核 感 染 症 治療中
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性		そ の 他 の 結 核 菌 陽 性	菌 陰 性 ・ そ の 他			
		総 数	初 回 治 療	再 治 療					
松山市									
総数	25	16	7	7		8	1	9	12
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	19	12	5	5		6	1	7	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	6	4	2	2		2		2	
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									11
その他単独									1
不明・化療なし									
中予									
総数	5	4	2	2		2		1	2
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	4	3	1	1		2		1	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上									
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上	1	1	1	1					
INH単独									2
その他単独									
不明・化療なし									
八幡浜									
総数	15	11	7	7		4		4	3
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	9	6	4	4		2		3	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上									
他INH、RFP含む3剤以上	3	3	2	2		1			
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上	1	1	1	1					
INH単独									3
その他単独									
不明・化療なし	2	1				1		1	
宇和島									
総数	16	13	4	4		9		3	12
INH、RFP、PZAとEBまたはSMの4剤	8	6	3	3		3		2	
他INH、RFP及びPZA含む3剤以上	1							1	
他INH、RFP含む3剤以上	6	6	1	1		5			
INH及びRFPの2剤									
その他の2剤									
その他の3剤以上									
INH単独									12
その他単独									
不明・化療なし	1	1				1			

INH: イソニアジド、RFP: リファンピシン、PZA: ピラジナミド、EB: エタンブトール、SM: ストレプトマイシン

表 4-12 2024 年 年末現在登録者数一保健所別

	登録者 総数	活 動 性 結 核							不活動 性結核	活動性 不 明	(別掲) 潜在性 結 核 感染症		
		総数	肺 結 核 活 動 性					肺 外 結 核 活 動 性			治 療 中	観 察 中	
			総数	登 録 時 喀 痰 塗 抹 陽 性			登 録 時 そ の 他 の 結 核 菌 陽 性						登 録 時 菌 陰 性 そ の 他
				総数	初 回 治 療	再 治 療							
愛媛県 総数	187	64	42	19	18	1	19	4	22	102	21	26	28
四国中央	7	2	1	1	1				1	5			
西条	35	6	2	2	1	1			4	12	17	5	
今治	27	11	8	3	3		3	2	3	14	2	6	1
松山市	57	24	13	5	5		6	2	11	31	2	5	14
中予	10	4	4	2	2		2			6		2	2
八幡浜	25	10	7	5	5		2		3	15		3	2
宇和島	26	7	7	1	1		6			19		5	9

表 4-13 2024 年 年末現在登録者数一性、年齢階級別

	登録者 総数	活 動 性 結 核							不活動 性結核	活動性 不 明	(別掲) 潜在性 結 核 感染症		
		総数	肺 結 核 活 動 性					肺 外 結 核 活 動 性			治 療 中	観 察 中	
			総数	喀 痰 塗 抹 陽 性			登 録 時 そ の 他 の 結 核 菌 陽 性						登 録 時 菌 陰 性 そ の 他
				総数	初 回 治 療	再 治 療							
愛媛県 総数	187	64	42	19	18	1	19	4	22	102	21	26	28
男	85	26	17	8	7	1	8	1	9	48	11	15	12
女	102	38	25	11	11		11	3	13	54	10	11	16
0-4歳												3	5
男												2	3
女												1	2
5-9歳													
男													
女													
10-14歳													
男													
女													
15-19歳	3	1	1				1			2			1
男													
女	3	1	1				1			2			1
20-29歳	19	8	5				3	2	3	9	2	2	4
男	7	1							1	4	2		
女	12	7	5				3	2	2	5		2	4
30-39歳	10	5	3	1	1		1	1	2	5		2	1
男	7	4	3	1	1		1	1	1	3		1	
女	3	1							1	2		1	1
40-49歳	11	3	1				1		2	8		1	3
男	7	3	1				1		2	4			1
女	4									4		1	2
50-59歳	8	1	1	1	1					7		5	3
男	4									4		2	1
女	4	1	1	1	1					3		3	2
60-69歳	19	8	4	1	1		3		4	7	4	1	2
男	8	2	1				1		1	4	2	1	
女	11	6	3	1	1		2		3	3	2		2
70-79歳	48	13	9	5	5		3	1	4	30	5	6	7
男	29	7	5	4	4		1		2	19	3	6	6
女	19	6	4	1	1		2	1	2	11	2		1
80-89歳	45	16	12	6	6		6		4	22	7	6	1
男	18	7	5	2	2		3		2	7	4	3	1
女	27	9	7	4	4		3		2	15	3	3	
90歳以上	24	9	6	5	4	1	1		3	12	3		1
男	5	2	2	1		1	1			3			
女	19	7	4	4	4				3	9	3		1

V 参考資料

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱

第一 目的

本事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号。以下「法」という。)に基づき、感染症の患者発生状況に関する情報(以下「患者情報」という。)、疑似症発生状況に関する情報(以下「疑似症情報」という。)及び感染症の病原体に関する情報(以下「病原体情報」という。)を迅速かつ的確に収集、分析し、その結果を感染症情報として速やかに地域に公表することにより、感染症の予防、医療、研究等に役立て、有効かつ的確な感染症対策の確立に資することを目的とする。

第二 対象感染症

事業の対象とする感染症は次のとおりとする。

一 全数把握の対象

1 一類感染症

(1) エボラ出血熱 (2) クリミア・コンゴ出血熱 (3) 痘そう (4) 南米出血熱 (5) ペスト (6) マールブルグ病 (7) ラッサ熱

2 二類感染症

(8) 急性灰白髄炎 (9) 結核 (10) ジフテリア (11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) (12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。) (13) 鳥インフルエンザ(H5N1) (14) 鳥インフルエンザ(H7N9)

3 三類感染症

(15) コレラ (16) 細菌性赤痢 (17) 腸管出血性大腸菌感染症 (18) 腸チフス (19) パラチフス

4 四類感染症

(20) E型肝炎 (21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) (22) A型肝炎 (23) エキノコックス症 (24) エムポックス (25) 黄熱 (26) オウム病 (27) オムスク出血熱 (28) 回帰熱 (29) キャサヌル森林病 (30) Q熱 (31) 狂犬病 (32) コクシジオイデス症 (33) ジカウイルス感染症 (34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) (35) 腎症候性出血熱 (36) 西部ウマ脳炎 (37) ダニ媒介脳炎 (38) 炭疽 (39) チクングニア熱 (40) つつが虫病 (41) デング熱 (42) 東部ウマ脳炎 (43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) (44) ニパウイルス感染症 (45) 日本紅斑熱 (46) 日本脳炎 (47) ハンタウイルス肺症候群 (48) Bウイルス病 (49) 鼻疽 (50) ブルセラ症 (51) ベネズエラウマ脳炎 (52) ヘンドラウイルス感染症 (53) 発しんチフス (54) ボツリヌス症 (55) マラリア (56) 野兎病 (57) ライム病 (58) リッサウイルス感染症 (59) リフトバレー熱 (60) 類鼻疽 (61) レジオネラ症 (62) レプトスピラ症 (63) ロッキー山紅斑熱

5 五類感染症（全数）

(64) アメーバ赤痢 (65) ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。） (66) カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 (67) 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。） (68) 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。） (69) クリプトスポリジウム症 (70) クロイツフェルト・ヤコブ病 (71) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (72) 後天性免疫不全症候群 (73) ジアルジア症 (74) 侵襲性インフルエンザ菌感染症 (75) 侵襲性髄膜炎菌感染症 (76) 侵襲性肺炎球菌感染症 (77) 水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。） (78) 先天性風しん症候群 (79) 梅毒 (80) 播種性クリプトコックス症 (81) 破傷風 (82) バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (83) バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (84) 百日咳 (85) 風しん (86) 麻しん (87) 薬剤耐性アシネトバクター感染症

6 新型インフルエンザ等感染症

(113) 新型インフルエンザ (114) 再興型インフルエンザ (115) 新型コロナウイルス感染症 (116) 再興型新型コロナウイルス感染症

7 指定感染症

該当なし

二 定点把握の対象

1 五類感染症（定点）

(88) R S ウイルス感染症 (89) 咽頭結膜熱 (90) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。） (91) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (92) 感染性胃腸炎 (93) 急性出血性結膜炎 (94) クラミジア肺炎（オウム病を除く。） (95) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。） (96) 新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。） (97) 水痘 (98) 性器クラミジア感染症 (99) 性器ヘルペスウイルス感染症 (100) 尖圭コンジローマ (101) 手足口病 (102) 伝染性紅斑 (103) 突発性発しん (104) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (105) ヘルパンギーナ (106) マイコプラズマ肺炎 (107) 無菌性髄膜炎 (108) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (109) 薬剤耐性緑膿菌感染症 (110) 流行性角結膜炎 (111) 流行性耳下腺炎 (112) 淋菌感染症

2 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点）

(117) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

三 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

(118) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断した

ものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。

第三 実施主体

実施主体は県とし、愛媛県医師会等関係機関の協力を得て事業を実施する。

第四 実施体制の整備

一 愛媛県感染症情報センター

愛媛県感染症情報センター（以下「感染症情報センター」という。）を、愛媛県立衛生環境研究所（以下「衛生環境研究所」という。）に設置する。感染症情報センターは、県及び松山市（以下、「県等」という。）から報告された患者情報、疑似症情報及び病原体情報（検査情報を含む。以下同じ。）を収集、分析し、その結果を全国情報等と併せて速やかに関係機関等へ提供・公開する。

二 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

1 県は、定点把握対象の感染症について、患者及び当該感染症により死亡した者（法第14条第1項の厚生労働省令で定める五類感染症に限る。）の情報及び疑似症情報を収集するため、法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点を選定する。

2 県は、定点把握対象の五類感染症について、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点を選定する。

なお、法施行規則第7条の3に規定する五類感染症については、法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。

三 愛媛県感染症対策連携協議会

本事業に関する事項については、愛媛県感染症対策連携協議会において協議することとし、愛媛県感染症対策連携協議会設置要綱第7条の規定に基づく解析評価担当委員（以下「解析評価委員」という。）が解析評価を行う。

四 検査施設

本事業に係る検体等の検査については、衛生環境研究所又は保健所の検査施設（以下「衛生環境研究所等」という。）において実施する。衛生環境研究所等は、別に定める病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査業務管理要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努める。

また、県等は、県等域内における検査が適切に実施されるよう施設間の役割を調整するとともに、衛生環境研究所は、松山市において実施できない項目について検査事務を受託する等、検査実施体制の整備を図る。

第五 事業の実施

一 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86))、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

1 医師

医師は、一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86))、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」（以下「届出基準等通知」という。）に基づき診断した場合及び当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体を検案した場合は、届出基準等通知別記様式により、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

2 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあつては、検体等について、別記様式1の検査票を添付して提供する。

3 保健所

(1) 医師から届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力する。

(2) 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対し、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼等する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

(3) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

(4) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

4 衛生環境研究所等

(1) 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあつては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、本庁健康増進課及び感染症情報センター等と情報共有する。

また、病原体情報について、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

(2) 衛生環境研究所等において検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(3) 患者が一類感染症と診断されている場合、県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあつては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

5 感染症情報センター

- (1) 感染症情報センターは、患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。
 - (2) 感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される県内情報、全国情報と併せて、保健所等の関係機関に提供・公開する。
 - (3) 感染症情報センターは、収集した患者情報及び病原体情報を全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。
- 6 本庁健康増進課
- 本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。
- 7 情報の報告等
- (1) 本庁は、管轄する区域外に居住する者について、法第 12 条第 1 項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県等に通報する。
 - (2) 本庁は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第 15 条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県等に通報する。
 - (3) (1)～(2)の報告等について、感染症サーベイランスシステムにより相互に情報を閲覧できる措置を講じた場合は、当該報告をしたものとみなす。

二 全数把握対象の五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86)を除く。）

1 医師

全数把握対象の五類感染症（第二の(75)、(85)及び(86)を除く。）を届出基準等通知に基づき診断した又は当該感染症により死亡した者（当該感染症により死亡したと疑われる者を含む。）の死体を検案した医師は、届出基準等通知別記様式を用いて診断後 7 日以内に最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

2 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、別記様式 1 の検査票を添付して提供する。

3 保健所

- (1) 医師から届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、当該届出が感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医師からの届出である場合には、直ちに感染症サーベイランスシステムに届出内容を入力する。
- (2) 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関

等に対し、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

(3) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

(4) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

4 衛生環境研究所等

(1) 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあっては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、本庁健康増進課及び感染症情報センター等と情報共有する。

また、病原体情報について、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

(2) 衛生環境研究所等において検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(3) 県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

5 感染症情報センター

(1) 感染症情報センターは、患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(2) 感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される県内情報、全国情報と併せて、保健所等の関係機関に提供・公開する。

(3) 感染症情報センターは、収集した患者情報、病原体情報及び全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。

6 本庁健康増進課

本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

三 定点把握対象の五類感染症

1 定点の選定

(1) 患者定点

県は、定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等

の協力を得て、対象感染症に応じ、次に掲げる医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。患者定点数は、別に定める基準（国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱。以下「算定基準」という。）を準用し算定する。

対象感染症	医療機関
ア 第二の(88)、(89)、(91)、(92)、(97)、(101)から(103)まで、(105)及び(111)に掲げるもの（小児科定点）	小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）
イ 第二の(90)に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）及び(96)新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」とする）（インフルエンザ/COVID-19 定点及び基幹定点） なお、基幹定点における届出基準は、インフルエンザ定点及びCOVID-19 定点と異なり、入院患者に限定されることに留意すること。	上記アで選定した小児科に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの） なお、インフルエンザ定点と COVID-19 定点は同一とする。
ウ 第二の(93)及び(110)に掲げるもの（眼科定点）	眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）
エ 第二の(98)から(100)まで及び(112)に掲げるもの（性感染症定点（STD 定点））	産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和 23 年政令第 326 号）第 3 条の 2 第 1 項第 1 号ハ及びニ（2）の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）
オ 第二の(92)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(94)、(95)、(104)及び(106)から(109)までに掲げるもの（基幹定点）	原則患者を 300 人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）

(2) 病原体定点

県は、病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点として選定された医療機関の中から、次の基準により病原体定点を選定する。

病原体定点	算定基準	対象感染症
ア 小児科病原体定点	(1)のアにより選定された小児科定点の概ね 10%	第二の(88)、(89)、(91)、(92)、(97)、(101)から(103)まで、(105)及び(111)に掲げるもの
イ インフルエンザ病原体定点（法第 14 条の 2 第 1 項に規定する指定提出機関として指定）	(1)のイにより選定されたインフルエンザ定点の概ね 10%（小児科定点から 10%以上及び内科定点から 10%以上とし、それぞれ 3 定点と 2 定点を下回らないように選定）	第二の(90)に掲げるもの
ウ 眼科病原体定点	(1)のウにより選定された眼科定点の概ね 10%	第二の(93)及び(110)に掲げるもの
エ 基幹病原体定点	(1)のオにより選定された基幹定点の全て	第二の(92)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(95)及び(107)に掲げるもの

2 調査単位等

- (1) 患者情報のうち、前記1の(1)のア、イ、ウ及びオ（第二の(104)、(108)及び(109)に関する患者情報を除く。）により選定された患者定点にあっては1週間（月曜日から日曜日）を調査単位とし、前記1の(1)のエ及びオ（第二の(104)、(108)及び(109)に関する患者情報のみ）により選定された患者定点にあっては各月を調査単位とする。
- (2) 病原体情報のうち、前記1の(2)のイにより選定されたインフルエンザ病原体定点にあっては、第二の(90)に掲げるインフルエンザの流行期（1の(1)のイにより選定されたインフルエンザ定点当たりの患者発生数が県単位で1を超えた時点から1を下回るまでの間）には1週間（月曜日から日曜日）を調査単位とし、非流行期（流行期以外の期間）には各月を調査単位とする。その他の病原体定点にあっては、各月を調査単位とする。

3 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により患者発生状況を把握するとともに、届出基準等通知別記様式により、管轄保健所に届出を行う。

イ 前記アの届出は、調査単位が週の場合は翌週の月曜日に、月単位の場合は翌月の初日に行う。当該届出は、感染症サーベイランスシステムへの入力により行うことを基本とするが、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

(2) 病原体定点

ア 病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のための検体等採取する。

イ 病原体定点は、検体等について、別記様式1の検査票を添えて、保健所との連携を図りながら速やかに衛生環境研究所へ送付する。

ウ 1の(2)のアにより選定された小児科病原体定点においては、第二の(88)、(89)、(91)、(92)、(97)、(101)から(103)まで、(105)及び(111)の対象感染症のうち、患者発生状況等を踏まえ県等においてあらかじめ選定した複数の感染症について、調査単位ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付する。

エ 1の(2)のイにより選定されたインフルエンザ病原体定点においては、第二の(90)に掲げるインフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む。）について、調査単位ごとに、少なくとも1検体を送付する。

(3) 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、別記様式1の検査票を添えて提供する。

(4) 保健所

ア 届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、感染症サーベイランスシステムの入力環境がない医療機関からの届出である場合には、患者定点から得られた患者情報を、調査単位が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、

月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症サーベイランスシステムに入力する。

イ 対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、本庁健康増進課及び感染症情報センターへ報告する。

ウ 保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について、別記様式1の検査票を添付して依頼する。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて衛生環境研究所と協議する。

エ 保健所は、医療機関等から検体等の提供を受けた場合には、別記様式1の検査票を添付して衛生環境研究所等に検査を依頼するものとし、検体等の送付は、保健所において実施する。

オ 保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

(5) 衛生環境研究所等

ア 衛生環境研究所等は、別記様式1の検査票及び検体等が送付された場合にあつては、別に定める病原体検査業務管理要領に基づき当該検体を検査し、その結果を病原体情報として保健所を経由して病原体定点に通知するとともに、本庁健康増進課及び感染症情報センターに送付する。

また、病原体情報については、速やかに病原体検出情報システムに入力する。

イ 検査の困難なものについては、必要に応じて、他の都道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

ウ 県域を超えた感染症の集団発生があつた場合等の緊急の場合及び国から検体等の提出を求められた場合にあつては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(6) 感染症情報センター

ア 感染症情報センターは、患者情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

イ 感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報(月単位の場合は月報)等として公表される県内情報、全国情報と併せて、保健所等の関係機関に提供・公開する。

ウ 感染症情報センターは、収集した患者情報、病原体情報及び全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。

(7) 本庁健康増進課

本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに

に、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

四 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症（定点）

1 定点の選定

県は、疑似症の発生状況を地域的に把握するため、関係医師会等の協力を得て、次に掲げる医療機関の中から疑似症定点を選定する。定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案しつつ、できるだけ県の疑似症の発生状況を把握できるよう考慮すること。

対象感染症	医療機関
第二の(117)に掲げるもの	<p>集中治療その他これに準ずるものを提供することができる病院又は診療所のうち疑似症に係る指定届出機関として適当と認めるもの。</p> <p>また、以下のアからウの順に優先順位をつけ、上記の基準を踏まえて選定する。</p> <p>ア 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料（1～4）、小児特定集中治療室管理料又はハイケアユニット入院医療管理料（1～2）の届出をしている医療機関</p> <p>イ 法に基づく感染症指定医療機関</p> <p>ウ マスギャザリング（一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団）において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関</p>

2 実施方法

(1) 疑似症定点

ア 疑似症定点として選定された医療機関は、調査単位の期間の診療時における報告基準により疑似症発生状況を把握するとともに、届出基準等通知別記様式により、管轄保健所に直ちに届出を行う。

イ 前記アの届出は、原則として、感染症サーベイランスシステムへの入力により実施することとする。

(2) 保健所

ア 保健所は、疑似症定点において感染症サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに感染症サーベイランスシステムに入力する。

イ 保健所は、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報について本庁健康増進課及び感染症情報センターへ報告する。

ウ 保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

(3) 感染症情報センター

ア 感染症情報センターは、疑似症情報について、保健所等からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

イ 感染症情報センターは、県内の全ての疑似症情報を収集、分析するとともに、そ

の結果を週報等として公表される県内情報、全国情報と併せて、保健所等の関係機関に提供・公開する。

ウ 感染症情報センターは、収集した疑似症情報を全国情報等と併せて、解析委員の意見を聴取し、県域全体としての総合的解析評価を行い、その結果を愛媛県感染症情報として、速やかに本庁健康増進課、保健所、県医師会、教育委員会その他の関係機関へ提供する。

(4) 本庁健康増進課

本庁健康増進課は、感染症情報センターが収集、分析した疑似症情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本庁健康増進課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

第六 その他

一 県は、効果的かつ円滑な感染症発生動向調査体制を構築するため、松山市と密接な連携を図る。

二 感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的に用いてはならない。また、検体採取の際には、その使用目的について説明の上、できるだけ本人等に同意をとることが望ましい。

なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の別に定める規定に従う。

三 情報の提供を行うときは、個人情報保護に十分留意する。

四 本事業に協力を得た医師、解析評価委員に対して予算の範囲内で謝金を支出する。

五 この要綱で定めるもののほか、感染症発生動向調査事業の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成13年1月1日から施行する。

2 愛媛県結核・感染症発生動向調査実施要綱(昭和62年1月1日)は、廃止する。

附 則

この実施要綱の改正は、平成14年11月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年8月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成15年11月5日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 18 年 9 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 18 年度に限り使用することができる。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成 18 年 11 月 22 日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 19 年度に限り使用することができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 20 年 1 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。
- 3 この要綱施行の際現にある改正前の要綱の様式の規定による書類の用紙は、平成 19 年度に限り使用することができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則

(施行期日)

- 1 この実施要綱の一部改正は、平成 23 年 2 月 1 日から施行する。
(経過措置)
- 2 この要綱施行の際現に改正前の要綱の様式の規定により提出され、又は交付している書類は、改正後の要綱の規定により提出され、又は交付した書類とみなす。

附 則

(施行期日)

この実施要綱の一部改正は、平成23年9月5日から施行する。

ただし、第五の三の1の(1)の表中イの指定については、平成23年8月17日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年3月4日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年5月6日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成25年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成26年7月26日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成26年9月19日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成27年1月21日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成27年5月21日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成28年2月15日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年3月27日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成30年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和2年2月1日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和2年8月11日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和3年2月17日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年5月8日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年5月26日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年6月23日から施行する。

附 則

この実施要綱の一部改正は、令和5年9月25日から施行する。

別記様式 1

保健所コード

保健所登録全数報告 ID

衛研受付番号(検体提供者番号)

□□□□-□□□□-□□□□□□

□□-□□□□□

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症検査票(病原体)

Table with patient information: 患者コード, 性別(男・女), 年齢(歳 ヵ月), 住所(市町), 氏名, 住所, 定点医療機関の場合のチェックボックス(インフルエンザ定点, 小児科定点, 眼科定点, 性感染症定点, 基幹定点)

[主治医等記載欄]

Main medical record table with sections: 医療機関等名及び主治等医師名(記載者), 検体送付日, 診断名, 発病日, 入院・外来の別, 採取日, 検査材料, 臨床的事項, 基礎疾患, 転帰, 主治医等から地方衛生研究所への連絡事項(関連の臨床検査結果等), *インフルエンザ迅速キット使用, *抗インフルエンザ薬投与

[保健所等記載欄](主治医記載可)

Table with outbreak information: 発生の状況, 最近の海外渡航歴, ワクチン接種歴

[地方衛生研究所記載欄]

Table with laboratory test results: 記載者名, 抗体検出方法結果, 検出年月日, 検出方法, 検出病原体(群、型、亜型), その他特記事項

注1) 患者の氏名及び住所欄については、感染症法第16条の3、第26条の3、第26条の4、第44条の7及び第50条に基づき一類感染症、二類感染症、新型インフルエンザ等感染症又は新感染症に係る検査の場合に記載をお願いします。
注2) 主治医記載欄については、検体送付日において記載できる範囲で記載をお願いします。
注3) ワクチン接種歴については、当該疾患に係るものにつき記載してください。
注4) 医療機関(民間検査所を含む)で病原体を分離した場合は、地方衛生研究所への分離株の送付をお願いします。

愛媛県感染症対策連携協議会設置要綱

(目的)

第1条 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）第10条の2第1項の規定に基づき、感染症の発生の予防及びまん延の防止のための施策の実施に当たっての連携協力体制の整備を図るため、愛媛県感染症対策連携協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 感染症発生の防止及びまん延の防止の施策に関する事項
- (2) 医療提供体制の確保及び医療機関等の連携協力体制に関する事項
- (3) 予防計画の策定、改定及び推進に関する事
- (4) 愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱（平成13年1月1日制定）に基づく感染症発生動向調査（以下「感染症発生動向調査」という。）に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項に関する事

(委員)

第3条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、保健所設置市、感染症指定医療機関、診療に関する学識経験者の団体、消防機関及びその他の関係機関のうちから、知事が委嘱し、又は任命する。

- 2 協議会の委員は、30人以下とする。
- 3 委員の任期は、3年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、再任させることができる。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長を置く。

- 2 会長は、委員の互選によって定め、副会長は会長が指名した者をもって充てる。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。ただし、委員の任命後最初に開かれる会議は、知事が招集する。

(部会)

第6条 協議会は、必要に応じて、部会を置くことができる。

- 2 部会に、部会長及び部会員を置き、会長が指名する。
- 3 部会は、部会長が必要に応じて招集し、部会長が議長となる。
- 4 協議会は、その定めるところにより、部会の議決をもって協議会の議決とすることができる。

(解析評価担当委員)

第7条 感染症発生動向調査に係る情報の解析評価を担当する解析評価担当委員をおく。

- 2 解析評価担当委員は、会長が協議会の委員のうちから指名する。

(関係者の出席)

第8条 会長が必要と認めた時は、協議会の会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、保健福祉部健康衛生局健康増進課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が、協議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和5年6月23日から施行する。

愛媛県感染症発生動向調査事業病原体検査要領

第一 趣旨

本要領は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年10月2日号外法律第114号）に基づき、感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るために実施する愛媛県感染症発生動向調査事業において、病原体の検査情報の収集に関する必要な事項を定めるものとする。

第二 病原体検査の対象感染症

愛媛県感染症発生動向調査事業において病原体検査の対象とする感染症は、次のとおりとする。

一 全数把握の対象

愛媛県感染症発生動向調査事業実施要綱（以下、要綱という。）第二の一に掲げる全数把握対象感染症とする。

二 定点把握対象の五類感染症（病原体定点別）

要綱第二の二に掲げるもののうち、次の定点把握対象感染症とする。

1 小児科病原体定点

(89)咽頭結膜熱 (90)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (91)感染性胃腸炎
(93)手足口病 (96)ヘルパンギーナ (97)流行性耳下腺炎

2 インフルエンザ病原体定点(内科病原体定点及び小児科病原体定点)

(98)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)

3 眼科病原体定点

(99)急性出血性結膜炎 (100)流行性角結膜炎

4 基幹病原体定点

(91)感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)(106)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)
(109)無菌性髄膜炎

第三 関係機関の役割

一 検査実施機関

検査実施機関は、衛生環境研究所又は保健所とする。

ただし、衛生環境研究所で検査の実施が困難なものについては、国立感染症研究所又は検査可能な機関（以下、「国立感染症研究所等」という。）に、衛生環境研究所が協力を依頼する。

検査実施機関別の検査対象感染症は、別表1のとおりとする。

二 医療機関・医師

第二の一に掲げる検査対象感染症の患者を診断あるいは感染疑いと判断した医師は、保健所から病原体検査のための検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）の提供の依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等について、別記様式1（要綱第五の一の2に定める様式をいう。以下同じ。）の検査票を添えて、速やかに保健所に提供

する。

三 病原体定点に選定された医療機関

- 1 第二の二に掲げる病原体定点の検査対象感染症の患者を診断した医師は、第四に示した検体数について、第五の別表2に掲げる検査材料を、別表3に従い採取する。採取された検体等は、別記様式1に掲げる検査票を添えて、速やかに保健所に提供する。
- 2 基幹病原体定点は、第二の二の4に掲げる検査対象感染症のほか、保健所から第二の二に掲げる検査対象感染症の検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、可能な範囲で検体等の提供に協力する。

四 保健所

- 1 保健所は、検査対象感染症の発生状況から、必要に応じて病原体検査のための検体等の提供を医療機関に依頼等する。
- 2 保健所は、医療機関における検体等の採取や搬送に協力し、第二の一に掲げる検査対象感染症のうち三類感染症の検体等の提供を受けた場合は、可能な範囲において検査を実施し、その結果を診断した医師に通知する。
- 3 保健所は、三類感染症の病原体を分離した場合又は第二の一に掲げる検査対象感染症の検体等の提供を受けた場合は、別記様式1の検査票を添えて、検体等を衛生環境研究所に搬送する。
- 4 保健所は、特定病原体を衛生環境研究所に搬送する場合は、省令第31条の36に規定された運搬基準を遵守すること。

五 衛生環境研究所

- 1 衛生環境研究所は、検体等と別記様式1の検査票が搬入された場合は、当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、本庁及び感染症情報センターに通知する。
- 2 衛生環境研究所において、検査の実施が困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所等に協力を依頼する。
- 3 衛生環境研究所は、病原体検査情報を、病原体検出情報システムに入力する。

第四 定点把握の五類感染症の病原体検査検体数

定点把握の五類感染症の病原体検査検体数は、要綱第五の三の3の(3)に示すとおりとする。

なお、眼科病原体定点及び基幹病原体定点については、検査対象感染症につき、概ね月4件の検体を採取することとし、基幹病原体定点については、検査対象感染症以外に必要なに応じて小児科病原体定点対象感染症の検体を採取する。

第五 検体採取

一 器材

検体採取に必要な器材、培地等は衛生環境研究所が準備し、必要に応じ保健所から関係医療機関に配布する。

二 検査材料

病原体検査のために採取すべき検査材料は、別表2のとおりとする。

第六 病原体検査検体の採取、保存、輸送等

一 細菌感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア 抗生物質投与前の糞便の一部を滅菌綿棒で取り、輸送用培地(キャリーブリア培地等)の寒天部に深く差し込み密栓する。止むを得ない場合は、直腸スワブを採取し、前項と同様輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。

イ 検体採取後は、室温で保存し、速やかに検査に供する。遅くとも24時間以内に分離培養するのが望ましい。

(2) 鼻咽頭ぬぐい液

ア 滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、輸送用培地(キャリーブリア培地等)中に綿棒を深く差し込み、直ちにキャップを確実に閉める。

イ 検体採取後は、室温で保存し、24時間以内に分離培養するのが望ましい。

2 保存及び輸送方法

(1) 検査材料は、容器から内容物が漏れないようにビニールテープ等で密栓する。所定の搬送用ボックスに入れ、できるだけ速やかに室温で搬送する。

(2) 検体は、冷凍での保存・搬送はしてはならない。

二 ウイルス感染症

1 採取方法

(1) 糞便

ア できるだけ早期(急性期)に排泄直後の糞便を採取する。

イ ウイルス分離培養検査用は糞便2g(2ml)を採取するか、又は滅菌綿棒で少量(0.1-0.2g)をウイルス分離用保存液中に取り、よく攪拌後綿棒を取り除いて密栓する。

ウ 下痢症ウイルス検査用は、母指頭大(約5g)以上の糞便あるいは嘔吐物を容器に採取し密栓する。

(2) 鼻咽頭ぬぐい液

滅菌綿棒で鼻腔又は咽頭部を十分に拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿球部をよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(3) 咽頭うがい液

滅菌生理食塩水8~10mlを用い咽頭の奥でよくうがいをさせ、清浄なコップ等に吐き出されたうがい液を5mlのウイルス分離用保存液又は滅菌プイヨン液に等量加え密栓する。

(4) 髄液

1~5mlを無菌的に採取し、滅菌容器に入れ密栓する。

(5) 水疱内溶液

水疱又は膿疱の表面をアルコール綿等で消毒し、毛細管、ツベルクリン注射器等で局所を突き刺して内容液を吸引し、ウイルス分離用保存液に入れ密栓する。

(6) 結膜擦過物

滅菌綿棒で下瞼結膜を強くこする。綿棒をウイルス分離用保存液中でよく振とうして擦過物を浮遊させた後、綿球部を管壁でよく絞ったのち綿棒を取り除いて密栓する。

(7) 血液、血清

ウイルス分離用の血液は、抗凝固剤（クエン酸又は EDTA）入り採血管に 4 ~ 5 ml を採取し、室温でできるだけ速やかに検査機関に搬送する。

血清免疫学的診断用の場合は、凝固剤入り採血管に 3 ~ 5 ml を採血する。30 分程度静置後 3,000rpm で遠心分離し、血清を滅菌セラムチューブ等に採取し、搬送するまで冷凍庫（-25 以下）に保存する。

血清免疫学的診断には、急性期（発病 3 日以内）と回復期（発病後 2 ~ 3 週間後）のペア血清が必要なことが多い。

2 保存及び搬送方法

- (1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。
- (2) 検体採取当日又は翌日に検査が可能な場合は、氷冷して保存・搬送する。
- (3) 2 日以上保存する場合は、密封しドライアイスアセトン又は液体窒素で急速凍結した後、-25 以下（できれば -70 以下が望ましい）で冷凍保存する。
- (4) 冷凍して搬送する場合は、断熱性の搬送用ボックスに入れ、ドライアイス又は寒剤（例：氷 75% + 食塩 25%）等を使用し、搬送中に融解しないようにする。
- (5) 保存又は搬送にドライアイスを使用する場合は、CO₂ ガスが容器に入り、pH が低下するのを防ぐため、検体容器をビニールテープでシールして密封する。

三 原虫感染症

1 採取方法

- (1) 母指頭大（約 5 g）以上の糞便を、保存培地の入っていない採便容器に採取し密栓する。
- (2) 連日あるいは 1 日おきに複数回採取するのが望ましい。

2 保存及び搬送方法

- (1) 検体は、できるだけ速やかに検査実施機関に搬送する。
- (2) 保存、輸送は冷蔵（4 ）で行う。
- (3) 長期間（3 日以上）の保存が避けられない場合は -25 以下で冷凍保存し、溶解しないよう氷冷して搬送する。

第七 その他

- 一 県は、県内の病原体に関する情報を統一的に収集し、分析し、及び公表する体制を構築するため、松山市と緊密な連携を図る。
- 二 この要領に定めるもののほか、病原体検査の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要領は、平成 13 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 15 年 11 月 5 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 30 年 1 月 1 日から施行する。

附 則

この要領の一部改正は、平成 30 年 5 月 1 日から施行する。

別表 1

検査実施機関別検査対象感染症

類型	疾 病	BSL	検 査 可 能 機 関			
			保健所	衛生環境 研究所	国立感染症 研究所	備 考
一類	エボラ出血熱	4			○	
	クリミア・コンゴ出血熱	4			○	
	痘そう	4			○	
	南米出血熱	4			○	
	ペスト	4			○	
	マールブルグ病	4			○	
	ラッサ熱	4			○	
二類	急性灰白髄炎	2		○	○	
	結核	3		○	(結研)	V N T R 検査
	ジフテリア	2		○	○	
	重症急性呼吸器症候群 ※1	3		○	○	
	中東呼吸器症候群 ※2	3		○	○	
	鳥インフルエンザ (H5N1)	3		○	○	
鳥インフルエンザ (H7N9)	3		○	○		
三類	コレラ	2	○	○		
	細菌性赤痢	2	○	○		
	腸管出血性大腸菌感染症	2	○	○		
	腸チフス	3	○	○		
	パラチフス	3	○	○		
四類	E型肝炎	2		○	○	
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	3		○	○	
	A型肝炎	2		○		
	エキノコックス症	2			○	
	黄熱	3			○	
	オウム病	2			○	
	オムスク出血熱	2			○	
	回帰熱	3			○	
	キャサヌル森林病	3			○	
	Q熱	3			○	
	狂犬病	3		○	○	
	コクシジオイデス症	3			○	
	サル痘	2			○	
	ジカウイルス感染症	2		○	○	
	重症熱性血小板減少症候群 ※3	3		○	○	
	腎症候性出血熱	3			○	
	西部ウマ脳炎	3			○	
	ダニ媒介脳炎	3			○	
	炭疽	3		○		
	チクングニア熱	3		○		
	つつが虫病	3			○	
	デング熱	2		○		
	東部ウマ脳炎	3			○	
	鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)	3			○	
	ニバウイルス感染症	3			○	
	日本紅斑熱	3		○		
	日本脳炎	2		○		
	ハンタウイルス肺症候群	3			○	
	Bウイルス病	3			○	
	鼻疽	3			○	
	ブルセラ病	3			○	
	ベネズエラウマ脳炎	3			○	
	ヘンドラウイルス感染症	3			○	
	発しんチフス	3			○	
	ボツリヌス症	2		○		
	マラリア	2			○	
	野兔病	3			○	
	ライム病	3			○	
	リッサウイルス感染症	3			○	
	リフトバレー熱	3			○	
	類鼻疽	2			○	
	レジオネラ症	2		○		
レプトスピラ症	2			○		
ロッキー山紅斑熱	3			○		

類型	疾 病	BSL	検 査 可 能 機 関			
			保健所	衛生環境 研究所	国立感染症 研究所	備 考
五類 全数	アメーバ赤痢	2			○	
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	2	○	○	○	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		○	○	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	2		○	○	
	急性脳炎 ※4	-		○	○	
	クリプトスポリジウム症	2		○		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2			○	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		○		
	後天性免疫不全症候群	3	○	○	○	
	ジアルジア症	2		○		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			○	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2			○	
	侵襲性肺炎球菌感染症	2			○	
	水痘 (患者が入院を要すると認められる例に限る)	2				病原体検査対象外
	先天性風しん症候群	2			○	
	梅毒	2	○			
	播種性クリプトコックス症	2			○	
	破傷風	2			○	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		○	○	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2		○	○	
	百日咳	2		○		
	風しん	2		○		
	麻しん	2		○		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2		○	○		
五類 定点	RSウイルス感染症	2		○		病原体検査対象外であるが対応可能
	咽頭結膜熱	2		○		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		○		
	感染症胃腸炎	2		○		
	水痘	2				病原体検査対象外
	手足口病	2		○		
	伝染性紅斑	2				病原体検査対象外であるが対応可能
	突発性発しん	2				病原体検査対象外
	ヘルパンギーナ	2		○		
	流行性耳下腺炎	2		○		
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ・新型インフルエンザ等感染症を除く)	2		○		
	急性出血性結膜炎	2		○		
	流行性角結膜炎	2		○		
	性器クラミジア感染症	2				病原体検査対象外
	性器ヘルペスウイルス感染症	2				病原体検査対象外
	尖圭コンジローマ	2				病原体検査対象外
	淋菌感染症	2				病原体検査対象外
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	2				病原体検査対象外
	細菌性髄膜炎 ※5	2		○		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2		○	○	病原体検査対象外
	マイコプラズマ肺炎	2				病原体検査対象外
	無菌性髄膜炎	2		○		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2		○	○	病原体検査対象外
薬剤耐性緑膿菌感染症	2		○	○	病原体検査対象外	
新型	新型インフルエンザ	3		○	○	衛研でH亜型、国立感染症研でN亜型検出
	再興型インフルエンザ	3		○	○	衛研でH亜型、国立感染症研でN亜型検出

※1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。
 ※2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。
 ※3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。
 ※4 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。
 ※5 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

別表 2

感染症別の採取材料一覧表

類型	検査対象感染症名	病原体	BSL	採取検査材料								検査方法			検査担当機関			
				血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検材料その他	生検	検そ	培養法		抗原検出法	抗体検出法	遺伝子検出
一類	1 エボラ出血熱	V	4	S									○	○	○	○	感染研	
	2 クリミア・コンゴ出血熱	V	4	○										○	○	○	感染研	
	3 痘そう	V	4	○							○			○	○	○	感染研	
	4 南米出血熱	V	4	○										○	○	○	感染研	
	5 ペスト	B	4	○								喀痰、リンパ節	○				感染研	
	6 マールブルグ病	V	4	○								各種臓器	○	○	○	○	感染研	
	7 ラッサ熱	V	4	○									○	○	○	○	感染研	
二類	8 急性灰白髄炎	V	2	S	○	○	○						○		○		衛環研・感染研	
	9 結核	B	3								菌株						衛環研	
	10 ジフテリア	B	2	S	○								○	○			衛環研	
	11 重症急性呼吸器症候群(SARS)	V	3	○	○	○					肺		○		○		衛環研・感染研	
	12 中東呼吸器症候群(MERS)	V	3		○						喀痰					○	衛環研・感染研	
	13 鳥インフルエンザ(H5N1)	V	3	S	○						肺、気管吸引液		○			○	衛環研・感染研	
	14 鳥インフルエンザ(H7N9)	V	3	S	○						肺、気管吸引液		○			○	衛環研・感染研	
三类	15 コレラ	B	2			○							○				保健所	
	16 細菌性赤痢	B	2			○							○				保健所	
	17 腸管出血性大腸菌感染症	B	2	○		○							○				保健所	
	18 腸チフス	B	3	○		○	○			○			○				保健所	
	19 パラチフス	B	3	○		○	○			○			○				保健所	
四類	20 E型肝炎	V	2	S		○										○	衛環研・感染研	
	21 ウエストナイル熱	V	3	S			○				脳		△		○	○	感染研	
	22 A型肝炎	V	2	S		○										○	衛環研	
	23 エキノコックス症	条虫	2	S							手術材料			○	○		感染研	
	24 黄熱	V	3	○							肝臓		○	○		○	感染研	
	25 オウム病	クラミジア	2	○	○						痰、気管吸引液		○	○	○	○	感染研	
	26 オムスク森林病	V	2	○			○								○	○	感染研	
	27 回帰熱	スピロヘータ	3	○									○	○		○	感染研	
	28 キャサヌル森林病	V	3	○			○								○	○	感染研	
	29 Q熱	リケッチア	3	○	○											○	感染研	
	30 狂犬病	V	3				○	○			脳、気管吸引液		○	○		○	衛環研・感染研	
	31 コクシジオイデス症	真菌	3								痰、膿、肺		○				感染研	
	32 サル痘	V L3扱い	2	S	○								○	○	○	○	感染研	
	33 ジカウイルス感染症	V	2	S						○							○	衛環研・感染研
	34 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	V	3	S													○	衛環研
	35 腎症候性出血熱	V	3	○										○		○	○	感染研
	36 西部ウマ脳炎	V	3	○				○								○	○	感染研
	37 ダニ媒介脳炎	V	3	○				○								○	○	感染研
	38 炭疽	B	3	○		○					○	痰、腹水、胸水	○					衛環研
	39 チクングニア熱	V	3	S													○	衛環研
	40 つつが虫病	リケッチア	3	S												○		感染研
	41 デング熱	V	2	○										○			○	衛環研
	42 東部ウマ脳炎	V	3	○				○								○	○	感染研
	43 鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)	V	3	S	○									○			○	感染研
	44 ニパウイルス感染症	V	3	S	○					○				○		○	○	感染研
45 日本紅斑熱	リケッチア	3	○												○		衛環研	
46 日本脳炎	V	2	○		○					脳					○		衛環研	
47 ハンタウイルス肺症候群	V	3	○												○	○	感染研	
48 Bウイルス病	V	3	S	○						皮膚病巣		○				○	感染研	
49 鼻疽	B	3	○							膿・呼吸器分泌物		○					感染研	
50 ブルセラ病	B	3	○		○								○				感染研	
51 ベネズエラウマ脳炎	V	3	○												○	○	感染研	
52 ヘンドラウイルス感染症	V	3	○												○	○	感染研	
53 発しんチフス	リケッチア	3	○							動物脾臓		○					感染研	
54 ボツリヌス症	B	2	S		○					摂取食品		○					新研研 (国立医薬品食品衛生研究所)	
55 マラリア	原虫	2	○													○	感染研	

別表 2

感染症別の採取材料一覧表

類型	検査対象感染症名	病原体	BSL	採取検査材料										検査方法			検査担当機関	
				血液・血清	咽頭拭液	糞便	髄液	結膜拭液	尿	水疱内容	剖検材料の他	生検	検そ	培養法	抗原検出法	抗体検出法		遺伝子検出
四類	56 野兔病	B	3	○											○	○	感染研	
	57 ライム病	スピロヘータ	3	○			○				皮膚病巣		○				感染研	
	58 リッサウイルス感染症	V	3	○			○				脳		○	○		○	感染研	
	59 リフトバレー熱	V	3	○											○	○	感染研	
	60 類鼻疽	B	3	○							膿・呼吸器分泌物		○				感染研	
	61 レジオネラ症	B	2	S	○	○		○			痰、気管吸引液		○		○		衛環研	
	62 レプトスピラ症	スピロヘータ	2	○			○		○				○		○	○	感染研	
63 ロッキー山紅斑熱	リケッチア	3	○											○	○	感染研		
五類全数	64 アメーバ赤痢	原虫	2	S		○					肝臓瘍液、腸、肝					△	感染研	
	65 ウイルス性肝炎（E型、A型除く）	V	2	○										○			保健所	
	66 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	B	2								菌株		○			○	衛環研	
	67 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	V	2	S	○	○	○						○		○		衛環研・感染研	
	68 急性脳炎	V、B	一	○	○	○	○		○				○	△	△	△	衛環研・感染研	
	69 クリプトスポリジウム症	原虫	2			○											○	衛環研
	70 クロイツフェルト・ヤコブ病	プリオン	2				○				膿、扁桃、脾臓等		○					感染研
	71 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	B	2		○		○	○		○	皮膚、腹水、胸水		○	△				衛環研
	72 後天性免疫不全症候群	V	3	○									○		○			保健所・衛環研
	73 ジアルジア症	原虫	2			○											○	衛環研
	74 侵襲性インフルエンザ菌感染症	B	2								菌株							感染研
	75 侵襲性髄膜炎菌感染症	B	2								菌株							感染研
	76 侵襲性肺炎球菌感染症	B	2								菌株							感染研
	77 水痘（入院を要すると認められるものに限る）	V	2															対象外
	78 先天性風しん症候群	V	2	○	○				○		白内障レンズ		○				○	感染研
	79 梅毒	スピロヘータ	2	○											○			保健所
	80 播種性クリプトコックス症	真菌	2															感染研
	81 破傷風	B	2	S							創傷部組織		○		○			感染研
	82 パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	B	2								菌株		○				○	衛環研・感染研
	83 パンコマイシン耐性腸球菌感染症	B	2								菌株		○				○	衛環研
84 百日咳	B	2	○	○						痰、気管吸引液		○		△		○	衛環研	
85 風しん	V	2	○	○		○		○								○	衛環研	
86 麻しん	V	2	○	○		○		○		脳(SSPE)		○		○		○	衛環研	
87 薬剤耐性アシネトバクター感染症	B	2								菌株							衛環研	
五類定点	88 R S ウイルス感染症	V	2		○								○	○				衛環研
	89 咽頭結膜熱	V	2	S	○	○	○	○	○		痰、気管吸引液		○	○			○	衛環研
	90 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	B	2		○								○	△				衛環研
	91 感染症胃腸炎	V B 原虫	2	S		○							○	○			○	衛環研
	92 水痘	V	2															対象外
	93 手足口病	V	2	S	○	○	○			○			○				○	衛環研
	94 伝染性紅斑	V	2	○	○												○	衛環研
	95 突発性発しん	V	2															対象外
	96 ヘルパンギーナ	V	2	S	○	○							○				○	衛環研
	97 流行性耳下腺炎	V	2	S	○		○		○				○					衛環研
	98 インフルエンザ	V	2	S	○		○	○			肺、脳		○		○		○	衛環研
	99 急性出血性結膜炎	V	2	S	○	○	○						○				○	衛環研
100 流行性角結膜炎	V	2	S	○	○	○						○				○	衛環研	
106 細菌性髄膜炎	B	2								菌株		○				△	衛環研	
109 無菌性髄膜炎	V	2	S	○	○	○						○				△	衛環研	

(注) 病原体：B…細菌、V…ウイルス
 血液・血清：S…血清、○…全血
 検査担当機関：感染研…国立感染症研究所、衛環研…衛生環境研究所
 保健所…西条保健所、宇和島保健所

別表3

愛媛県感染症発生動向調査事業の病原体検査に係る検体採取及び保存方法

定点分類	疾病	検体	採取方法	採取容器	保存
小児科	咽頭結膜熱	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
	A群溶レン菌咽頭炎	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。48時間以内に搬送。	咽頭用スワブ	常温
	感染性胃腸炎 (細菌性)	糞便	滅菌綿棒で糞便を採取し、輸送用培地に綿棒を差し込み密栓する。48時間以内に搬送。	シードスワブ 1号	常温
	感染性胃腸炎 (ウイルス性)	糞便	糞便を5g以上採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	採便容器	冷蔵 または 冷凍
		おう吐物	おう吐物を5g以上採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	採便容器	冷蔵 または 冷凍
	手足口病	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		水疱	滅菌綿棒で水疱内容物を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		糞便	滅菌綿棒で便(又は直腸)を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		(菌株)	(菌分離ができた場合、菌株での提供もお願いします。)		常温
	ヘルパンギーナ	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
流行性耳下腺炎	咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍	
インフル	インフルエンザ	鼻腔ぬぐい液 咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で鼻腔または咽頭をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。4~6日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
眼科	急性出血性結膜炎	結膜ぬぐい液	滅菌綿棒で下瞼結膜をよく拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
	流行性角結膜炎				
基幹	細菌性髄膜炎	菌株	(菌株での提供をお願いします)		常温
	無菌性髄膜炎 (髄液、咽頭ぬぐい液、糞便の3点セットが望ましい)	髄液	滅菌容器に1~5mL採取する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	滅菌容器	冷蔵 または 冷凍
		咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で咽頭を拭い、ウイルス分離用保存液中でよく攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。 1~2日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍
		糞便	滅菌綿棒で便(又は直腸)を拭い、ウイルス分離用保存液中で攪拌し、綿棒を取り除いて密栓する。2~3日冷蔵、それ以上冷凍	保存液 (使用前解凍)	冷蔵 または 冷凍

《参考》

感染症の予防及び感染症患者に対する医療に関する法律
第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について
(届出基準等通知、令和5年9月25日施行)

1 全数把握対象疾患

一類感染症	(1) エボラ出血熱
	(2) クリミア・コンゴ出血熱
	(3) 痘そう
	(4) 南米出血熱
	(5) ペスト
	(6) マールブルグ病
	(7) ラッサ熱
二類感染症	(8) 急性灰白髄炎
	(9) 結核
	(10) ジフテリア
	(11) 重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)
	(12) 中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)
	(13) 鳥インフルエンザ(H5N1)
(14) 鳥インフルエンザ(H7N9)	
三類感染症	(15) コレラ
	(16) 細菌性赤痢
	(17) 腸管出血性大腸菌感染症
	(18) 腸チフス
	(19) パラチフス
四類感染症	(20) E型肝炎
	(21) ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。)
	(22) A型肝炎
	(23) エキノコックス症
	(24) エムポックス
	(25) 黄熱
	(26) オウム病
	(27) オムスク出血熱
	(28) 回帰熱
	(29) キャサヌル森林病
	(30) Q熱
	(31) 狂犬病
	(32) コクシジオイデス症
	(33) ジカウイルス感染症
	(34) 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)
	(35) 腎症候性出血熱
	(36) 西部ウマ脳炎
	(37) ダニ媒介脳炎
	(38) 炭疽
	(39) チクングニア熱
	(40) つつが虫病
	(41) デング熱
	(42) 東部ウマ脳炎
	(43) 鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。)
	(44) ニパウイルス感染症
	(45) 日本紅斑熱
	(46) 日本脳炎
	(47) ハンタウイルス肺症候群
	(48) Bウイルス病
	(49) 鼻疽
	(50) ブルセラ症
	(51) ベネズエラウマ脳炎
	(52) ヘンドラウイルス感染症
	(53) 発しんチフス
(54) ボツリヌス症	
(55) マラリア	
(56) 野兎病	
(57) ライム病	
(58) リッサウイルス感染症	
(59) リフトバレー熱	
(60) 類鼻疽	
(61) レジオネラ症	

1 全数把握対象疾患(つづき)

五類感染症	(62)	レプトスピラ症
	(63)	ロッキー山紅斑熱
	(64)	アメーバ赤痢
	(65)	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)
	(66)	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症
	(67)	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)
	(68)	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)
	(69)	クリプトスポリジウム症
	(70)	クロイツフェルト・ヤコブ病
	(71)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	(72)	後天性免疫不全症候群
	(73)	ジアルジア症
	(74)	侵襲性インフルエンザ菌感染症
	(75)	侵襲性髄膜炎菌感染症
	(76)	侵襲性肺炎球菌感染症
	(77)	水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)
	(78)	先天性風しん症候群
	(79)	梅毒
	(80)	播種性クリプトコックス症
	(81)	破傷風
	(82)	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症
	(83)	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
	(84)	百日咳
	(85)	風しん
	(86)	麻しん
	(87)	薬剤耐性アシネトバクター感染症
	新型インフルエンザ等感染症	(113)
(114)		再興型インフルエンザ
(115)		新型コロナウイルス感染症
(116)		再興型新型コロナウイルス感染症
指定感染症		該当なし

2 定点把握対象疾患

五類感染症	(88)	RSウイルス感染症
	(89)	咽頭結膜熱
	(90)	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)
	(91)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
	(92)	感染性胃腸炎
	(93)	急性出血性結膜炎
	(94)	クラミジア肺炎(オウム病を除く。)
	(95)	細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)
	(96)	新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)
	(97)	水痘
	(98)	性器クラミジア感染症
	(99)	性器ヘルペスウイルス感染症
	(100)	尖圭コンジローマ
	(101)	手足口病
	(102)	伝染性紅斑
	(103)	突発性発しん
	(104)	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症
	(105)	ヘルパンギーナ
	(106)	マイコプラズマ肺炎
	(107)	無菌性髄膜炎
(108)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
(109)	薬剤耐性緑膿菌感染症	
(110)	流行性角結膜炎	
(111)	流行性耳下腺炎	
(112)	淋菌感染症	
疑似症	(117)	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

3 法第14条第8項の規定に基づく把握の対象

疑似症	(118) 発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものであって、当該感染症にかかった場合の病状の程度が重篤であるものが発生し、又は発生するおそれがあると判断し、知事が指定届出機関以外の病院又は診療所の医師に法第14条第8項に基づき届出を求めたもの。
-----	---

愛媛県感染症発生動向調査事業報告書
令和6年(2024年)

令和8年3月発行

発行 愛媛県感染症情報センター
(愛媛県立衛生環境研究所)
愛媛県東温市見奈良 1545 番地 4
電話(089)948-9678
